2021
講義要綱
SYLLABUS

北翔大学　教育文化学部　１年次

HOKUSHO UNIVERSITY
School of education and culture

令和３年度　北翔大学・北翔大学短期大学部　学事日程

月		火		水		木		金		土		日		備考
						4／1		4／2		4／3		4／4		
4／5		4／6	在学生 オリエンテーション	4／7	入学式	4／8	オリエンテーション	4／9	オリエンテーション	4／10		4／11		教科書Web販売（～４月下旬）
4／12	①	4／13	①	4／14	①	4／15	①	4／16	①	4／17		4／18		教育学科養護教諭コース３年次 養護実習：４/13～５/７
4／19	②	4／20	②	4／21	②	4／22	②	4／23	②	4／24		4／25		
4／26	③	4／27	③	4／28	③	4／29	昭和の日	4／30	7/22の振替休日	5／1		5／2		
5／3	憲法記念日	5／4	みどりの日	5／5	こどもの日	5／6	③	5／7	③	5／8		5／9		スポーツ教育学科・教育学科音楽コース・芸術学科４年次 教育実習Ⅰ・Ⅱ（中・高）　５月～10月
5／10	④	5／11	④	5／12	④	5／13	④	5／14	④	5／15		5／16		
5／17	⑤	5／18	⑤	5／19	⑤	5／20	⑤	5／21	⑤	5／22		5／23		こども学科２年次 教育実習：５/17～６/４
5／24	⑥	5／25	⑥	5／26	⑥	5／27	⑥	5／28	⑥	5／29		5／30		
5／31	⑦	6／1	⑦	6／2	⑦	6／3	⑦	6／4	⑦	6／5		6／6		
6／7	⑧	6／8	⑧	6／9	⑧	6／10	⑧	6／11	⑧	6／12		6／13		
6／14	⑨	6／15	⑨	6／16	⑨	6／17	⑨	6／18	⑨	6／19		6／20		
6／21	⑩	6／22	⑩	6／23	⑩	6／24	⑩	6／25	⑩	6／26		6／27		健康福祉学科（介護）２年次 介護基礎実習：６月下旬
6／28	⑪	6／29	⑪	6／30	⑪	7／1	⑪	7／2	⑪	7／3		7／4		教育学科養護教諭コース２年次 看護学臨床実習：７月～９月
7／5	⑫	7／6	⑫	7／7	⑫	7／8	⑫	7／9	⑫	7／10		7／11		
7／12	⑬	7／13	⑬	7／14	⑬	7／15	⑬	7／16	⑬	7／17		7／18		
7／19	⑭	7／20	⑭	7／21	⑭	7／22	⑭海の日	7／23	⑭スポーツの日	7／24		7／25		
7／26	⑮	7／27	⑮	7／28	⑮	7／29	⑮	7／30	⑮	7／31		8／1		こども学科２年次 保育実習Ⅰ・Ⅱ（保育所）：８月～９月
8／2	補講・試験日（月）	8／3	補講・試験日（火）	8／4	補講・試験日（水）	8／5	補講・試験日（木）	8／6	補講・試験日（金）	8／7		8／8	山の日	心理カウンセリング学科４年次 精神保健福祉援助実習：８月～９月
8／9	振替休日(山の日)	8／10		8／11		8／12		8／13		8／14		8／15		心理カウンセリング学科３年次 心理実習：８月～９月
8／16		8／17		8／18		8／19		8／20		8／21		8／22		教育学科４年次 保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ： ８/17～８/30
8／23		8／24		8／25		8／26		8／27		8／28		8／29		教育学科３年次 教育実習Ⅰ(幼・小)：
8／30		8／31		9／1		9／2		9／3		9／4		9／5	創立記念日	幼稚園８/23～９/10 小学校８月中旬～９月中旬
9／6		9／7		9／8		9／9		9／10		9／11		9／12		健康福祉学科（介護）３年次 介護実習Ⅱ：８/17～９/24
9／13		9／14		9／15		9／16		9／17		9／18		9／19		健康福祉（他）３年次・健康福祉（介）４年次 相談援助実習：８/16～９/17
9／20	敬老の日	9／21		9／22	オリエンテーション	9／23	秋分の日	9／24	大学祭準備	9／25	大学祭	9／26		教科書Web販売（～10月中旬）
9／27	①	9／28	①	9／29	①	9／30	① 前学期学位記授与式	10／1	①	10／2		10／3		こども学科２年次 保育実習Ⅰ（施設）：９月～12月
10／4	②	10／5	②	10／6	②	10／7	②	10／8	②	10／9		10／10		
10／11	③	10／12	③	10／13	③	10／14	③	10／15	③	10／16		10／17		
10／18	④	10／19	④	10／20	④	10／21	④	10／22	④	10／23		10／24		
10／25	⑤	10／26	⑤	10／27	⑤	10／28	⑤	10／29	⑤	10／30		10／31		
11／1	⑥	11／2	⑥	11／3	文化の日	11／4	⑥	11／5	⑥	11／6		11／7		健康福祉学科（介護）４年次 訪問介護実習：11月上旬
11／8	⑦	11／9	⑦	11／10	⑥	11／11	⑦	11／12	⑦	11／13		11／14		
11／15	⑧	11／16	⑧	11／17	⑦	11／18	⑧	11／19	⑧	11／20		11／21		
11／22	⑨	11／23	⑨勤労感謝の日	11／24	⑧	11／25	⑨	11／26	⑨	11／27		11／28		
11／29	⑩	11／30	⑩	12／1	⑨	12／2	⑩	12／3	⑩	12／4		12／5		
12／6	⑪	12／7	⑪	12／8	⑩	12／9	⑪	12／10	⑪	12／11		12／12		
12／13	⑫	12／14	⑫	12／15	⑪	12／16	⑫	12／17	⑫	12／18		12／19		
12／20	⑬	12／21	⑬	12／22	⑫	12／23	⑬	12／24	⑬	12／25		12／26		
12／27		12／28		12／29		12／30		12／31		1／1	元日	1／2		
1／3		1／4		1／5		1／6		1／7	7/23の振替休日	1／8		1／9		
1／10	成人の日	1／11	11/23の振替休日	1／12	⑬	1／13	⑭	1／14	⑭	1／15		1／16		
1／17	⑭	1／18	⑭	1／19	⑭	1／20	⑮	1／21	⑮	1／22		1／23		
1／24	⑮	1／25	⑮	1／26	⑮	1／27	補講・試験日（木）	1／28	補講・試験日（金）	1／29		1／30		心理カウンセリング学科３年次 精神保健福祉援助実習：２月～３月
1／31	補講・試験日（月）	2／1	補講・試験日（火）	2／2	補講・試験日（水）	2／3		2／4		2／5		2／6		心理カウンセリング学科２年次 心理実習：２月～３月
2／7		2／8		2／9		2／10		2／11	建国記念の日	2／12		2／13		教育学科３年次 保育実習Ⅰ（保育所）：２/７～２/19
2／14		2／15		2／16		2／17		2／18		2／19		2／20		健康福祉学科（介護）２年次 介護実習Ⅰ：２/14～３/11
2／21		2／22		2／23	天皇誕生日	2／24		2／25		2／26		2／27		
2／28		3／1		3／2		3／3		3／4		3／5		3／6		教育学科３年次 保育実習Ⅰ（施設）：２/28～３/12
3／7		3／8		3／9		3／10		3／11		3／12		3／13		
3／14		3／15		3／16		3／17		3／18	学位記授与式	3／19		3／20		
3／21	春分の日	3／22		3／23		3／24		3／25		3／26		3／27		
3／28		3／29		3／30		3／31								

※　今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況により、変更となる場合があります。

講義要綱 SYLLABUS の利用にあたって

この冊子は、2021（令和 3 ）年度に開講される授業科目の概要が記載されています。
授業の概要や到達目標をよく確認して授業を選択する参考にしてください。シラバスには、授業の担当教員名や、単位数等の他、次のような事項が記載されています。シラバスに記載された内容をよく理解し、授業に臨んでください。

・授業のねらい
・到達目標
・授業計画
・準備学習の内容（事前・事後の学習）
・使用するテキスト（教科書）や、参考書
・成績評価の方法（どのような基準で評価が決まるのか）
・質問への対応（連絡先など）
・その他（履修に当たっての特に注意すべき事項が記載されています）

《学習形態》

「授業の計画」各回の右欄に書かれている記号は学習形態を表し、授業の進め方、指導方法を表しています。

学習形態の用語説明

記号	学習形態	概要説明
A	講義	
B	演習	
C	実験	
D	実習	
E	実技	
F	プレゼンテーション	学生が、指示されたテーマや課題について、グループもしくは単独で調査・学習・実習等を行い、そのことについて他の受講生や教員等聴衆の前で発表する学習方法である。発表形式は、パワーポイントなどの情報機器を活用したものやポスターセッションなど様々である。発表後は、聴衆からの質疑に応答する。〇〇発表会、〇〇報告会等を含む。
G	レポートライティング	与えられたテーマや課題について調査や実験等を行い、調べた事実やデータを分析して、その過程と結果・考察などを文書にまとめる。あるいは、授業で学習したことを自分の言葉でまとめたり、自分の経験したことや体験したことなどについて、感じたことを理由とともにまとめるなど、知識や経験を自分の力で文書で表現する学習方法である。
H	グループワーク	教員から与えられた課題に対して、小グループ（ 3 人から 6 人程度が一般的）内で共同作業やコミュニケーションをとりながら学修を進めていく協同学習である。コミュニケーション能力、メンバーが役割を分担した上で相互に協力・協働して課題に取り組む姿勢、自分の意見を主張する力と他人の意見を受け入れる力、決められた時間内に課題を解決して答えを出す力などを養成し、学生が社会に出てから活動するために必要な力を身につける。

I	ディベート	ある公的な主題について異なる立場（肯定側と否定側）に分かれ議論することを通して、第三者を客観的な証拠に基づいて説得するコミュニケーション形態（討論をする形式）である。 ディベートを通して学生の思考が活性化され、自分の意見や問題意識を持ったり、より論理的な考え方ができるようになるといった効果が期待される。
J	事例研究	ある事例について調査・研究し、問題の所在・原因を究明し、どのように対処するか解決策を見出す学習活動である。指導者は、学生の個別または集団研究に対して、研究の場を設定し、具体的な助言をしたり、事例を紹介したり、研究をコーディネートしたりして、学生の研究を導く立場で関わる。
K	ワークシート	授業前あるいは授業中に、学習の課題や問題等を提示した用紙を用い、調べたことや理解したことを確認し、理解の深化を促す学習方法である。また、講義の内容を書き込めるように準備された用紙等で理解の確認を行ったり、ワークシートに記入された個々の考えをもとに、ペアやグループワークで話し合い、学習内容を共有することもある。
L	ふり返り	授業の途中や終了時に、理解したことや分からなかったこと等について確認を行い、理解の促進を図る学習方法である。確認の方法としては、振り返りシート等の記入、ペア・グループワークによる意見の共有などがある。
M	フィールドワーク	社会調査における情報収集技法の一つである。研究者が直接現場へ出かけ一定期間滞在し、人々の生活に密着しながら出来事を観察・記述し、その空間の社会的構造をリアルに分析しようとするものである。 アクティブ・ラーニングの視点から、本学での「フィールドワーク」とは教員が提示したテーマや課題等について、学生が直接現場へ出かけ実地調査や研究等を通して、より深く分析し課題解決に向かうことをねらいとした学習形態である。
N	ロールプレイ	現実に起こる場面を想定して、参加者がそれぞれに与えられた役割を演じ（ロールプレイ）、疑似体験（シミュレート）をする学習方法である。技術・技能の修得や、現実的なケースにおける多面的な見方、態度・姿勢の涵養、他人の立場への理解などを促進する際に効果的である。

教 育 課 程 表

教育文化学部　全学共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次·単位数 1年次 前	1年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許·資格	ページ
導入科目								
基礎教育セミナーⅠ	演習	①		担当教員		教育学科		1
				担当教員		芸術学科		2
				担当教員		心理カウンセリング学科		3
基礎教育セミナーⅡ	演習		①	担当教員		教育学科		4
				担当教員		芸術学科		5
				担当教員		心理カウンセリング学科		6
基礎科目								
日本語表現	講義	①		小杉直美				7
				小坂守孝				
				小坂井留美				
				村松幹男	○			
				石原深雪	○			
				小原信夫	○			
				前川公美夫	○			
				福田信一	○			
数学入門	講義		①	松澤衛				8
				竹内雅明				
				三浦公裕	○			
				山本敬三				
				菊池隆夫				
				齋藤秀之				
				佐々木雅史	○			
				佐藤克之				
情報機器操作Ⅰ	演習	②		小杉直美	○	教育学科	[教]幼·小1種_必修、養教1種_必修、中·高1種(音楽)_必修、保育士_必修、社会教育主事_選必	9
				松澤衛		芸術学科	[芸]中·高1種(美術)_必修、社会教育主事_選必	10
				森夏節		心理カウンセリング学科	[心]社会教育主事_選必	11
情報機器操作Ⅱ	演習		②	小杉直美	○	教育学科		12
				松澤衛		芸術学科		13
				大関慎		心理カウンセリング学科		14
英語コミュニケーションⅠ	演習	②		C.B.サイモンズ		教育学科	[教]幼·小1種_必修、養教1種_必修、中·高1種(音楽)_必修、保育士_必修	15
				C.B.サイモンズ		芸術学科	[芸]中·高1種(美術)_必修	16
				アレックス グレイグ		心理カウンセリング学科		17

《免許·資格欄表記》［教］:教育学科、［芸］:芸術学科、［心］:心理カウンセリング学科、［ス］:スポーツ教育学科、［健］:健康福祉学科
実務経験欄:実務経験のある教員等による授業科目に該当する科目

教育文化学部　全学共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 1年次 前	1年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
外国語科目								
英語コミュニケーションⅡ	演習		2	C.B.サイモンズ		教育学科		18
				C.B.サイモンズ		芸術学科		19
				アレックス グレイグ		心理カウンセリング学科		20
就業力養成科目								
キャリアデザインⅠ	講義	①		永井秀岳 キャリア支援センター長				21
外国人留学生科目								
日本語	講義	2		田光子				22
現代日本の文化	講義		2	菊地達夫		集中講義		23

教育文化学部　教育学科　発展科目

科目名	授業形態	年次・単位数 1年次 前	1年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
心身・健康に関する科目群								
心理学概論	講義	2		澤聡一	○	心理カウンセリング学科・健康福祉学科専門科目	[教]社会福祉主事_選必 [心]公認心理師_必修、精神保健福祉士_必修、認定心理士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必 [健]介護福祉士_選必、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必	25
発達心理学	講義	2		新川貴紀		心理カウンセリング学科専門科目	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必	26
人間関係の心理学	講義		2	入江智也		心理カウンセリング学科専門科目	[教][芸]社会教育主事_選必 [心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必、社会教育主事_選必	27
乳幼児心理学	講義		2	新川貴紀		心理カウンセリング学科専門科目	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	28
福祉心理学	講義		2	佐藤至英		心理カウンセリング学科・健康福祉学科専門科目	[教][芸][ス]社会教育主事_選必 [心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必、社会教育主事_選必 [健]介護福祉士_必修、社会教育主事_選必	29
社会と生活に関する科目群								
社会学	講義	2		松下守邦		心理カウンセリング学科・健康福祉学科(健介)専門科目	[教]社会福祉主事_選必 [健]介護福祉士_選必、社会福祉主事_選必	30

教育文化学部　教育学科　発展科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次·単位数 1年次 前	1年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許·資格	ページ
文化と芸術に関する科目群								
ファッションデザイン概論	講義	2		大信田　静　子 冨　田　玲　子		芸術学科専門科目		31
インテリアデザイン	演習	2		千　里　政　文	○	芸術学科専門科目	[芸]中·高1種(美術)_必修、1·2級建築士_選択、インテリアプランナー_選必	32
ユニバーサルデザイン	講義		2	千　里　政　文	○	芸術学科専門科目	[芸]1級建築士_必修·2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必	33

教育文化学部　芸術学科　発展科目

科目名	授業形態	年次·単位数 1年次 前	1年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許·資格	ページ
心身・健康に関する科目群								
心　理　学　概　論	講義	2		澤　　聡　一	○	心理カウンセリング学科·健康福祉学科専門科目	[教]社会福祉主事_選必 [心]公認心理師_必修、精神保健福祉士_必修、認定心理士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必 [健]介護福祉士_選必、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必	25
発　達　心　理　学	講義	2		新　川　貴　紀		心理カウンセリング学科専門科目	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必	26
人間関係の心理学	講義		2	入　江　智　也		心理カウンセリング学科専門科目	[教][芸]社会教育主事_選必 [心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必、社会教育主事_選必	27
乳　幼　児　心　理　学	講義		2	新　川　貴　紀		心理カウンセリング学科専門科目	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	28
福　祉　心　理　学	講義		2	佐　藤　至　英		心理カウンセリング学科·健康福祉学科専門科目	[教][芸][ス]社会教育主事_選必 [心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必、社会教育主事_選必 [健]介護福祉士_必修、社会教育主事_選必	29
社会と生活に関する科目群								
社　会　学	講義	2		松　下　守　邦		心理カウンセリング学科·健康福祉学科(健介)専門科目	[教]社会福祉主事_選必 [健]介護福祉士_選必、社会福祉主事_選必	30
文化と芸術に関する科目群								
音　楽　概　論	講義		2	岡　元　敦　司	○	教育学科(音)専門科目	[教]中·高1種(音楽)_必修	34

教育文化学部　心理カウンセリング学科　発展科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 1年次 前	1年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
文化と芸術に関する科目群								
音楽概論	講義		2	岡元敦司	○	教育学科(音)専門科目	[教]中・高1種(音楽)_必修	34
ファッションデザイン概論	講義	2		大信田静子 冨田玲子		芸術学科専門科目		31
インテリアデザイン	演習	2		千里政文	○	芸術学科専門科目	[芸]中・高1種(美術)_必修、1・2級建築士_選択、インテリアプランナー_選必	32
ユニバーサルデザイン	講義		2	千里政文	○	芸術学科専門科目	[芸]1級建築士_必修・2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必	33

教育文化学部　学部共通科目

科目名	授業形態	年次・単位数 1年次 前	1年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
教育文化学	講義	②		風間雅江 小室晴陽 西出勉 林亨			[教][芸][心]社会教育主事_選必	35
芸術と心理学	講義		2	飯田昭人				36
生涯学習概論Ⅰ	講義	2		佐々木邦子			[教]社会教育主事_必修、保育士_選必 [芸]社会教育主事_必修、学芸員_必修 [心]社会教育主事_必修	37
生涯学習概論Ⅱ	講義		2	佐々木邦子			[教][芸][心]社会教育主事_必修	38
メディアデザイン概論	講義	2		浅井貴也 松澤衛				39

教育学科　学科専門科目　コース共通科目

科目名	授業形態	年次・単位数 1年次 前	1年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
学習コーチング学概論	講義	2		杉浦勉	○			41
特別支援教育総論	講義		②	瀧澤聡 石川大 石塚誠之 磯貝隆之 佐藤至英 松井由紀夫		スポーツ教育学科同時展開	[教][ス]特支1種_必修	42

教育学科　学科専門科目　初等教育コース・幼児教育コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 1年次 前	1年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
国語科概論（書写を含む）	講義	②		小杉直美			[教]幼・小１種_必修	43
算数科概論	講義	②		三浦公裕	○		[教]幼・小１種_必修	44
生活科概論	講義	②		亀山比佐	○		[教]幼・小１種_必修	45
音楽科概論	講義	②		澤田悦子			[教]幼・小１種_必修	46
音楽実習Ⅰ	実習	1		澤田悦子		幼児教育コース選択必修科目	[教]幼・小１種_選択	47
				片寄ますみ				
				鈴木佳代				
音楽実習Ⅱ	実習		1	澤田悦子		幼児教育コース選択必修科目	[教]幼・小１種_選択	48
				伏見千悦子				
				片寄ますみ				
				鈴木佳代				
造形美術概論	講義		②	山崎正明	○		[教]幼・小１種_必修	49
体育科概論	講義		②	岡健吾	○		[教]幼・小１種_必修	50
教職概論（幼・小）	講義	②		礒島年成	○		[教]幼・小１種_必修	51
教育心理学（幼・小）	講義		②	須賀朋子	○		[教]幼・小１種_必修	52

教育学科　学科専門科目　初等教育コース専門科目

科目名	授業形態	年次・単位数 1年次 前	1年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
社会科概論	講義	2		杉浦勉	○	選択必修科目	[教]小１種_必修	53
理科概論	講義		2	横山光	○	選択必修科目	[教]小１種_必修	54
家庭科概論	講義		2	木下教子	○	選択必修科目	[教]小１種_必修	55
英語科概論	講義	②		相馬和俊	○	集中講義	[教]小１種_必修	56
教育原理（幼・小）	講義	②		井上大樹			[教]幼・小１種_必修、保育士_必修、社会福祉主事_選必	57

教育学科　学科専門科目　幼児教育コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 1年次 前	1年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
保育内容総論	演習	②		工藤 ゆかり	○		[教]幼1種_必修、保育士_必修	58
保育内容指導論	演習		②	工藤 ゆかり	○		[教]幼1種_必修、保育士_必修	59
教育原理（幼・小）	講義	②		白石 淳	○		[教]幼・小1種_必修、保育士_必修、社会福祉主事_選必	60
保育原理	講義	②		工藤 ゆかり	○		[教]幼1種_必修、保育士_必修、社会福祉主事_選必	61
幼児教育演習Ⅰ	演習	1		岡 健吾		選択必修科目		62
				工藤 ゆかり	○			
				澤田 悦子				
幼児教育演習Ⅱ	演習		1	工藤 ゆかり	○	選択必修科目		63
				岡 健吾				
				澤田 悦子				
社会福祉	講義	2		鈴木 幸雄	○		[教]保育士_必修、社会福祉主事_選必	64
保育者論	講義		②	丸谷 雄輔	○		[教]保育士_必修	65

教育学科　学科専門科目　養護教諭コース・音楽コース専門科目

科目名	授業形態	年次・単位数 1年次 前	1年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
教育原理	講義	②		井上 大樹		芸術学科同時展開	[教]養教1種_必修、中・高1種(音楽)_必修、社会福祉主事_選必 [芸]中・高1種(美術)_必修	66
教職概論	講義	②		礒島 年成	○	芸術学科同時展開	[教]養教1種_必修、中・高1種(音楽)_必修 [芸]中・高1種(美術)_必修	67
教育心理学	講義		②	三浦 公裕	○	芸術学科同時展開	[教]養教1種_必修、中・高1種(音楽)_必修 [芸]中・高1種(美術)_必修	68

教育学科　学科専門科目　養護教諭コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 1年次 前	1年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
養護実践学Ⅰ	講義	②		今野洋子	○		[教]養教1種_必修	69
養護実践学Ⅱ	講義		2	今野洋子	○	選択必修科目	[教]養教1種_必修	70
健康相談活動の理論及び方法	講義		②	野口直美	○		[教]養教1種_必修	71
栄養学(食品学を含む)	講義		②	木下教子	○		[教]養教1種_必修、社会福祉主事_選必	72
解剖生理学	講義		②	沖田孝一	○		[教]養教1種_必修	73
微生物学(免疫学を含む)	講義	2		吉田繁	○	選択必修科目	[教]養教1種_選択	74
看護学概論	講義	②		丸岡里香	○		[教]養教1種_必修、社会福祉主事_選必	75
看護学各論	講義		②	畑江郁子	○		[教]養教1種_必修	76
学校看護学	講義		2	丸岡里香	○			77
看護技術演習(救急処置を含む)Ⅰ	演習		②	丸岡里香	○		[教]養教1種_必修	78
				畑江郁子	○			
救急処置活動論	講義		2	丸岡里香	○			79
養護教諭基礎セミナーⅠ	演習	2		今野洋子				80
				佐藤朱美				
				丸岡里香				
養護教諭基礎セミナーⅡ	演習		2	今野洋子		一部集中講義		81
				佐藤朱美				
				丸岡里香				
ヘルスアセスメント論	講義		2	島瀬史子	○	選択必修科目		82
				畑江郁子	○			

教育学科　学科専門科目　音楽コース専門科目

科目名	授業形態	年次・単位数 1年次 前	1年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
ソルフェージュ	演習	②		岡元敦司	○		[教]中・高1種(音楽)_必修	83
楽典	講義	②		千葉圭説			[教]中・高1種(音楽)_必修	84
音楽概論	講義		2	岡元敦司	○	選択必修科目 発展科目	[教]中・高1種(音楽)_必修	85
声楽基礎演習Ⅰ	演習	②		岡元敦司	○	一部集中講義	[教]中・高1種(音楽)_必修	86
				川島沙耶				
声楽基礎演習Ⅱ	演習		②	岡元敦司	○	一部集中講義	[教]中・高1種(音楽)_必修	87
				川島沙耶				
器楽基礎演習Ⅰ	演習	②		千葉圭説		一部集中講義	[教]中・高1種(音楽)_必修	88
				佐藤淳一				
				島方晴康				
				白子正樹				
				白戸達也				
				多田宏江				
				中野耕太郎				
				八條美奈子				

教育学科　学科専門科目　音楽コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 1年次 前	1年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
器楽基礎演習Ⅱ	演習		②	千葉圭説		一部集中講義	[教]中・高1種(音楽)_必修	89
				佐藤淳一				
				島方晴康				
				白子正樹				
				白戸達也				
				多田宏江				
				中野耕太郎				
				八條美奈子				
ピアノ基礎演習Ⅰ	演習	②		坂田朋優		一部集中講義	[教]中・高1種(音楽)_必修	90
				平野雅子				
				吉泉善太				
ピアノ基礎演習Ⅱ	演習		②	坂田朋優		一部集中講義	[教]中・高1種(音楽)_必修	91
				平野雅子				
				吉泉善太				

芸術学科　学科専門科目　基本科目

科目名	授業形態	年次・単位数 1年次 前	1年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
芸術理解								
美術概論	講義		2	林亨		選択必修科目	[芸]中・高1種(美術)_必修	93
				森井綾				
ファッションデザイン概論	講義	2		大信田静子		選択必修科目		94
				冨田玲子		発展科目		
舞台芸術概論	講義	2		村松幹男		選択必修科目		95
				平井伸之				
				イナダヒロシ	○			
表現技術								
ドローイングⅠ	演習	2		永野光一		選択必修科目	[芸]中・高1種(美術)_必修、インテリアプランナー_選必	96
空間デザイン基礎	演習	2		小室晴陽	○	選択必修科目	[芸]中・高1種(美術)_必修、1・2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必	97
服飾基礎実習	実習	2		竹森郁				98
				冨田玲子				
ファッション造形実習	実習	2		辻美恵子				99
クリエイティブシンキング	講義		2	浅井貴也	○	選択必修科目		100
インテリアデザイン	演習	2		千里政文	○		[芸]中・高1種(美術)_必修、1・2級建築士_選択、インテリアプランナー_選必	101
基礎デザイン	実習	1		勝田信吾		選択必修科目		102
ユニバーサルデザイン	講義		2	千里政文	○	選択必修科目	[芸]1級建築士_必修・2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必	103
						発展科目		

芸術学科　学科専門科目　基本科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 1年次 前	1年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
情報技術								
デジタルイメージⅠ	演習	②		浅井貴也				104
デジタルデザインⅠ	演習	②		森井綾	○			105

芸術学科　学科専門科目　専門科目

科目名	授業形態	年次・単位数 1年次 前	1年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
アート教育・文化								
博物館概論	講義		2	柴勤		選択必修科目	[芸]学芸員_必修	106
舞台芸術各論	講義		2	村松幹男		選択必修科目		107
				イナダヒロシ	○			
				高村由紀子	○			
服飾造形論	講義・演習	2		辻美恵子				108
平面表現								
ドローイングⅡ	演習		2	永野光一		選択必修科目		109
絵画Ⅰ	演習	2		林亨			[芸]中・高1種(美術)_必修	110
絵画Ⅱ	演習		2	八子直子	○		[芸]中・高1種(美術)_必修	111
グラフィックデザインⅠ	演習	2		澁谷俊彦	○		[芸]中・高1種(美術)_必修、インテリアプランナー選必	112
グラフィックデザインⅡ	演習		2	澁谷俊彦	○		[芸]中・高1種(美術)_必修	113
				森井綾				
デジタルイメージⅡ	演習		2	伊藤隆介	○	選択必修科目		114
デジタルデザインⅡ	演習		2	森井綾	○	選択必修科目		115
ファッション画	実習	1		田恩蘋				116
テキスタイルデザイン	実習		2	竹森郁		選択必修科目		117
				大信田静子				
パターンメーキング	演習	2		冨田玲子		選択必修科目		118
アパレルデザイン	演習		2	森井綾		選択必修科目		119
				大信田静子		一部集中講義		
立体表現								
彫刻Ⅰ	演習	2		山下圭介	○		[芸]中・高1種(美術)_必修	120
彫刻Ⅱ	演習		2	山下圭介	○		[芸]中・高1種(美術)_必修	121

芸術学科　学科専門科目　専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次·単位数 1年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許·資格	ページ
空間・身体表現								
ダンス	実技	1		村松幹男		札幌円山キャンパス実施科目		122
				田光子				
				平井伸之				
				竹内聡実	○			
俳優トレーニング	実習	1		平井伸之		札幌円山キャンパス実施科目		123
				村松幹男				
スタッフワーク	演習	2		村松幹男		選択必修科目		124
				田光子		札幌円山キャンパス実施科目		
				平井伸之				
				五ノ井浩	○			
				鈴木静悟	○			
				高村由紀子	○			
				冨井昭次	○			
				服部正巳	○			
				藤原宏行	○			
				干場美恵子	○			
				百瀬俊介	○			
朗読・ナレーション	演習	2		松本直人	○			125
リビングデザイン論	講義		2	小室晴陽	○	選択必修科目	[芸]1級建築士_必修·2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必	126

教育文化学部　芸術学科　教科及び教職に関する科目

科目名	授業形態	年次·単位数 1年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許·資格	ページ
教育原理	講義	②		井上大樹		教育学科(養·音)同時展開	[芸]中·高1種(美術)_必修 [教]養教1種_必修、中·高1種(音楽)_必修、社会福祉主事_選必	127
教職概論	講義	②		礒島年成	○	教育学科(養·音)同時展開	[芸]中·高1種(美術)_必修 [教]養教1種_必修、中·高1種(音楽)_必修	128
教育心理学	講義		②	三浦公裕	○	教育学科(養·音)同時展開	[芸]中·高1種(美術)_必修 [教]養教1種_必修、中·高1種(音楽)_必修	129

心理カウンセリング学科　学科専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次·単位数 1年次 前	1年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許·資格	ページ
心理学概論	講義	②		澤　聡一	○	発展科目 健康福祉学科同時展開	[心]公認心理師_必修、精神保健福祉士_必修、認定心理士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必 [教]社会福祉主事_選必 [健]介護福祉士_選必、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必	131
教育心理学概論（教育・学校心理学）	講義	2		飯田昭人	○		[心]公認心理師_必修、認定心理士_必修、福祉心理士_選必	132
健康・医療心理学	講義	2		入江智也	○		[心]公認心理師_必修	133
人間関係の心理学	講義		2	入江智也	○	発展科目	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必、社会教育主事_選必 [教][芸]社会教育主事_選必	134
乳幼児心理学	講義		2	新川貴紀		発展科目	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必	135
福祉心理学	講義		2	佐藤至英		発展科目 健康福祉学科同時開講	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必、社会教育主事_選必 [教][芸][ス]社会教育主事_選必 [健]介護福祉士_必修、社会教育主事_選必	136
学習心理学（学習・言語心理学Ⅰ）	講義	2		山田弘司			[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必	137
生理心理学（神経・生理心理学Ⅰ）	講義	2		宇野英樹			[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必	138
社会心理学(社会·集団·家族心理学Ⅰ)	講義		2	渡辺　舞			[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必	139
発達心理学	講義	2		新川貴紀		発展科目	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必	140
医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	講義	2		大宮司　信	○		[心]公認心理師_必修、精神保健福祉士_必修、社会福祉主事_選必	141
医学知識	講義		2	大宮司　信	○	健康福祉学科同時展開	[健]介護福祉士_必修	142
社会学	講義	2		松下守邦		発展科目 健康福祉学科同時展開	[教]社会福祉主事_選必 [健]介護福祉士_選必、社会福祉主事_選必	143
ソーシャルワークの基盤と専門職	講義	2		寺田　香	○		[心]精神保健福祉士_必修、社会福祉主事_選必	144
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	講義		2	寺田　香	○		[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必	145

全学共通科目

科目名	基礎教育セミナーⅠ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	教育学科担当教員				

授業の目的

ねらい	大学で「学生」として「学ぶ」意味や意義を理解する。また、専門的な学習を行う際に必要な基礎能力である、情報検索、ノートテーキング、リーディング、ライティング等の各種能力の向上を図る。さらには、情報を整理し、まとめ、伝えることができる力の獲得をめざす。また、学生生活全般にわたっての心の健康(メンタルヘルス)についても学ぶ。
到達目標	(1)本学の建学の精神を理解できる。 (2)大学での講義を受けるために必要な知識・スキルを身に付けることができる。 (3)大学で講義を受ける基本的な姿勢やマナーを身に付けることができる。 (4)基礎学力の向上をめざすことができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の展開や到達目標、評価方法、学習上のきまりなどについて説明します。 (学習支援委員担当教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	G·H	第9回	【テーマ】ノートテーキングの方法 【計画内容】ノートの取り方を実践的に学習します。(コースごと) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を、あらかじめ読んでおくこと。	G
第2回	【テーマ】大学で学ぶということ ＜学長講話＞ 【計画内容】「建学の精神と教育の理念」「現代の大学と教員サポート」について学びます。 (学習支援委員担当教員) 【授業時間外の学修内容】学生便覧を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】文章の読み方① 【計画内容】様々な文章の読み方を知るとともに、読むときのポイントを学びます。(コースごと) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を、あらかじめ読んでおくこと。	H
第3回	【テーマ】メンタルヘルス＜学生相談室カウンセラー＞ 【計画内容】大学生活全般にわたっての心の健康について学びます。(学習支援委員担当教員) 【授業時間外の学修内容】大学ホームページやテキストなどを通して、学生相談室について調べておくこと。	K	第11回	【テーマ】文章の読み方② 【計画内容】様々な文章の読み方を知るとともに、要約の仕方について学びます。(コースごと) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を、あらかじめ読んでおくこと。	H
第4回	【テーマ】図書館利用の方法＜図書館司書＞ 【計画内容】図書館内の見学を通して、書籍、雑誌、視聴覚教材等の閲覧方法などを学びます。 (学習支援委員担当教員) 【授業時間外の学修内容】大学図書館の冊子(パンフレットなど)を事前に読んでおくこと。	M	第12回	【テーマ】文章の書き方① 【計画内容】わかりやすい文章・読みやすい文章の書き方や、敬語の使い方や手紙の書き方などを学びます。(コースごと) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を、あらかじめ読んでおくこと。	G
第5回	【テーマ】コースで学ぶこと①「実践・活動の計画」 【計画内容】各コースの特徴や取得資格(免許等)について理解を深めるとともに大学で学ぶ意義について考えます。また、体験や活動を行う際の計画を立案します。 【授業時間外の学修内容】学生便覧の学科(コース)の概要を事前に読んでおくこと。	H·M	第13回	【テーマ】文章の書き方② 【計画内容】事実と意見の違いを学ぶとともに、レポートの組み立て方について学びます。(コースごと) 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を、あらかじめ読んでおくこと。	G
第6回	【テーマ】コースで学ぶこと②「実践・活動の場面」 【計画内容】各コースごとに行われる実践的な活動に参加し、様々な体験を行います。 【授業時間外の学修内容】コースごとに行われる説明を理解すること。	B·D·M	第14回	【テーマ】今日的な課題への取り組み(例 薬物乱用防止、情報モラル、DV 等) 【計画内容】今日的な課題について問題意識をため、課題の原因や解決の方法について学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】今日的な課題について事前に調べておくこと。	A·H
第7回	【テーマ】コースで学ぶこと③「実践・活動の場面」 【計画内容】各コースごとに行われる実践的な活動に参加し、様々な体験を行います。 【授業時間外の学修内容】コースごとに行われる説明を理解すること。	B·D·M	第15回	【テーマ】学習のまとめと評価 【計画内容】「基礎教育セミナーⅠ」で学んだことをふりかえり、評価したことを今後の学びに生かせるようにします。 【授業時間外の学修内容】評価用紙を参考にレポートをまとめておくこと。	H·K·L
第8回	【テーマ】コースで学ぶこと④「実践・活動の評価」 【計画内容】各コースで行われた活動や体験などをふりかえり、評価を通して今後の学びに生かします。 【授業時間外の学修内容】コースごとに行われる説明を理解すること。	H·L			

テキスト	長尾佳代子・谷川裕稔・中園篤典、2019年、『大学生・短大生のための大学での学び方』、旺文社
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			25%		75%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	

科目名	基礎教育セミナーⅠ	授業形態	演習	単位数	1

教員名	芸術学科担当教員

授業の目的		
	ねらい	学生として大学で学ぶということへの意義を理解し、学生生活を送るためのメンタルヘルス(心の健康管理)についても学ぶ。また、専門的なことを学ぶために必要な基礎となる、ノートテイク方法、講義の学び方、レポート作成の方法、図書館や情報検索の方法を理解する。更に、芸術学科で学ぶということについて学習し、今後の履修計画や就業力の育成に役立てるようにする。
	到達目標	(1)本学の建学の精神を理解する。 (2)大学での講義を効果的に学んでいくための基礎的な学習方法を修得する。 (3)学生生活を送る上での注意事項を理解する。 (4)芸術学科で学ぶということについて理解し、今後の履修計画と就業力育成の参考にできる。 (5)芸術学科で学ぶための基礎知識の幅を広げることができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション : 芸術学科で学ぶこと1 【計画内容】美術分野・メディアデザイン分野・インテリア建築分野・服飾美術分野・舞台芸術分野の5分野について概要を学びます。(各分野担当教員) 【授業時間外の学修内容】配付済の教科書を熟読し、大学での学習で必要になる「読む力・書く力」を養うにはどのように学べば良いかを考えておく。	A	第9回	【テーマ】大学で学ぶということ6: 文章の読み方(2) 【計画内容】文章の読み方・レポートの書き方など、日本語の語彙・表現・読解・論述のスキル(技術)を学びます。(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】テキスト『文章の読み方』の章を読んでおくこと。また、普段の講義などにおいて、学んだ文章の読み方を生かす様こころがげること。	A
	第2回	【テーマ】芸術学科で学ぶこと2 【計画内容】美術分野・メディアデザイン分野・インテリア建築分野・服飾美術分野・舞台芸術分野の5分野について概要を学びます。(各分野担当教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んでおく。また、普段受講する授業でも、芸術学科の各専門分野についての学びを深められるように考えておくこと。	A	第10回	【テーマ】有意義な学生生活を送るために2 【計画内容】ワークショップ(1): セミナー交流会 : 大学生活における学生と教員などのコミュニケーションの視点から企画立案し、実践により総合的に学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】実行委員会を中心にした準備と運営を通じ、協同作業やコミュニケーション能力を深める様にこころがける。	A
	第3回	【テーマ】大学で学ぶということ1: 本学の教育理念と建学の精神について 【計画内容】北翔大学の建学の精神と、教育の理念「愛と和と英知」について学びます。(学長・学習支援委員) 【授業時間外の学修内容】テキスト『大学で学ぶということ』の章を読んでおくこと。また本学の教育理念と建学の精神についてもそれぞれに考えておくこと。	A	第11回	【テーマ】有意義な学生生活を送るために3 【計画内容】ワークショップ(2): セミナー交流会 : 大学生活における学生と教員などのコミュニケーションの視点から企画立案し、実践により総合的に学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】実行委員会を中心にした準備と運営を通じ、協同作業やコミュニケーション能力を深める様にこころがける。	A
	第4回	【テーマ】有意義な学生生活を送るために1 【計画内容】健康な生活を送るための諸注意について : メンタルヘルスを含めた大学生の健康な生活について学びます。(学生相談室職員) 【授業時間外の学修内容】テキスト『メンタルヘルス』の章を読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】大学で学ぶということ7: レポートの書き方(1) 【計画内容】あたえられた課題について、良いレポートを作成する方法を学びます。(森井綾) 【授業時間外の学修内容】テキスト『レポートの書き方』の章を読んでおくこと。また、普段の講義などにおいて、レポートの書き方を役立てる様こころがげること。	A
	第5回	【テーマ】大学で学ぶということ2: ノートテイクの方法(1) 【計画内容】ノートテイクの方法など、大学の講義でのノートのとり方のスキル(技術)を学びます。(森井綾) 【授業時間外の学修内容】テキスト『ノートテイキングの方法』の章を読んでおくこと。普段の講義などにおいて、学んだノートテイキングの方法を生かす様こころがげること。	A	第13回	【テーマ】大学で学ぶということ8: レポートの書き方(2) 【計画内容】あたえられた課題について、良いレポートを作成する方法を学びます。(森井綾) 【授業時間外の学修内容】テキスト『レポートの書き方』の章を読んでおくこと。また、普段の講義などにおいて、レポートの書き方を役立てる様こころがげること。	A
	第6回	【テーマ】大学で学ぶということ3: ノートテイクの方法(2) 【計画内容】ノートテイクの方法など、大学の講義でのノートのとり方のスキル(技術)を学びます。(森井綾) 【授業時間外の学修内容】テキスト『ノートテイキングの方法』の章を読んでおくこと。普段の講義などにおいて、学んだノートテイキングの方法を生かす様こころがげること。	A	第14回	【テーマ】美術館研修(1) 【計画内容】北海道立近代美術館等で行われている展覧会で、実際の芸術に触れます。(美術分野担当教員) 【授業時間外の学修内容】展覧会に出品されている作品について、描かれた背景や芸術文化の変遷の中での位置などについて、あらかじめ学んでおくこと。また、学んだ芸術や文化、思想などを自分の制作につなげること。	A
	第7回	【テーマ】大学で学ぶということ4: 調査の仕方 【計画内容】図書館等情報検索の方法など、図書館等で必要な情報を得るためのスキル(技術)を学びます。(図書館司書・浅井貴也) 【授業時間外の学修内容】テキスト『情報検索の方法』の章を読んでおくこと。また、様々な情報を得るためのスキルを生かして学びに役立てて行く様にこころがけること。	A	第15回	【テーマ】美術館研修(2) 【計画内容】北海道立近代美術館等で行われている展覧会で、実際の芸術に触れます。(美術分野担当教員) 【授業時間外の学修内容】展覧会に出品されている作品について、描かれた背景や芸術文化の変遷の中での位置などについて、あらかじめ学んでおくこと。また、学んだ芸術や文化、思想などを自分の制作につなげること。	A
	第8回	【テーマ】大学で学ぶということ5: 文章の読み方(1) 【計画内容】文章の読み方・レポートの書き方など、日本語の語彙・表現・読解・論述のスキル(技術)を学びます。(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】テキスト『文章の読み方』の章を読んでおくこと。また、普段の講義などにおいて、学んだ文章の読み方を生かす様こころがげること。	A			

テキスト	長尾佳代子・谷川裕稔・中園篤典、2019年、『大学生・短大生のための大学での学び方』、旺文社
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足			レポート		課題への取り組み・受講態度	

課題に関するフィードバックの方法	試験はしない予定です。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	不明な点があれば、内容に応じて、分野担当の先生や専門に係る先生に質問してください。

科目名	基礎教育セミナーⅠ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	心理カウンセリング学科担当教員				

授業の目的

ねらい	大学で「学生」として「学ぶ」という意味や意義を理解する。また、安定した学生生活をおくるための心の健康（メンタルヘルス）についても学ぶ。さらに、専門的な学習を行う際に必要な基礎能力である、情報検索、ノートテーキング、リーディング、ライティング等の各種能力の向上を図る。さらには、情報を整理し、まとめ、伝えることができる力の獲得を目指す。
到達目標	(1)本学の建学の精神を理解できる。 (2)大学での講義を受けるために必要な知識・スキルを身に付けることができる。 (3)大学で講義を受ける基本的な姿勢やマナーを身に付けることができる。 (4)基礎学力の向上をめざすことができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の展開や到達目標、評価方法などについて説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A・G	第9回	【テーマ】文章の書き方1 【計画内容】わかりやすい文章・読みやすい文章の書き方や、敬語の使い方や手紙の書き方などを学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。	A・G
第2回	【テーマ】大学で学ぶということ＜学長講話＞ 【計画内容】「建学の精神と教育の理念」について学びます。 【授業時間外の学修内容】学生便覧を読んでおくこと。	A・G	第10回	【テーマ】文章の書き方2 【計画内容】事実と意見の違いを学ぶとともに、レポートの組み立て方について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。	A・G
第3回	【テーマ】メンタルヘルス＜学生相談室カウンセラー＞ 【計画内容】大学生活全般にわたっての心の健康について学びます。 【授業時間外の学修内容】本学の学生相談室について調べておくこと。	A・G	第11回	【テーマ】文章の書き方3 【計画内容】レポートを実際に書き、レポート作成上の留意事項について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。	A・G
第4回	【テーマ】図書館利用の方法＜図書館司書＞ 【計画内容】図書館内の見学を通して、書籍、雑誌、視聴覚教材等の閲覧方法などを学びます。 【授業時間外の学修内容】図書館についてあらかじめ調べておくこと。	A・G	第12回	【テーマ】薬物乱用防止教育＜外部講師＞ 【計画内容】薬物の心身への影響や、誘惑から身を守る方法などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】薬物の心身への影響について調べておくこと。	A・G
第5回	【テーマ】ノートテーキングの方法1 【計画内容】大学で学ぶためのノートの意義やノートの取り方を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。	A・G	第13回	【テーマ】人権について考える＜学部講師＞ 【計画内容】ドメスティック・バイオレンスについて学ぶことを通し、人権について学びます。 【授業時間外の学修内容】ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ）について調べておくこと。	A・G
第6回	【テーマ】ノートテーキングの方法2 【計画内容】ノートの取り方を実践的に学習します。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。	A・G	第14回	【テーマ】日常生活のトラブルについて 【計画内容】大学生が被害に遭う可能性の高いトラブルについて学びます。次回に提出するレポートのテーマを発表します。 【授業時間外の学修内容】大学生が被害に遭う可能性が高いトラブルについて調べておくこと。	A・G
第7回	【テーマ】文章の読み方1 【計画内容】様々な文章の読み方を知るとともに、読むときのポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。	A・G	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】各自が作成したレポートを持ち寄り、前学期の成果と課題を共有します。 【授業時間外の学修内容】4月からの学びを振り返っておくこと。	A・G
第8回	【テーマ】文章の読み方2 【計画内容】様々な文章の読み方を知るとともに、要約の仕方について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。	A・G			

テキスト	長尾佳代子・谷川裕稔・中園篤典、2019年、『大学生・短大生のための大学での学び方』、旺文社
参考書	プリントを配付または講義時に説明します。

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%		70%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	課題については最終回にフィードバックを行います。

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。	
資格		
その他		

科目名	基礎教育セミナーⅡ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	教育学科担当教員				

授業の目的

ねらい：「基礎教育セミナーⅠ」で習得した、大学で学ぶために必要不可欠な知識・技術・情報を、さらに自分のものとして身に付けていくために、多分野にわたる学びを深める。現代社会における様々なトピックスを課題にして、学生相互の意見交流等を行いながら、社会に関わるためのコミュニケーション・スキルの向上を目指す。また、自分の将来への意識を確かなものにしながら、専門の学びへの準備を整えていく。自ら調べ、整理し、まとめ、伝えるといった能力をスキルアップさせる。そして、大学生活に必要となるマナーや態度を身につける。

到達目標：
(1)基礎学力の向上を目指すことができる。
(2)コミュニケーション・スキルを学び、実践することができる。
(3)自分自身の将来像を描くことができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】前学期の成果を振り返るとともに、後学期の各自の到達目標を考えます。 (学習支援委員担当教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	G	第9回	【テーマ】将来像を描く＜学生＞ 【計画内容】4コースそれぞれの先輩から教育実習等の話を聞き、自分の将来像を描きます。 (学習支援委員担当教員) 【授業時間外の学修内容】4月からの大学での学びを振り返っておくこと。	G
第2回	【テーマ】学科教員の専門分野に関するブリーフィング① 【計画内容】学科内の担当教員の専門分野について学びます。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A・G・H	第10回	【テーマ】教育学科で学ぶということ① 【計画内容】各コースにおいて課題を取り上げ、深く学びます。(各コース対応) 【授業時間外の学修内容】コース別に指示があります。	G・H
第3回	【テーマ】学科教員の専門分野に関するブリーフィング② 【計画内容】学科内の担当教員の専門分野について学びます。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A・G・H	第11回	【テーマ】教育学科で学ぶということ② 【計画内容】各コースにおいて課題を取り上げ、深く学びます。(各コース対応) 【授業時間外の学修内容】コース別に指示があります。	G・H
第4回	【テーマ】学科教員の専門分野に関するブリーフィング③ 【計画内容】学科内の担当教員の専門分野について学びます。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A・G・H	第12回	【テーマ】教育学科で学ぶということ③ 【計画内容】各コースにおいて課題を取り上げ、深く学びます。(各コース対応) 【授業時間外の学修内容】コース別に指示があります。	G・H
第5回	【テーマ】学科教員の専門分野に関するブリーフィング④ 【計画内容】学科内の担当教員の専門分野について学びます。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A・G・H	第13回	【テーマ】教育学科で学ぶということ④ 【計画内容】各コースにおいて課題を取り上げ、深く学びます。(各コース対応) 【授業時間外の学修内容】コース別に指示があります。	G・H
第6回	【テーマ】学科教員の専門分野に関するブリーフィング⑤ 【計画内容】学科内の担当教員の専門分野について学びます。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A・G・H	第14回	【テーマ】教育学科で学ぶということ⑤ 【計画内容】各コースにおいて課題を取り上げ、深く学びます。最終回に提出するレポート課題を提示します。(各コース対応) 【授業時間外の学修内容】コース別に指示があります。	G・H
第7回	【テーマ】学科教員の専門分野に関するブリーフィング⑥ 【計画内容】学科内の担当教員の専門分野について学びます。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A・G・H	第15回	【テーマ】教育学科で学ぶということ⑥ 【計画内容】各コースにおいて課題を取り上げ、深く学びます。(各コース対応) 【授業時間外の学修内容】コース別に指示があります。	G・H・L
第8回	【テーマ】学科教員の専門分野に関するブリーフィング⑦ 【計画内容】学科内の担当教員の専門分野について学びます。(担当教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A・G・H			

テキスト	講義時に説明します。
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			25%		75%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法		
実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。	
資格		
その他		

科目名	基礎教育セミナーⅡ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	芸術学科担当教員				

授業の目的

ねらい	芸術を学ぶ上で必要な基礎知識として「基礎教育セミナーⅠ」で修得したことを、更に自分のものとしていくために、特別講義やイベント鑑賞・自然体験など実践を通して芸術への理解を深める。更に、専門の学び「専門演習」「卒業研究」の準備として、5分野の専門教員の専門性に触れ今後の履修計画に役立てるようにする。
到達目標	(1)様々なイベント鑑賞や特別講義、体験を通して芸術とは何かを大きく捉える。 (2)芸術学科の5分野の専門性を理解し、履修計画の参考とできる。 (3)教員や学生間とのコミュニケーションを深め、知識の幅を広げる。

授業の計画

第1回	【テーマ】芸術学科で学ぶということ1: 地域体験学習(1) 【計画内容】江別市内の見学や市内の自然の美を通して、教員・学生間のコミュニケーションをより一層深めていきます。 【授業時間外の学修内容】資料を熟読しておくこと。また、この見学を通して、学生間、さらに教員とののコミュニケーションをより一層深めるようこころがける。	B	第9回	【テーマ】芸術学科で学ぶということ9: 分野別対応(5) 【計画内容】各分野における専門分野を学んでいきます。(特別講義も含む) 【授業時間外の学修内容】各専門分野の話を参考に、自分の制作に役立ててゆくようこころがける。	B
第2回	【テーマ】芸術学科で学ぶということ2: 地域体験学習(2) 【計画内容】美の芸術について資料館・博物館などから学ぶなどのフィールドワークを行います。 【授業時間外の学修内容】資料を熟読しておくこと。また、この見学を通して、学生間、さらに教員とののコミュニケーションをより一層深めるようこころがける。	B	第10回	【テーマ】フィールドワーク1: 鑑賞(1)服飾美術分野学外発表会 【計画内容】服飾美術分野の卒業発表会(ファッションショー)を鑑賞します。(於:北方圏学術情報センター) 【授業時間外の学修内容】日時や会場の確認、交通手段などを確認し、資料を読んでおくこと。	B
第3回	【テーマ】芸術学科で学ぶということ3: 地域体験学習(3) 【計画内容】フィールドワークを通じて学んだことについて、意見交換をしながら知識の幅を広げていきます。 【授業時間外の学修内容】資料を熟読しておくこと。また、この見学を通して、学生間、さらに教員とののコミュニケーションをより一層深めるようこころがける。	B	第11回	【テーマ】フィールドワーク1: 鑑賞(1)服飾美術分野学外発表会 【計画内容】服飾美術分野の卒業発表会(ファッションショー)を鑑賞します。(於:北方圏学術情報センター) 【授業時間外の学修内容】日時や会場の確認、交通手段などを確認し、資料を読んでおくこと。	B
第4回	【テーマ】芸術学科で学ぶということ4: 地域体験学習(4) 【計画内容】フィールドワークを通じて学んだことについて、意見交換をしながら知識の幅を広げていきます。 【授業時間外の学修内容】フィールドワークを通じて学んだことをまとめておくこと。また、発表を通じて地域の利点を再認識するとともに、訴求力のある発表をすることが出来るようになる様にこころがける。	B	第12回	【テーマ】フィールドワーク2: 鑑賞(2)北翔舞台芸術公演 【計画内容】舞台芸術分野の卒業公演を鑑賞します。(於:北方圏学術情報センター) 【授業時間外の学修内容】日時や会場の確認、交通手段などを確認し、資料を読んでおくこと。	B
第5回	【テーマ】芸術学科で学ぶということ5: 分野別対応(1) 【計画内容】各分野における専門分野を学んでいきます。(特別講義も含む) 【授業時間外の学修内容】各専門分野の話を参考に、自分の制作に役立ててゆくようこころがける。	B	第13回	【テーマ】フィールドワーク2: 鑑賞(2)北翔舞台芸術公演 【計画内容】舞台芸術分野の卒業公演を鑑賞します。(於:北方圏学術情報センター) 【授業時間外の学修内容】日時や会場の確認、交通手段などを確認し、資料を読んでおくこと。	B
第6回	【テーマ】芸術学科で学ぶということ6: 分野別対応(2) 【計画内容】各分野における専門分野を学んでいきます。(特別講義も含む) 【授業時間外の学修内容】各専門分野の話を参考に、自分の制作に役立ててゆくようこころがける。	B	第14回	【テーマ】フィールドワーク3: 鑑賞(3)卒業制作展 【計画内容】美術分野、メディアデザイン分野、インテリア建築分野、服飾美術分野による卒業制作展を鑑賞します。(於:北方圏学術情報センター) 【授業時間外の学修内容】日時や会場の確認、交通手段などを確認し、資料を読んでおくこと。	B
第7回	【テーマ】芸術学科で学ぶということ7: 分野別対応(3) 【計画内容】各分野における専門分野を学んでいきます。(特別講義も含む) 【授業時間外の学修内容】各専門分野の話を参考に、自分の制作に役立ててゆくようこころがける。	B	第15回	【テーマ】フィールドワーク3: 鑑賞(3)卒業制作展 【計画内容】美術分野、メディアデザイン分野、インテリア建築分野、服飾美術分野による卒業制作展を鑑賞します。(於:北方圏学術情報センター) 【授業時間外の学修内容】日時や会場の確認、交通手段などを確認し、資料を読んでおくこと。	B
第8回	【テーマ】芸術学科で学ぶということ8: 分野別対応(4) 【計画内容】各分野における専門分野を学んでいきます。(特別講義も含む) 【授業時間外の学修内容】各専門分野の話を参考に、自分の制作に役立ててゆくようこころがける。	B			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	適宜指示します。

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%		60%	
補足			レポート		課題への取り組み・受講態度	

課題に関するフィードバックの方法	teams 等にて質問の受付け・補足説明などを行います。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に各担当教員から具体的に説明します。
資格	
その他	

科目名	基礎教育セミナーⅡ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	心理カウンセリング学科担当教員				

授業の目的		
	ねらい	「基礎教育セミナーⅠ」で習得した、大学で学ぶために必要不可欠な知識・技術・情報を、さらに自分のものとして身に付けていくために、多分野にわたる学びを深める。現代社会における様々なトピックスを課題にして、学生相互の意見交流等を行いながら、社会に関わるためのコミュニケーション・スキルの向上を目指す。また、自分の将来への意識を確かなものにしながら、専門の学びへの準備を整えていく。
	到達目標	(1)基礎学力の向上を目指すことができる。 (2)コミュニケーション・スキルを学び、実践することができる。 (3)自分自身の将来像を描くことができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】前学期の成果を振り返るとともに、後学期の各自の到達目標を考えます。 【授業時間外の学修内容】後学期科目の履修予定について確実に把握しておくこと。	A・G	第9回	【テーマ】学科教員の専門分野に関するブリーフィング8 【計画内容】学科内の担当教員の専門分野について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A・G
	第2回	【テーマ】学科教員の専門分野に関するブリーフィング1 【計画内容】学科内の担当教員の専門分野について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A・G	第10回	【テーマ】将来像を描く＜学生＞ 【計画内容】先輩から実習等の話を聞き、自分の将来像を描きます。 【授業時間外の学修内容】4月からの大学での学びを振り返っておくこと。	A・G
	第3回	【テーマ】学科教員の専門分野に関するブリーフィング2 【計画内容】学科内の担当教員の専門分野について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A・G	第11回	【テーマ】心理カウンセリング学科で学ぶということ1 【計画内容】各コースにおいて課題を取り上げ、深く学びます。 【授業時間外の学修内容】学生便覧の資格や科目に関する箇所を熟読しておくこと。	A・G
	第4回	【テーマ】学科教員の専門分野に関するブリーフィング3 【計画内容】学科内の担当教員の専門分野について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A・G	第12回	【テーマ】心理カウンセリング学科で学ぶということ2 【計画内容】各コースにおいて課題を取り上げ、深く学びます。 【授業時間外の学修内容】学生便覧の資格や科目についての箇所を熟読しておくこと。	A・G
	第5回	【テーマ】学科教員の専門分野に関するブリーフィング4 【計画内容】学科内の担当教員の専門分野について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A・G	第13回	【テーマ】心理カウンセリング学科で学ぶということ3 【計画内容】各コースにおいて課題を取り上げ、深く学びます。 【授業時間外の学修内容】学生便覧の資格や科目についての箇所を熟読しておくこと。	A・G
	第6回	【テーマ】学科教員の専門分野に関するブリーフィング5 【計画内容】学科内の担当教員の専門分野について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A・G	第14回	【テーマ】心理カウンセリング学科で学ぶということ4 【計画内容】各コースにおいて課題を取り上げ、深く学びます。最終回に提出するレポート課題を提示します。 【授業時間外の学修内容】学生便覧の資格や科目についての箇所を熟読しておくこと。	A・G
	第7回	【テーマ】学科教員の専門分野に関するブリーフィング6 【計画内容】学科内の担当教員の専門分野について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを予習しておくこと。	A・G	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】各自が作成したレポートを持参し、1年間の成果と課題を共有します。 【授業時間外の学修内容】4月からの学びを振り返っておくこと。	A・G
	第8回	【テーマ】学科教員の専門分野に関するブリーフィング7 【計画内容】学科内の担当教員の専門分野について学びます。 【授業時間外の学修内容】日常生活での自分自身のコミュニケーションの特徴についてあらためて考えておくこと。配付されたプリントを予習しておくこと。	A・G			

テキスト	講義時に説明します。
参考書	プリントを使用します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		70%	
	補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	課題については最終回にフィードバックを行います。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	

科目名	日本語表現	授業形態	講義	単位数	1
教員名	小杉　直美、小坂　守孝、小坂井　留美、村松　幹男、石原　深雪、小原　信夫、前川　公美夫、福田　信一				

授業の目的	ねらい	日本語による表現能力の向上と、基本的知識の修得を目的とします。その表記方法(文字･語彙･文法･文体等)を学習し、文章の種類･形態と文章を書くときの要領について学習します。 伝えることの大切さを意識すると同時に、日本語の各分野における能力を向上させることを目的としています。各自が持つ日本語表現能力を向上させ、効果的で円滑なコミュニケーションを図ることができるように、基礎的な力を付けることを目的としています。
	到達目標	(1)自らの日本語の能力を知り、言葉の大切さを意識することができる。 (2)自らの日本語表現能力を高めることができる。 (3)必要な情報を読み取り、適切に伝えることができる。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】書き言葉を使いこなすために 【計画内容】レポートや報告書を作成するための基本的なスキルとして書き言葉のルールを確認します。(岩本希) 【授業時間外の学修内容】テキスト第1章「書き言葉を使いこなすために」部分を予習しておくこと。	A･K･L
	第2回	【テーマ】筆順について 【計画内容】筆順の考え方を、「筆順指導の手びき」に基づきながら、二つの大原則と、八つの原則に分類して学びます。(福田信一) 【授業時間外の学修内容】テキスト第2章「筆順について」部分を予習しておくこと。	A･K･L
	第3回	【テーマ】四字熟語･慣用句 【計画内容】社会人の常識として必須であり、就職試験(SPI- Ⅱなど)にも出題頻度の高い、四字熟語･慣用句の知識を確認し、理解不足を補う機会とします。(小坂守孝) 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章「四字熟語･慣用句」部分を予習しておくこと。	A･K･L
	第4回	【テーマ】変わる言葉 【計画内容】「日本語が時とともに変わっていく」ということに焦点をあて、そのことを意識したコミュニケーションの重要性を学びます。(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】テキスト第4章「変わる言葉」部分を予習しておくこと。	A･K･L
	第5回	【テーマ】敬意表現 【計画内容】日本語特有の敬意表現について、自己表現、他者との関わりを考慮した表現という視点から、日常生活に即した学びをします。(小杉直美) 【授業時間外の学修内容】テキスト第5章「敬意表現」部分を予習しておくこと。	A･K･L
	第6回	【テーマ】日本語表現の歴史と特徴 【計画内容】日本語がどのようにして生まれ現在にいたるのかを、日本語の表現の特徴に触れながら学びます。(小原信夫) 【授業時間外の学修内容】テキスト第6章「日本語表現の歴史と特徴」部分を予習しておくこと。	A･K･L
	第7回	【テーマ】レポートに適した内容と構成 【計画内容】意見と感想の違いを確認し、レポートに適した構成について学びます。(石原深雪) 【授業時間外の学修内容】テキスト第7章「レポートに適した内容と構成」部分を予習しておくこと。	A･K･L
	第8回	【テーマ】正しく伝える 【計画内容】考えを相手に正しく伝えるには「自分の文章を他人の目になって読む」ことが必要です。新聞記事などを例に「文章作りのポイント」を学びます。(前川公美夫) 【授業時間外の学修内容】テキスト第8章「正しく伝える」部分に目を通しておくこと。	A･K･L

テキスト	テキストを入学時に配付します。
参考書	講義時に指示します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分					40%	60%
	補足					演習等 取組意欲	理解度の確認

課題に関するフィードバックの方法	講義時ならびにメール、ポータルサイトを介して対応する。		
実務経験と授業の関連	該当	経験内容	石原深雪、小原信夫、福田信一 / 小･中･高校教員(国語科)、村松幹男 / 脚本家、前川公美夫 / 新聞記者
		科目との関連	日本語を駆使する職、日本語を指導する職等に従事。
質問への対応	講義時とともに、メールでも質問を受け付けます。　E-Mail:nihongo@hokusho-u.ac.jp		
資格			
その他	大学生活を送る上で必要な日本語表現を基本から学ぶ機会です。積極的に取り組んでください。 毎週、理解度確認などにより評価を行います。 補講は致しませんが、理解度に不足があると認められた学生には、特別な試験を行います。 3回欠席した場合は単位の認定はされませんので、注意してください。 クラスによってテーマの順番が変わりますので、初回講義には必ず出席すること。		

科目名	数学入門	授業形態	講義	単位数	1
教員名	松澤　衛、竹内　雅明、三浦　公裕、山本　敬三、菊池　隆夫、齋藤　秀之、佐々木　雅史、佐藤　克之				

授業の目的	ねらい	現代社会のように高度に発達した情報化社会では、物事を論理的に考える力が求められております。数学は、論理的な思考能力を養うとてもよい学習です。 「数学入門」では数学教材を題材に、多様な見方・考え方、就業力に必要な数学の基礎を学びます。
	到達目標	(1)物事を論理的に考えることができる。 (2)数学の面白さと楽しさを感じることができる。 (3)就業力に必要な数学の基礎が理解できる。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】数とは？情報の仕組みを通して数を理解しよう！ 【計画内容】人間が都合よく作り出してきた数、その数の仕組みを理解して、この情報化社会を乗り切るための基本的な考えを学びます。(松澤衛) 【授業時間外の学修内容】テキスト第1章「数とは？情報の仕組みを通して数を理解しよう！」を読み、頭の中を柔らかくしておくこと。	A・H
	第2回	【テーマ】点と線と面(図形の基本) 【計画内容】サザエさんの住まいを題材に、長さと面積を考えます。その中で、次元の概念と次元を変えることで見えることについて解説します。 各自が簡易製図板を使用して、自ら線を写す(トレース)作業を行いながら、長さ、面積を理解して畳(たたみ)、間取り、建物等、小さな寸法(スケール)で書かれている図形から実際の空間を把握し、数値と次元の重要性を学びます。(佐藤克之) 【授業時間外の学修内容】テキスト第2章「点と線と面(図形の基本)」を読み、疑問点を明らかにしておくこと。	A・J
	第3回	【テーマ】身のまわりの「速さ・時間・距離」を「はじき公式」で理解しよう 【計画内容】「速さ・時間・距離」を身近な事例を通して理解し、「はじき公式」の適用問題を教材に就業力数学への基礎的・基本的なスキルを学びます。(菊池隆夫) 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章「身のまわりの「速さ・時間・距離」を「はじき公式」で理解しよう」を読み、疑問点を明らかにしておくこと。	A
	第4回	【テーマ】身のまわりのプロポーション(比率) 【計画内容】比例・比率、平方根、A3ならびに B5などの意味を学びます。(山本敬三) 【授業時間外の学修内容】テキスト第4章「身のまわりのプロポーション(比率)」を読み、疑問点を明らかにしておくこと。	A・H
	第5回	【テーマ】順列・組合せの意味理解とその活用 【計画内容】身近にある具体的な事柄を素材に、起こりうる場合を順序よく整理して調べる活動を通して、公式の意味を理解しその活用の仕方を学びます。(三浦公裕) 【授業時間外の学修内容】テキスト第5章「順列・組合せの意味理解とその活用」を読み、疑問点を明らかにしておくこと。	A
	第6回	【テーマ】金利の基礎知識と計算方法を通じて数的なセンスを身につける 【計画内容】金利のしくみ、基本概念について学びます。(単利・複利、カードでの購入と支払い、分割払いとリボ計算など。)(竹内雅明) 【授業時間外の学修内容】テキスト第6章「金利の基礎知識と計算方法を通じて数的なセンスを身につける」を読み、クレジットカード等について調べておくこと。	A
	第7回	【テーマ】相手とリズミカルな変わり方をする数量調べ！ 【計画内容】規則的でリズミカルなきまりを示しながら数が並んでいたり、不思議な順序や変化をして表れたりする数の変わり方を調べて、関数的な見方・考え方、活用の仕方に触れてみます。(齋藤秀之) 【授業時間外の学修内容】テキスト第7章「相手とリズミカルな変わり方をする数量調べ！」を読み、数量の規則的な変化に関心をもち、疑問点などを明らかにしておくこと。	A
	第8回	【テーマ】日常生活で役に立つ“集合” 【計画内容】事象を分類整理する活動や典型問題の解決を通して、集合の考えのよさとその活用の仕方を学びます。(佐々木雅史) 【授業時間外の学修内容】テキスト第8章「日常生活で役に立つ“集合”」を読み、疑問点を明らかにしておくこと。	A

テキスト	テキストを配付します。
参考書	講義時に指示します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	三浦公裕 / 中学校教員(数学科)、佐々木雅史 / 小学校教員(算数)
	科目との関連	三浦公裕、佐々木雅史 / 数学を指導する職等に従事した経験を活かし、教授します。

質問への対応	講義時とともに、メールでも質問を受け付けます。E-Mail:suugaku@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	これからの時代を生き抜くために必要な数学を基本から学ぶ機会です。積極的に取り組んでください。 毎回、理解度の確認などにより評価を行います。 8回の授業です。3回欠席した場合は単位の認定はされませんので、注意してください。 クラスによってテーマの順番が変わりますので初回講義には必ず出席すること。 第4章「身のまわりのプロポーション(比率)」を受講する際は、定規とコンパスを持参すること。

科目名	情報機器操作Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	小杉　直美				

授業の目的

ねらい	情報処理の基本を理解するとともに、日本語文書処理ソフトウェアやプレゼンテーションソフトウェアを使い、実際にパーソナルコンピュータの活用を通じて、日本語文書処理の技能の基本とプレゼンテーション用資料作成の基礎を学びます。情報モラルの必要性について学びます。
到達目標	(1)日本語文書作成の基本的な知識・技術が理解できる。 (2)通信文書の基本形式と構成要素について習得し、これからの学習や生活の場面でパソコンを活用できる。 (3)プレゼンテーション用資料作成の基礎的な知識・技術が理解できる。 (4)情報処理におけるパーソナルコンピュータの基本的な活用の仕方がわかる。 (5)情報社会における情報モラルの必要性や情報に対する責任について考える態度を養うことができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーションと Windows の基本操作 【計画内容】講義計画と受講心得について理解し、パソコンの基本操作・利用心得・情報モラルについて基礎的な学習をします。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	B・L	第9回	【テーマ】日本語文書処理の応用4 【計画内容】応用的な通信文書の基本的な作成について学習し、印刷の操作について理解します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。	B・L
第2回	【テーマ】日本語文書処理の基本1 【計画内容】キーボード操作とタッチタイピングについて確認を行い、日本語の処理操作について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第10回	【テーマ】日本語文書処理のまとめ 【計画内容】基本的な操作方法や文書作成について復習し、理解度確認を行い、理解を補います。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L
第3回	【テーマ】日本語文書処理の基本2 【計画内容】文章の入力方法と複写・削除・移動の操作について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第11回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成1 【計画内容】プレゼンテーションの基本について学習し、スライドの作成方法について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L
第4回	【テーマ】日本語文書処理の基本3 【計画内容】一般的な通信文書の作成方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第12回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成2 【計画内容】スライドの基本的な編集方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す演習課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L
第5回	【テーマ】日本語文書処理の基本4 【計画内容】一般的な通信文書の作成を行い、編集機能の基本的操作を身につけます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第13回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成3 【計画内容】外部データの挿入について理解し、アニメーションの設定等技法について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す演習課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L
第6回	【テーマ】日本語文書処理の応用1 【計画内容】一般的な文書における表の作成方法、編集の操作について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第14回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成4 【計画内容】課題を設定して情報収集を行い、情報を基にしたスライド作成の実習をします。 【授業時間外の学修内容】次回の課題作成に向けて、情報収集を充分に行っておくこと。	B・H・L
第7回	【テーマ】日本語文書処理の応用2 【計画内容】一般的な文書について段組みなどの編集方法について理解し、ページ編集の操作について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。	B・L	第15回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成5 【計画内容】課題設定したスライド作成の実習を行い、相互に発表を想定して振り返りをします。 【授業時間外の学修内容】スライド作成を完成させて、発表を前提とした練習を行うこと。	B・H・L
第8回	【テーマ】日本語文書処理の応用3 【計画内容】ビジュアルを重視した文書の作成方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L			

テキスト	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します。
参考書	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します。

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		25%	25%		25%	25%
補足		情報モラル・PC 基礎	演習課題・レポート等		演習への取組意欲	筆記・実技を含む

課題に関するフィードバックの方法	講義時、メール、ポータルサイトを介した対応をおこなう。

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	システムエンジニア等 ICT 関連業務経験を有する。
	科目との関連	ICT にかかる技術指導、社内研修企画・実施経験を活かして指導する。

質問への対応	初回講義時に、オフィスアワーやメールによる質問方法について補足説明します。
資格	[教]幼・小1種_必修、養教1種_必修、中・高1種(音楽)_必修、保育士_必修、社会教育主事_選必
その他	毎時の出席を原則とします。講義計画及び展開方法等を変更する場合があります。初回講義時に全体の流れと受講心得等を説明します。 全体ならびに実技面の評価方法については、講義時に説明します。

科目名	情報機器操作Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	松澤　衛				

授業の目的

ねらい	情報処理の基本を理解するとともに、日本語文書処理ソフトウェアやプレゼンテーションソフトウェアを使い、実際にパーソナルコンピュータの活用を通じて、日本語文書処理の技能の基本とプレゼンテーション用資料作成の基礎を学びます。情報モラルの必要性について学びます。
到達目標	(1)日本語文書作成の基本的な知識・技術が理解できる。 (2)通信文書の基本形式と構成要素について習得し、これからの学習や生活の場面でパソコンを活用できる。 (3)プレゼンテーション用資料作成の基礎的な知識・技術が理解できる。 (4)情報処理におけるパーソナルコンピュータの基本的な活用の仕方がわかる。 (5)情報社会における情報モラルの必要性や情報に対する責任について考える態度を養うことができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーションと Windows の基本操作 【計画内容】講義計画と受講心得について理解し、パソコンの基本操作・利用心得・情報モラルについて基礎的な学習をします。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	B・L	第9回	【テーマ】日本語文書処理の応用4 【計画内容】応用的な通信文書の基本的な作成について学習し、印刷の操作について理解します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。	B・L
第2回	【テーマ】日本語文書処理の基本1 【計画内容】キーボード操作とタッチタイピングについて確認を行い、日本語の処理操作について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第10回	【テーマ】日本語文書処理のまとめ 【計画内容】基本的な操作方法や文書作成について復習し、理解度確認を行い、理解を補います。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L
第3回	【テーマ】日本語文書処理の基本2 【計画内容】文章の入力方法と複写・削除・移動の操作について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第11回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成1 【計画内容】プレゼンテーションの基本について学習し、スライドの作成方法について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L
第4回	【テーマ】日本語文書処理の基本3 【計画内容】一般的な通信文書の作成方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第12回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成2 【計画内容】スライドの基本的な編集方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す演習課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L
第5回	【テーマ】日本語文書処理の基本4 【計画内容】一般的な通信文書の作成を行い、編集機能の基本的操作を身につけます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第13回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成3 【計画内容】外部データの挿入について理解し、アニメーションの設定等技法について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す演習課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L
第6回	【テーマ】日本語文書処理の応用1 【計画内容】一般的な文書における表の作成方法、編集の操作について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第14回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成4 【計画内容】課題を設定して情報収集を行い、情報を基にしたスライド作成の実習をします。 【授業時間外の学修内容】次回の課題作成に向けて、情報収集を充分に行っておくこと。	B・H・L
第7回	【テーマ】日本語文書処理の応用2 【計画内容】一般的な文書について段組みなどの編集方法について理解し、ページ編集の操作について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。	B・L	第15回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成5 【計画内容】課題設定したスライド作成の実習を行い、相互に発表を想定して振り返りをします。 【授業時間外の学修内容】スライド作成を完成させて、発表を前提とした練習を行うこと。	B・H・L
第8回	【テーマ】日本語文書処理の応用3 【計画内容】ビジュアルを重視した文書の作成方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L			

テキスト	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します。
参考書	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します。

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		25%	25%		25%	25%
補足		情報モラル・PC 基礎	演習課題・レポート等		演習への取組意欲	筆記・実技を含む

課題に関するフィードバックの方法	講義時、メール、ポータルサイトを介した対応をおこなう。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に、オフィスアワーやメールによる質問方法について補足説明します。
資格	[芸]中・高1種(美術)_必修、社会教育主事_選必
その他	毎時の出席を原則とします。講義計画及び展開方法等を変更する場合があります。初回講義時に全体の流れと受講心得等を説明します。 全体ならびに実技面の評価方法については、講義時に説明します。

科目名	情報機器操作Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	森　夏節				

授業の目的

ねらい	情報処理の基本を理解するとともに、日本語文書処理ソフトウェアやプレゼンテーションソフトウェアを使い、実際にパーソナルコンピュータの活用を通じて、日本語文書処理の技能の基本とプレゼンテーション用資料作成の基礎を学びます。情報モラルの必要性について学びます。
到達目標	(1)日本語文書作成の基本的な知識・技術が理解できる。 (2)通信文書の基本形式と構成要素について習得し、これからの学習や生活の場面でパソコンを活用できる。 (3)プレゼンテーション用資料作成の基礎的な知識・技術が理解できる。 (4)情報処理におけるパーソナルコンピュータの基本的な活用の仕方がわかる。 (5)情報社会における情報モラルの必要性や情報に対する責任について考える態度を養うことができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーションと Windows の基本操作 【計画内容】講義計画と受講心得について理解し、パソコンの基本操作・利用心得・情報モラルについて基礎的な学習をします。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	B・L	第9回	【テーマ】日本語文書処理の応用4 【計画内容】応用的な通信文書の基本的な作成について学習し、印刷の操作について理解します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。	B・L
第2回	【テーマ】日本語文書処理の基本1 【計画内容】キーボード操作とタッチタイピングについて確認を行い、日本語の処理操作について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第10回	【テーマ】日本語文書処理のまとめ 【計画内容】基本的な操作方法や文書作成について復習し、理解度確認を行い、理解を補います。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L
第3回	【テーマ】日本語文書処理の基本2 【計画内容】文章の入力方法と複写・削除・移動の操作について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第11回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成1 【計画内容】プレゼンテーションの基本について学習し、スライドの作成方法について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L
第4回	【テーマ】日本語文書処理の基本3 【計画内容】一般的な通信文書の作成方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第12回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成2 【計画内容】スライドの基本的な編集方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す演習課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L
第5回	【テーマ】日本語文書処理の基本4 【計画内容】一般的な通信文書の作成を行い、編集機能の基本的操作を身につけます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第13回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成3 【計画内容】外部データの挿入について理解し、アニメーションの設定等技法について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す演習課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L
第6回	【テーマ】日本語文書処理の応用1 【計画内容】一般的な文書における表の作成方法、編集の操作について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第14回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成4 【計画内容】課題を設定して情報収集を行い、情報を基にしたスライド作成の実習をします。 【授業時間外の学修内容】次回の課題作成に向けて、情報収集を充分に行っておくこと。	B・H・L
第7回	【テーマ】日本語文書処理の応用2 【計画内容】一般的な文書について段組みなどの編集方法について理解し、ページ編集の操作について学習します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。	B・L	第15回	【テーマ】プレゼンテーション用資料の作成5 【計画内容】課題設定したスライド作成の実習を行い、相互に発表を想定して振り返りをします。 【授業時間外の学修内容】スライド作成を完成させて、発表を前提とした練習を行うこと。	B・H・L
第8回	【テーマ】日本語文書処理の応用3 【計画内容】ビジュアルを重視した文書の作成方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L			

テキスト	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します。
参考書	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します。

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		25%	25%		25%	25%
補足		情報モラル・PC 基礎	演習課題・レポート等		演習への取組意欲	筆記・実技を含む

課題に関するフィードバックの方法	講義時、メール、ポータルサイトを介した対応をおこなう。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に、オフィスアワーやメールによる質問方法について補足説明します。
資格	[心]社会教育主事_選必
その他	毎時の出席を原則とします。講義計画及び展開方法等を変更する場合があります。初回講義時に全体の流れと受講心得等を説明します。 全体ならびに実技面の評価方法については、講義時に説明します。

科目名	情報機器操作Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	小杉　直美				
授業の目的 ねらい	情報処理の基本を踏まえて、パーソナルコンピュータを活用し、アプリケーションソフトを使い、情報処理におけるパーソナルコンピュータの基本的・応用的な活用の仕方を学びます。また、文書の作成、データの活用、プレゼンテーション等の教育の場面での活用について知識を深めます。加えて、情報モラルについても考察を深めます。				
授業の目的 到達目標	(1) ICT 活用能力(リテラシー)を向上させ、実際に活用できる。 (2)データ処理の基本的な知識・技術が理解できる。 (3)情報モラルについて考えを深めることができる。 (4)基本的なマルチメディアを扱うことができる。				

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーションとネットワーク上の情報ならびに情報モラルについて 【計画内容】講義計画と受講心得について理解し、テーマについて、概念として理解を深めて、実社会、教育現場等での必要性について、考察を開始します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	B	第9回	【テーマ】データベースの活用　その1 【計画内容】PC 操作を伴い、データベース機能について、理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。	B・L
第2回	【テーマ】データ活用をすること 【計画内容】データについて基本的な概念を理解するとともに、活用の意図や目的を理解し、データ処理について考察をします。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第10回	【テーマ】データベースの活用　その2 【計画内容】PC 操作を伴い、データベース機能を活用して、課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L
第3回	【テーマ】データを活用すること　基礎1 【計画内容】PC 操作を伴い、表計算アプリケーションの活用を目的にして、その基本的操作方法について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第11回	【テーマ】データベースの活用　その3 【計画内容】PC 操作を伴い、データベース機能を活用して、より発展した課題設定を行い、データ処理に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L
第4回	【テーマ】データを活用すること　基礎2 【計画内容】PC 操作を伴い、表計算アプリケーションの活用を伴うデータの処理方法について、理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。関数の扱いについて復習しておくこと。	B・L	第12回	【テーマ】課題への挑戦　その1 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアの基本について理解します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・H・L
第5回	【テーマ】データを活用すること　基礎3 【計画内容】PC 操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、データ処理の課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。関数の扱いについて復習しておくこと。	B・L	第13回	【テーマ】課題への挑戦　その2 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアを扱い、課題の作成を行います。 【授業時間外の学修内容】次回までに、課題解決方法を駆使して、課題に取り組むこと。	B・H・L
第6回	【テーマ】データを活用すること　応用1 【計画内容】PC 操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、データ処理の課題について、深く取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。理解の進んでいない関数について充分に復習しておくこと。	B・L	第14回	【テーマ】課題への挑戦　その3 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアを活用して課題設定に伴うデータ処理を行います。 【授業時間外の学修内容】課題の完成度を上げるために、課題解決に取り組むこと。理解できない個所について復習しておくこと。	B・H・F・L
第7回	【テーマ】データを活用すること　応用2 【計画内容】PC 操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、課題設定を行い、データ処理に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。	B・L	第15回	【テーマ】課題への挑戦　その4 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフト、マルチメディアを活用して、プレゼンテーションを行います。 【授業時間外の学修内容】実践的な課題解決に取り組むため、充分に復習しておくこと。	B・F・L
第8回	【テーマ】データを活用すること　応用3 【計画内容】PC 操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、応用的な課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L			

テキスト	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します。
参考書	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		25%	25%		25%	25%
補足		情報モラル・PC 基礎	演習課題等		演習への取組意欲	筆記(実技含む)

課題に関するフィードバックの方法	講義時、メール、ポータルサイトを介した対応をおこなう。

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	システムエンジニア等 ICT 関連職種経験を有する。
		科目との関連	ICT にかかる技術指導、社内研修企画・実施経験を有する。

質問への対応	初回講義時に、オフィスアワーやメールによる質問方法について補足説明します。
資格	
その他	毎時の出席を原則とします。単なる機器操作の修得を目的とはしていません。情報活用能力の育成を目指し、その能力を今後に活かすことができるように展開します。 講義計画や展開方法は変更する場合があります。初回講義時に講義の流れと受講心得等を説明します。 最終確認テストについては、第16回に機会を設定する等、講義時に説明します。

科目名	情報機器操作Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	松澤　衛				

授業の目的	
ねらい	情報処理の基本を踏まえて、パーソナルコンピュータを活用し、アプリケーションソフトを使い、情報処理におけるパーソナルコンピュータの基本的・応用的な活用の仕方を学びます。また、文書の作成、データの活用、プレゼンテーション等の教育の場面での活用について知識を深めます。加えて、情報モラルについても考察を深めます。
到達目標	(1) ICT 活用能力(リテラシー)を向上させ、実際に活用できる。 (2)データ処理の基本的な知識・技術が理解できる。 (3)情報モラルについて考えを深めることができる。 (4)基本的なマルチメディアを扱うことができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーションとネットワーク上の情報ならびに情報モラルについて 【計画内容】講義計画と受講心得について理解し、テーマについて、概念として理解を深めて、実社会、教育現場等での必要性について、考察を開始します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	B	第9回	【テーマ】データベースの活用　その1 【計画内容】PC 操作を伴い、データベース機能について、理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。	B・L
第2回	【テーマ】データ活用をすること 【計画内容】データについて基本的な概念を理解するとともに、活用の意図や目的を理解し、データ処理について考察をします。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第10回	【テーマ】データベースの活用　その2 【計画内容】PC 操作を伴い、データベース機能を活用して、課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L
第3回	【テーマ】データを活用すること　基礎1 【計画内容】PC 操作を伴い、表計算アプリケーションの活用を目的にして、その基本的操作方法について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第11回	【テーマ】データベースの活用　その3 【計画内容】PC 操作を伴い、データベース機能を活用して、より発展した課題設定を行い、データ処理に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L
第4回	【テーマ】データを活用すること　基礎2 【計画内容】PC 操作を伴い、表計算アプリケーションの活用を伴うデータの処理方法について、理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。関数の扱いについて復習しておくこと。	B・L	第12回	【テーマ】課題への挑戦　その1 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアの基本について理解します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・H・L
第5回	【テーマ】データを活用すること　基礎3 【計画内容】PC 操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、データ処理の課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。関数の扱いについて復習しておくこと。	B・L	第13回	【テーマ】課題への挑戦　その2 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアを扱い、課題の作成を行います。 【授業時間外の学修内容】次回までに、課題解決方法を駆使して、課題に取り組むこと。	B・H・L
第6回	【テーマ】データを活用すること　応用1 【計画内容】PC 操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、データ処理の課題について、深く取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。理解の進んでいない関数について充分に復習しておくこと。	B・L	第14回	【テーマ】課題への挑戦　その3 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアを活用して課題設定に伴うデータ処理を行います。 【授業時間外の学修内容】課題の完成度を上げるために、課題解決に取り組むこと。理解できない個所について復習しておくこと。	B・H・F・L
第7回	【テーマ】データを活用すること　応用2 【計画内容】PC 操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、課題設定を行い、データ処理に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。	B・L	第15回	【テーマ】課題への挑戦　その4 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフト、マルチメディアを活用して、プレゼンテーションを行います。 【授業時間外の学修内容】実践的な課題解決に取り組むため、充分に復習しておくこと。	B・F・L
第8回	【テーマ】データを活用すること　応用3 【計画内容】PC 操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、応用的な課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L			

テキスト	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します。
参考書	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		25%	25%		25%	25%
補足		情報モラル・PC 基礎	演習課題等		演習への取組意欲	筆記(実技含む)

課題に関するフィードバックの方法	講義時、メール、ポータルサイトを介した対応をおこなう。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に、オフィスアワーやメールによる質問方法について補足説明します。
資格	
その他	毎時の出席を原則とします。単なる機器操作の修得を目的とはしていません。情報活用能力の育成を目指し、その能力を今後に活かすことができるように展開します。 講義計画や展開方法は変更する場合があります。初回講義時に講義の流れと受講心得等を説明します。 最終確認テストについては、第16回に機会を設定する等、講義時に説明します。

科目名	情報機器操作Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	大関　慎				
授業の目的	ねらい	情報処理の基本を踏まえて、パーソナルコンピュータを活用し、アプリケーションソフトを使い、情報処理におけるパーソナルコンピュータの基本的・応用的な活用の仕方を学びます。また、文書の作成、データの活用、プレゼンテーション等の教育の場面での活用について知識を深めます。加えて、情報モラルについても考察を深めます。				
	到達目標	(1) ICT 活用能力(リテラシー)を向上させ、実際に活用できる。 (2)データ処理の基本的な知識・技術が理解できる。 (3)情報モラルについて考えを深めることができる。 (4)基本的なマルチメディアを扱うことができる。				

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーションとネットワーク上の情報ならびに情報モラルについて 【計画内容】講義計画と受講心得について理解し、テーマについて、概念として理解を深めて、実社会、教育現場等での必要性について、考察を開始します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	B	第9回	【テーマ】データベースの活用　その1 【計画内容】PC 操作を伴い、データベース機能について、理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。	B・L
	第2回	【テーマ】データ活用をすること 【計画内容】データについて基本的な概念を理解するとともに、活用の意図や目的を理解し、データ処理について考察をします。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第10回	【テーマ】データベースの活用　その2 【計画内容】PC 操作を伴い、データベース機能を活用して、課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L
	第3回	【テーマ】データを活用すること　基礎1 【計画内容】PC 操作を伴い、表計算アプリケーションの活用を目的にして、その基本的操作方法について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L	第11回	【テーマ】データベースの活用　その3 【計画内容】PC 操作を伴い、データベース機能を活用して、より発展した課題設定を行い、データ処理に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L
	第4回	【テーマ】データを活用すること　基礎2 【計画内容】PC 操作を伴い、表計算アプリケーションの活用を伴うデータの処理方法について、理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。関数の扱いについて復習しておくこと。	B・L	第12回	【テーマ】課題への挑戦　その1 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアの基本について理解します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・H・L
	第5回	【テーマ】データを活用すること　基礎3 【計画内容】PC 操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、データ処理の課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題に取り組み、指定された方法で提出すること。関数の扱いについて復習しておくこと。	B・L	第13回	【テーマ】課題への挑戦　その2 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアを扱い、課題の作成を行います。 【授業時間外の学修内容】次回までに、課題解決方法を駆使して、課題に取り組むこと。	B・H・L
	第6回	【テーマ】データを活用すること　応用1 【計画内容】PC 操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、データ処理の課題について、深く取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。理解の進んでいない関数について充分に復習しておくこと。	B・L	第14回	【テーマ】課題への挑戦　その3 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトを活用して、プレゼンテーションを行います。マルチメディアを活用して課題設定に伴うデータ処理を行います。 【授業時間外の学修内容】課題の完成度を上げるために、課題解決に取り組むこと。理解できない個所について復習しておくこと。	B・H・F・L
	第7回	【テーマ】データを活用すること　応用2 【計画内容】PC 操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、課題設定を行い、データ処理に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。復習をしておくこと。	B・L	第15回	【テーマ】課題への挑戦　その4 【計画内容】日本語文書処理、表計算、プレゼンテーションソフト、マルチメディアを活用して、プレゼンテーションを行います。 【授業時間外の学修内容】実践的な課題解決に取り組むため、充分に復習しておくこと。	B・F・L
	第8回	【テーマ】データを活用すること　応用3 【計画内容】PC 操作を伴い、表計算アプリケーションを発展的に活用することを目的にして、応用的な課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示された課題解決に取り組み、指定された方法で提出すること。	B・L			

テキスト	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します。
参考書	講義時に資料またはサンプルファイルを配付します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		25%	25%		25%	25%
	補足		情報モラル・PC 基礎	演習課題等		演習への取組意欲	筆記(実技含む)

課題に関するフィードバックの方法	講義時、メール、ポータルサイトを介した対応をおこなう。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	初回講義時に、オフィスアワーやメールによる質問方法について補足説明します。
資格	
その他	毎時の出席を原則とします。単なる機器操作の修得を目的とはしていません。情報活用能力の育成を目指し、その能力を今後に活かすことができるように展開します。 講義計画や展開方法は変更する場合があります。初回講義時に講義の流れと受講心得等を説明します。 最終確認テストについては、第16回に機会を設定する等、講義時に説明します。

科目名	英語コミュニケーションⅠ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	C．B．サイモンズ				

授業の目的	
ねらい	学生の積極的参加に基づき、オーラルコミュニケーションに重点をおいた講義を行う。身近な日常会話の練習を通し、「聞く」「話す」力を育成する。
到達目標	(1)海外で使える会話パターンを習得する。 (2)ロールプレイを完全にできるようにする。 (3)テキストに出ている単語を覚える。

授業の計画						
第1回	【テーマ】初対面のあいさつ･紹介 【計画内容】初対面のあいさつについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	H	第9回	【テーマ】復習(第1章～第4章) 【計画内容】復習とロールプレイチャレンジ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H･N
第2回	【テーマ】ホテルの予約 【計画内容】ホテルまでの行き方について尋ねる。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H･N	第10回	【テーマ】レストラン 【計画内容】食事の注文、支払いの会話について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	G･H
第3回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】テキスト第1章の内容をロールプレイする。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N	第11回	【テーマ】ビデオ 【計画内容】会話を聞き、日本人の英語の誤りを見つけ訂正する。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H
第4回	【テーマ】キャンパス内の施設について 【計画内容】留学に関するパッセージを読み、質問し合う。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H･N	第12回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】テキスト第5章の内容をロールプレイする。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N
第5回	【テーマ】ホームステイ 【計画内容】滞在先の家庭のルールについて尋ねる。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H･N	第13回	【テーマ】レンタルショップ 【計画内容】レンタルショップでの会話について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H･N
第6回	【テーマ】ハンドアウトを用いて 【計画内容】ハンドアウトを使用し練習する。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N	第14回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】テキスト第6章の内容をロールプレイする。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N
第7回	【テーマ】道を尋ねる 【計画内容】道の尋ね方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H･N	第15回	【テーマ】まとめとロールプレイ 【計画内容】テキスト第5章、第6章の内容をロールプレイチャレンジする 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N
第8回	【テーマ】ハンドアウトを用いて 【計画内容】ハンドアウトを使用し練習する。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H			

テキスト	Gershon･ Mares･ Walker、2016年、『On the Go』、Longman、9789620052545
参考書	Gershon･ Mares･ Walker、2016年、『On the Go』、Longman、9789620052545

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%				40%	20%
	補足						発表

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。E-Mail:kiffsimons@yahoo.com
資格	[教]幼･小1種_必修、養教1種_必修、中･高1種(音楽)_必修、保育士_必修
その他	第16回に試験を行います。

科目名	英語コミュニケーションⅠ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	C．B．サイモンズ				

授業の目的		
	ねらい	学生の積極的参加に基づき、オーラルコミュニケーションに重点をおいた講義を行う。身近な日常会話の練習を通し、「聞く」「話す」力を育成する。
	到達目標	(1)海外で使える会話パターンを習得する。 (2)ロールプレイを完全にできるようにする。 (3)テキストに出ている単語を覚える。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】初対面のあいさつ･紹介 【計画内容】初対面のあいさつについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	H	第9回	【テーマ】復習(第1章～第4章) 【計画内容】復習とロールプレイチャレンジ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H･N
	第2回	【テーマ】ホテルの予約 【計画内容】ホテルまでの行き方について尋ねる。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H･N	第10回	【テーマ】レストラン 【計画内容】食事の注文、支払いの会話について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	G･H
	第3回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】テキスト第1章の内容をロールプレイする。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N	第11回	【テーマ】ビデオ 【計画内容】会話を聞き、日本人の英語の誤りを見つけ訂正する。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H
	第4回	【テーマ】キャンパス内の施設について 【計画内容】留学に関するパッセージを読み、質問し合う。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H･N	第12回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】テキスト第5章の内容をロールプレイする。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N
	第5回	【テーマ】ホームステイ 【計画内容】滞在先の家庭のルールについて尋ねる。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H･N	第13回	【テーマ】レンタルショップ 【計画内容】レンタルショップでの会話について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H･N
	第6回	【テーマ】ハンドアウトを用いて 【計画内容】ハンドアウトを使用し練習する。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N	第14回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】テキスト第6章の内容をロールプレイする。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N
	第7回	【テーマ】道を尋ねる 【計画内容】道の尋ね方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H･N	第15回	【テーマ】まとめとロールプレイ 【計画内容】テキスト第5章、第6章の内容をロールプレイチャレンジする 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N
	第8回	【テーマ】ハンドアウトを用いて 【計画内容】ハンドアウトを使用し練習する。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H			

テキスト	Gershon･ Mares･ Walker、2016年、『On the Go』、Longman、9789620052545
参考書	Gershon･ Mares･ Walker、2016年、『On the Go』、Longman、9789620052545

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%				40%	20%
	補足						発表

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。E-Mail:kiffsimons@yahoo.com
資格	[芸]中･高1種(美術)_必修
その他	第16回に試験を行います。

科目名	英語コミュニケーションⅠ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	アレックス グレイグ				

授業の目的

ねらい

This course will focus on the fundamentals of effective English communication at beginner and higher-beginner levels in a variety of real-world situations. Different modes of communication will be taught and explored during the course with a range of lively and engaging approaches. Students will be encouraged to express themselves as freely as possible in a safe, friendly space. There will be no set textbook so as to allow flexibility and adaptability in topics and course content.

到達目標

(1) Learn to enjoy communicating in English.
(2) Develop proficiency in appropriate levels of grammar.
(3) Learn to communicate with English speakers in ways that will build and maintain connections.
(4) Learn appropriate levels of grammar as the foundation for coping with new situations.
(5) Build confidence in communicating in English.

授業の計画

第1回	【テーマ】Introduction 【計画内容】Introducing oneself and others. Beginning to learn about each other. Meeting New People. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Read provided materials on the course and study guidelines.	B	第9回	【テーマ】Your Health 【計画内容】Discussing health issues, injuries and the different parts of our bodies. Asking for help with a simple health issue. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Complete homework assignment.	B
第2回	【テーマ】Your World 【計画内容】Talking about the places in your world using weather and visual vocabulary. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Describe your home or other favorite place.	B	第10回	【テーマ】How are You Feeling? 【計画内容】Talking about our feelings. Stress and what makes us happy. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Complete homework assignment.	B
第3回	【テーマ】Your Free-time 【計画内容】Talking about how you spend your free-time. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Complete homework assignment.	B	第11回	【テーマ】Going Shopping 【計画内容】Language and interactions used when shopping. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Complete homework assignment.	B
第4回	【テーマ】Getting Around 【計画内容】Using methods of transportation to discuss time, distance and beginner level common usage of 'in' and 'on'. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Complete homework assignment.	B	第12回	【テーマ】Going Out 【計画内容】Language and interactions used when visiting restaurants, sports events and other outdoor events. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Complete homework assignment. Think of a restaurant or event you'd like to visit.	B
第5回	【テーマ】About Us 【計画内容】Describing different aspects of our personalities. Further discussing one of the major aims of this course; communicating with sensitivity. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Complete homework assignment.	B	第13回	【テーマ】Travelling 【計画内容】Language and interactions used when travelling abroad. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Complete homework assignment.	B
第6回	【テーマ】Time 【計画内容】Discussing the different units of time. Continuing instruction in the uses of 'in' and 'on' while also introducing 'at' in reference to time. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Complete homework assignment.	B	第14回	【テーマ】Hopes and Dreams 【計画内容】Language and interactions used when discussing hopes and dreams. Focus on positivity. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Complete homework assignment. Think about your hopes and dreams for the future.	B
第7回	【テーマ】Changes 【計画内容】Builiding on last lesson and learning about the ways that things and people change. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Complete homework assignment.	B	第15回	【テーマ】Review of Weeks 9-14. Preparation for final oral interviews. 【計画内容】Review of grammar and fundamental concepts from lessons 9 -14. Final oral interview practice. 【授業時間外の学修内容】Review past work and prepare for oral presentation.	B
第8回	【テーマ】Basic Review of Weeks 1-7. Pair Presentations. 【計画内容】Review of grammar and fundamental concepts from the previous lessons. Oral pair presentations. Class comments, suggestions and review questions. 【授業時間外の学修内容】Complete homework assignment. Consider any further general questions not raised in class.	B			

テキスト	Weekly handouts will be provided by the instructor. Students should bring all previous class handouts to every class.
参考書	『Dictionary』(Online, Electronic, Paper, Application, etc.)

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分					60%	40%
補足					Class participation and attitude: 60%	Oral interviews in Weeks 8 and 15: 20% + 20%

課題に関するフィードバックの方法	All feedback will given individually during class throughout the semester.

実務経験と授業の関連

経験内容	
科目との関連	

質問への対応	Students are encouraged to ask questions after class. Email questions in either English or Japanese can also be sent to padi44@mail.com
資格	
その他	

科目名	英語コミュニケーションⅡ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	C．B．サイモンズ				

授業の目的

ねらい	学生の積極的参加に基づき、オーラルコミュニケーションに重点をおいた講義を行う。身近な日常会話の練習を通し、「聞く」「話す」力が育成される。「読む」「書く」能力の向上については、文法知識の習得だけではなく、日常会話報道などの内容から必要な情報を理解し、自分の考えや意見を正しく表明することができるレベルを目指す。
到達目標	(1)海外で使える会話パターンを習得する。 (2)ロールプレイを完全にできるようにする。 (3)テキストに出ている単語を覚える。

授業の計画

第1回	【テーマ】過去形を用いて 【計画内容】過去形を使い、夏休みの出来事について話す(ハンドアウトを使用)。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	H	第9回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】中間発表の準備として、ロールプレイを行う。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N
第2回	【テーマ】ロンドンの街について尋ねる 【計画内容】公共交通機関、観光地などについて尋ねる方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H·N	第10回	【テーマ】ロールプレイチャレンジ 【計画内容】テキスト第10章までのロールプレイチャレンジを行う。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N
第3回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】テキスト第7章の内容をロールプレイする。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N	第11回	【テーマ】自分自身のことを話す 【計画内容】自分自身のことを話す方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H·N
第4回	【テーマ】ホテル 【計画内容】チェックインをする、ゲストサービスについて尋ねる方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H·N	第12回	【テーマ】ツアーに参加する 【計画内容】ツアーについて尋ね、申し込む方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H·N
第5回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】テキスト第8章の内容をロールプレイする。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N	第13回	【テーマ】日本の観光地について 【計画内容】外国人に紹介する視点で日本の観光地について調べる。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N
第6回	【テーマ】Review Plus 2 【計画内容】リスニングを行う。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H·N	第14回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】今までの復習と確認をする。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N
第7回	【テーマ】ショッピング 【計画内容】商品について尋ねる方法を学ぶとともにロールプレイする 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N	第15回	【テーマ】ロールプレイチャレンジ 【計画内容】今までの復習を行い、さらに会話を上達させることについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H·N
第8回	【テーマ】空港 【計画内容】チェックインをする方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H·N			

テキスト	Gershon· Mares· Walker、2016年、『On the Go』、Longman、9789620052545
参考書	Gershon· Mares· Walker、2016年、『On the Go』、Longman、9789620052545

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	40%				40%	20%
補足						発表

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。E-Mail:kiffsimons@yahoo.com
資格	
その他	第16回に試験を行います。

科目名	英語コミュニケーションⅡ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	C．B．サイモンズ				

授業の目的	
ねらい	学生の積極的参加に基づき、オーラルコミュニケーションに重点をおいた講義を行う。身近な日常会話の練習を通し、「聞く」「話す」力が育成される。「読む」「書く」能力の向上については、文法知識の習得だけではなく、日常会話報道などの内容から必要な情報を理解し、自分の考えや意見を正しく表明することができるレベルを目指す。
到達目標	(1)海外で使える会話パターンを習得する。 (2)ロールプレイを完全にできるようにする。 (3)テキストに出ている単語を覚える。

授業の計画						
第1回	【テーマ】過去形を用いて 【計画内容】過去形を使い、夏休みの出来事について話す(ハンドアウトを使用)。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	H	第9回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】中間発表の準備として、ロールプレイを行う。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N
第2回	【テーマ】ロンドンの街について尋ねる 【計画内容】公共交通機関、観光地などについて尋ねる方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H·N	第10回	【テーマ】ロールプレイチャレンジ 【計画内容】テキスト第10章までのロールプレイチャレンジを行う。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N
第3回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】テキスト第7章の内容をロールプレイする。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N	第11回	【テーマ】自分自身のことを話す 【計画内容】自分自身のことを話す方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H·N
第4回	【テーマ】ホテル 【計画内容】チェックインをする、ゲストサービスについて尋ねる方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H·N	第12回	【テーマ】ツアーに参加する 【計画内容】ツアーについて尋ね、申し込む方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H·N
第5回	【テーマ】ロールプレイ 【計画内容】テキスト第8章の内容をロールプレイする。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N	第13回	【テーマ】日本の観光地について 【計画内容】外国人に紹介する視点で日本の観光地について調べる。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N
第6回	【テーマ】Review Plus 2 【計画内容】リスニングを行う。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H·N	第14回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】今までの復習と確認をする。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N
第7回	【テーマ】ショッピング 【計画内容】商品について尋ねる方法を学ぶとともにロールプレイする 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	N	第15回	【テーマ】ロールプレイチャレンジ 【計画内容】今までの復習を行い、さらに会話を上達させることについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H·N
第8回	【テーマ】空港 【計画内容】チェックインをする方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前週のテキストの内容を復習しておくこと。	H·N			

テキスト	Gershon· Mares· Walker、2016年、『On the Go』、Longman、9789620052545
参考書	Gershon· Mares· Walker、2016年、『On the Go』、Longman、9789620052545

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	40%				40%	20%
補足						発表

課題に関するフィードバックの方法	
実務経験と授業の関連	経験内容
	科目との関連
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。E-Mail:kiffsimons@yahoo.com
資格	
その他	第16回に試験を行います。

科目名	英語コミュニケーションⅡ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	アレックス グレイグ				

授業の目的

ねらい

This course will focus on the fundamentals of effective English communication at beginner and higher-beginner levels in a variety of real-world situations. Different modes of communication will be taught and explored during the course with a range of lively and engaging approaches. Students will be encouraged to express themselves as freely as possible in a safe, friendly space. There will be no set textbook so as to allow flexibility and adaptability in topics and course content.

到達目標

(1) Learn to enjoy communicating in English.
(2) Develop proficiency in appropriate levels of grammar.
(3) Learn to communicate with English speakers in ways that will build and maintain connections.
(4) Learn appropriate levels of grammar as the foundation for coping with new situations.
(5) Build confidence in communicating in English.

授業の計画

第1回	【テーマ】Introduction 【計画内容】Introducing oneself and others. Beginning to learn about each other. Meeting New People. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Read provided materials on the course and study guidelines.	B	第9回	【テーマ】Your Health 【計画内容】Discussing health issues, injuries and the different parts of our bodies. Asking for help with a simple health issue. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Complete homework assignment.	B
第2回	【テーマ】Your World 【計画内容】Talking about the places in your world using weather and visual vocabulary. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Describe your home or other favorite place.	B	第10回	【テーマ】How are You Feeling? 【計画内容】Talking about our feelings. Stress and what makes us happy. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Complete homework assignment.	B
第3回	【テーマ】Your Free-time 【計画内容】Talking about how you spend your free-time. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Complete homework assignment.	B	第11回	【テーマ】Going Shopping 【計画内容】Language and interactions used when shopping. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Complete homework assignment.	B
第4回	【テーマ】Getting Around 【計画内容】Using methods of transportation to discuss time, distance and beginner level common usage of 'in' and 'on'. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Complete homework assignment.	B	第12回	【テーマ】Going Out 【計画内容】Language and interactions used when visiting restaurants, sports events and other outdoor events. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Complete homework assignment. Think of a restaurant or event you'd like to visit.	B
第5回	【テーマ】About Us 【計画内容】Describing different aspects of our personalities. Further discussing one of the major aims of this course; communicating with sensitivity. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Complete homework assignment.	B	第13回	【テーマ】Travelling 【計画内容】Language and interactions used when travelling abroad. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Complete homework assignment.	B
第6回	【テーマ】Time 【計画内容】Discussing the different units of time. Continuing instruction in the uses of 'in' and 'on' while also introducing 'at' in reference to time. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Complete homework assignment.	B	第14回	【テーマ】Hopes and Dreams 【計画内容】Language and interactions used when discussing hopes and dreams. Focus on positivity. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Complete homework assignment. Think about your hopes and dreams for the future.	B
第7回	【テーマ】Changes 【計画内容】Builiding on last lesson and learning about the ways that things and people change. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【授業時間外の学修内容】Complete homework assignment.	B	第15回	【テーマ】Review of Weeks 9-14. Preparation for final oral interviews. 【計画内容】Review of grammar and fundamental concepts from lessons 9 -14. Practice final oral interview. 【授業時間外の学修内容】Review past work and prepare for oral presentation.	B
第8回	【テーマ】Basic Review of Weeks 1-7. Pair Presentations. 【計画内容】Review of grammar and fundamental concepts from the previous lessons. Oral pair presentations. Class comments, suggestions and review questions. 【授業時間外の学修内容】Complete homework assignment. Consider any further general questions not raised in class.	B			

テキスト	Weekly handouts will be provided by the instructor. Students should bring all previous class handouts to every class.
参考書	『Dictionary』(Online, Electronic, Paper, Application, etc.)

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分					60%	40%
補足					Class participation and attitude: 60%	Oral interviews in Weeks 8 and 16: 20% + 20%

課題に関するフィードバックの方法	All feedback will given individually during class throughout the semester.

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	Students are encouraged to ask questions after class. Email questions in either English or Japanese can also be sent to padi44@mail.com
資格	
その他	

科目名	キャリアデザインⅠ	授業形態	講義	単位数	1
教員名	永井　秀岳、キャリア支援センター長				

授業の目的		
	ねらい	「キャリアデザイン」は、一人一人が明確な目的意識を持って学業や大学生活に取り組む姿勢を育み、主体的に自己の進路を選択できるようになることを目的としています。目まぐるしく変わる現代社会を生き抜くには、社会の仕組みや労働市場について知り、答えのない世界で自分なりの答えを見つけ、進んでいく力が必要となります。本講ではその基本となる社会の仕組み、コミュニケーションや思考のスキルを身に付けていきます。
	到達目標	(1)現代社会の仕組みを理解し、自分なりに説明できるようになる。 (2)自己分析を通して、自分の強みややりたいことを見つける。 (3)卒業後のキャリアデザインを自分なりに描けるようになる。 (4)より充実した大学生活、人生を歩めるようになる。 (5)決まった答えがない問題に対し、自分なりの解答を出すことができるようになる。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】激動の現代を幸せに生きるためのキャリアデザイン 【計画内容】授業の目標・内容・進め方・成績評価の方法、担当講師の自己紹介、今後8回の授業展開についての説明。これから新しく始まる大学生活をより充実したものにするための考え方を身につける。(永井秀岳) 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、講義の目的を意識しておくこと。	A・K
	第2回	【テーマ】世の中は平等なのか？○○だけでは超えられない壁がある？ 【計画内容】世界規模で見た時に人はどのような生活を送っているのかを知り、現代日本の現状を客観的に見る視点を身につける。成果を出すために必要なものは何か、超えられない壁があるのかを考えていく。後半、質疑応答。(永井秀岳) 【授業時間外の学修内容】ニュースを見たり、新聞を読んだりすること。	A・K
	第3回	【テーマ】世界の状況とこれからの時代を生き抜くためのスキル 【計画内容】GAFA の台頭により大きく変化した社会において、企業や社会が求める人材やスキルも大きく変化している。社会に出る前にどのようなスキルを身につけておくと良いか、資格はこれからの人生に本当に有利になるのかを考えていく。後半、質疑応答。(永井秀岳) 【授業時間外の学修内容】ニュースを見たり、新聞を読んだりすること。	A・K
	第4回	【テーマ】就職・仕事・恋愛 - 人間関係でモテるコミュニケーション 【計画内容】人が仕事を辞めてしまう時、その理由の中で一番の割合を占めるのは「人間関係」。このことを踏まえた上で、自分のタイプや考え方、相手の視点に立って物事を見る大切さを知り、より良いコミュニケーションを築けるスキルを身につけていく。後半、質疑応答。(永井秀岳) 【授業時間外の学修内容】自分のコミュニケーションのクセについて考えてみること。	A・K
	第5回	【テーマ】6つの働くスタイル 【計画内容】仕事とどのように向き合っているのかは人それぞれ。どのような向き合い方があるのかを知り、現在の自分のタイプに当てはめつつ、仕事とどう向き合って行きたいのかを考えていく。後半、質疑応答。(永井秀岳) 【授業時間外の学修内容】自分や周りの人の仕事に対する考え方について調べておくこと。	A・K
	第6回	【テーマ】SNS で思わぬトラブルに ?! 情報社会のサバイバル術 【計画内容】Facebook、LINE、Twitter、Instagram など、多くの人が気軽に交流できる SNS サービスは一層の広がりを見せている。しかし、急速な普及に伴いサービスをきっかけにしたトラブルも増えている。情報社会の現代でトラブルに巻き込まれないための知識を身につける。後半、質疑応答。(永井秀岳) 【授業時間外の学修内容】SNS サービスのトラブルについて調べておくこと。	A・K
	第7回	【テーマ】ブラック企業ってなんだ？納得できる結果につなげる方法とは 【計画内容】新聞や書籍でもよく目にするブラック企業とは一体なんなのかを通し、自分の仕事に対する価値観について考える。その上で、自分が納得できる結果を出すための方法を探していく。後半、質疑応答。(永井秀岳) 【授業時間外の学修内容】ブラック企業について、自分の考えをまとめておくこと。	A・K
	第8回	【テーマ】社会人基礎力測定検査結果の解説(テストの結果をもとに、自分の行動目標を立てる)。総合評価・自己評価・ポートフォリオのまとめ 【計画内容】社会人基礎力で測定した主観的結果と客観的結果を統合し、自己理解を深める。検査の結果をもとに自分の行動目標を立てる。(キャリア支援センター長) 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を振り返り、夏休みの行動計画を考えておくこと。	A・K

テキスト	プリントを使用します。
参考書	プリントを使用します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	毎回提出のレポートにて随時質問を受け付けます。
資格	
その他	

科目名	日本語	授業形態	講義	単位数	2
教員名	田　光子				

授業の目的	
ねらい	外国人留学生を対象に、本学でのコミュニケーション・学習・発表がスムーズに行えるように読み、書く、聞く、話すの4技能の向上を目標とする。また、日本の文化、事情、風習、マナーなどを読み物や視聴覚教材を通して理解することで、日本での留学生活がより有意義なものになるようにする。日本語能力検定1級を持っていない学生は必ず取得しよう。
到達目標	(1)日本語の読み、書き、聞き取り、話すの4技能の向上。 (2)漢字の読み書きがスムーズにできる。 (3)レポートがスムーズに書ける。 (4)日本語の正しい発音ができる。 (5)テキストなどがスムーズに読め、内容が理解できる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業ガイダンスと自己紹介 【計画内容】講義概要・講義の展開方法などの説明。 【授業時間外の学修内容】自己紹介準備と江別について調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】語彙と文法③ 【計画内容】ニュースの語彙や文法について説明。 【授業時間外の学修内容】わからない語彙や文法を調べておく。	A
第2回	【テーマ】読解を中心(小説を読む)① 【計画内容】発音確認と読み方。 【授業時間外の学修内容】プリントを読んで、内容を理解し分からない語彙を調べておくこと。	A	第10回	【テーマ】読解を中心(新聞を読む) 【計画内容】新聞を速読し、内容を理解し要約する力を養う。 【授業時間外の学修内容】新聞記事を数多く読んでおくこと。	A
第3回	【テーマ】読解を中心(小説を読む)② 【計画内容】漢字の読み方や意味を確認する。 【授業時間外の学修内容】漢字の読み方や意味を調べスムーズに音読できるように取り組むこと。	A・F	第11回	【テーマ】語彙と文法④ 【計画内容】新聞の語彙や文法について説明。 【授業時間外の学修内容】わからない語彙や文法を調べておく。	A
第4回	【テーマ】語彙と文法① 【計画内容】語彙(漢字を含む)と文法事項の説明。 【授業時間外の学修内容】わからない語彙や文法を調べておく。	A	第12回	【テーマ】日本語・韓国語の翻訳練習 【計画内容】日本語から韓国語へ、韓国語から日本語への自然な表現を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】課題のプリントを翻訳する。	A・F・K
第5回	【テーマ】語彙と文法② 【計画内容】語彙(漢字を含む)と文法事項の説明。 【授業時間外の学修内容】わからない語彙や文法を調べておくこと。	A	第13回	【テーマ】日本の文化理解 【計画内容】本学の演劇を観劇して、日本の文化に触れる。 【授業時間外の学修内容】演目について調べ、観劇後は感想文を書く。	M
第6回	【テーマ】文法確認と作文練習 【計画内容】文法の作文練習を確認する。 【授業時間外の学修内容】プリントの作文練習をし、発表準備をする。	A・K	第14回	【テーマ】日本と自国の違いについて討論 【計画内容】文化の違いを発表して、お互いの意見を確認したり討論したりする。 【授業時間外の学修内容】日本での生活を通して感じた文化の違いを作文して、発表準備をする。	A・F・I
第7回	【テーマ】漢字練習・自国の風習について発表 【計画内容】漢字の復習と(風習についての)文章力向上と発表。 【授業時間外の学修内容】漢字復習と風習について調べて作文し、発表準備をする。	A・F・K	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】既習の語彙や文法事項の確認。 【授業時間外の学修内容】既習の語彙や文法事項の復習をする。	A・L
第8回	【テーマ】日本事情・聞いてまとめる。 【計画内容】ニュースの聞き取りや表現を理解する。 【授業時間外の学修内容】ニュースを毎日聞き、聞き取りに慣れるようにしておくこと。	A・L			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	プリントを使用します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	60%		20%		20%	
補足			レポートなど			

課題に関するフィードバックの方法	課題など提出後に、学んだ内容を振り返りながら確認します。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	講義内での質問も随時受け付けます。または、E-Mail: chun@wm.hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	留学生対象科目。遅刻・欠席はしないこと。 提出期日を厳守してください。

科目名	現代日本の文化	授業形態	講義	単位数	2
教員名	菊地　達夫				

授業の目的

ねらい	「現代日本の文化」では、留学生の出身国(地域)における文化的事項の認識を確認し、比較を意識しながら、日本(北海道)の文化的な特色が、どのように形成・定着・発展したのか史的に学習します。
到達目標	(1)日本の文化的な特色について理解できる。 (2)北海道の文化的な特色ついて理解できる。

授業の計画

第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義のねらい、到達目標、講義計画、成績評価方法、参考文献について説明します。 【授業時間外の学修内容】印象深いと思う現代日本の文化(例:祭礼)を1つ取り上げ、調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】北海道の地域文化1 【計画内容】北海道の地域文化の地域的特色について学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。	A
第2回	【テーマ】出身国(地域)の文化的事項の確認 【計画内容】出身国(地域)の文化的事項について確認します。 【授業時間外の学修内容】出身国(地域)の文化的事項について整理しておくこと。	A	第10回	【テーマ】北海道の地域文化2 【計画内容】アイヌ民族・文化について学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。	A
第3回	【テーマ】日本の主な文化的事項 【計画内容】日本の主な文化的事項(食文化・芸術・スポーツ)について学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。	A	第11回	【テーマ】北海道の地域文化3 【計画内容】博物館資料の活用を通じて体験的に学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。	A
第4回	【テーマ】日本の文化的な地域の特色 【計画内容】日本の文化的な地域の特色(食文化・芸術・スポーツ)について学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。	A	第12回	【テーマ】北海道の地域文化4 【計画内容】博物館資料の活用を通じて体験的に学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。	A
第5回	【テーマ】日本の文化的事項の形成 【計画内容】日本の文化的事項の形成過程(食文化・芸術・スポーツ)について学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。	A	第13回	【テーマ】まとめと整理 【計画内容】これまでの学習内容の重要な点について整理します。 【授業時間外の学修内容】理解のできていない学習内容についてよく確認しておくこと。	L
第6回	【テーマ】日本の文化的事項の定着 【計画内容】日本の文化的事項(食文化・芸術・スポーツ)は、どのように定着したのか、学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。	A	第14回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】これまでの学習内容の重要な点について確認します。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習内容についてよく整理しておくこと。	L
第7回	【テーマ】日本の文化的事項の発展 【計画内容】日本の文化的事項(食文化・芸術・スポーツ)は、どのように発展してきたのか、学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。	A	第15回	【テーマ】まとめと応用 【計画内容】学習成果の活かし方について説明します。 【授業時間外の学修内容】理解のできていない学習内容についてよく確認しておくこと。	L
第8回	【テーマ】日本の伝統文化(生活習貫) 【計画内容】日本の年中行事について学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。	A			

テキスト	必要に応じてプリントを使用します。
参考書	奥野隆史ほか、2006年、『日本総論Ⅱ(人文・社会編)』、朝倉書店、4254167628 桑原真人ほか、2008年、『北海道の歴史がわかる本』、亜璃西社、9784900541757 北海道高校地理教育研究会、1994年、『図説北海道ふるさと早わかり』、北海道新聞社、4893637223

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	50%		30%		20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	授業課題は、返却時に講評等を行う。

実務経験と授業の関連

経験内容	
科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します
資格	
その他	留学生対象科目。 履修者との相談の上、2回目以降の曜日・時間帯を決めます。(初回の日時や教室は掲示板等をよく確認すること) 内容が一部変更になる場合があります。 課題の結果等は、返却時に講評、補足説明を行います。 遠隔授業の場合、別途指示します。

発　展　科　目

科目名	心理学概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	澤　聡一				

授業の目的	
ねらい	人間の心のはたらきについて、乳幼児期から高齢期に至るまでの生涯発達の観点から捉え、心理学の基礎的知識を得ることは、自己洞察や他者理解を深めるための大切な営みです。サイエンスとアートの両面から、社会のニーズに応じて裾野を広げ続ける心理学の基本的知識の習得とその学習姿勢の醸成を目指すと共に、関連領域である教育や介護等の実践を支える教養を高め、総合的な判断力及び豊かな人間性を養うことを本講義の目標とします。
到達目標	(1)心理学の成立の背景を知り、人間の心のはたらきについての基本的な知識を習得する。 (2)生涯発達の観点から人間の成長のプロセスを理解する。 (3)日常生活における心の健康の維持についての理論を学び実践につなげる。 (4)福祉や教育等との関連をふまえながら心理的支援の方法と実際についての知識を得る。

授業の計画						
第1回	【テーマ】心理学の成り立ち 【計画内容】講義全体の流れを説明すると共に、心理学の成立の背景と、心を探究する方法をどのように発展させてきたかを知ることで、心の学びのイントロダクションとします 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容をあらかじめ読み、自身が学びたいことを整理しておくこと。	A・K	第9回	【テーマ】心と脳 【計画内容】心の生物学的基盤としての脳の構造や機能を知り、心のはたらきとどのように関連しているかを学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K
第2回	【テーマ】集団心理・人と環境 【計画内容】人間は社会的存在であり、他者とかかわりあいながら生きています。ここでは、人間の行動が集団の中にいることで受ける影響や対人関係等について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	第10回	【テーマ】感情・動機づけ 【計画内容】感情についての理論、感情の発達、感情と表情、感情と文化、動機づけや様々な欲求等について概説します。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K
第3回	【テーマ】パーソナリティ 【計画内容】類型論、特性論などの代表的なパーソナリティ理解の視点について学び、心理テストの体験学習等を通して自己理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	第11回	【テーマ】心の健康と臨床心理学 【計画内容】臨床心理学の適用領域を通して心の健康について考えると共に、心理的支援の基本的技法と、認知行動療法や精神分析などの心理療法の主要な理論を概説します。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K
第4回	【テーマ】自己理解・他者理解 【計画内容】環境との関係の中で生きる人の側面に注目し、自分や他人を理解するために有用な様々な概念を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	第12回	【テーマ】心の問題への心理的支援 【計画内容】心理アセスメントや心理教育等、心理療法以外の心理援助職の職務や、さまざまな現場における実践について概説します。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K
第5回	【テーマ】感覚・知覚 【計画内容】視覚、聴覚、知覚の体制化、錯視、文脈効果などの体験学習を通して、人間が外界からどのように情報を得て、用いているかを学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	第13回	【テーマ】心の発達の基盤と乳幼児期・児童期の発達 【計画内容】遺伝と環境、認知発達理論、発達段階説などをふまえつつ、アタッチメントや言語発達の様相などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K
第6回	【テーマ】記憶 【計画内容】記憶の仕組みに関する心理学的モデルや、記憶の種類、記憶の方略について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	第14回	【テーマ】青年期以降の生涯発達 【計画内容】アイデンティティなどの青年期のテーマのほか、成人期、高齢期について学び、生涯発達の視点を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K
第7回	【テーマ】学習・行動 【計画内容】新しい行動の学習や、一度学習した行動の変容について、学習理論を中心に学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	第15回	【テーマ】心理学と現代社会 【計画内容】ここまでの講義の内容を振り返ると共に、ストレスやレジリエンス等を題材に、現代社会のなかで心理学をどのように活かすかを考えます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K
第8回	【テーマ】思考と言語 【計画内容】思考と推論の心理的プロセスについて学び、次いで言語やコミュニケーションに関わる心理学的知見を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K			

テキスト	プリント等を適宜配付します。
参考書	平田裕美・伊藤美奈子編、2010年、『心理学入門 - こころの仕組みを理解する -』、建帛社、9784767940137 繁桝算男編、2018年、『心理学概論（公認心理師の基礎と実践）』、遠見書房、9784866160528

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%		30%	30%
補足			最終課題		平時	毎回の感想・考察シート

課題に関するフィードバックの方法	最終評価は課題提出で行います。希望者には、個別に解説と講評を行います。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	臨床心理士、公認心理師等の心理援助職
		科目との関連	心理援助職としての勤務経験を活かし、基礎から応用まで幅広い心理学の専門的知識の教授を行う。

質問への対応	リアクションペーパー等で講義の都度質問するか、E-Mail:sawat@hokusho-u.ac.jp を用いてください。
資格	[教]社会福祉主事_選必 [心]公認心理師_必修、精神保健福祉士_必修、認定心理士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必 [健]介護福祉士_選必、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必
その他	遠隔授業での実施を予定しています。各回の課題提出など、積極的な受講態度を期待します。

科目名	発達心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	新川　貴紀				

授業の目的		
	ねらい	従来の発達心理学は、誕生から成人に至る段階までを対象に、それぞれの発達段階で何ができるのか、どのような行動を示すのかを明らかにするものであった。近年、人の寿命が延びてきたこと、新生児期からさらに胎児期での心理学的研究が盛んになされるようになったことから、これまでの傾向が見直され、全生涯を扱う縦断的な観点から発達過程をとらえなおすようになってきている。人間は一生をかけて発達する可能性が明らかになりつつある。このような視点から、誕生から死に至る人間の心理的発達過程について、各発達ステージの相互の関係、発達を保証する条件は何か、これまでに明らかにされてきた研究成果を中心に概説する。
	到達目標	(1)人が生涯発達することの意味を理解できる。 (2)ライフサイクルにおける変化を理解できる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】発達心理学とはなにか、生涯を通しての発達を考える意味、15回の講義展開について説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A·G	第9回	【テーマ】青年期の発達(性的成熟とアイデンティティ) 【計画内容】青年期の性的成熟とアイデンティティについての理論を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A·G·L
	第2回	【テーマ】発達理論と発達段階と発達障害 【計画内容】生涯を通しての発達についてピアジェやエリクソンなどの発達理論や発達段階を学びます。また発達障害等の非定型発達について基礎的な知識と考え方を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A·G·L	第10回	【テーマ】アイデンティティ·ステータス 【計画内容】アイデンティティについて、その獲得や危機などについての理論を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A·G·L
	第3回	【テーマ】乳児の世界 【計画内容】新生児期から乳児期までの発達について原始反射などの生理学的側面も含めて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A·G·L	第11回	【テーマ】恋愛と結婚 【計画内容】恋愛と結婚に関する心理学的研究についてアタッチメント理論などの発達心理学的視点から学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A·G·L
	第4回	【テーマ】幼児の世界(ことばの獲得) 【計画内容】ことばが急速に増える幼児期の言語発達についてチョムスキーなどの理論を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A·G·L	第12回	【テーマ】親になること·親であること 【計画内容】子どもを授かること、それによる変化について発達心理学の理論を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A·G·L
	第5回	【テーマ】対人関係の発達(アタッチメントの成立と発展) 【計画内容】養育者とのアタッチメント関係の成立と発展に関する理論を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A·G·L	第13回	【テーマ】中年期の発達 【計画内容】中年期の危機など、社会的役割が獲得される時期に特有の心理学的課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A·G·L
	第6回	【テーマ】情動と自己の発達 【計画内容】発達早期の情動と自己の発達について、実験研究の結果を基にその理論を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A·G·L	第14回	【テーマ】老年期の発達 【計画内容】加齢に伴い喪失体験など様々な出来事が重なる老年期に特有の心理学的課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A·G·L
	第7回	【テーマ】児童期の発達 【計画内容】対人関係に広がりがうまれる児童期の発達について、友人関係などの対人面を中心に学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A·G·L	第15回	【テーマ】発達心理学からの提言 【計画内容】これまでの講義内容を振り返り、発達心理学ができることについて学びます。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A·G·L
	第8回	【テーマ】思考の発達 【計画内容】幼児期や児童期の思考の発達について、ピアジェなどの発達理論から近年の理論を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A·G·L			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	杉村伸一郎·坂田陽子編、2004年、『実験で学ぶ発達心理学』、ナカニシヤ出版、9784888488853 渡辺弥生·伊藤順子·杉村伸一郎編、2008年、『原著で学ぶ社会性の発達』、ナカニシヤ出版、9784779501814

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		70%	
	補足			最終レポート		小レポート	

課題に関するフィードバックの方法	毎回の小レポートについては次の講義開始時にフィードバックを行います。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必
その他	一生を通じて発達することの意味を考えてもらいたい。また子どもの発達に関する知識を持つことで将来の子育てを楽しんでもらいたい。

科目名	人間関係の心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	入江　智也				

授業の目的

ねらい	人間関係は二者関係が基本となるが、それにとどまらず、より複雑な人間関係の中で様々な心の動きが生じ、その事が個々人の認知や感情、そして行動面に影響を及ぼす。人間関係はその存在が心の支えになることもあれば、ストレスになることもある。他者の心理状態を知り、適切なコミュニケーションが取れることは、家庭、学校、職場、近隣を問わず、あらゆる場面において重要である。本講義では、人間関係を心理学の視点から包括的に理解することを目的とする。
到達目標	(1)日常における人間関係の様々な特徴を心理学の観点から説明することができる。 (2)人間関係をより良好にしてゆくための工夫を心理学観点から説明することができる。 (3)人間関係における諸問題を心理学の観点から説明することができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】人と人との出会い 【計画内容】人間関係の始まりは人と人との出会いである。他者についての印象形成、相性の善し悪しの判断などについて取り上げていく。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A・K	第9回	【テーマ】対人関係の諸問題について 【計画内容】人間関係において、表面的に平静を保っていても、葛藤や欲求不満などを抱えていることが多い。そのようなことが表出する諸問題について検討していく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K
第2回	【テーマ】他者に魅力を感じること 【計画内容】人は他者に対してどのようにして魅力を感じ、心惹かれていくのか。人に対する好き嫌い、友情や恋愛感情などについて取り上げていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K	第10回	【テーマ】他者に対する不平・不満・クレーム 【計画内容】人間関係の中で他者に対するネガティブな感情がエスカレートし、時として常軌を逸した主張となることがある。怒りの表出に関する心理、クレームという現象など取り上げていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K
第3回	【テーマ】円滑なコミュニケーションを目指す 【計画内容】人と生きていく上で、他者と関わりあうことは避けることができない。人と人との間で交わされるコミュニケーションについて取り上げていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K	第11回	【テーマ】空気を読むこと 【計画内容】「以心伝心」「暗黙の了解」「黙認」など、日本では人間関係の中で「空気を読む」ということが行われることが多い。このようなコミュニケーションについて心理学の観点から理解していく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K
第4回	【テーマ】人づきあいを避ける心理 【計画内容】他者との関係に無関心であったり、他者との関係をうまく築くことができないという現象について心理学の観点から取り上げていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K	第12回	【テーマ】ストレスと人間関係 【計画内容】我々が感じるストレスには多かれ少なかれ人間関係が絡んでいる。ストレスを正しく理解し、人間関係のマネージメントに活かすためのヒントを得ていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K
第5回	【テーマ】他者から受ける影響 【計画内容】我々は多かれ少なかれ他者の影響を受けざるを得ない。個人的にも社会的にも受けざるを得ない他者からの影響について取り上げていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K	第13回	【テーマ】他者を助けることと他者に助けを求めること 【計画内容】生きている中で、他者の助けを全く借りないということはなく、また、他者からの援助要請を受けることもある。援助にまつわる心理をあらゆる側面から検討し理解していく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K
第6回	【テーマ】メディアを通したコミュニケーション 【計画内容】人間関係は対面ばかりでなく、近年のインターネットの発達により種々のデジタル機器を介してのやりとりが増えてきている。その諸特徴について理解を深めていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K	第14回	【テーマ】人間関係の中にいる自分自身の理解 【計画内容】人間関係においてイライラしている時、実は自分自身の心の動きが原因となっていることがある。自分自身の心理について知る方法について紹介していく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K
第7回	【テーマ】集団の中でのふるまい 【計画内容】人間関係においては、1対1での関係と集団における関係とは異なる性質を持っている。集団がもたらす人間関係の特徴について理解を深めていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K	第15回	【テーマ】よりよい人間関係を保つために 【計画内容】第14回までに学んだことをふまえ、人間関係について心理学から得られた知見を再確認し、良好な人間関係づくりの指針を得る。 【授業時間外の学修内容】第14回までの配付資料を復習しておくこと。	A・K
第8回	【テーマ】集団間での利害の対立 【計画内容】集団と集団における人間関係がもたらす、集団内で起こる現象や集団間での対立などについて取り上げ、理解を深めていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K			

テキスト	講義資料を配付します。
参考書	吉田敏和・橋本剛・小川一美編、2012年、『対人関係の社会心理学』、ナカニシヤ出版、9784779506932 藤本忠明・東正訓編、2004年、『ワークショップ人間関係の心理学』、ナカニシヤ出版、9784888488334

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	教育相談機関、大学学生相談室、企業内健康管理部門、EAP 機関における心理相談業務。
	科目との関連	実務経験をもとに実践に即した指導を行う。

質問への対応	メールにて受け付けます。E-Mail:kosaka@hokusho-u.ac.jp
資格	[教][芸]社会教育主事_選必 [心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必、社会教育主事_選必
その他	私語や携帯電話の着信音を鳴らすなど、他の学生が講義を受ける権利を侵害する行為を一切禁止します。守れない場合には受講態度評価に加味します。

科目名	乳幼児心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	新川　貴紀				

授業の目的		
	ねらい	この講義では、人生の最初期である乳幼児期の発達（身体発達、認知発達、言語発達、社会性の発達など）について学習します。その際、乳幼児の発達が、彼らを取り囲む社会的文脈（対人環境、社会・文化的環境）との接触の中で成し遂げられていくものだという視点を強調します。
	到達目標	(1)乳幼児期の発達的変化について、さまざまな側面から理解する。 (2)乳幼児期の発達に関する代表的な理論や概念について理解する。 (3)乳幼児期の発達を、社会的文脈との関連性において理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】本講義のガイダンス 【計画内容】講義の進め方と、成績評価の仕方について説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A・G	第9回	【テーマ】乳幼児期の発達と異文化 【計画内容】言語発達や社会性の発達を、異文化との接触という視点から考える。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L
	第2回	【テーマ】乳幼児心理学が射程に入れるもの 【計画内容】乳幼児に関する発達研究の歴史と現状について説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L	第10回	【テーマ】乳幼児期における特定の他者との愛着形成 【計画内容】乳幼児期において、特定の他者との人間関係がどのように形成されるのか、主に愛着（アタッチメント）の形成と発達に関する理論に基づいて説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L
	第3回	【テーマ】乳幼児期の身体と運動の発達 【計画内容】乳幼児期の身体構造と運動機能の発達について説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L	第11回	【テーマ】乳幼児期の遊び(1) 【計画内容】乳幼児期の遊びの発達的変化について、その遊びの形態または内容の変化という観点から説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L
	第4回	【テーマ】乳幼児期の認知機能の発達(1) 【計画内容】乳幼児期の感覚・知覚機能（主に視覚機能と聴覚機能）の発達について説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L	第12回	【テーマ】乳幼児期の遊び(2) 【計画内容】子どもの遊びを支える要素としての「道具」の意義について考える。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L
	第5回	【テーマ】乳幼児期の認知機能の発達(2) 【計画内容】乳幼児期の知的機能の発達について、代表的な発達理論の一つであるピアジェの認識発達論を軸に説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L	第13回	【テーマ】乳幼児期の発達における社会・文化的要因の影響 【計画内容】乳幼児期の発達に、社会・文化的要因がどのような影響を及ぼすのか、比較文化的視点から説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L
	第6回	【テーマ】乳幼児期の発達に影響を及ぼす要因：遺伝か環境か 【計画内容】乳幼児期の発達はどのような要因に規定されるのか、心理学において長年にわたって議論されてきた「遺伝 対 環境」という対立軸に基づいて説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L	第14回	【テーマ】発達の代表的理論 【計画内容】心理学における代表的な発達理論（ピアジェ、フロイト、エリクソン、ヴィゴツキーなど）を紹介する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L
	第7回	【テーマ】乳幼児期の言語発達(1) 【計画内容】「ことば以前」の世界から、語彙・文法の獲得、会話の理解へと至る乳幼児期の言語発達の道筋について説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L	第15回	【テーマ】本講義のまとめ 【計画内容】これまでの講義を振り返り、改めて乳幼児期の発達の意義について説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L
	第8回	【テーマ】乳幼児期の言語発達(2) 【計画内容】なぜ乳幼児は複雑で膨大な言語体系を生後数年間の間に理解できるようになっていくのか、言語獲得に関するいくつかの理論について説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	内田伸子、2008年、『幼児心理学への招待 - 子どもの世界づくり』、サイエンス社、9784781911823 若井邦夫・高橋道子・高橋義信・堀内ゆかり、2006年、『グラフィック乳幼児心理学』、サイエンス社、4781911374

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		70%	
	補足			最終レポート		小レポート	

課題に関するフィードバックの方法	毎回の小レポートについては次の講義開始時にフィードバックを行います。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必
その他	

科目名	福祉心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐藤　至英				

授業の目的		
	ねらい	今日の福祉問題に関する心理学的研究は始まったばかりであり、いまだに未開拓な面が多い。本講義では、福祉現場において生じる問題及びその背景を理解したうえで、社会福祉学と心理学の学際的研究領域である福祉心理学とはどのような学問なのか、福祉的対応がどのような心理的影響を与えるのかについて明らかにすることを目的とする。具体的には、福祉的対応を必要とする人々の心理的特性ならびに福祉的対応に役立つ心理的技法、そして福祉現場におけるチームマネジメント、心理社会的課題、チームで働くための基盤となるコミュニケーション及び必要な支援などについて、いくつかの事例をもとに学ぶ。
	到達目標	(1)福祉心理学とは何かを理解する。 (2)対人援助における心理的支援について、基本的な理解を得る。 (3)対人援助における心理的援助の方法について、基本的な理解を得る。

授業の計画						
第1回	【テーマ】福祉心理学とは何か 【計画内容】福祉心理学の定義、Welfare の意味、福祉のための心理学とは何か、幸せとは何かについて理解する。 【授業時間外の学修内容】目的と目標の違い、見えるものではなく見えないものの価値について考える。	A・L	第9回	【テーマ】対人援助を支える高齢者の心の理解(1) 【計画内容】喪失体験からの回復、ジェノグラム、エコマップ、老いることの意味について理解する。 【授業時間外の学修内容】老いることの意味を考える。	A・L
第2回	【テーマ】対人援助を支える乳幼児期・児童期の心の理解 【計画内容】リレーションの大切さ、ほめるとしかるのポイント、何にフォーカスするかについて体験を通して学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ほめるとしかるのポイントは何かを考える。	A・L	第10回	【テーマ】対人援助を支える高齢者の心の理解(2) 【計画内容】エリクソンの発達課題「統合と絶望」、脚本分析について理解する。 【授業時間外の学修内容】人生の最後において思うこと、何が幸せかを考える。	A・L
第3回	【テーマ】対人援助を支える青年期の心の理解(1) 【計画内容】エゴグラム、子どもと大人の違い、アイデンティティの確立について理解する。 【授業時間外の学修内容】子どもと大人の違いは何かを考える。	A・L	第11回	【テーマ】対人援助の技術(1) 【計画内容】カウンセリングマインド、カウンセリングモデル、よりそうことの意味について理解する。 【授業時間外の学修内容】カウンセリングとは何かを考える。	A・L
第4回	【テーマ】対人援助を支える青年期の心の理解(2) 【計画内容】就職を考える。アイデンティティ・ステータス、自立とは何かについて理解する。 【授業時間外の学修内容】自立とは何かについて考える。	A・L	第12回	【テーマ】対人援助の技術(2) 【計画内容】問題の理解、心理テストの実際、解釈と質問の意味について、体験を通して理解する。 【授業時間外の学修内容】事前に心理テストを行う。	A・L
第5回	【テーマ】対人援助を支える青年期の心の理解(3) 【計画内容】結婚を考える。人はなぜ好きになるのか、好きになる理論について理解する。 【授業時間外の学修内容】人はなぜ好きになるのか、なぜ結婚するのかを考える。	A・L	第13回	【テーマ】対人援助の技術(3) 【計画内容】小さく始めることの意味、スモールステップ法、目標の設定、目標の実行、人は変われるかについて理解する。 【授業時間外の学修内容】人は変われるかについて考える。	A・L
第6回	【テーマ】家族を支える(1) 【計画内容】代表的な家族システム理論、バランスとは、機能不全の家族とは何か、虐待について理解する。 【授業時間外の学修内容】家族とは何かを考える。	A・L	第14回	【テーマ】対人援助の技術(4) 【計画内容】オープンマインド、長いスパンで考えることの意味について理解する。 【授業時間外の学修内容】オープンマインドとは何かを考える。	A・L
第7回	【テーマ】家族を支える(2) 【計画内容】家族関係測定尺度を通して、親子関係、家族間のコミュニケーションについて理解する。 【授業時間外の学修内容】親子関係、家族間のコミュニケーションについて考える。	A・L	第15回	【テーマ】これからの福祉心理学 【計画内容】福祉心理学の課題、福祉心理学の基本原則を日常生活に適用することについて理解を深める。 【授業時間外の学修内容】福祉心理学の基本原則をどのように日常生活に適用するかを考える。	A・L
第8回	【テーマ】離婚・配偶者の死を考える 【計画内容】離婚の研究、配偶者の死からの回復、悲嘆過程について、事例をもとに理解する。 【授業時間外の学修内容】離婚・配偶者の死を考える。	A・L			

テキスト	プリントを配付します。
参考書	岡田明・宮本文雄・中山哲志、2002年、『福祉心理学 - 援助を必要とする人のために -』、ブレーン出版、4892426881 佐藤泰正・中山哲志・桐原宏行、2011年、『福祉心理学総説』、田研出版、9784860890308

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		60%	
	補足			中間		平時	

課題に関するフィードバックの方法	Teams とポータルにて、行います。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	Teams ならびに Forms にて、質問を受け付けます。
資格	[教][芸][ス]社会教育主事_選必　[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必、社会教育主事_選必 [健]介護福祉士_必修、社会教育主事_選必
その他	15回全て、オンデマンドにて授業を行います。Teams をチェックするようにしてください。

科目名	社会学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	松下　守邦				

授業の目的

ねらい

社会学は、「人々の社会とは何か」を明らかにする、社会科学の学問のひとつです。人間生活を扱うことから、経済学や政治学、社会福祉学にも近い領域の学問です。社会学は独自の視点として、社会関係、社会的行為、社会集団、社会構造、社会変動などの考え方(概念)を使って説明をします。個人と社会、家族社会、地域社会、産業労働社会、福祉社会など、ミクロからマクロの現代社会における人間関係、ジェンダー、社会階層と格差、少子化と高齢化など、社会事象の特質について学ぶことをねらいとします。

到達目標

(1)社会学の基本的概念を理解し、説明(記述)ができる。
(2)社会事象を社会学の基本的用語を使い、説明(記述)ができる。
(3)現代の社会事象について、その問題点と対策を、説明(記述)ができる。
(4)知識の外化(3手法:書く、話す、発表する)を使い、表現ができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】授業のガイダンスと社会学への招待 【計画内容】教材(テキスト、配付プリント)、作業課題(ワークシート、レポートの作成提出)、授業の振り返りなど、授業形態とその対応について説明をします。テキスト、社会という言葉、社会学の歴史について学習します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第1章を読み、予習してください。能動的ノートのとり方(国語辞書編纂者、飯間浩明氏 twitter 記事)、大学講義ノートの取り方(佐藤望氏動画)などを参考にしてください。 飯間浩明氏　twitter　(2015,April,11)"「板書をスマホで撮影してノートに代える」学生についての意見 " https://twitter.com/IIMA_Hiroaki/status/586525324088774657/photo/1　(2021.02.01確認) 佐藤望氏　動画　https://www.youtube.com/watch?v=xrSBW8NLDaA　(2021.02.01確認)	A	第9回	【テーマ】産業労働の社会学 【計画内容】労働、職業について学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第9章を読み、予習してください。	A
第2回	【テーマ】社会学の発想 【計画内容】社会学的説明の基礎、「常識を疑うこと」について学習します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第2章を読み、予習してください。	A	第10回	【テーマ】社会福祉の社会学 【計画内容】社会福祉、社会保障、福祉社会について、学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第12章を読み、予習してください。	A
第3回	【テーマ】社会調査と計量社会学 【計画内容】社会調査、データ、インタビューにより社会事象を分析することについて学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章、第4章を読み、予習してください。	A	第11回	【テーマ】障害の社会学 【計画内容】障がい者、障害者、自立生活、アート活動について学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第13章を読み、予習してください。	A
第4回	【テーマ】社会学の基本的概念 【計画内容】社会学の専門用語、学術概念の捉え方について学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第5章を読み、予習してください。	A	第12回	【テーマ】ジェンダーの社会学 【計画内容】ジェンダー、性別役割について学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第15章を読み、予習してください。	A
第5回	【テーマ】現代の家族 【計画内容】家族の形態、家族の機能、産業と家族、専業主婦、三歳児神話について学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第6章を読み、予習してください。	A	第13回	【テーマ】第2回　ワークシートの作成、振り返り 【計画内容】本授業(第8回から第12回)の学習内容について、理解をたしかめるワークシートの作成、提出をおこないます。 【授業時間外の学修内容】テキストと配付資料を読み、準備学修をしてください。	K・L
第6回	【テーマ】第1回　ワークシートの作成、振り返り 【計画内容】本授業(第1回から第5回)の学習内容について理解をたしかめるワークシートの作成、提出をおこないます。 【授業時間外の学修内容】テキスト(第1章から第6章)と配付資料を読み、準備学修をしてください。	K・L	第14回	【テーマ】社会学の学術論文を読む 【計画内容】学術論文のスタイル、研究成果について学びます。アカデミック・ライティング(学術論文スタイル)は、概念の定義づけ、引用表現、文献リストの作成をおこなう型を理解し、研究成果を確認します。 【授業時間外の学修内容】配付資料を予習してください。	J
第7回	【テーマ】視聴覚教材の視聴 【計画内容】視聴覚教材にでてくる社会事象について、学習した社会学概念を用いて分析、説明することを学びます。 【授業時間外の学修内容】本授業(第1回から第5回)であつかった社会学概念について、テキスト、資料の確認をしておきましょう。	J	第15回	【テーマ】視聴覚教材の視聴、授業全体のまとめ 【計画内容】視聴覚教材にでてくる社会事象について、学習した社会学概念を用いて分析、説明することを学びます。授業内容の全体についてまとめをおこない、確認をおこないます。 【授業時間外の学修内容】本授業(第1回から第14回)であつかった社会学概念について、テキスト、資料の確認をしておきましょう。	J・L
第8回	【テーマ】都市の社会学 【計画内容】人口の密集、匿名性、1人暮らし社会、都市の多様性と課題について学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第7章を読み、予習してください。	A			

テキスト	酒井千絵・永井良和・間淵領吾、2018年、『基礎社会学　新訂第4版』、政界思想社、9784790717164
参考書	日本社会学会、2010年、『社会学事典』、丸善、9784621082546 田中正人編・香月孝史、2019年、『社会学用語図鑑』、プレジデント社、9784833423113 友枝敏雄・浜日出夫・山田真茂留編、2017年、『社会学の力　最重要概念・命題集』、有斐閣、9784641174306 井下千以子、2019年、『思考を鍛えるレポート・論文作成法　第3版』、慶應義塾大学出版会、9784766425772

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			90%		10%	
補足			課題評価(ワークシートレポート)			

課題に関するフィードバックの方法	ワークシート提出課題(授業第6回、第13回)のフィードバックを、提出後の授業にておこないます。全体の振り返りは15回授業のまとめにておこなう予定です。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	大学交付の学生メールアドレスを使い、教員宛メールアドレス(大学交付教員メールアドレス)へメール送信してください。私用メールアドレスは、教員が受信する際、迷惑フォルダーに入ることがあるため、大学交付学生メールアドレスで作成送信して下さい。
資格	[教]社会福祉主事_選必　[健]介護福祉士_選必、社会福祉主事_選必
その他	ていねいに深く学びつづけることを大切にします。授業は全15回で修了します。成績評価は、ワークシート(学習範囲の理解をたしかめるための作業、第6回、第13回授業)、レポート(授業内容の理解を確認する「説明型レポート」、社会学概念と資料を利用して自分の主張を述べる「論証型レポート」、第7回、第15回授業)によりおこないます。学び方、評価方法などは第1回授業にて説明をおこないます。授業状況によりシラバス修整となる場合には、皆さんにシラバス修整版を提示いたします。

科目名	ファッションデザイン概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	大信田　静子、冨田　玲子				

授業の目的		
	ねらい	ファッションデザインは、形、色彩、素材、更には作り方と着こなしがあり完成する。そして、そのデザインが歴史を作り変わり続ける。ファッションの持つ社会的役割が、どのように変化していったかを検証し、ファッションをどのように生活の中で役立てていけば良いのかを考える。衣服とは何か？自分らしさとは何か？を一緒に考える。
	到達目標	(1)日常生活の中での衣服・ファッションとは何かを考え、基礎的要素のデザインから入り、造形・色彩のセオリーを通して内面的・外面的な美しさを学ぶ。 (2)様々なフォーマルシーン(慶弔別)におけるフォーマルウエアーのルール・マナーが理解できる。 (3)ファッションデザインの意義と可能性を理解する。 (4)ファッション分野の科目を履修する上で指針となる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の紹介をし、15回の講義展開を説明します。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】20世紀のファッション①洋装における昼のフォーマルシーン 【計画内容】男女別に正礼装、準礼装、略礼装について、オケージョンに合わせたドレスコードを理解します。(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A
第2回	【テーマ】衣服・ファッションとは 【計画内容】衣服はいつから始まり、どのような衣類を纏っていたのでしょうか。歴史も含めながらみていきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】ファッションについて考えておくこと。	A	第10回	【テーマ】20世紀のファッション②洋装における夜のフォーマルシーン 【計画内容】男女別に正礼装、準礼装、略礼装について、オケージョンに合わせたドレスコードを理解します。(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A
第3回	【テーマ】衣服・ファッションと身体について① 【計画内容】人はなぜ洋服を着用するのか。歴史的な被服と身体装飾から探っていきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A	第11回	【テーマ】20世紀のファッション③洋装における喪服シーン 【計画内容】男女別に正礼装、準礼装、略礼装について、オケージョンに合わせたドレスコードを理解します。(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A
第4回	【テーマ】衣服・ファッションと身体について② 【計画内容】衣服の目的としての実用性と表現、身体保護と機能性を考えていきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A	第12回	【テーマ】まとめと確認ならびにレポート提出 【計画内容】第8回－第11回までの内容についてまとめ、レポートを提出します。(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A
第5回	【テーマ】衣服・ファッションと身体について③ 【計画内容】ファッションが人に及ぼすイメージと色彩及び錯視についてみていきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A	第13回	【テーマ】20世紀のファッション④制服 【計画内容】制服から発展した現代ファッションを世界に送り出してきたトラディショナル・スタイル(メンズスタイル)について学びます。(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A
第6回	【テーマ】衣服・ファッションと身体について④ 【計画内容】衣服の外面的・内面的美しさと個性について考えていきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を熟読しておくこと。	A	第14回	【テーマ】20世紀のファッション⑤デザインの源泉 【計画内容】ヴィオネと三宅一生の発想と展開について学びます。(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A・B
第7回	【テーマ】まとめとレポート提出 【計画内容】第2回－第6回までの内容についてまとめ、レポートを提出します。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を熟読しておくこと。	G	第15回	【テーマ】まとめとレポートについて 【計画内容】これまでのまとめと確認を行います。(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】プリントを読み復習しておくこと。	A・L
第8回	【テーマ】ファッションをデザインする 【計画内容】服飾に関するデザインのプロセスについて学び、ファッションにおける大切な要素について考えます。(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A			

テキスト	2013年、『フォーマルウエアー・ルールブック』、日本フォーマルウエアー協会 プリントを使用します。
参考書	ジョアン・フィンケルシュタイン 成実弘至訳、2007年、『ファッションの文化社会学』、せりか書房、9784796702799 ベティ・カーク、2002年、『VIONNET』、求龍堂、9784763097309

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足			レポート		平時	

課題に関するフィードバックの方法	ファッション分野の科目を履修する上で指針となるデザインが歴史を作り変わり続ける。ファッションの持つ社会的役割が、どのように変化していったか、レポートによるフィードバックを行い学習に対する理解の一助となるようにする。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	大信田静子　630研究室 E-Mail:shisieva@hokusho-u.ac.jp 冨田玲子　640研究室 E-Mail:reiko@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	

科目名	インテリアデザイン	授業形態	演習	単位数	2
教員名	千里　政文				

授業の目的

ねらい	インテリアデザインを学習する上で必要な、基本的知識の習得を目的とする。インテリアデザインの成立要素、人体寸法、インテリアと人間工学、内装材料、モジュールと工業化、室内環境の要素、室内環境と法規において理解し、インテリアデザインの基本的手法を習得する。
到達目標	(1)本講義は、インテリアにおけるデザインの基礎を修得することを目標とする。 (2)本講義を通じて、インテリアデザインのための必要な知識と技術を身に付ける。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション インテリアデザインとは 【計画内容】講義内容を具体的に説明する。 【授業時間外の学修内容】関連する分野の資料を事前に確認し、講義ノートを1冊用意しておくこと。	A・B	第9回	【テーマ】展開図とその表現法 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B
第2回	【テーマ】インテリア計画と人体寸法(モジュールと尺貫法) 【計画内容】インテリア計画と人体寸法(モジュールと尺貫法)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B	第10回	【テーマ】子ども部屋におけるインテリアの工夫事例と遠近法スケッチの小演習 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B
第3回	【テーマ】インテリア計画と内装材料(床・壁・天井) 【計画内容】インテリア計画と内装材料(床・壁・天井)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B	第11回	【テーマ】子ども部屋における色彩等の工夫事例と遠近法スケッチの小演習 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B
第4回	【テーマ】インテリア計画と構造・構法・建具・住宅設備 【計画内容】インテリア計画と構造・構法・建具・住宅設備について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B	第12回	【テーマ】展開図と3次元の表現法の小演習 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B
第5回	【テーマ】インテリア計画と法規 【計画内容】インテリア計画と法規について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B	第13回	【テーマ】理想のマイルームの小演習 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B
第6回	【テーマ】インテリア計画と室内環境(シックと換気) 【計画内容】インテリア計画と室内環境(シックと換気)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B	第14回	【テーマ】小演習とプレゼンテーションの仕方 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B
第7回	【テーマ】インテリアデザインの手法 【計画内容】インテリアデザインの手法について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B	第15回	【テーマ】小演習の発表プレゼンテーション 【計画内容】完成した小演習課題をプレゼンテーションする。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B
第8回	【テーマ】平面図とその表現法 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B			

テキスト	Airprah、2014年、『超図解で全部わかるインテリアデザイン入門』、エクスナレッジ、9784767818764
参考書	関連資料・演習用資料を適宜配付します 文部科学省、『中学校学習指導要領解説　美術編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説　芸術編』

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	1級建築士
	科目との関連	1級建築士として働いた知識を実践的教育に役立てている。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]中・高1種(美術)_必修、1・2級建築士_選択、インテリアプランナー_選必
その他	受講するには、指定の教科書を入手し、持参することが必要となります。

科目名	ユニバーサルデザイン	授業形態	講義	単位数	2
教員名	千里　政文				

授業の目的		
	ねらい	建築計画をユニバーサルデザインの視点を取り入れ学ぶ。少子超高齢社会に対応するための、保育園・幼稚園、小・中・高校、各種学校、高齢者施設・医療施設をはじめ都市計画について学び、多くの人々に使いやすく、多様なニーズに対応可能な、これからの社会に対応できる建築計画について習得する。
	到達目標	(1)建築基準法「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー新法)」から、少子超高齢社会に対応した建築計画を学ぶ。 (2)建築家ロン・メイスによる提案された「アクセスしやすい建築」の視点、すなわちユニバーサルデザインから建築計画を学ぶ。 (3)人体寸法・動線計画、集住計画・高齢者施設・グループホーム・医療施設・学校教育施設・地域コミュニティ施設等について学ぶ。 (4)本授業を通じて、少子超高齢社会に対応できる建築計画の知識と技術を身に付ける。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】建築計画における国土交通省の取り組みについて 【計画内容】建築計画における国土交通省の取り組み：バリアフリー新法(高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関連する分野の資料を事前に学習し、講義ノートを1冊用意しておくこと。	A	第9回	【テーマ】認知症高齢者グループホームと障害者グループホームの建築計画 【計画内容】認知症高齢者グループホームと障害者グループホームの建築計画について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A
	第2回	【テーマ】アクセスしやすい建築(建築家ロン・メイスとユニバーサルデザイン) 【計画内容】アクセスしやすい建築について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	第10回	【テーマ】医療施設(病院・診療所) 【計画内容】医療施設(病院・診療所)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A
	第3回	【テーマ】建築計画と人体寸法(乳児から後期高齢者まで) 【計画内容】乳児から後期高齢者までの人体寸法について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	第11回	【テーマ】学校教育施設と地域コミュニティ計画(小学校・中学校、保育所・幼稚園建築と都市計画) 【計画内容】学校教育施設と地域コミュニティ計画について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A
	第4回	【テーマ】高齢者・身体障害者に対応した細部計画(動作寸法、廊下・階段の計画、バリアフリーデザイン、ユニバーサルデザイン) 【計画内容】動作寸法、廊下・階段の計画、バリアフリーデザイン、ユニバーサルデザインについて具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	第12回	【テーマ】加齢に伴う建築計画(色の識別変化と色彩計画、照明計画) 【計画内容】加齢に伴う建築計画について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A
	第5回	【テーマ】超高齢社会のための建築計画(在宅介護を可能にする建築計画) 【計画内容】高齢になっても対応可能な住宅計画を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	第13回	【テーマ】住宅・都市のバリアフリー計画(少子超高齢社会への対応) 【計画内容】住宅・都市のバリアフリー計画について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A
	第6回	【テーマ】少子超高齢社会における動線計画 【計画内容】少子超高齢社会における動線計画について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	第14回	【テーマ】都市計画(ノーマライゼーション・コンパクトシティー含) 【計画内容】都市計画について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A
	第7回	【テーマ】集住計画(集合住宅、シェアハウス、世代間交流) 【計画内容】集住計画について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	第15回	【テーマ】本授業のまとめ 【計画内容】本授業で学び習得してきた内容について振り返り、授業全体をまとめつつ、これからの建築計画のあり方を考える。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習内容を再確認しておくこと。	A
	第8回	【テーマ】高齢者施設(高齢者施設の種類、サービスの種類、各部門の計画) 【計画内容】高齢者施設について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A			

テキスト	『人にやさしい北国のユニバーサルデザイン 』
参考書	自作プリントを配付します。 〈建築のテキスト〉編集委員会編、2000年、『初めての建築計画(建築のテキスト)』、学芸出版社、9784761530907 福田健策著、2003年、『専門士課程建築計画』、学芸出版社、9784761523046

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	1級建築士
		科目との関連	1級建築士として働いた知識を実践的教育に役立てている。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]1級建築士_必修・2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必
その他	受講するには、指定の教科書を入手し、持参することが必要となります。

科目名	音楽概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	岡元　敦司				

授業の目的

ねらい	音楽の基本理念とその知識を定着化させ、『音楽』の歴史を考察する。音楽の三要素『旋律』『ハーモニー』『リズム』の成り立ち、楽曲における記号や詩を読解し、表現方法としての声や楽器の種類、構造と発音原理など、様々な角度から学びます。
到達目標	(1)歴史的背景を踏まえて音楽基礎の理論を理解する。 (2)音楽と詩の関係性を学び、楽譜と言葉について理解する。 (3)様々な楽器の種類を学び、その多様性と新しい音楽の創造ができるように工夫する。

授業の計画

第1回	【テーマ】講義ガイダンスと生活に関わる音 【計画内容】生活における様々な音の在り方を探り、その音の性質をいくつかあげる。生活における音と音楽との違いを考察しながら、音楽の歴史と成り立ちを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】生活における音をいくつかノートに書き出してくること。	A	第9回	【テーマ】オーケストラと室内楽について 【計画内容】古典派音楽からオーケストラ譜面と室内楽譜面の違いと、演奏スタイルについて学ぶ。指揮者の仕事について考察しながら音楽をまとめる力について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指揮者の仕事について考えられることをノートにいくつか書き出しておくこと。	A
第2回	【テーマ】私たちの様々な音楽 【計画内容】西洋における音楽の成り立ちと我が国における音楽を比較しながら、各国にある様々な音楽とその種類を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】それぞれ気に入った音楽とその特徴を調べてくること。	A	第10回	【テーマ】オペラについて 【計画内容】声の仕組み、声種について学びながら、オペラと能、様々な歌劇の形を比較分析する。総合芸術としての舞台の仕組みやその役割を考察する。 【授業時間外の学修内容】知っているオペラについてその内容を説明できるようにしておくこと。	A
第3回	【テーマ】楽譜を読む力・書く力 【計画内容】譜面が伝えることについて考察する。その歴史を捉えながら、楽譜に必要な記号、またその読み方を学び、様々な自筆譜面とその特徴についてもディスカッションをする。 【授業時間外の学修内容】音楽記号を五線紙ノートにいくつか書き出してくること。	A	第11回	【テーマ】ピアノと歌曲について 【計画内容】ロマン派における作曲作品のピアニストと歌手の役割とその芸術性について探る。古典詩を読み取りながら、現代に繋がるメッセージを探る。 【授業時間外の学修内容】歌曲について調べてくること。	A
第4回	【テーマ】旋律を支える音階 【計画内容】音楽史から捉えた様々な音階を取り上げ、その旋律の特徴と言葉の関係を学ぶ。音楽の三要素の1つ『旋律』の例を挙げてその特徴と成り立ちを学習する。 【授業時間外の学修内容】気に入った旋律を五線紙ノートに書いてくること。	A	第12回	【テーマ】新しい音楽の世界 【計画内容】印象派音楽、未来を創造する音楽の在り方と現代音楽について学ぶ。新しい音楽について鑑賞、様々な音楽ジャンルを学習する。 【授業時間外の学修内容】新しい音楽について、その種類を考察してくること。	A
第5回	【テーマ】ハーモニーとその歴史 【計画内容】音楽史から捉えた和声の歴史を学びながら、音楽の三要素の1つである『ハーモニー(和声)』の性質を分析する。 【授業時間外の学修内容】気に入った和声を五線紙ノートに書いてくること。	A	第13回	【テーマ】日本の音楽、その演奏形態、スタイルについて 【計画内容】我が国で作られた様々な作曲作品を取り上げながら、その演奏形態とスタイルを提案する。 【授業時間外の学修内容】好きな日本の曲ををノートに書き出してくること。	A
第6回	【テーマ】リズムと言葉の成り立ち 【計画内容】各国の言語におけるイントネーションの仕組みを捉えながら、音楽の三要素『リズム』の成り立ちを学ぶ。詩とリズムの関連性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】気に入った詩を五線紙ノートに書いてくること。	A	第14回	【テーマ】日本歌曲について 【計画内容】我が国の詩について本来の意味を知り、適切な表現方法を考える。 【授業時間外の学修内容】音楽で使用されることばを予習してくること。	A
第7回	【テーマ】音楽の三要素についての振り返りと調性について 【計画内容】音楽の三要素について振り返り、確認し理解を深める。 【授業時間外の学修内容】これまでに学んだ旋律、ハーモニー、リズム(詩)をまとめてくること。	A・G	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】音楽の三要素、音楽記号、調性、音楽用語について、オペラもしくはオーケストラについての小論文、新しい音楽の在り方を考えた小論文を時間内に用紙にまとめる。 【授業時間外の学修内容】これまでのノートの復習をしておくこと。	A・G
第8回	【テーマ】楽器の種類とその音について 【計画内容】ルネサンス期における弦楽器、管楽器、打楽器、鍵盤楽器の特徴を学ぶ。オーケストラ楽曲の中でどのようなパートを受け持っているのかを聞き分ける。 【授業時間外の学修内容】好きな楽器の特徴をノートに書いてくること。	A			

テキスト	講義時に説明をします。
参考書	講義時に説明をします。

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	30%		20%		30%	20%
補足	試験		レポート課題		平常時	課題発表

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	声楽家
	科目との関連	声楽家として歌曲、オペラの演奏を続けている。

質問への対応	適宜対応をする。843研究室　okamoto3@wm.hokusho-u.ac.jp
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修
その他	ある程度楽譜を読めること。五線紙ノート、授業ファイル(A4)を用意すること。

学部共通科目

科目名	教育文化学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	風間　雅江、小室　晴陽、西出　勉、林　亨				

授業の目的	
ねらい	グローバル化と情報化が進み変動がすさまじい現代社会において、乳幼児から高齢者に至るあらゆる年齢層の人々が生き生きと豊かな生活を送るには何が求められるのであろうか。本講義では、教育学、芸術学、心理学の各専門領域から、人間生活の真の豊かさとは何かを考えつつ、人間の幸福につながる教育的な取り組みや、幅広く奥深い芸術の力、および、人間の心の理解について学んでいく。
到達目標	(1)教育学の観点から、未来を担うこどもたちへの教育的かかわりや地域生活における文化の継承について学ぶ。 (2)芸術学の観点から、人間の精神生活を豊かにするアートの力について多面的に学ぶ。 (3)心理学の観点から、幸福感とは何か、どのような要因が幸福感に影響をおよぼすのかについて多面的に学ぶ。

授業の計画						
第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】講義の目的・内容および成績評価方法の説明、提出するレポートの課題に関する説明を行う。(全教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A・K	第9回	【テーマ】教育文化学における教育学の意義 【計画内容】教育学の意義と、教育学を学ぶことの意味を考察する。(西出勉) 【授業時間外の学修内容】配付資料をあらかじめ読んでおくこと。	A・K
第2回	【テーマ】教育文化学における芸術(アート)の意義 【計画内容】以下の3つの小テーマについて学ぶ。1. 教育文化学とは何か。 2. 芸術を学ぶことの意味について～なぜ芸術を学ぶの？ 3. 芸術の概要について～芸術とアートって違うの？(林亨) 【授業時間外の学修内容】配付プリント記載の課題などについて学習を深めること。	A・K	第10回	【テーマ】教育文化学における教育学の役割 【計画内容】教育学の社会的役割と基本的な構造を学ぶ。(西出勉) 【授業時間外の学修内容】配付プリント記載の課題などについて学習を深めること。	A・K
第3回	【テーマ】教育文化学における芸術(アート)の役割 【計画内容】以下の3つの小テーマについて学ぶ。1. 漢字から考えるイメージ・ことば・身体性 2. 芸術の基本的な構造と社会的役割について 3. 芸術の様式やジャンルについて(林亨) 【授業時間外の学修内容】配付プリント記載の課題などについて学習を深めること。	A・K	第11回	【テーマ】教育文化学における教育学の実際 【計画内容】教育学の領域や歴史について学ぶ。(西出勉) 【授業時間外の学修内容】配付プリント記載の課題などについて学習を深めること。	A・K
第4回	【テーマ】教育文化学における芸術(アート)の実際 【計画内容】以下の3つの小テーマについて学ぶ。 1. 教育文化学部にある芸術～芸術学科ってどんな学科なの？ 2. 芸術の現在について 3. 芸術・教育・心理のつながりについて(林亨) 【授業時間外の学修内容】配付プリント記載の課題などについて学習を深めること。	A・K	第12回	【テーマ】教育文化学における教育学の現在と未来 【計画内容】教育学の今日的課題と可能性について学ぶ。(西出勉) 【授業時間外の学修内容】配付プリント記載の課題などについて学習を深めること。	A・K
第5回	【テーマ】教育文化における精神生活と幸福感 【計画内容】人間の心のはたらきのポジティブな側面に着目し、心理学の観点から、人間の幸福感に何が影響を及ぼすのかについて考える。(風間雅江) 【授業時間外の学修内容】配付プリント記載の課題などについて学習を深めること。	A・K	第13回	【テーマ】教育文化における「伝承」と「場」の意義と役割：住空間と家庭内教育 【計画内容】現代社会における“誕生や死の制度化、病院化社会・学校化社会”の問題を説明し、教育文化における住空間が果たす役割について“住まいの中の子供の居場所”を例に挙げ考察する。(小室晴陽) 【授業時間外の学修内容】配付プリント記載の課題などについて学習を深めること。	A・K
第6回	【テーマ】生涯発達と幸福感 【計画内容】心理学の発達理論と最近の幸福感研究の知見をふまえながら、幼児期から高齢期に至るまでの発達的変化について考える。(風間雅江) 【授業時間外の学修内容】配付資料をあらかじめ読んでおくこと。	A・K	第14回	【テーマ】教育文化の「場」としての学校建築と美術館・博物館の役割：空間的特徴と機能及び文化遺産継承の取組み 【計画内容】ユニークな学校建築や美術館・博物館の事例を紹介し、教育文化を実践する「場」のあり方について考察する。また、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録のための取組みについて解説する。(小室晴陽) 【授業時間外の学修内容】配付プリント記載の課題などについて学習を深めること。	A・K
第7回	【テーマ】幸福感の異文化比較 【計画内容】国や民族、文化によって、幸福感のあり方に違いあるのか、共通点と相違点について検討し、日本人の幸福感について心理学の観点から相対的に考える。(風間雅江) 【授業時間外の学修内容】配付資料をあらかじめ読んでおくこと。	A・K	第15回	【テーマ】教育文化における「メディア」の意義と役割：都市のモニュメント 【計画内容】札幌の歴史を伝承する都市モニュメントとしての“札幌市時計台”を例に挙げ、歴史・展覧のメディアとしてのモニュメントの果たす役割を考察する。また、札幌市が推進するメディアアーツ都市札幌の取り組みについて解説する。(小室晴陽) 【授業時間外の学修内容】配付プリント記載の課題などについて学習を深めること。	A・K
第8回	【テーマ】ウェルビーイング(well-being)とは？ 【計画内容】ウェルビーイングの状態にある人、すなわち、充実感や幸福感をもちながら暮らす人々の心のあり方はいかなるものであるのか、心理学でこれまで得られている知見を通して考える。(風間雅江) 【授業時間外の学修内容】配付資料をあらかじめ読んでおくこと。	A・K			

テキスト	適宜自作のプリントなどを使用します。
参考書	必要に応じてその都度指示します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	各担当教員ごとに、学んだ内容を振り返りながら、コメントを伝えます。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教][芸][心]社会教育主事_選必
その他	初回講義時に注意事項などを説明します。

科目名	芸術と心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	飯田　昭人				

授業の目的		
	ねらい	本講義における目的として、美術や音楽に代表される狭義の芸術だけでなく、人間の創造的営みとしての「技·芸·能·術」について、心理学的にアプローチする試みを行うことにある。 特に、熟達化をキーワードとし、芸術活動を行う際の人間の認知や情動過程を分析していくとともに、芸術療法についても触れていく。そして、狭義の「芸術活動」を超えた、よりよく生きるための「芸術」について問うていくものとしたい。
	到達目標	(1)さまざまな芸術領域における心理学的知見を理解することができる。 (2)さまざまな芸術領域における熟達化の過程について理解することができる。 (3)ダイバーシティ(多様性)を考える上での、「芸術」の多義性について理解することができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】15回の講義の流れと、芸術心理学の基礎としての多重知能理論について説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】精神分析 / ユング心理学と芸術 【計画内容】主に精神分析理論およびユング心理学の基礎理論について説明し、芸術分野との関連を考察していく。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んでおくこと。	A
	第2回	【テーマ】アートの心理学～ピカソ、ゴッホ、山下清を題材として 【計画内容】アートの心理学として、ピカソやゴッホ、山下清の作品を概観しながら、心理学的視点により考察していく。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】芸術療法体験 【計画内容】コラージュ療法および描画法を体験する。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んでおくこと。	A
	第3回	【テーマ】文芸の心理① 【計画内容】太宰治と三島由紀夫、村上春樹の世界観をもとに文芸の心理について考察していく。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】インフルエンサーの書籍等から自らの人生を生きることを考える 【計画内容】インフルエンサーの書籍等から自らの人生を生きることを考えるとし、5～7名の世の中に多大な影響を与えているインフルエンサーを取り上げ、その独創的な考え方に触れていく。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んでおくこと。	A
	第4回	【テーマ】短編映画から「生きる」ということを考える 【計画内容】短編映画3～4作品を視聴し、生について、また、生きるということを考察していく。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】自らの可能性を追求するワーク～マンダラアート 【計画内容】マンダラアートを体験し、自分の生き様について考えてみる。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んでおくこと。	A
	第5回	【テーマ】スポーツの心理学～メンタルトレーニングと一流剣士の心構え 【計画内容】メンタルトレーニングと一流剣士のエッセイから、スポーツ心理学を考える。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】芸術活動もしくは芸術近接活動と社会との接点① 【計画内容】芸術活動もしくは芸術近接活動がどう社会に位置付けられていくのかについて考察していく。ゲストスピーカーを呼ぶ場合がある。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んでおくこと。	A
	第6回	【テーマ】音楽の心理学～音楽心理学 / 失音楽症 / youtube やニコ動からの音楽 【計画内容】音楽心理学、失音楽症、サブカルチャーとしての youtube やニコニコ動画について心理学的視点から考える。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】芸術活動もしくは芸術近接活動と社会との接点② 【計画内容】第13回同様、芸術活動もしくは芸術近接活動がどう社会に位置付けられていくのかについて考察していく。ゲストスピーカーを呼ぶ場合がある。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んでおくこと。	A
	第7回	【テーマ】演劇の心理学 【計画内容】演劇の熟達者に焦点を当て、演劇の心理学について考察していく。後半は、短い時間だが、DVDで演劇を視聴していただく予定である。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んでおくこと。	A	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】本講義を振り返り、本講義で取り上げたさまざまな領域および考え方を受講者各自が総括していく。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んでおくこと。	A
	第8回	【テーマ】文芸の心理② 【計画内容】カズオ·イシグロの「Never Let Me Go(邦題:わたしを離さないで)」の世界観をもとに文芸の心理について考察していく。 【授業時間外の学修内容】配付資料を読んでおくこと。	A			

テキスト	配付資料を用います。
参考書	子安増生編、2005年、『芸術心理学の新しいかたち』、誠信書房、4414301629

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		20%	30%
	補足						小レポート

課題に関するフィードバックの方法	最終レポート課題により判定する。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	E-Mail:iida@hokusho-u.ac.jp　メールか747研究室に直接来室してください。
資格	

その他	私は芸術領域には精通しておりませんが、臨床心理士として、描画や箱庭療法などを施行してきました。 広い意味での芸術活動と心理学の関連について学んでいくことを目指します。 なお、講義のフィードバックに関しては、学生から提出された小レポートにコメントすることをもってあてます。 例年、受講して下さる学生が多いですが、他の学生に迷惑をかけず、学生の皆さんがこの講義をつくるという意気込みで受講していただきたいと思います。

科目名	生涯学習概論Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐々木　邦子				

授業の目的		
	ねらい	生涯学習の本質を理解し、生涯学習社会を実現するために人々の生涯にわたる学習活動を支援する方策を探る。さらに、社会教育の本質を理解し、いつでも、どこでもだれでもが学習できる条件整備のあり方などを探求する。
	到達目標	(1)生涯学習の理念と施策について理解する (2)社会教育の意義と展開について理解する (3)社会教育に関する法令について理解する

授業の計画						
	第1回	【テーマ】ガイダンス·生涯教育論の提唱について 【計画内容】P·ラングランのワーキングペーパなどを基に、ユネスコの生涯教育論について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ユネスコにおける生涯教育の位置づけについて調べていくこと	A	第9回	【テーマ】社会教育の歴史について(2) 【計画内容】戦後から現代までの社会教育の変遷を学ぶ 【授業時間外の学修内容】戦後の社会教育について調べておくこと	A
	第2回	【テーマ】生涯教育について 【計画内容】昭和56年の中央教育審議会答申「生涯学習について」を基に、我が国における生涯教育の考え方について学ぶ 【授業時間外の学修内容】文科省の昭和56年の中央教育審議会答申「生涯学習について」を予習しておくこと	A	第10回	【テーマ】社会教育行政について(1) 【計画内容】社会教育行政の意義と役割、組織について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】出身地の教育委員会における社会教育行政について調べておくこと	A
	第3回	【テーマ】生涯教育から生涯学習への移行について 【計画内容】臨時教育審議会の答申などを基に生涯教育から生涯学習への変遷について学ぶ 【授業時間外の学修内容】臨時教育審議会について調べておくこと	A	第11回	【テーマ】社会教育行政について(2) 【計画内容】社会教育行政と生涯学習の関係性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会教育行政と社会教育施設の関係性について調べておくこと	B·F
	第4回	【テーマ】生涯学習の意義と理念について 【計画内容】生涯学習の理念とその意義について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】生涯学習に関する文献等で生涯学習の意義について調べておくこと	A	第12回	【テーマ】社会教育関係団体について 【計画内容】社会教育関係団体と行政の関係性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会教育法第3章を一読のこと	A
	第5回	【テーマ】生涯学習関連行政と施策について 【計画内容】生涯学習と一般行政の関係と関連施策について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】一般行政における生涯学習推進体制を調べておくこと	A	第13回	【テーマ】社会教育関連の法令について(1) 【計画内容】日本国憲法、教育基本法、生涯学習振興法(略称)から生涯学習について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】日本国憲法第26条、教育基本法、生涯学習振興法(略称)を一読のこと	A
	第6回	【テーマ】生涯学習の推進体制について 【計画内容】生涯学習推進基本構想等から生涯学習推進体制の整備について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】北海道生涯学習推進本部について調べておくこと	A	第14回	【テーマ】社会教育関連の法令について(2) 【計画内容】社会教育法制定の意義とこれまでの法改正の経緯について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会教育法第2章、2章、4章を一読し、社会教育法改正の経緯を調べておくこと	A
	第7回	【テーマ】生涯学習の機会と形態について 【計画内容】生涯学習の機会の多様性とさまざまな学習形態を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】さまざまな学習形態について調べておくこと	B·F	第15回	【テーマ】社会教育関連の法令について(3) 【計画内容】図書館法並びに博物館法から、社会教育の目的や社会教育施設について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】図書館法、博物館法を一読のこと	B·F
	第8回	【テーマ】社会教育の歴史について(1) 【計画内容】明治期、大正期、昭和期(戦前)の社会教育の歴史について学ぶ 【授業時間外の学修内容】明治期、大正期及び昭和期の戦前までの社会教育について調べておくこと	A			

テキスト	講義時にプリントを配付します。
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%		30%		10%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	講義時に配付し講評する

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	講義時に個別に対応する
資格	[教]社会教育主事_必修、保育士_選必 [芸]社会教育主事_必修、学芸員_必修 [心]社会教育主事_必修
その他	将来、生涯学習学の研究者を目指す学生を求む 将来、地方公務員としての社会教育主事及び社会教育士を目指す学生を求む

科目名	生涯学習概論Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐々木　邦子				

授業の目的	
ねらい	「生涯学習概論Ⅰ」での学習を基礎に、さらに段階を進めて生涯学習及び社会教育の本質について探る。生涯学習が日本に導入されてから、我が国では社会教育主事の社会的価値づけがどのように変化をしたのか、そこに社会教育と生涯学習の関係性をみる。 生涯学習と社会教育について、社会教育主事の専門性と役割の視点から両者に対する学習を深化させる。
到達目標	(1)社会教育主事・社会教育指導者の役割について理解する (2)生涯学習社会と学校・家庭・地域等の連携や協働について理解する (3)生涯学習や社会教育活動による地域づくりを理解する

授業の計画						
第1回	【テーマ】社会教育主事について(1) 【計画内容】社会教育主事の法的な位置づけと職務について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会教育法第2章を一読のこと	A	第9回	【テーマ】生涯学習社会と家庭について(1) 【計画内容】生涯学習社会と家庭の役割・機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】家庭の役割について調べておくこと	A
第2回	【テーマ】社会教育主事について(2) 【計画内容】社会教育主事に求められる資質・能力、社会教育主事をめぐる課題について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会教育の専門的職員について調べておくこと	A	第10回	【テーマ】生涯学習社会と家庭について(2) 【計画内容】家庭教育の在り方と家庭教育支援のための条件整備について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】家庭教育の支援方策のあり方を調べておくこと	A
第3回	【テーマ】社会教育主事について(3) 【計画内容】自治体における社会教育主事の実践事例から、社会教育主事の職務の実際について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会教育主事の実践事例について調べておくこと	A	第11回	【テーマ】生涯学習社会と家庭について(3) 【計画内容】家庭教育に関する学習機会の提供について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】家庭教育の学習機会と方策を考えておくこと	B・F
第4回	【テーマ】社会教育指導者について(1) 【計画内容】狭義の意味での社会教育指導者(公民館主事・司書・学芸員・青少年教育施設職員)について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】公民館主事、図書館司書、博物館学芸員、青少年教育施設職員の職務について調べておくこと	B・F	第12回	【テーマ】学校・家庭・地域社会の連携について(1) 【計画内容】学校・家庭・地域が連携する意義や必要性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】学校・家庭・地域の連携事例を調べておくこと	B・F
第5回	【テーマ】社会教育指導者について(2) 【計画内容】広義の意味での社会教育指導者(社会教育委員・公民館運営審議会委員・図書館協議会委員・スポーツ推進委員等)について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会教育法第4章の社会教育委員について調べておくこと	A	第13回	【テーマ】学校・家庭・地域社会の連携について(2) 【計画内容】子どもたちの実態を踏まえた三者の連携の方策について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】学校、家庭、地域社会の三者連携の事例を調べておくこと	B・F
第6回	【テーマ】生涯学習社会について 【計画内容】生涯学習社会を構築する意義について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】臨時教育審議会の答申を一読すること	A	第14回	【テーマ】学校・家庭・地域社会の連携について(3) 【計画内容】学校と地域社会が連携した事業、親子共同体験活動について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】学校と地域社会が連携した親子共同体験活動について調べておくこと	A
第7回	【テーマ】生涯学習社会と学校について(1) 【計画内容】生涯学習社会における学校の役割について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】生涯学習における学校教育の関係性について、自分なりの考えをまとめておくこと	B・F	第15回	【テーマ】学校・家庭・地域社会の連携について(4) 【計画内容】学校を支援するボランティア等、多様な学校支援の在り方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】学校支援ボランティア等の実態を調べておくこと	A
第8回	【テーマ】生涯学習社会と学校について(2) 【計画内容】生涯学習の理念に基づく学校教育の主要な改革について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】生涯学習による学びと学校での学びを自分なりにまとめておくこと	B・F			

テキスト	講義時にプリントを配付します。
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	60%		30%		10%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	講義時に配付し講評する

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	講義時に個別に対応する
資格	[教][芸][心]社会教育主事_必修
その他	将来、生涯学習学の研究者を目指す学生を求む 社会教育主事(任用資格)取得、社会教育士資格取得に意欲のある学生を求む 「生涯学習概論Ⅰ」の単位を修得済みのこと

科目名	メディアデザイン概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	浅井　貴也、松澤　衛				

授業の目的	
ねらい	メディアデザインという分野をアナログとデジタルの観点から学習します。伝統的な芸術手法からICT(情報通信技術)がメディア(媒体)に影響を及ぼしているのかについて、それぞれの分野ごとに作品事例やケーススタディを用いて学びます。本科目は、メディアデザインを学習する上での第一歩として、メディアとは何か、デザインとは何かについての基礎を学びます。
到達目標	(1)これまでのアナログ的手法がメディアにどのように影響してきたのかを理解し、現在にあてはめて考えることができる。 (2)ICT(情報通信技術)がどのようにデザインを変えていったのかを理解できる。 (3)メディアの発展が今後デザインにどのような影響を与えるのか推測できる。 (4)メディアデザイン系科目を今後履修する上での基礎となる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義内容と講義計画の説明。(浅井貴也) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。また今回の授業内容について文献やインターネットを活用して調べてノートにまとめて次回に備えること。	A・G・H	第9回	【テーマ】広告とコンピューターの関係 【計画内容】インターネットを利用した広告のトレンド、メディアやSNSを使った手法について学びます。(浅井貴也) 【授業時間外の学修内容】講義内容をノートにまとめておくこと。質問があれば次回までに用意しておくこと。	A・G・H
第2回	【テーマ】デザインの基礎 【計画内容】デザインとは何か、その起源から現代までを美術史を通じて学習します。(浅井貴也) 【授業時間外の学修内容】講義内容をノートにまとめておくこと。質問があれば次回までに用意しておくこと。	A・G・H	第10回	【テーマ】写真とコンピューターの関係 【計画内容】写真の発明による影響、デジタル技術による写真の加工や合成処理について学びます。(松澤衛) 【授業時間外の学修内容】講義内容をノートにまとめておくこと。質問があれば次回までに用意しておくこと。	A・G・H
第3回	【テーマ】コンピューターの基礎 【計画内容】コンピューター誕生から現在までの経緯、コンピューターの構成や仕組みについて学びます。(浅井貴也) 【授業時間外の学修内容】講義内容をノートにまとめておくこと。質問があれば次回までに用意しておくこと。	A・G・H	第11回	【テーマ】映像とコンピューターの関係 【計画内容】3Dアニメーションの現場で使われているデジタル技術について、その概要を学びます。(松澤衛) 【授業時間外の学修内容】講義内容をノートにまとめておくこと。質問があれば次回までに用意しておくこと。	A・G・H
第4回	【テーマ】メディアの基礎 【計画内容】メディアの歩み、技術革新による変化や芸術との関係について学習します。(浅井貴也) 【授業時間外の学修内容】講義内容をノートにまとめておくこと。質問があれば次回までに用意しておくこと。	A・G・H	第12回	【テーマ】インターネットとコンピューターの関係 【計画内容】ネットワークの概念から、どのようにインターネットが発展してきたのか、どのような分野に応用されているかを学びます。(松澤衛) 【授業時間外の学修内容】講義内容をノートにまとめておくこと。質問があれば次回までに用意しておくこと。	A・G・H
第5回	【テーマ】グラフィックデザインとコンピューターの関係 【計画内容】デジタル技術を応用したグラフィックデザインの傾向について事例をもとに学習します。(浅井貴也) 【授業時間外の学修内容】講義内容をノートにまとめておくこと。質問があれば次回までに用意しておくこと。	A・G・H	第13回	【テーマ】音楽とコンピューターの関係 【計画内容】音楽におけるコンピューターの役割について学びます。(松澤衛) 【授業時間外の学修内容】講義内容をノートにまとめておくこと。質問があれば次回までに用意しておくこと。	A・G・H
第6回	【テーマ】著作権とコンピューターについて 【計画内容】デジタルコンテンツがどのようにして法律で守られているのか、インターネットにおけるモラルについて学びます。(浅井貴也) 【授業時間外の学修内容】講義内容をノートにまとめておくこと。質問があれば次回までに用意しておくこと。	A・G・H	第14回	【テーマ】我々の日常生活とコンピューターの関係 【計画内容】我々の日常生活からデジタルやデザインについて考えます。(松澤衛) 【授業時間外の学修内容】講義内容をノートにまとめておくこと。質問があれば次回までに用意しておくこと。	A・G・H
第7回	【テーマ】ゲームとコンピューターの関係 【計画内容】家庭用と業務用ビデオゲームについて、技術の進歩によるゲームの発展とこれからについて学習します。(浅井貴也) 【授業時間外の学修内容】講義内容をノートにまとめておくこと。質問があれば次回までに用意しておくこと。	A・G・H	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】これまで学習してきたメディアデザインとは何かについて総括します。(浅井貴也) 【授業時間外の学修内容】今後の学びに本科目で学習した内容がどう結びつくのか考えること。また後学期の科目履修に役立てること。	A・L
第8回	【テーマ】デジタルカルチャーについて 【計画内容】コンピューター技術の進歩が我々の文化にどのような影響を及ぼしているのかについて学習します。(浅井貴也) 【授業時間外の学修内容】講義内容をノートにまとめておくこと。質問があれば次回までに用意しておくこと。	A・G・H			

テキスト	必要に応じてプリントを使用します。
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足			レポート6つ(各10%)		授業への意欲的参加	

課題に関するフィードバックの方法	担当教員による解説や課題を使ったグループワーク、ディスカッションなどを通して振り返ります。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	本科目へのお問い合わせは直接または、メールでお問い合わせ下さい。 芸術学科　浅井 貴也 先生　takaya@hokusho-u.ac.jp　エディティングスタジオ1 芸術学科　松澤 衛　先生　mmamoru@hokusho-u.ac.jp　エディティングスタジオ2
資格	
その他	

教　育　学　科
学 科 専 門 科 目

科目名	学習コーチング学概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	杉浦　勉				

授業の目的	
ねらい	学習コーチングの考えは大学としても本学が初めて採用したものである。コーチングの理論についても日本で注目を集めている概念だと言える。そこで、新しい学問体系を構築する試みとして授業を構成する。まず、コーチングの考えが生まれてきた背景について考察する。次に、コーチングの考えの基本的な理念について考察する。そして、コーチングスキルについて説明する。最後に学習コーチングのスキルに関する基礎理論について、マイクロティーチングの視点から考察する。
到達目標	(1)コーチングに関する理論とその基本的スキルを身につける。 (2)コーチングと学習指導、学級経営に関連する基本的な考えやスキルを身につける。 (3)コーチングに基づく教師像を具体的に説明できる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション及びコーチングが生まれた背景 【計画内容】問答型コミュニケーションが生まれた経緯と背景についての理解。 【授業時間外の学修内容】テキスト第1章の該当部分を事前に読んでおくこと。	A・L	第9回	【テーマ】学習コーチングの技術(1) 【計画内容】発問の意味と活用について。 【授業時間外の学修内容】テキスト第5章を読んでおくこと。	A・L
第2回	【テーマ】コーチングの基礎理論 【計画内容】問うことの意味、サポートとヘルプの違い、協働関係の意味についての理解。 【授業時間外の学修内容】テキスト第2章の該当部分を事前に読んでおくこと。	A・L	第10回	【テーマ】学習コーチングの技術(2) 【計画内容】板書についての理解と活用について。 【授業時間外の学修内容】テキスト第6章を読んでおくこと。	A・L
第3回	【テーマ】コーチングスキル(1) 【計画内容】質問のスキルの理解と活用について。 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章の該当部分を読んでおくこと。	A・L	第11回	【テーマ】学習コーチングの技術(3) 【計画内容】話し合い活動の組織化についての理解と活用について。 【授業時間外の学修内容】テキスト第7章を読んでおくこと。	A・L
第4回	【テーマ】コーチングスキル(2) 【計画内容】傾聴のスキルについての理解と活用について。 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章の該当部分を読んでおくこと。	A・L	第12回	【テーマ】学習コーチングの技術(4) 【計画内容】児童理解と指導のサイクルの意味の理解と実際について。 【授業時間外の学修内容】テキスト第8章を読んでおくこと。	A・L
第5回	【テーマ】コーチングスキル(3) 【計画内容】直観のスキルについての理解と活用について。 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章の該当部分を読んでおくこと。	A・L	第13回	【テーマ】学習コーチングの技術(5) 【計画内容】学習形態の工夫と活用について。 【授業時間外の学修内容】テキスト第9章を読んでおくこと。	A・L
第6回	【テーマ】コーチングスキル(4) 【計画内容】確認のスキルの理解と活用について。 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章の該当部分を読んでおくこと。	A・L	第14回	【テーマ】学習コーチングの技術(6) 【計画内容】学習ノートの工夫と指導について。 【授業時間外の学修内容】テキスト第10章を読んでおくこと。	A・L
第7回	【テーマ】コーチングスキル(5) 【計画内容】自己管理のスキルの理解と活用について。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること(中間レポート)。	A・L	第15回	【テーマ】学習コーチングの技術(7)「掲示・展示」と全体の確認 【計画内容】学習環境としての掲示・展示の工夫。 【授業時間外の学修内容】テキスト第11章を読んでおくこと。	A・L
第8回	【テーマ】コーチングフローと学習指導案について 【計画内容】コーチングフローと学習指導案の関係についての理解。 【授業時間外の学修内容】テキスト第5章を読んでおくこと。	A・L			

テキスト	山谷敬三郎、2012年、『学習コーチング学序説』、風間書房、9784759919509
参考書	ウィットワースほか、2007年、『コーチングバイブル』、東洋館出版社、9784492554555

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	30%		70%			
補足	レポート		学習記録ノート			

課題に関するフィードバックの方法	第15回で中間レポートを返却し、学んだ内容を振り返りながら講評をします。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	小学校教諭
		科目との関連	小学校教諭としての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	毎回最後に振り返りを記入する時間を設定し、質問に関して次回の講義開始10分程度をその説明にあてます。 オフィスアワー:(4月中に発表)を活用してください。
資格	
その他	

科目名	特別支援教育総論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	瀧澤　聡、石川　大、石塚　誠之、磯貝　隆之、佐藤　至英、松井　由紀夫				

授業の目的	
ねらい	はじめに、特殊教育から特別支援教育へ大きく変化した教育の流れについて学ぶ。特別支援教育はこれまでの特殊教育の対象の障害だけでなく、知的に遅れのない発達障害も含めて、特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する全ての学校において実施されるものである。 本講義では、「障害」のとらえ方や様々な障害種に対応した特別支援教育の在り方と諸課題について学ぶ。
到達目標	(1)「障害」、「差別」について理解する。 (2)各障害における特別支援教育の内容と諸課題について理解する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】特別支援教育の諸課題について、全体像を説明し、15回の講義展開を具体的に説明する。(瀧澤聡) 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】聴覚障害の特別支援学校の教育 【計画内容】口話法、手話法(日本語対応手話、日本手話)など多様なコミュニケーションの指導の在り方について学ぶ。(佐藤至英) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A
第2回	【テーマ】障害者差別と特別支援教育の歴史 【計画内容】「障害」者差別を克服するための一翼を担う特別支援教育の歴史について学ぶ。(瀧澤聡) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】重度・重複障害児の教育 【計画内容】特別支援学校に在籍している児童生徒の障害の重度・重複化、多様化の現状と指導上の諸課題について学ぶ。(松井由紀夫) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A
第3回	【テーマ】特別支援教育の場 【計画内容】特別支援学校や特別支援学級、通級指導における指導・支援の在り方や、通常の学級における発達障害のある児童生徒の指導、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の在り方について学ぶ。(磯貝隆之) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】発達障害の理解と通常の学級における特別支援教育の在り方 【計画内容】通常の学級に在籍している発達障害のある児童生徒の支援の在り方について学ぶ。(瀧澤聡) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A
第4回	【テーマ】特別支援学級の教育 【計画内容】小中学校に併設される特別支援学級の種類や機能、教育の在り方について学校現場における実際の取り組みから学ぶ。(磯貝隆之) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】学習障害児への指導・支援 【計画内容】学習障害児の認知特性に応じた指導法・支援の在り方について事例をもとに学ぶ。(石塚誠之) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A
第5回	【テーマ】知的障害の特別支援学校の教育 【計画内容】重度・重複化、多様化している知的障害の特別支援学校の教育における諸課題について学ぶ。(磯貝隆之) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】親の支援の在り方と寄宿舎教育 【計画内容】親の不安、疑問、ストレス、育児不安など様々な課題をかかえた親の支援の在り方について学ぶ。あわせて寄宿舎教育の役割について学ぶ。(瀧澤聡) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A
第6回	【テーマ】肢体不自由の特別支援学校の教育 【計画内容】重度・重複化、複雑化している肢体不自由の特別支援学校の教育における諸課題について学ぶ。(松井由紀夫) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】共生社会、ボランティア活動の在り方 【計画内容】障害の有無やその他の個々の違いを認識し、様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成、ボランティア活動の在り方について学ぶ。(瀧澤聡) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A
第7回	【テーマ】病弱の特別支援学校の教育 【計画内容】入院期間の短期化、入退院の繰り返しなど、学習の空白に対応する病弱の特別支援学校の教育における諸課題について学ぶ。(松井由紀夫) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】様々な期待と課題のある特別支援教育の在り方について振り返りをし、再確認する。(瀧澤聡) 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリント等を再確認しておくこと。	A
第8回	【テーマ】視覚障害の特別支援学校の教育 【計画内容】全盲、弱視に対する点字や白杖の指導の在り方など視覚障害の特別支援学校の教育における諸課題について学ぶ。(石川大) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	文部科学省、2018年、『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説　総則編(幼稚部・小学部・中学部)』、開隆堂出版、4304042297

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	85%				15%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教][ス]特支1種_必修
その他	

科目名	国語科概論(書写を含む)	授業形態	講義	単位数	2
教員名	小杉　直美				

授業の目的	
ねらい	『小学校学習指導要領(平成29告示)』では、「言葉による見方・考え方」を働かせ、「言語活動」を通して言葉の力を伸ばすことが明確に示されています。言葉の教育として、全ての教科目の基礎となる国語科の目標を理解し、その内容や面白さを幅広く理解します。話すこと・聞くこと・書くこと・読むことの「思考力、判断力、表現力等」のみならず、言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化に関する「知識や技能」の育成について、ともに考察を深め、自身の国語への概念形成を行うことが目的です。
到達目標	(1)『小学校学習指導要領(国語)(平成29告示)』の成立過程、改訂の経緯を理解できる。 (2)『小学校学習指導要領(国語)(平成29告示)』の骨子を理解できる。 (3)日本語の文字表記を理解し、文字や文章を正しく表記できる。 (4)漢字指導や文字について、基本を正しく理解し、評価できる。 (5)言葉の学習における「知識・技能」に関して深く理解できる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】国語への意識 【計画内容】オリエンテーションとして、講義の全体計画や進め方、評価方法等の説明をします。加えて、自身の国語への意識、言葉への意識を振り返り、考察の結果を共有します。 【授業時間外の学修内容】シラバスに目を通し、国語に対して自分がどのような印象を持っているのかを整理しておくこと。	A・G・H	第9回	【テーマ】読むこと 【計画内容】文章を正しく理解する力、読解力について考え、読み方、読書の意義等を学びます。加えてPISA型読解力について考察します。 【授業時間外の学修内容】『学習指導要領解説』第3章第3節に目を通して、指定された課題に取り組んでおくこと。	A・G・H・L
第2回	【テーマ】国語科について 【計画内容】母国語である国語について、とりわけ小学校「国語科」について考察します。その歴史を振り返り、意義について協同学習によって理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に指定された課題に取り組み、レポートにまとめておくこと。	A・G・H・L	第10回	【テーマ】文字について1 【計画内容】日本の文字の成り立ちやその特徴について学びます。仮名について正しく理解し、硬筆書写について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に指定された日本の文字に関する課題について、取り組んでおくこと。	A・G・H・L
第3回	【テーマ】『平成29年版学習指導要領』について1 【計画内容】『小学校学習指導要領解説国語編』の目標と構成を理解し、各学年の指導の特質を含めて、骨組みについて考察をします。 【授業時間外の学修内容】『学習指導要領解説』第1章に目を通して、指定された課題に取り組んでおくこと。	A・G・H・L	第11回	【テーマ】文字について2 【計画内容】漢字の成り立ちやその特徴について、基本を学びます。さらに小学校6年間で学ぶ教育漢字について、理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義初回に指定された漢字に関する課題について、継続して取り組むこと。	A・G・H・L
第4回	【テーマ】『平成29年版学習指導要領』について2 【計画内容】学習指導要領改訂に伴うポイントを理解し、改訂前との比較により考察を深めます。 【授業時間外の学修内容】『学習指導要領解説』第1章に目を通して、指定された課題に取り組んでおくこと。	A・G・H・L	第12回	【テーマ】文字について3 【計画内容】書写の基本を学び、体験を通して理解を深めます。書道に親しむ心を育てることについて、ともに考察します。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に指定された書写に関する課題について、取り組んでおくこと。	A・G・L
第5回	【テーマ】平成29年版学習指導要領』について3 【計画内容】学習指導要領改訂に伴うポイントを理解し、キーワードや改善事項等、考察を深めます。 【授業時間外の学修内容】学習指導要領解説』第1章に目を通して、指定された課題に取り組んでおくこと。	A・G・H・L	第13回	【テーマ】文字について4 【計画内容】硬筆書写の基本について学び、体験を通して理解を深めます。書道に親しむ心を育てることについて、考察を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に指定された書写に関する課題について、取り組んでおくこと。	A・G・L
第6回	【テーマ】言語活動 【計画内容】話す、聞く、読む、書くという一連の言語活動について、考察するとともにそれぞれに関連した力について、ともに学びます。 【授業時間外の学修内容】学習指導要領解説』第2章第1節に目を通して、指定された課題に取り組んでおくこと。	A・G・H・L	第14回	【テーマ】文字について5 【計画内容】毛筆書写の基本について学び、体験を通して理解を深めます。書道に親しむ心を育てることについて、考察を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に指定された書写指導に関する課題について、取り組んでおくこと。	A・G・L
第7回	【テーマ】話すこと・聞くこと 【計画内容】話す力と聞く力、伝え合う力について、考察を深めます。表現力を育てる学習について、ともに学びます。 【授業時間外の学修内容】『学習指導要領解説』第2章第2節、第3章第1節に目を通して、指定された課題に取り組んでおくこと。	A・G・H・L	第15回	【テーマ】国語科について 【計画内容】国語科について講義で学習した内容を基にして、国語教育の現状と課題を振り返り、理解と考察を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に指定された国語教育の現状と課題に関する考察をレポートにまとめておくこと。	A・G・L
第8回	【テーマ】書くこと 【計画内容】書くことによって表現する力を育てる言語活動について考察を深めるとともに、作文や詩といった文章表現について学びます。 【授業時間外の学修内容】『学習指導要領解説』第3章第2・3節に目を通して、指定された課題に取り組んでおくこと。	A・G・H・L			

テキスト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説　国語編』、東洋館出版社
参考書	講義時に随時紹介します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	20%		30%		25%	25%
	補足	最終確認		レポート・学習記録ノート等		言語活動、協同学習への積極性	書写実技の取組と作品提出

課題に関するフィードバックの方法	次時の講義において全体的なFBを行うとともに、メール、ポータルサイトを介して対応する。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	毎時、全体で疑問を共有するために、様々なコミュニケーション方法を介して対応する。加えて、メール等による質問方法については、初回講義時に具体的に説明します。E-Mail:knaomi@wm.hokusho-u.acjp
資格	[教]幼・小1種_必修
その他	国語科は母語能力を育成する基本的な科目です。自身の得意不得意といった概念は払拭して、指導する立場として、探究すべき事柄を一緒に考察することを期待しています。毎回、課題を出しますが、次の講義を前提とした内容となっています。 書写の実技を行いますので、書写道具を準備してください。

科目名	算数科概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	三浦　公裕				

授業の目的

ねらい	学習指導要領の小学校算数科の「目標と内容」における史的な変遷を概観し、算数科の指導内容の構成とねらい、指導のあり方について理解を深める。また児童生徒が授業の中で課題を見つけ、どのように解決していくかなど、学習過程や学習活動について学ぶ。
到達目標	(1)小学校算数科の目標及び指導内容についての史的変遷について理解を深める。 (2)小学校算数科の目標と指導内容(四領域)について理解を深める。 (3)子供たちの学習活動(算数的活動)について理解を深め考察できる。

授業の計画

第1回	【テーマ】ガイダンス「算数科の授業とは」 算数教育の今日的な課題 【計画内容】受講心得、達成目標と評価の方法について理解する。小学校算数科における今日的な課題について検討する。 【授業時間外の学修内容】指定のテキスト第1章 p.1-p.5を読み、今日的な課題について深めておくこと。	A・K	第9回	【テーマ】B 領域:図形②「三角形と四角形」で大切にしたい学習活動とは 【計画内容】図形学習における作業的、体験的な活動を学ぶとともに学習活動の留意点について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K
第2回	【テーマ】小学校算数科で何を学ぶか 【計画内容】算数科の学習過程における指導の背景・意義・指導上の留意点などについて理解する。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K	第10回	【テーマ】C 領域:測定「量と測定」で大切にしたい学習活動とは 【計画内容】小学校で学習する量について、数値化して比べる方法(間接比較・任意単位等)を理解し活用する方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K
第3回	【テーマ】どのように算数を学習するか 【計画内容】学習指導要領が示す算数科の目標と子どもたちの学習活動について検討する。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K	第11回	【テーマ】C 領域:変化と関係①「二つの数量の関係」で大切にしたい学習活動とは 【計画内容】子供たちが伴って変わる二つの数量の関係を表したり調べたりする方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K
第4回	【テーマ】A 領域:数と計算①「数の表し方」で大切にしたい学習活動について 【計画内容】各学年で学習する集合数、順序数など数の内容や1対1の対応・10の束の重要性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K	第12回	【テーマ】C領域:変化と関係②「二つの量の割合」で大切にしたい学習活動とは 【計画内容】子供たちが苦手とする割合について比べ方や表し方の方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K
第5回	【テーマ】A 領域:数と計算②「整数・小数の四則計算」で大切にしたい学習活動とは 【計画内容】計算に関する各学年の内容と子どもたちの学習活動(基礎基本の定着)の留意点について理解する。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K	第13回	【テーマ】D 領域:データの活用①「データの分析」で大切にしたい学習活動とは 【計画内容】データを分類整理し、目的に応じてグラフや表を利用する方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K
第6回	【テーマ】A 領域:数と計算③「分数のたし算・ひき算・かけ算」で大切にしたい学習活動とは 【計画内容】分数に関する各学年の内容と学習活動(躓きポイント等)の留意点について理解する。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K	第14回	【テーマ】D領域:データの活用②「起こりうる場合」で大切にしたい学習活動とは 【計画内容】事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K
第7回	【テーマ】A 領域:数と計算④「小数の四則」で大切にしたい学習活動とは 【計画内容】小数に関する各学年の内容と学習活動(活用)の留意点について理解する。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K	第15回	【テーマ】学習内容のまとめとワークシートの作成　今後の算数教育について 【計画内容】講義内容を振り返り、算数教育の意義とその有用性を学び、これからの算数教育について展望できるようにする。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K・L
第8回	【テーマ】B 領域:図形①「基本図形(構成要素等)」で大切にしたい学習活動とは 【計画内容】各学年の図形学習内容、子供たちの活動と数学的な考え方を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・K			

テキスト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説　算数編』 プリントを使用します。
参考書	『小学算数』、教育出版 『新しい算数』、東京書籍

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	10%		30%		60%	
補足	小テスト等		課題提出		ワークシート作成	

課題に関するフィードバックの方法	課題用紙を返却し、学んだ内容や疑問点について考察するとともに、グループ討議や全体の場において意見交流を行う。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	高等学校教諭専修免許(数学)、中学校教諭専修免許(数学)
		科目との関連	学校現場で数学科を担当した経験をもとに実践的な指導を行う。

質問への対応	随時研究室(440研究室)にて対応する。
資格	[教]幼・小1種_必修
その他	自らが受けた算数の授業の体験をもとに、小学校算数科の学習過程や学習活動について考えをまとめ、意見交流を通して、算数教育の役割について理解を深めることを期待する。 各自作成したレポートを返却し、学んだ内容を個人やグループで振り返り、まとめの講評を行う。

科目名	生活科概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	亀山　比佐				

授業の目的	
ねらい	生活科創設や改訂の経緯とその意義及び教育的背景について理解し、教科の目標や学習指導の在り方について学びます。また、幼児期における遊びを通した総合的な学びと小学校の生活科との連続性を、スタートカリキュラムを通して考えます。身近な生活に関わる見方・考え方、自分自身、身近な人々、社会及び自然との関わりについて、実際の授業の記録をたどりながら学び、生活科が目指す子どもの育ちを理解します。
到達目標	(1)生活科創設や改訂の経緯とその意義や教育的背景について理解する。 (2)生活科の学習内容の概観をとらえて説明できる。 (3)生活科教育の果たす役割を具体的な活動や気付きとの関連から理解する。 (4)生活科で育む「6つの力」について理解し、実践例の中から捉えることができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】生活科の講義にあたって 【計画内容】生活科の紹介をし、講義の目的や15回の授業展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、学びの流れを理解するとともに、自分が小学校で学んだ生活科の活動を思い出しておくこと。	A・L	第9回	【テーマ】実践例で考える1年生の生活科(4)アサガオさんさようなら 【計画内容】内容構成(7)「動植物の飼育や栽培」について学び、実践例を通してアサガオ栽培のまとめまでを学習し、子どもたちの気づきについて考えます。 【授業時間外の学修内容】教科書 p.38～p.45と学習指導要領解説生活編 p.43(7)～p.46の16行目をよく読んでおくこと。	A・L
第2回	【テーマ】生活科の特色(1) 【計画内容】生活科の学習活動から、教科の内容や特色について捉えます。 【授業時間外の学修内容】学習指導要領生活編 p.23～p.28に目を通しておくこと。	A・L	第10回	【テーマ】教育の連続性・一貫性 【計画内容】生活科でねらう「教育の連続性・一貫性」について実践例を通して考えます。 【授業時間外の学修内容】学習指導要領解説生活編 p.78～p.86に目を通しておくこと。	A・L
第3回	【テーマ】生活科の特色(2) 【計画内容】生活科が開設された教育的背景や意義、改訂の経緯を学びます。生活科の「目標」を調べることによって、生活科の学びの特色について考えます。 【授業時間外の学修内容】学習指導要領生活科編 p.10～p.16に目を通しておくこと。	A・L	第11回	【テーマ】実践例で考える2年生の生活科(1)町が大すきたんけんたい 【計画内容】内容構成(3)「地域と生活」、(4)「公共物や公共施設の利用」について、実践例を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】学習指導要領解説生活編 p.33(3)～p.38の22行目をよく読んでおくこと。	A・L
第4回	【テーマ】生活科を目標から考える(1) 【計画内容】学習指導要領生活科編の教科目標について理解し、生活科固有の見方・考え方・育てたい児童像について考えます。 【授業時間外の学修内容】学習指導要領解説生活編 p.8～p.16に目を通しておくこと。	A・L	第12回	【テーマ】実践例で考える2年生の生活科(2)たんけんたいを追って 【計画内容】内容構成(3)「地域と生活」、(4)「公共物や公共施設の利用」について、実践例を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】学習指導要領解説生活編 p.33(3)～p.38の22行目をよく読んでおくこと。	A・L
第5回	【テーマ】生活を目標から考える(2) 【計画内容】学習指導要領生活科編の教科目標、各学年の目標について理解し、内容構成について学びます。 【授業時間外の学修内容】学習指導要領解説生活編 p.17～p.28に目を通しておくこと。	A・L	第13回	【テーマ】実践例で考える2年生の生活科(3)わたしの記ろくを作ろう① 【計画内容】内容構成(9)「自分の成長」について、実践例を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】学習指導要領解説生活編 p.49～p.51に目を通しておくこと。	A・L
第6回	【テーマ】実践例で考える1年生の生活科(1)　スタートカリキュラム① 【計画内容】内容構成(1)「学校と生活」におけるスタートカリキュラムの活動について理解し、「小1プロブレム」について考えます。保育園や幼稚園と小学校との学びの連続性や接続性について捉えます。 【授業時間外の学修内容】教科書 p.8～p.13と学習指導要領解説生活編 p.29～p.31の15行目に目を通しておくこと。	A・L	第14回	【テーマ】気づきの質を高める 【計画内容】内容構成(6)について理解し、子どもたちの「考える力」「伝える力」等を引き出して、気づきの質を高める教師の働きかけを考えます。 【授業時間外の学修内容】教科書 p.74～p.91と学習指導要領生活編 p.41(6)～p.43の10行目に目を通しておくこと。	A・L
第7回	【テーマ】実践例で考える1年生の生活科(2)　スタートカリキュラム② 【計画内容】内容構成(1)「学校と生活」のスタートカリキュラムの活動を、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図るために、合科的、関連的な学びの視点から考えます。 【授業時間外の学修内容】教科書 p.14～p.29と学習指導要領解説生活編 p.62～p.64に目を通しておくこと。	A・L	第15回	【テーマ】生活科の評価 【計画内容】評価の目的について考え、評価を考える教師の基本姿勢や具体的な評価方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】学習指導要領解説生活編 p.92～p.93に目を通しておくこと。	A・L
第8回	【テーマ】実践例で考える1年生の生活科(3)アサガオの栽培活動 【計画内容】内容構成(7)「動植物の飼育や栽培」について学び、実践例を通してアサガオ栽培から得られる気づきについて考えます。 【授業時間外の学修内容】教科書 p.30～p.37と学習指導要領解説生活編 p.43(7)～p.46の16行目に目を通しておくこと。	A・L			

テキスト	養老孟司他12名、2020年、『せいかつ　みんななかよし(上)』、教育出版 文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説　生活編』、東洋館出版社
参考書	久野弘幸、2017年、『小学校新学習指導要領ポイント総整理　生活』、東洋館出版、978-4-491-03401-0

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		50%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	小学校教諭
		科目との関連	小学校教諭としての実務経験をもとに授業実践に即した指導を行う。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。E-Mail：3018005@wm.hokusho-u.ac.jp
資格	[教]幼・小1種_必修
その他	積極的に探究する態度を期待します。各自がどのような「気付き」を講義で得たのかに着目しています。「気付き」について意識することをお願いします。　初回講義時に講義の流れと受講心得等について説明します。

科目名	音楽科概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	澤田　悦子				

授業の目的	
ねらい	小学校での音楽教育の目標と内容および幼稚園教育の目標と表現の内容について理解します。音楽についての基礎的な知識と技能について理解を深め、児童や幼児の感性や表現を高められるように教材研究や鑑賞などを行うための指導方法と内容について学びます。
到達目標	(1)音楽科の目標および指導内容について理解を深める。 (2)幼稚園教育における目標と表現の内容について理解を深める。 (3)音楽の基礎を学び、小学校指導や幼稚園での表現に活かす。 (4)児童や幼児の生活リズムを考えた音楽指導を図る。

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】小学校音楽科の目標、指導内容について学習します。 【授業時間外の学修内容】初等教育コースは教科書の音楽科の目標、幼児教育コースは教科書のp.226を熟読しておく。	A	第9回	【テーマ】音楽実践4 【計画内容】楽曲に合わせて手拍子などでリズム表現を工夫します。 【授業時間外の学修内容】いろいろな基本のリズムを調べておく。	A・B
第2回	【テーマ】幼稚園教育の目標、表現のねらいと内容について学習する。 【計画内容】幼稚園教育の基本、育みたい資質・能力および幼児期まの終わりまで育ってほしい姿、表現のねらいと内容について学びます。 【授業時間外の学修内容】幼児教育コースは教科書のp.199、初等教育コースは教科書のp.253を熟読しておく。	A	第10回	【テーマ】音楽実践5 【計画内容】簡易楽器やボディーパーカッションで楽曲に合わせてリズム表現を工夫します。 【授業時間外の学修内容】課題曲のイメージからいろいろなリズムパターンを考えておく。	A・B・H
第3回	【テーマ】音楽の基本的な理論1 【計画内容】音楽の譜表、音名、音符、休符について学び、課題曲を歌唱します。 【授業時間外の学修内容】課題曲1について歌唱し、調べておく。	A・B	第11回	【テーマ】音楽鑑賞1 【計画内容】歌唱・合唱曲を鑑賞し、歌唱表現を工夫します。 【授業時間外の学修内容】好きな合唱曲をふりかえり、その曲の特徴をまとめておく。	A・B
第4回	【テーマ】音楽の基本的な理論2 【計画内容】音楽のリズム、拍子、音程について学び、課題曲を歌唱します。 【授業時間外の学修内容】課題曲2について歌唱し、調べておく。	A・B	第12回	【テーマ】音楽鑑賞2 【計画内容】合奏曲などを鑑賞し、音楽鑑賞の特徴と指導の留意点について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストにある鑑賞教材を事前に鑑賞してその曲の特徴をまとめておく。	A・B
第5回	【テーマ】音楽の基本的な理論3 【計画内容】音楽の基礎和音について学びます。 【授業時間外の学修内容】課題曲3について合唱曲となるように各パートを歌っておく。	A・B・H	第13回	【テーマ】音楽づくりの学習と指導1 【計画内容】グループでリズム譜を作成し発表します。 【授業時間外の学修内容】基本リズムを基に構成をまとめておく。	A・B・H
第6回	【テーマ】音楽実践1 【計画内容】合唱をします。課題合唱曲の調性と音階、移調ド唱法について学びます。 【授業時間外の学修内容】課題曲4について各パートを歌えるようにしておく。	A・B	第14回	【テーマ】音楽づくりの学習と指導2 【計画内容】課題曲をリズム表現します。グループで打楽器を選択し、発表します。 【授業時間外の学修内容】課題曲のリズム構成を確認し、演奏しておく。	A・B・H
第7回	【テーマ】音楽実践2 【計画内容】基本の和音と伴奏を理解します。 【授業時間外の学修内容】課題曲5について歌い、演奏できるようにしておく。	A・B	第15回	【テーマ】学習のふり返りとまとめ 【計画内容】学習全体をふり返り幼稚園、小学校での音楽教育における課題をまとめます。 【授業時間外の学修内容】これまでの内容・配付資料をまとめ、要点を整理しておく。	A
第8回	【テーマ】音楽実践3 【計画内容】弾き歌いの実際を理解します。グループで役割を決めて発表します。 【授業時間外の学修内容】課題曲について歌唱と伴奏ができるようにしておく。	A・B・H			

テキスト	初等科音楽教育研究会、2020年、『改訂版　最新初等科音楽教育法』、音楽之友社、9784276821026 井口太編編著、2018年、『最新・幼児の音楽教育』、朝日出版社、9784255156279
参考書	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説　音楽編』、教育芸術社 文部科学省、2017年、『幼稚園教育要領』、フレーベル館

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	40%		20%		20%	20%
補足			レポート			発表

課題に関するフィードバックの方法	中間で返却したレポートや資料を確認し、15回目で振り返りとまとめを行う。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	随時、対応します。
資格	[教]幼・小1種_必修
その他	

科目名	音楽実習Ⅰ	授業形態	実習	単位数	1

教員名	澤田　悦子、片寄　ますみ、鈴木　佳代

授業の目的		
	ねらい	小学校音楽の学習指導要領には歌唱共通教材が各学年4曲ずつ、6年間で24曲掲げられている。これらの共通教材学習と幼稚園導入教材の取り扱いの意義と教材研究、指導法を実習する。歌唱教材の伴奏法を習得し、器楽学習、音楽作り、鑑賞に繋げ、音楽の基礎知識と演奏技術力の向上をねらいとしている。ここでは鍵盤楽器初心者クラスとして演習を行う。
	到達目標	(1)1年生から3年生までの共通教材と幼稚園での教材について、その歌唱法と伴奏法を演習する。 (2)共通教材と幼稚園教材の時代背景、歌詞について学ぶ。 (3)鍵盤楽器の基礎知識と基礎技術について演習する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業ガイダンス　15回の授業展開を説明する 【計画内容】小学校・幼稚園での課題曲と簡易伴奏についての学習全体の進度と内容を理解する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておく。	A	第9回	【テーマ】ハ長調、ヘ長調、ト長調の曲を練習する 【計画内容】「茶つみ」「春の小川」「ふじ山」を練習する。旋律のリズムと歌をよく覚えるように練習する。童謡では「おばけなんてないさ」「げんこつやまのたぬきさん」などを練習する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】これまでの曲を何度も練習しておく。	E
	第2回	【テーマ】各共通教材伴奏法および鍵盤楽器の基礎知識、基礎技術について演習する 【計画内容】共通教材「うみ」「かたつむり」「ひのまる」「ひらいたひらいた」「かくれんぼ」の旋律練習後、簡易伴奏で練習する。童謡では「おべんとう」「朝のうた」「おかえりうた」「アイアイ」などを練習する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】楽譜の階名、リズム、歌詞の確認を行い、練習しておく。	E	第10回	【テーマ】ハ長調、ヘ長調、ト長調の曲を練習する 【計画内容】楽譜通り、正確なリズムで弾く。また強弱や rit. など指示された曲想をつける。運指、打鍵について理解し、正確に弾くことを心がける。(全教員) 【授業時間外の学修内容】階名、歌詞で旋律が歌えるように練習しておく。	E
	第3回	【テーマ】ハ長調の曲を練習するが個々の目標や進度に合わせて進める 【計画内容】旋律を弾く時に歌詞をつける練習、運指を練習する。3グループに分け、演習を進める。簡易伴奏を運指通りに練習する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】ハ長調の簡易伴奏、和音の運指に気を付けて練習をしておく。	E	第11回	【テーマ】ハ長調、ヘ長調、ト長調の曲を練習する 【計画内容】曲想、音楽記号等を理解し、転調があった場合は調性を確認して表現する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】読譜、運指に気をつける。	E
	第4回	【テーマ】ハ長調の曲を練習するが、個々の目標や進度に合わせて進める 【計画内容】階名や歌詞をつけて演習する。簡易伴奏形を理解することや伴奏リズム形の基本形と応を演習する。 (全教員) 【授業時間外の学修内容】簡易伴奏の和音進行を覚える。	E	第12回	【テーマ】各教材曲の簡易伴奏形を工夫し表現する① 【計画内容】他者との曲想の共通点や相違点を確認しながら、学習を進め、音楽作りや鑑賞に繋がる授業展開を行う。 (全教員) 【授業時間外の学修内容】歌唱における歌詞の理解と簡易伴奏のリズムを予備学習する。	E
	第5回	【テーマ】ハ長調の曲を練習する 【計画内容】弾き歌いを行う。楽譜に頼らず弾き歌いできるように何度も演習を重ねる。(全教員) 【授業時間外の学修内容】テキスト、資料を参考にし弾き歌いを練習しておく。	E	第13回	【テーマ】各教材曲の伴奏形を工夫し表現する② 【計画内容】各自の進度に合わせて伴奏形を工夫しながら、学習を進める。歌唱と伴奏の相互関係の理解を深める。(全教員) 【授業時間外の学修内容】指を見ないで伴奏できるように練習する。	E
	第6回	【テーマ】ハ長調、ヘ長調の曲を練習する 【計画内容】歌詞、メロディーを確認して伴奏をつける。「春がきた」「虫のこえ」「夕やけこやけ」「うさぎ」の練習をする。幼稚園では「大きなたいこ」「おもちゃのチャチャチャ」などを練習する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】ハ長調とヘ長調の主要三和音の進行と運指を確認しておく。	E	第14回	【テーマ】伴奏を弾きながら美しい声で歌う 【計画内容】発声法、発音について留意し、児童生や幼児が歌いたいと感じられるように、専門技術を高める。暗譜、または暗譜に近い状態での伴奏法など技術力を向上させるように演習する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】暗譜での練習をする。	E
	第7回	【テーマ】ハ長調、ヘ長調、ト長調の曲を練習する 【計画内容】曲想、音楽記号に従い練習を深める。運指の形を変えず、テンポを定めて行う。正確なリズム視唱、発声や発音に注意を払いながら歌うことを心がける。(全教員) 【授業時間外の学修内容】歌唱に伴奏をつける。弾き歌いで練習を進める。	E	第15回	【テーマ】学習の振り返りとまとめ 【計画内容】課題の確認と弾き歌いの完成度を確認する。 (全教員) 【授業時間外の学修内容】伴奏の確認、歌詞の発音、発声を理解し、歌えるよう練習しておく。	E
	第8回	【テーマ】ハ長調、ヘ長調、ト長調の曲を練習する 【計画内容】歌詞を読み、伴奏をつける。旋律、音程を正確に行い、安定したテンポでリズミカルに歌うよう心がける。 (全教員) 【授業時間外の学修内容】リズムや音の流れを重視して弾くように練習しておく。	E			

テキスト	浅沼恵輔他、2020年、『ピアノ曲＆弾き歌い童謡』、圭文社、9784874460887 澤田悦子編著、2020年、『唱歌・童謡曲集』 講義時に説明します。
参考書	文部科学省、『幼稚園教育要領』 文部科学省、『小学校学習指導要領　音楽編』 文部科学省、『小学校学習指導要領解説　音楽編』 初等科音楽教育研究会編、2020年、『改訂版最新　初等科音楽教育法』、音楽之友社、9784276821026 井口太編著、2018年、『最新幼児の音楽教育』、朝日出版社、9784255156279

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		50%			20%	30%
	補足						進度表作成

課題に関するフィードバックの方法	第15回目に進度表の確認、振り返りとまとめを行い、講評をします。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]幼・小1種_選択
その他	初心者を対象としています。弾き歌いの実技がありますので予習復習が必要です。

科目名	音楽実習Ⅱ	授業形態	実習	単位数	1

教員名	澤田　悦子、伏見　千悦子、片寄　ますみ、鈴木　佳代

授業の目的		
	ねらい	「音楽実習Ⅰ」に続いて開講される。小学校教諭希望者は共通教材の向上と鍵盤楽器の演奏技術の向上とともに、表現力、演奏力を高める。また幼稚園教諭希望者は、マーチ、歌唱教材などの演習を行い基礎技術力の向上とともに、表現力、演奏力を高める。楽曲や共通教材、歌唱教材では、聴奏法と視唱法のそれぞれの指導が行えるように演習を深める。
	到達目標	(1)歌いながら弾く技術を高める。 (2)発声や歌唱指導力を高める。 (3)教材の楽曲を分析し、曲想を表現できる。 (4)鍵盤楽器の基礎知識・技術を深め、曲想を表現できる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】各コース課題曲を決める 【計画内容】初等教育コースは、進度に併せて鍵盤楽器の楽曲と共通教材を選曲し、練習を始める。幼児教育コースは、進度に併せてマーチ、歌唱教材を選曲し、練習を始める。(全教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、進度に併せて課題曲を練習しておく。	E	第9回	【テーマ】課題曲を演習する② 【計画内容】初等教育コースは進度に併せて鍵盤楽器の楽曲と共通教材を選曲し、演習する。幼児教育コースは進度に併せて、マーチ、歌唱教材を選曲し、演習する。メロディーである旋律を正確に譜読みし、繰り返しなどに注意して演習を行う。(全教員) 【授業時間外の学修内容】選曲した課題曲の階名、リズムを正確に読譜し、練習をしておく。	E
	第2回	【テーマ】4拍子の曲の演習 【計画内容】初等教育コースは進度に併せて鍵盤楽器の楽曲と共通教材を選曲し、演習する。幼児教育コースは進度に併せてマーチ、歌唱教材を選曲し、演習する。メロディーである旋律を正確に譜読みし、繰り返しなどに注意して演習を行う。(全教員) 【授業時間外の学修内容】課題曲が正確に演奏できるように譜読みを正確に行う。	E	第10回	【テーマ】課題曲を演習する③ 【計画内容】初等教育コースは進度に併せて鍵盤楽器の楽曲と共通教材を選曲し、演習する。幼児教育コースは進度に併せて、マーチ、歌唱教材を選曲し、演習する。音符の長さ、強さに注意し、伴奏部分を確認する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】正確な読譜と暗譜に心がけ練習する。	E
	第3回	【テーマ】曲想とさまざまな表現方法の関係について演習する 【計画内容】初等教育コースは進度に併せて鍵盤楽器の楽曲と共通教材を選曲し、演習する。幼児教育コースは進度に併せてマーチ、歌唱教材を選曲し、演習する。メロディーである旋律を正確に譜読みし、繰り返しなどに注意して演習を行う。音符の長さ、弱強に注意し、伴奏部分を確認する。曲によっては伴奏部分を右手で行うことがあるので注意する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】曲で指定されているテンポに合わせて演奏しておく。	E	第11回	【テーマ】楽曲および弾き歌いの指導法を学ぶ 【計画内容】初等教育コースは進度に併せて鍵盤楽器の楽曲と共通教材を選曲し、演習する。幼児教育コースは進度に併せて、マーチ、歌唱教材を選曲し、演習する。弾き歌いは、グループワークでお互いに聞き合い、歌唱指導の演習を行う。(全教員) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習する。	E
	第4回	【テーマ】4拍子、2拍子の曲を演習 【計画内容】初等教育コースは進度に併せて鍵盤楽器の楽曲と共通教材を選曲し、演習する。幼児教育コースは進度に併せてマーチ、歌唱教材を選曲し、演習する。メロディーである旋律をしっかり譜読みし、繰り返しなどに注意して演習を行う。4拍子、2拍子の曲の特徴を理解し、演習する。リズミカルに安定したテンポで演奏できるように心がける。(全教員) 【授業時間外の学修内容】暗譜できるように心がける。	E	第12回	【テーマ】バイエルやマーチなどの課題曲と弾き歌い曲の演習① 【計画内容】初等教育コースは進度に併せて鍵盤楽器の楽曲と共通教材を選曲し、演習する。幼児教育コースは進度に併せて、マーチ、歌唱教材を選曲し、演習する。共通教材、歌唱教材の簡易伴奏についても進める。(全教員) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習する。	E
	第5回	【テーマ】課題曲を暗譜で演奏する 【計画内容】初等教育コースは進度に併せて鍵盤楽器の楽曲と共通教材を選曲し、演習する。幼児教育コースは進度に併せて、マーチ、歌唱教材を選曲し、演習する。メロディーである旋律を正確に譜読みし、繰り返しなどに注意し、暗譜で演奏する。強弱、繰り返し、拍子に気を付ける。(全教員) 【授業時間外の学修内容】練習しておく。	E	第13回	【テーマ】鍵盤楽器の楽曲やマーチなどの課題曲と弾き歌い曲の演奏② 【計画内容】初等教育コースは進度に併せて鍵盤楽器の楽曲と共通教材を選曲し、演習する。幼児教育コースは進度に併せて、マーチ、歌唱教材を選曲し、演習する。共通教材、歌唱教材の簡易伴奏についても進める。(全教員) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習する。	E
	第6回	【テーマ】3拍子、6拍子の曲を演習① 【計画内容】初等教育コースは進度に併せて鍵盤楽器の楽曲と共通教材を選曲し、演習する。幼児教育コースは進度に併せて、マーチ、歌唱教材を選曲し、演習する。譜読み、繰り返しなどに注意して演習を行う。部分練習、反復練習、全体練習の仕方を確認し、演奏する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】部分練習、反復練習を取り入れて課題曲を練習する。	E	第14回	【テーマ】発表曲を選曲する 【計画内容】課題曲を確認し、楽曲、弾き歌い曲を選曲し、演習する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】暗譜で弾けるように練習する。	E
	第7回	【テーマ】3拍子、6拍子の曲を演習② 【計画内容】初等教育コースは進度に併せて鍵盤楽器の楽曲と共通教材を選曲し、演習する。幼児教育コースは進度に併せて、マーチ、歌唱教材を選曲し、演習する。安定したテンポで、正確に演奏する。楽曲の分析から曲想をつけて演習を行う。(全教員) 【授業時間外の学修内容】課題曲を分析し、曲想を表現する	E	第15回	【テーマ】学習の振り返りとまとめ 【計画内容】課題曲を発表する。進度表による弾き歌いと楽曲の自己評価および学習を振り返る。(全教員) 【授業時間外の学修内容】課題曲を暗譜で練習する。	E
	第8回	【テーマ】課題曲を選曲する① 【計画内容】初等教育コースは進度に併せて鍵盤楽器の楽曲と共通教材を選曲し、演習する。幼児教育コースは進度に併せて、マーチ、歌唱教材を選曲し、演習する。メロディーである旋律を正確に譜読みし、繰り返しなどに注意して演習を行う。(全教員) 【授業時間外の学修内容】伴奏形を覚えるようにする。	E			

テキスト	浅沼恵輔他、2020年、『保育者・小学校教諭をめざす人のためのピアノ曲＆弾き歌い童謡』、圭文社、9784874460887 澤田悦子編著、2020年、『小学校教諭・幼稚園教諭・保育士のための引き歌い　唱歌・童謡曲集』 講義時に説明します。
参考書	文部科学省、『幼稚園教育要領』 文部科学省、『小学校学習指導要領解説　音楽編』 初等科音楽教育研究会、2020年、『改訂版　最新初等科音楽教育法』、音楽之友社、9784276821026 井口太、2018年、『最新　幼児の音楽教育』、朝日出版社、9784255156279

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		50%			20%	30%
	補足						進度表作成

課題に関するフィードバックの方法	第15回目に進度表を提出し、発表後に振り返りとまとめを行い、講評をします。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]幼・小1種_選択
その他	初心者を対象としています。楽曲と弾き歌いの実技を行いますので予習復習が不可欠です。

科目名	造形美術概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	山崎　正明				

授業の目的	
ねらい	幼児期の造形教育に携わる保育者、教育者にとって必要とされる美術に関しての基礎知識を身につけ、幼児・児童の造形活動に対して適切な造形教育を行える力を身につけることを目標とする。
到達目標	(1)教育者として美術活動への造詣を深めることができる。 (2)子供の発達と表現活動のつながりについて理解することができる。 (3)造形美術教育法についての概要を理解することができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】子供の絵の見方(1) 【計画内容】子供の絵の見方について幼児から小学生までの流れで理解を深めていきます。 【授業時間外の学修内容】美術や図画工作に関する著書などを読むこと。	A	第9回	【テーマ】色彩学の基礎 【計画内容】色彩学の基礎を学びます。 【授業時間外の学修内容】色の3要素について理解をしておくこと。	A・K
第2回	【テーマ】子供の絵の見方(2) 【計画内容】子供の絵の見方について小学生から中学生までの流れで理解を深めていきます。 【授業時間外の学修内容】美術や図画工作に関する著書などを読むこと。	A	第10回	【テーマ】美術史の基礎 【計画内容】様々な美術作品に触れながら、多様な表現のよさや面白さを味わう。そのことを通して幼児の絵の見方も広げられるようにする。 【授業時間外の学修内容】画集などを読むこと。	A・K
第3回	【テーマ】図画工作と子供の育ち 【計画内容】映画「トントンギコギコ図工の時間」の視聴を通して、図画工作の中で、子供たちが感じたり、考えたりしていることを読み取る。そのことを通して美術教育が教育にもたらす意味を考える。 【授業時間外の学修内容】これを見ておく。http://www.tontongikogiko.com	A	第11回	【テーマ】子供の育ちと造形(1) 【計画内容】幼児期に望ましい造形教育について実践例から学びます。 【授業時間外の学修内容】美術や図画工作に関する著書、画集などを読むこと。	A・K
第4回	【テーマ】レッジョエミリアの教育 【計画内容】世界の教育界から注目されているイタリアのレッジョエミリアの教育から学ぶ。この教育の中で生まれた「ドキュメンテーション」という教育の手法は現在、日本の教育の中でも大切にされてきている。 【授業時間外の学修内容】レッッジョエミリアについて調べておく	A	第12回	【テーマ】子供の育ちと造形(2) 【計画内容】幼児期に望ましい造形教育について実践例から学びます。 【授業時間外の学修内容】美術や図画工作に関する著書、画集などを読むこと。	A・K
第5回	【テーマ】美術館と教育 【計画内容】教育資源としての美術館の持つ価値についての理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】美術や図画工作に関する著書、画集などを読むこと。	A・K	第13回	【テーマ】幼稚園教育要領解説 【計画内容】造形表現の目標と内容について学びます。 【授業時間外の学修内容】美術や図画工作に関する著書、画集などを読むこと。	A・K
第6回	【テーマ】美術表現と発想 【計画内容】絵本作家荒井良二さんの絵本づくりの取り組みから、その発想のありかたを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】荒井良二さんについて調べておく。	A	第14回	【テーマ】小学校学習指導要領解説 【計画内容】図画工作科の目標と内容について学びます。 【授業時間外の学修内容】美術や図画工作に関する著書、画集などを読むこと。	A・K
第7回	【テーマ】美術と日常生活 【計画内容】日常の生活と美術の関わりについて学びます。 【授業時間外の学修内容】美術や図画工作に関する著書、画集などを読むこと。	A・K	第15回	【テーマ】まとめとレポート 【計画内容】学習内容についてのレポート作成を行います。 【授業時間外の学修内容】美術や図画工作に関する著書、画集などを読むこと。	A・L
第8回	【テーマ】デザイン思考と教育 【計画内容】美術と日常について考えます。 【授業時間外の学修内容】デザイン思考について調べておくこと	A・K			

テキスト	講義時に説明します。
参考書	文部科学省、『幼稚園教育要領解説』 文部科学省、『小学校学習指導要領解説　図画工作編』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%			50%
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	中学校教諭
	科目との関連	中学校で22 年間「美術」を担当。幼・小・中における美術教育の研究を推進。幼稚園、保育園で出前保育および小学校での出前授業も多数。教員免許更新講習担当。

質問への対応	講義中もしくは研究室まで申し出ること。
資格	[教]幼・小1種_必修
その他	

科目名	体育科概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	岡　健吾				

授業の目的		
	ねらい	「体育とは何か」、「子どもは体育で何を学ぶのか」について子どもの立場から考え、受講者から指導者へと視点を転換させながら、体育や運動の意義を学ぶ。学習指導要領等を読み解き、体育授業の目的と特性を理解する。現代の子どもの発育・発達課題を知り、それらの課題に対応した様々な運動教材と指導法に関する知識を獲得する。
	到達目標	(1)体育科教育の目標・内容がわかる。 (2)発育・発達課題に即した運動教材の役割がわかる。 (3)教材の特性と、それを用いて学習過程を作る方法を知る。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義内容を紹介し、15回の講義展開を説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておく。	A	第9回	【テーマ】「跳」の運動の特性 【計画内容】「跳」の運動のねらい、特性を知り、技能構造と指導の展開を考える。 【授業時間外の学修内容】「跳」の運動の教材を調べておく。	B・E
	第2回	【テーマ】体育学習の役割について 【計画内容】「運動による学び」について、体験的に理解する。 【授業時間外の学修内容】小・中・高校での体育授業を振り返っておく。	A・B	第10回	【テーマ】水遊び・水泳の特性 【計画内容】水遊びおよび水泳のねらい、特性を知り、技能構造と指導の展開を考える。 【授業時間外の学修内容】水遊びおよび水泳の教材を調べておく。	B・E
	第3回	【テーマ】現代の子どもの発育・発達課題と体育授業 【計画内容】現代の子どもの発育・発達課題を知り、体育授業の果たす役割を考える。 【授業時間外の学修内容】子どもの発育・発達に関する最近の話題を調べておく。	A・B	第11回	【テーマ】ゲーム教材の特性 【計画内容】ゲーム教材のねらい、特性を知り、技能構造と指導の展開を考える。特にルールや用具の変化によってゲームの様相が変わることを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ゲーム教材を調べておく。	B・E
	第4回	【テーマ】『学習指導要領』『幼稚園教育要領』からみる体育授業 【計画内容】幼小連携を念頭におきつつ、幼稚園と小学校での運動あそび・体育授業の共通点と違いを知り、様々な指導の方法と留意点を考える。 【授業時間外の学修内容】『小学校学習指導要領』『幼稚園教育要領』の該当部分を読んでおく。	A・B・E	第12回	【テーマ】ボール教材の特性 【計画内容】ボール教材のねらい、特性を知り、技能構造と指導の展開を考える。特にルールや用具の変化によってゲームの様相が変わることを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ボール教材を調べておく。	B・E
	第5回	【テーマ】体育授業の構造と指導計画の概要 【計画内容】小学校体育科の内容および取り扱い、教材構成について考える。 【授業時間外の学修内容】これまで経験した体育教材の特性を考えておく。	A・B・E	第13回	【テーマ】表現遊び・表現運動の特性 【計画内容】表現遊びおよび表現運動のねらい、特性を知り、技能構造と指導の展開を考える。 【授業時間外の学修内容】これまで経験した表現遊び・表現運動を振り返っておく。	B・E
	第6回	【テーマ】体つくり運動の特性 【計画内容】体つくり運動のねらい、特性、具体的な教材を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】体つくり運動の教材を調べておく。	B・E	第14回	【テーマ】保健分野の特性 【計画内容】保健分野のねらい、特性を知り、技能構造と指導の展開を考える。 【授業時間外の学修内容】保健分野の内容を調べておく。	A・H
	第7回	【テーマ】器械運動の特性 【計画内容】器械運動のねらい、特性を知り、技能構造と指導の展開を考える。 【授業時間外の学修内容】器械運動の教材を調べておく。	B・E	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義を振り返る。資料を整理し、レポートにまとめる。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義を振り返っておく。	A・L
	第8回	【テーマ】「走」の運動の特性 【計画内容】「走」の運動のねらい、特性を知り、技能構造と指導の展開を考える。 【授業時間外の学修内容】「走」の運動の教材を調べておく。	B・E			

テキスト	講義時に適時配付します。
参考書	文部科学省、『小学校学習指導要領解説　体育編』 文部科学省、『幼稚園教育要領』

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			80%		20%	
	補足			レポート等			

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	中学校・高等学校・高等専門学校での非常勤講師(体育科)
		科目との関連	体育科における学びの連続性をふまえた授業を展開する

質問への対応	講義時に随時対応します。 E-Mail:okakengo@hokusho-u.ac.jp
資格	[教]幼・小1種_必修
その他	講義に併せて演習・実技も行います。服装等については講義毎に説明します。

科目名	教職概論(幼・小)	授業形態	講義	単位数	2
教員名	礒島　年成				

授業の目的	
ねらい	講義では、教師として必要な知識や技能を学ぶとともに、教師の仕事の内容について理解を深め、教師としての資質・能力を磨きます。また、現在の教育の課題に対してどう向き合っていくとよいのかを書籍・新聞や学校現場の情報等を基に考察していきます。そして、講義の過程においては、自分が教師となったことを想定して主体的に考えたり、意見をレポートに表したりしていきます。
到達目標	(1)教育・教職に関する基本的な内容と意義を理解できる。 (2)教職の使命と責任感を理解し、自らの適性について自覚をもてる。 (3)求められる教師像を理解し、目指す教師像と具体的な課題を説明できる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の主な内容、教育・教職に関する用語の理解や受講の際の学び方等について確かめます。 【授業時間外の学修内容】事前に配布した講義資料を予習しておくこと。講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L	第9回	【テーマ】教師の仕事と役割③ 【計画内容】児童の問題等としての「いじめ」「虐待」について取り上げ、実態と対応の仕方について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L
第2回	【テーマ】教員養成と教育課程 【計画内容】教師を目指して学ぶ内容の把握をします。学習指導要領から教育課程について確認し、教員免許を取得する意義・重要性などの基礎的なことを学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L	第10回	【テーマ】教師の仕事と役割④ 【計画内容】授業の評価についての考え方、各教科等の評価の観点、評価方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L
第3回	【テーマ】教育の現状と課題 【計画内容】今日の教育の現状を概観し、学習指導要領の変遷を通して教育の歴史と展望、併せて幼稚園の教育について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L	第11回	【テーマ】教師の服務・研修・身分保障 【計画内容】教師の法的な位置づけ、服務に関することを理解し、研修の内容・方法等について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L
第4回	【テーマ】教職の意義と教師の使命 【計画内容】時代とともに変遷してきた「求められる教師像」について理解し、教職につく意義や教師の使命について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L	第12回	【テーマ】教師の業務の実際 【計画内容】学校現場で実際に勤務している教師の話等から教師になることの意義や教師を目指すために必要なこと等を学びます。講義後、「教職の制度・仕組みについての理解」「子ども理解」の二面からこれまで学んだことを各自がレポートにまとめます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読し復習に活用ください。	A・L・G
第5回	【テーマ】教えること・学ぶこと 【計画内容】授業で教えること、児童を支援することなど教師の指導・支援のあり方、教師の児童へのかかわり方について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L	第13回	【テーマ】教師の勤務 【計画内容】教師の勤務の仕方、「働き方改革」の視点からこれからの勤務の変化について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L
第6回	【テーマ】子ども観の発達 【計画内容】子どもの捉え方の変遷を理解し、世界から見た日本の児童の実態、これからの児童に求められる資質・能力について学びます。これからの児童に求められる資質・能力の点から「プログラミング教育」についても実習を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・D・L	第14回	【テーマ】チームとしての学校 【計画内容】スクールカウンセラー等の外部人材活用、児童相談所・警察等の関係機関との連携、PTA等の保護者との連携など「チーム学校」として広い視野から学校現場について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L
第7回	【テーマ】教師の仕事と役割① 【計画内容】発達段階に即した生徒指導のあり方、体罰、懲戒に関すること、「カウンセリング」、「キャリア教育」等について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L	第15回	【テーマ】これからの学校教育の重点 【計画内容】これまでの講義のまとめとして、「札幌市の学校教育の重点」を取り上げ、多様な分野・視点から学校教育について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、これまでの講義の成果と課題についてレポートにまとめてください。	A・L・G
第8回	【テーマ】教師の仕事と役割② 【計画内容】学級事務、学級経営、家庭との連携、障がい、不登校児童とのかかわり等を取り上げ、担任教師の具体的業務について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%	20%	10%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	各講義の課題、ふり返り等を受けて次の講義の導入時にその回答をするなどしていきます。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	公立小学校における校長・教諭としての経験
		科目との関連	小学校教諭としての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。連絡先メールアドレス E-Mail:toshi.is@wm.hokusho-u.ac.jp
資格	[教]幼・小1種_必修
その他	

科目名	教育心理学(幼・小)	授業形態	講義	単位数	2
教員名	須賀　朋子				

授業の目的		
	ねらい	本講義では、教育心理学領域の基礎理論や最新の知見を通じて、児童生徒の心理を多角的に理解するための理論的枠組みを解説し、教育心理学を応用した教育実践の具体的な方法およびその評価プロセスについて理解を深め、多様なニーズに応じた教育実践を行うための引き出しを備えることを目的とする。
	到達目標	(1)教育心理学に関する基礎的な用語を説明できる。 (2)児童生徒の心の発達過程を理論的な枠組みを用いて説明できる。 (3)行動問題や障害を個人と環境の相互作用の観点から理解できる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】教育心理学とは何かを概観し、15回の授業展開、成績評価について説明します。 【授業時間外の学修内容】配付した資料をよく読んでおくこと。	A	第9回	【テーマ】児童期の発達 【計画内容】社会性、仲間関係の発達について、認知発達の観点から理解を深め、社会性を伸ばす教育実践を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料をよく読んでおくこと。	A・H・J
	第2回	【テーマ】学習への行動論的アプローチ 【計画内容】古典的条件づけ、オペラント条件づけについて学び、簡単な認知実験を通じて、ヒトの認知過程に関する理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料をよく読んでおくこと。	A・H・J	第10回	【テーマ】青年期の発達 【計画内容】道徳性、アイデンティティの発達について理解を深め、心理的援助の実際を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料をよく読んでおくこと。	A・H・J
	第3回	【テーマ】学習への認知論的アプローチ 【計画内容】情報処理過程、記憶の構造について学び、簡単な認知実験を通じて、ヒトの認知過程に関する理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料をよく読んでおくこと。	A・H・J	第11回	【テーマ】教師と児童生徒 【計画内容】学級集団の構造、カウンセリング技術について学び、教師に求められるコミュニケーションを考えます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料をよく読んでおくこと。	A・H・J
	第4回	【テーマ】個人差 【計画内容】パーソナリティー、知能について、心理テストや心理検査を通じて理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料をよく読んでおくこと。	A・H・J	第12回	【テーマ】学校生活への不適応 【計画内容】不登校、いじめなどの学校不適応の実態について理解を深め、事例に基づいて支援の組み立て方を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料をよく読んでおくこと。	A・H・J
	第5回	【テーマ】動機づけ 【計画内容】多様な動機づけ理論を学び、外発的動機づけと内発的動機づけの違い、帰属について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料をよく読んでおくこと。	A・H・J	第13回	【テーマ】発達障害の理解と支援 【計画内容】障害の定義やインクルーシブ教育の発想について理解を深め、合理的配慮の多様な実践例を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料をよく読んでおくこと。	A・H・J
	第6回	【テーマ】学習過程 【計画内容】学習方略や適性処遇交互作用について学び、個々の学習スタイルに応じた教育方法について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料をよく読んでおくこと。	A・H・J	第14回	【テーマ】心理教育的援助サービスの実際 【計画内容】予防的支援としての集団心理教育プログラムを実際に体験し、その具体的方法と評価プロセスについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料をよく読んでおくこと。	A・H・J
	第7回	【テーマ】発達と教育 【計画内容】遺伝か環境かというテーマについて考え、多様な発達理論を比較することを通じて、発達に応じた教育の在り方に関する理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料をよく読んでおくこと。	A・H・J	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでに学習した内容を振り返り、教育心理学の発想について総括します。 【授業時間外の学修内容】これまで配付した資料をよく読んでおくこと。	A・H・J
	第8回	【テーマ】乳幼児期の発達 【計画内容】運動・ことばの発達、愛着形成について理解を深め、発達を促す働きかけを学びます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料をよく読んでおくこと。	A・H・J			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	須賀朋子、2020年、『面前 DV、虐待被害者の叫び』、かりん舎

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		50%			
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	中学校、高校教諭
		科目との関連	教員経験を活かし、児童生徒の教育心理を教授する。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。連絡は tsuga@rakuno.ac.jp
資格	[教]幼・小1種_必修
その他	

科目名	社会科概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	杉浦　勉				

授業の目的

ねらい	小学校教育における社会科の役割や性格を理解するとともに、社会科教育の目標について、「知識及び技能」・「思考力、判断力、表現力等」・「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱に沿った資質・能力に関わる具体的な目標を基に学びます。具体的な授業場面を参考にしながら、社会生活についての理解を図るとともに、国土と歴史に対する理解と愛情を育て、平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民としての資質・能力の基礎を養うための、社会科の指導原理を学びます。
到達目標	(1)戦後に誕生した社会科教育の、目標と内容を理解できる。 (2)小学校教育における社会科学習の、指導上の特徴について理解できる。 (3)公民としての資質・能力の基礎について考察し、社会科教育についての視野を広げることができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の展開と到達目標、評価方法について説明する。また、社会科に対する自分の経験を交流する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておく。	A	第9回	【テーマ】第5学年の目標及び内容1 【計画内容】学習指導要領における第5学年の社会科の目標と内容をもとに、社会科教育の特徴を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読み、予習課題に取り組んでおく。	A・J・K
第2回	【テーマ】社会科教育の意義と目標 【計画内容】戦後の教育史の流れを理解するとともに、社会科教育が誕生した背景や意味を資料に基づいて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおく。	A	第10回	【テーマ】第5学年の目標及び内容2 【計画内容】学習指導要領における第5学年の社会科の目標と内容をもとに、第5学年にふさわしい学習活動や教材開発のあり方について具体的な授業場面を参考にしながら学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読み、予習課題に取り組んでおく。	A・J・K
第3回	【テーマ】小学校の社会科教育史 【計画内容】社会科改訂の変遷をもとに、それぞれの時期にどのような課題と重点化が行われたのかを調べ、社会科が担っている意義について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおく。	A	第11回	【テーマ】第6学年の目標及び内容1 【計画内容】学習指導要領における第6学年の社会科の目標と内容をもとに、具体的な授業場面を参考にして社会科教育の特徴を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読み、予習課題に取り組んでおく。	A・J・K
第4回	【テーマ】社会科学習指導案の作成と配慮事項 【計画内容】授業を展開するための基礎的な要件と社会科の指導のポイントについて、具体的な授業場面を参考にしながら学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読んでおく。	A・J	第12回	【テーマ】第6学年の目標及び内容2 【計画内容】学習指導要領における第6学年の目標と内容をもとに、第6学年にふさわしい学習活動や教材開発のあり方について具体的な授業場面を参考にしながら学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読み、予習課題に取り組んでおく。	A・J・K
第5回	【テーマ】第3学年及び第4学年の目標と内容1 【計画内容】学習指導要領における第3学年及び第4学年の社会科の目標をもとに、社会科教育の特徴を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読み、予習課題に取り組んでおく。	A・J	第13回	【テーマ】総合的な学習の時間や中学校社会科との関連 【計画内容】総合的な学習の時間の目標や中学校の社会科の目標との比較を通して、小学校社会科の目標を再確認し社会科学習の意義について交流する。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読み、予習課題に取り組んでおく。	A・J・K
第6回	【テーマ】第3学年及び第4学年の目標と内容2 【計画内容】学習指導要領における第3学年及び第4学年の社会科の内容をもとに、社会科教育が目ざしている指導や活動の特徴を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読み、予習課題に取り組んでおく。	A・J	第14回	【テーマ】公民としての資質・能力の基礎を養うための社会科学習指導 【計画内容】社会科では問題解決的な学習が重視されている。公民的な資質の基礎を養う上での問題解決的な学習の意義と方法について学ぶ。併せて、アクティブラーニングの手法を取り入れながら、観察・調査・資料活用の技能について、公民的な資質の基礎を養うこととの関連から学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読み、予習課題に取り組んでおく。	F・H
第7回	【テーマ】第3学年及び第4学年の目標と内容・幼稚園や生活科との関わり 【計画内容】第3学年及び第4学年の社会科が、幼稚園の5領域や低学年の生活科とどのような関連や整合性を持っているかを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付した資料を読み、予習課題に取り組んでおく。	A・J	第15回	【テーマ】先進的な実践例を通しての振り返り 【計画内容】先進的な実践例を視聴し、これまでの講義を振り返り、小学校社会科の課題と可能性についてまとめる。 【授業時間外の学修内容】これまでの資料を読み返し、課題を明確にしておくこと。	G・L
第8回	【テーマ】第3学年及び第4学年の社会科学習と教材・学習活動 【計画内容】地域教材や身近な社会事象を扱う際に配慮すべき事柄を、具体的に学習活動を考えたり教材開発をすることを通して学ぶ。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること(中間レポート)。	A・J・K			

テキスト	毎時プリントを使用します。 文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説 社会編』、日本文教出版、9784536590099
参考書	佐藤浩樹・原口美貴子・菊地達夫・山口幸男、2019年、『テキスト初等社会科』、学文社、9784762029141

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	20%	20%	40%			20%
補足		ワークシート	レポート			提出物

課題に関するフィードバックの方法	第15回で中間レポートを返却し、学んだ内容を振り返りながら講評をします。

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	小学校教諭
	科目との関連	小学校教諭としての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	オフィスアワー:(4月中に発表)を活用してください。
資格	[教]小1種_必修
その他	予習課題に当たっては、文献をコピーするだけでなく、自分の考えを整理しておくこと。 毎講義提出された振り返りを返却し、第15回で学んだ内容を振り返りながら講評をします。

科目名	理科概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	横山　光				

授業の目的	
ねらい	小学校教育における各学年の理科の目標や内容を理解し、自然体験や日常生活との関連を図った学習および自然環境と人間との関わりなどの学習に重点をおいて、児童の視点で自然や様々な現象に対する疑問を抱き、それを科学的に探究することの楽しさを分かち合える指導原理を学び、基本的な観察や実験の技能向上を図ります。
到達目標	(1)各学年の理科の目標と内容が説明できる。 (2)各学年の目標にある問題解決の能力と指導内容について、具体的に説明ができる。 (3)基本的な観察や実験の内容を理解できる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション及び、小学校学習指導要領「理科」第3学年について 【計画内容】第3学年の目標と内容について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスで15回の流れを十分に確認する。また、指導要領解説を準備し、該当する部分を熟読すること。	A・G	第9回	【テーマ】第5学年　B区分 【計画内容】「植物の発芽、成長、結実」「動物の誕生」「流水の働き」「天気の変化」について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の指導要領を熟読すること。また、関連分野について中学校までの学習範囲を復習しておく。	A・G
第2回	【テーマ】第3学年　A区分 【計画内容】「物と重さ」「風やゴムの働き」「光の性質」「磁石の性質」「電気の通り道」について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の指導要領を熟読すること。また、関連分野について中学校までの学習範囲を復習しておく。	A・G	第10回	【テーマ】小学校学習指導要領「理科」第6学年について 【計画内容】第6学年の目標と内容について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の指導要領を熟読すること。	A・G
第3回	【テーマ】第3学年　B区分 【計画内容】「昆虫と植物」「身近な自然の観察」「太陽と地面の様子」について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の指導要領を熟読すること。また、関連分野について中学校までの学習範囲を復習しておく。	A・G	第11回	【テーマ】第6学年　A区分 【計画内容】「燃焼の仕組み」「水溶液の性質」について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の指導要領を熟読すること。また、関連分野について中学校までの学習範囲を復習しておく。	A・G
第4回	【テーマ】小学校学習指導要領「理科」第4学年について 【計画内容】第4学年の目標と内容について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の指導要領を熟読すること。	A・G	第12回	【テーマ】第6学年　A区分 【計画内容】「てこの規則性」「電気の利用」について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の指導要領を熟読すること。また、関連分野について中学校までの学習範囲を復習しておく。	A・G
第5回	【テーマ】第4学年　A区分 【計画内容】「空気と水の性質」「金属、水、空気と温度」「電気の働き」について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の指導要領を熟読すること。また、関連分野について中学校までの学習範囲を復習しておく。	A・G	第13回	【テーマ】第6学年　B区分 【計画内容】「人の体のつくりと働き」「植物の養分と水の通り道」について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の指導要領を熟読すること。また、関連分野について中学校までの学習範囲を復習しておく。	A・G
第6回	【テーマ】第4学年　B区分 【計画内容】「人の体のつくりと運動」「季節と生物」「天気の様子」「月と星」について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の指導要領を熟読すること。また、関連分野について中学校までの学習範囲を復習しておく。	A・G	第14回	【テーマ】第6学年　B区分 【計画内容】「生物の環境」「土地のつくりと変化」「月と太陽」について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の指導要領を熟読すること。また、関連分野について中学校までの学習範囲を復習しておく。	A・G
第7回	【テーマ】小学校学習指導要領「理科」第5学年について 【計画内容】第5学年の目標と内容について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の指導要領を熟読すること。	A・G	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】本講義の内容を振り返りまとめを行う。 【授業時間外の学修内容】教科書・ノート・配付資料を元に、本講義全体を復習。	A・G・L
第8回	【テーマ】第5学年　A区分 【計画内容】「物の溶け方」「振り子の運動」「電流の働き」について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の指導要領を熟読すること。また、関連分野について中学校までの学習範囲を復習しておく。	A・G			

テキスト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説 理科編 ―平成29年7月』、東洋館出版社
参考書	養老孟司・角屋重樹ほか、2020年、『みらいをひらく小学校理科3～6』、教育出版

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		30%		20%	
	補足	最終試験		レポート課題など			

課題に関するフィードバックの方法	毎時間 Forms を利用して授業評価及び質問を回収し、次時にその結果や回答を行う。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	北海道内公立小・中学校勤務(1997～2011)、北海道教育研究所附属理科教育センター研究研修主事(2011～2014)
		科目との関連	教育現場における理科教員の経験と、教員に対する研修経験を活かし、現場で生きる理科教育を伝えることができる。

質問への対応	講義中も遠慮なく質問してください。また、各講義の終わりに記入するレビューシートでも質問を受け付けます。
資格	[教]小1種_必修
その他	最終試験は第16回目に行う予定です。理科好きの子どもを育てるためにはどうしたらよいか、みなさんが「小学校の教師」になったことを想定して、楽しい授業づくりを考えてください。

科目名	家庭科概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	木下　教子				

授業の目的	
ねらい	少子高齢化、家庭の教育力の低下、食生活の乱れ、消費者問題や環境問題の深刻化など、子どもたちを取りまく環境には多くの課題がみられ、家庭科教育においてその対応が求められています。小学校家庭科で育む内容について学びます。
到達目標	(1)家庭生活を大切にする心情を育むことを目指した学習活動を理解する。 (2)生活に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技能を養う。 (3)自ら生活をよりよくしようと工夫する能力と実践的な態度を育む。 (4)日常生活の中から問題を見出して、様々な解決方法を考える。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】家庭生活における児童の現状と家庭科教育で育む資質、能力について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】小·中·高校と学んだ家庭科教育をふり返る。	A	第9回	【テーマ】快適な衣服について3 【計画内容】衣服の手入れとして、ボタンのつけ方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ボタンの種類やボタンのつけ方の手順について調べておく。	A
第2回	【テーマ】小学校家庭科の目標 【計画内容】家庭科の目標は3つの柱から構成されている。その内容構成について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】学習指導要領解説の教科の目標を熟読しておく。	A	第10回	【テーマ】手縫いの種類、手法について学ぶ 【計画内容】なみ縫い、返し縫い、かがり縫いなどを使い、運針をする。 【授業時間外の学修内容】いろいろな手縫いのしかたについて、針の動きを確認しておく。	D
第3回	【テーマ】家庭生活と家族について 【計画内容】家庭には自分や家族の生活を支える仕事があることなど、家庭生活の意義について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】自分の生活時間について調べておく。	A	第11回	【テーマ】手縫いによる生活に役立つものの製作1 【計画内容】なみ縫い、返し縫い、かがり縫いなどを使い、小物の製作計画を作る。 【授業時間外の学修内容】布の裁断、印づけ、目的にあった縫い方を確認し、復習する。	D
第4回	【テーマ】日常の食事と調理の基礎について 【計画内容】食品の栄養的な特徴を知り、食品を組み合わせてとる必要があることを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】バランスのよい食事について、日常食べている料理のなかで考えておく。	A	第12回	【テーマ】手縫いによる生活に役立つものの製作2 【計画内容】製作手順に沿って、小物を完成させる。 【授業時間外の学修内容】アイロンのかけ方の留意点について調べておく。	D
第5回	【テーマ】調理の基礎について 【計画内容】野菜を使った副菜を作るためにどのように調理計画をたてるかを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】野菜の洗い方、切り方、保存方法について調べておく。	A	第13回	【テーマ】身近な消費生活について 【計画内容】物の選び方や買い方など、目的にあった品質のよいものを適切に購入する方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】自分の消費生活における課題について考えておく。	A
第6回	【テーマ】家庭科と食育について 【計画内容】食育基本法に基いて、児童の食育の概要について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】児童における食生活の問題点について調べておく。	A	第14回	【テーマ】快適な住まいについて 【計画内容】住まい方に関心をもって、整理·整頓や清掃の仕方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】身の回りの収納の仕方など空間を有効に使えるように考えておく。	A
第7回	【テーマ】快適な衣服について1 【計画内容】季節に応じた日常着の快適な着方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】日常着として着ている繊維の種類について調べておく。	A	第15回	【テーマ】講義のまとめと確認 【計画内容】これまでの学習をふり返り、家庭科教育の課題をまとめる。 【授業時間外の学修内容】学習指導要領、ノート、プリント等を復習しておく。	L
第8回	【テーマ】快適な衣服について2 【計画内容】手洗いを中心として洗濯の基本について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】環境に配慮した洗濯のしかた、取扱い絵表示について調べておく。	A			

テキスト	浜島京子他、2020年、『新しい家庭5·6』、東京書籍、978-4-487-10590-8 文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説　家庭編』、東洋館出版社、9784491023748
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%	40%	20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	管理栄養士
	科目との関連	実務経験をふまえ、食育指導の方法を教授する。

質問への対応	質問は、講義中·講義後に対応します。
資格	[教]小1種_必修
その他	日常生活を整える大切さについて、学んでほしい。

科目名	英語科概論	授業形態	講義	単位数	2

教員名	相馬　和俊

授業の目的		
	ねらい	小学校における外国語活動・外国語の授業実践に必要な実践的な英語運用能力を、授業場面を意識しながら身に付けるとともに、小・中学校の接続も踏まえながら、小学校における外国語活動・外国語の授業を担当するために必要な英語に関する背景的な知識を身に付けます。
	到達目標	(1)授業実践に必要な「聞く力・話す力(やり取り・発表)・読む力・書く力」を身に付けている。 (2)英語に関する基本的な事柄(音声、語彙、文構造、文法、正書法等)について理解している。 (3)第二言語習得に関する基本的な事柄や、異文化理解に関する事柄について理解している。 (4)児童文学(絵本、子供向けの歌等)について理解している。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス、小学校外国語教育について 【計画内容】講義の展開や到達目標、評価方法や学習上の決まりについて説明します。また、小学校外国語教育の全体像について解説します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】異文化理解 【計画内容】異文化理解に関する事柄について理解します。 【授業時間外の学修内容】講義内容を復習し、異文化理解について理解しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】聞くこと 【計画内容】実際に英語を用いた言語活動を通して、授業実践に必要な「聞く力」を身に付けます。 【授業時間外の学修内容】講義内容を復習し、「聞くこと」についての理解を深めておくこと。	A・E	第10回	【テーマ】英語に関する基本的な知識(1) 【計画内容】英語の音声について理解します。 【授業時間外の学修内容】講義内容を復習し、英語の音声について理解しておくこと。	A・E
	第3回	【テーマ】話すこと 【計画内容】実際に英語を用いた言語活動を通して、授業実践に必要な「話す力」を身に付けます。 【授業時間外の学修内容】講義内容を復習し、「話すこと」についての理解を深めておくこと。	A・E	第11回	【テーマ】英語に関する基本的な知識(2) 【計画内容】英語の発音とつづりについて理解します。 【授業時間外の学修内容】講義内容を復習し、英語の発音とつづりについて理解しておくこと。	A・E
	第4回	【テーマ】読むこと 【計画内容】実際に英語を用いた言語活動を通して、授業実践に必要な「読む力」を身に付けます。 【授業時間外の学修内容】講義内容を復習し、「読むこと」についての理解を深めておくこと。	A・E	第12回	【テーマ】英語に関する基本的な知識(3) 【計画内容】英語の文構造・文法について理解します。 【授業時間外の学修内容】講義内容を復習し、英語の文構造・文法について理解しておくこと。	A・E
	第5回	【テーマ】書くこと 【計画内容】実際に英語を用いた言語活動を通して、授業実践に必要な「書く力」を身に付けます。 【授業時間外の学修内容】配付した資料に基づき、課題に取り組むこと。	A・E	第13回	【テーマ】英語に関する基本的な知識(4) 【計画内容】英語の語彙について理解します。 【授業時間外の学修内容】講義内容を復習し、英語の語彙について理解しておくこと。	A・E
	第6回	【テーマ】児童文学の活用(1) 【計画内容】児童文学(絵本、児童向けの歌や詩等)について理解します。 【授業時間外の学修内容】講義内容を復習し、児童文学等題材の活用について理解しておくこと。	A・E・H	第14回	【テーマ】英語に関する基本的な知識(5) 【計画内容】英語の書き方(正書法等)について理解します。 【授業時間外の学修内容】講義内容を復習し、英語の書き方(正書法等)について理解しておくこと。	A・E
	第7回	【テーマ】児童文学の活用(2) 【計画内容】児童文学(絵本、児童向けの歌や詩等)について理解します。 【授業時間外の学修内容】配付した資料に基づき、課題に取り組むこと。	A・E・H	第15回	【テーマ】講義のまとめと振り返り 【計画内容】小学校における外国語活動・外国語の授業実践に必要な英語運用力と知識についてまとめます。 【授業時間外の学修内容】講義で使用した資料等について理解を深めておくこと。	A・L
	第8回	【テーマ】第二言語習得 【計画内容】第二言語習得に関する事柄について理解します。 【授業時間外の学修内容】講義内容を復習し、第二言語習得に関する基本知識について理解しておくこと。	A			

テキスト	文部科学省、2018年、『Let's Try!1』、東京書籍、9784487258703 文部科学省、2018年、『Let's Try!2』、東京書籍、9784487258710 文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説外国語活動・外国語編』、開隆堂、9784304051685 プリントを使用します。
参考書	鈴木渉他、2019年、『小中学校で英語を教えるための必携テキスト』、東京書籍、9784487811465 講義時に説明します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%	30%	40%	
	補足			レポート	教材		

課題に関するフィードバックの方法	第15回に課題(レポート)や作品(教材)を返却し、学んだ内容を振り返りながら講評を行います。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	小学校外国語専科教諭
		科目との関連	外国語専科教諭としての業務経験を踏まえ、実務に即した指導を行います。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]小1種_必修
その他	

科目名	教育原理(幼・小)	授業形態	講義	単位数	2
教員名	井上　大樹				

授業の目的

ねらい	様々な教育職に通底する、教育に関する基本的な知見(歴史、法制度、学問領域、現代的課題など)を得る。中でも、学習する一人ひとりの権利が様々な教育実践によって内実が深まってきた経緯に重点をおく。講義全体をとおして、具体的な教育問題や教育実践を取りあげ、理論と実践を結ぶ視点を育む。
到達目標	(1)自分が目指す教育職との関わりを認識する。 (2)教育の基本的概念や教育の本質及び目標を、教育を成り立たせる要素とそれらの相互関係を理解する。 (3)教育に関する代表的な教育家の思想と理念や実際の学校との関わりを理解する。 (4)家族と社会の教育の歴史、近代教育制度の成立と展開を理解する。 (5)歴史的な視点を含めた現代社会における教育課題を理解する。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション／教育(学)とは何か 【計画内容】授業展開、学生の到達(行動)目標、成績評価方法などについて理解する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A・K	第9回	【テーマ】「学力」とは何か(1):測定方法の変遷と日本の課題 【計画内容】PISA をはじめとする国際的な学力調査の整備に伴い、明らかになった日本の課題について理解する。 【授業時間外の学修内容】「全国学力調査」(国語、算数・数学)の問題を入手し、解きながら内容を検討すること。	A・K・L
第2回	【テーマ】教育の本質と目標 【計画内容】義務教育未了者の苦労と学ぶ喜びを実感している姿から、これまでの自分の学びへの姿勢を見直す。 【授業時間外の学修内容】事前配付資料を熟読すること。	A・J・L	第10回	【テーマ】「学力」とは何か(2):「学力向上」の授業づくりの要点 【計画内容】学力の定義、望まれる学力について日本の教育政策の重点を確認した上で、「学力向上」の重要性を理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト1. 第2章、第11章を読み、わからない語句は事前に調べておくこと。	A・K・L
第3回	【テーマ】代表的な教育家の思想と現代の教育観 【計画内容】教育観(教育に対する基本的な考え方)の歴史を人物および社会的背景を交えて理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト1. 第1章を読み、わからない語句は事前に調べておくこと。	A・K・L	第11回	【テーマ】子どもの仲間づくりの現状と生徒指導・生活指導の原理 【計画内容】子どもたちの仲間づくりの現状について理解を深め、生徒指導の重要性について理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト1. 第10章を読み、わからない語句は事前に調べておくこと。	A・J・L
第4回	【テーマ】家族と社会による教育の歴史 【計画内容】家族や(地域)社会の教育的(子育て)機能の変遷を理解する。 【授業時間外の学修内容】事前配付資料を熟読すること。	A・K・L	第12回	【テーマ】学校における道徳教育の意義 【計画内容】特別な教科としての道徳教育の位置づけを歴史的経緯を踏まえて理解する。 【授業時間外の学修内容】自分たちが受けてきた道徳教育について振り返り、意義と課題についてまとめること。	A・K・L
第5回	【テーマ】家庭や子どもに関わる教育の思想 【計画内容】多様化する家庭教育の価値観にそれぞれ通底する思想的ルーツを理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト1. 第3章を読み、わからない語句は事前に調べておくこと。	A・K・L	第13回	【テーマ】学校教育と生涯学習・社会教育 【計画内容】生涯学習の視点から、社会教育の実際と意義について明らかにし、学校教育との連携の今日的課題を考える。 【授業時間外の学修内容】テキスト1. 第12章を読み、わからない語句は事前に調べておくこと。	A・K・L
第6回	【テーマ】近代学校の成立から普通教育の整備まで 【計画内容】現在の学校教育の形態がどのようにして形成されたか、普通教育など国民皆教育の視点から理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト1. 第5章を読み、わからない語句は事前に調べておくこと。	A・K・L	第14回	【テーマ】変容する社会と教育問題 【計画内容】子育て家庭の貧困、格差社会、若者の就職難、多文化共生など変容する社会が抱える問題が教育にどのように影響(問題化)するかを具体的事例などから検討する。 【授業時間外の学修内容】前時(第13回)に指定されたキーワードについて班内で分担して調べておくこと。	A・K・L
第7回	【テーマ】教育問題から見る現在の学校制度、学校文化 【計画内容】現在の教育問題に潜む、学校の「あたりまえ」(制度の基本概念、文化)について知り、問い直す視点をもつ。 【授業時間外の学修内容】現代の学校教育にまつわる問題について最近の新聞・雑誌記事から調べておくこと。	F・K・L	第15回	【テーマ】教育・保育(対人援助)職として探求すべき教育学(まとめとふりかえり) 【計画内容】教育学の基本的な考え方についてまとめ、意見交流を踏まえ自分の見解をまとめる。 【授業時間外の学修内容】第2回～第14回の授業内容について、残された疑問についてあらかじめ調べたり質問したりすること。	G
第8回	【テーマ】学校や学習に関わる教育の思想 【計画内容】教育課程編成の原理や授業における児童の位置づけについての主な理論について理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト1. 第4章を読み、わからない語句は事前に調べておくこと。	A・K・L			

テキスト	勝野正章・庄井良信、2015年、『問いからはじめる教育学』、有斐閣、9784641150140 文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説　総則編 ―平成29年7月』、東洋館出版社、9784491034614
参考書	筒井美紀・遠藤野ゆり、2013年、『教育を原理する』、法政大学出版局、9784588680076 降旗信一編、2017年、『持続可能な地域と学校のための学習社会文化論』、学文社、9784762026973 児美川孝一郎、2015年、『まず教育論から変えよう』、太郎次郎社エディタス、9784811807812

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			55%		15%	30%
補足			ワークシート(予習も含む)		自主学習・議論など	学習のまとめ(復習を含む)

課題に関するフィードバックの方法	毎回のワークシートを添削のうえ、返却します。全体に共通する注意点(事実誤認、誤字など)があれば、随時注意喚起のアナウンスを行います。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]幼・小1種_必修、保育士_必修、社会福祉主事_選必
その他	「学習のまとめ」は第15回に実施(遠隔授業の場合は第13回～第15回に分けて実施)。 教育への実践的理解を深めるために、教育雑誌の講読及び教育系研究会・学会の参加を推奨する。

科目名	保育内容総論	授業形態	演習	単位数	2
教員名	工藤　ゆかり				

授業の目的		
	ねらい	幼稚園·認定こども園·保育所における保育の目標は、子どもの健全な心身の発達を図りつつ生涯にわたる人格形成の基礎を培うことです。この授業では、幼児教育において育みたい資質·能力を理解し、遊びや生活を通して5領域のねらいが総合的に達成されることを理解します。また、乳幼児期の発達の特性を理解し、発達に応じた主体的·対話的な学びが実現する過程を踏まえて、具体的な指導場面を想定して保育を構想する力を身に付けます。
	到達目標	(1)保育内容の基礎的理念が分かり、保育内容の体系と各領域の目標を理解する。 (2)乳幼児期の子どもの発達について理解し、年齢·発達に応じた保育方法を考えることができる。 (3)子どもへの願いをもって計画を立て、保育を構想する力を身に付ける。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】「保育内容総論」における学習の到達目標とねらいを理解すると共に、15回の授業内容を概観します。 【授業時間外の学修内容】『演習保育内容総論』の目次と全体に目を通しておくこと	A	第9回	【テーマ】領域「健康」について 【計画内容】5領域の1つである領域「健康」のねらいを理解し、ねらいを達成するための保育内容について学習します。 【授業時間外の学修内容】『演習保育内容総論』の第4章1節を読んでおくこと	A·B
	第2回	【テーマ】保育内容の歴史的変遷 【計画内容】保育内容の変遷を学習し、日本の保育内容がどのような背景の下に今日に至っているかを学習します。 【授業時間外の学修内容】『演習保育内容総論』の第1章を読んでおくこと	A·B	第10回	【テーマ】領域「人間関係」について 【計画内容】5領域の1つである領域「人間関係」のねらいを理解し、ねらいを達成するための保育内容について学習します。 【授業時間外の学修内容】『演習保育内容総論』の第4章2節を読んでおくこと	A·B
	第3回	【テーマ】保育内容の考え方 【計画内容】幼稚園·認定こども園·保育所における保育内容について「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育·保育要領」「保育所保育指針」に基づいて学習します。 【授業時間外の学修内容】『演習保育内容総論』の第2章を読んでおくこと	A·B	第11回	【テーマ】領域「環境」について 【計画内容】5領域の1つである領域「環境」のねらいを理解し、ねらいを達成するための保育内容について学習します。 【授業時間外の学修内容】『演習保育内容総論』の第4章3節を読んでおくこと	A·B
	第4回	【テーマ】子どもの発達に応じた保育内容 【計画内容】乳幼児期の各年齢の発達の特性を理解し、健全な心身の発達を促す保育内容について学習します。 【授業時間外の学修内容】『演習保育内容総論』の第3章2節を読んでおくこと	A·B	第12回	【テーマ】領域「言葉」について 【計画内容】5領域の1つである領域「言葉」のねらいを理解し、ねらいを達成するための保育内容について学習します。 【授業時間外の学修内容】『演習保育内容総論』の第4章4節を読んでおくこと	A·B
	第5回	【テーマ】遊びや生活を通して学ぶ 【計画内容】乳幼児期における遊びの重要性を学び、遊びを通して育つ子どもの姿を事例を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】『演習保育内容総論』の第3章3節、4節を読んでおくこと	A·B	第13回	【テーマ】領域「表現」について 【計画内容】5領域の1つである領域「表現」のねらいを理解し、ねらいを達成するための保育内容について学習します。 【授業時間外の学修内容】『演習保育内容総論』の第4章5節を読んでおくこと	A·B
	第6回	【テーマ】幼稚園·認定こども園·保育所の一日と保育内容 【計画内容】幼稚園·認定こども園·保育所の一日を概観し、子どもの心もちと保育者の果たすべき役割について学びます。 【授業時間外の学修内容】『演習保育内容総論』の第2章を読んでおくこと	A·B	第14回	【テーマ】保育の役割と保育内容1(特別な支援を必要とする子どもへの対応) 【計画内容】特別な支援を必要とする子どもへの対応の在り方について、事例を通して学習します。 【授業時間外の学修内容】『演習保育内容総論』の第5章1節を読んでおくこと	A·B
	第7回	【テーマ】教育課程·保育課程と指導計画1 【計画内容】教育課程·保育課程及び指導計画(長期·短期)について学習します。 【授業時間外の学修内容】自分の実践したい保育内容を考えておくこと	A·B	第15回	【テーマ】保育の役割と保育内容2(家庭との連携、小学校との連携、地域との連携) 【計画内容】家庭との連携、小学校との連携、地域との連携について、事例を通して学習します。 【授業時間外の学修内容】『演習保育内容総論』の第5章2節、3節、4節を読んでおくこと	A·F
	第8回	【テーマ】教育課程·保育課程と指導計画2 【計画内容】具体的な保育を想定した園内外環境を構想し、環境を通しての保育についての理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】自分の実践したい保育内容に応じた保育の環境を考えておくこと	A·F			

テキスト	酒井幸子·守巧、2018年、『演習保育内容総論』、萌文書林、978-4-89347-280-9
参考書	文部科学省、2017年、『幼稚園教育要領』、フレーベル館、978-4-577-81422-2 厚生労働省、2017年、『保育所保育指針』、フレーベル館、978-4-577-81423-9 内閣府、2017年、『幼保連携型認定こども園教育·保育要領』、フレーベル館、978-4-577-81424-6

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			80%			20%
	補足			演習			プレゼンテーション

課題に関するフィードバックの方法	演習及び課題は、評価して返却します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	幼稚園教諭·幼児教育担当指導主事
		科目との関連	幼稚園教諭·幼児教育担当指導主事の経験をもとに実務に即した指導を行う

質問への対応	授業中·授業後に質問を受けます。
資格	[教]幼1種_必修、保育士_必修
その他	

科目名	保育内容指導論	授業形態	演習	単位数	2
教員名	工藤　ゆかり				

授業の目的		
	ねらい	保育者は、子どもの主体的・対話的で深い学びが実現できるように、広い視野と見通しをもって子ども達の育ちを捉え、保育を構想し、実践しなければなりません。「なぜ」「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」「どのように」指導するのかを、事例や実技を通しながら理論と実践について学びます。
	到達目標	(1)事例を通して、幼児教育において育みたい資質・能力を理解し、具体的な保育の指導法を理解する。 (2)多様な保育者の役割について理解する。 (3)保育指導案作成、教材研究、模擬保育を通して保育を構想する力、保育実践力を身に付ける。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】「保育内容指導論」における学習の到達目標とねらいを理解し、15回の授業内容を概観します。 【授業時間外の学修内容】『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に目を通しておくこと	A	第9回	【テーマ】0・1・2歳児の発達に応じた保育方法 【計画内容】0・1・2歳児の発達について理解し、その発達に応じた保育方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】0・1・2歳児の発達に関する資料を読んでおくこと	A
	第2回	【テーマ】保育方法とは何か 【計画内容】保育者の子どもへの関わり方、保育の展開の仕方について、事例を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に目を通しておくこと	A・J	第10回	【テーマ】保育指導計画の実際1(保育の構想) 【計画内容】今まで学んできたことを基に、保育を計画します。 【授業時間外の学修内容】保育内容を考えておくこと	A・B
	第3回	【テーマ】子ども理解からはじまる保育方法 【計画内容】保育の出発点である子どもを理解し、子ども理解に基づく保育方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に目を通しておくこと	A・B	第11回	【テーマ】保育指導計画の実際2(指導案作成) 【計画内容】計画した保育の指導案を作成します。 【授業時間外の学修内容】保育方法を考えておくこと	B
	第4回	【テーマ】環境を生かした保育方法 【計画内容】幼児教育の基本である環境を通しての保育方法ついて事例を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に目を通しておくこと	A・J	第12回	【テーマ】保育指導計画の実際3(教材研究) 【計画内容】指導案を基に、保育を展開するための教材の在り方について、教材研究しながら学びます。 【授業時間外の学修内容】教材研究をしておくこと	B
	第5回	【テーマ】遊びを通しての総合的な指導方法 【計画内容】子どもにとって遊びが学びであることを理解し、遊びを通しての総合的な指導方法について事例を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に目を通しておくこと	A・J	第13回	【テーマ】保育指導計画の実際4(模擬保育1とふり返り) 【計画内容】模擬保育を実践し、保育実践力を身に付けます。また、模擬保育後に保育をふり返り、省察します。 【授業時間外の学修内容】指導案に目を通しておくこと	E・L
	第6回	【テーマ】個と集団を生かした保育方法　特別な支援を必要とする子どもに対する保育方法 【計画内容】個の育ち、集団の育ちを保障する保育方法について学びます。また、特別な支援を必要とする子どもに対する保育方法について、事例を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に目を通しておくこと	A・J	第14回	【テーマ】保育指導計画の実際5(模擬保育2とふり返り) 【計画内容】模擬保育を実践し、保育実践力を身に付けます。また、模擬保育後に保育をふり返り、省察します。 【授業時間外の学修内容】指導案に目を通しておくこと	E・L
	第7回	【テーマ】子どもにふさわしい園生活と保育形態 【計画内容】子どもにとってふさわしい園生活とは、及び子どもの実態に即した保育形態ついて学び、一日の流れをデザインする力を身に付けます。 【授業時間外の学修内容】『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に目を通しておくこと	A・B	第15回	【テーマ】子どもを育てる保育方法 【計画内容】模擬保育をふり返り、子どもを育てるための様々な保育方法について、自分の考えをまとめます。 【授業時間外の学修内容】それぞれの模擬保育について、省察しておくこと	A・B
	第8回	【テーマ】3・4・5歳児の発達に応じた保育方法 【計画内容】3・4・5歳児の発達について理解し、その発達に応じた保育方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】3・4・5歳児の発達に関する資料を読んでおくこと	A			

テキスト	文部科学省、2017年、『幼稚園教育要領』、フレーベル館、978-4-577-81422-2 厚生労働省、2017年、『保育所保育指針』、フレーベル館、978-4-577-81423-9 内閣府、2017年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』、フレーベル館、978-4-577-81424-6
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		70%	30%			
	補足		指導案・教材研究・模擬保育	演習			

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連	該当	経験内容	幼稚園教諭・幼児教育担当指導主事
		科目との関連	幼稚園教諭・幼児教育担当指導主事の経験をもとに実務に即した指導を行う

質問への対応	講義中・講義後に質問を受けます。
資格	[教]幼1種_必修、保育士_必修
その他	

科目名	教育原理(幼・小)	授業形態	講義	単位数	2
教員名	白石　淳				

授業の目的	
ねらい	これまでの教育の歴史や思想を概観し、教育の基本的概念・理念や制度を学ぶとともに、教育の意義と乳幼児期の教育の特性を理解する。また、教育・学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解する。
到達目標	(1)教育の基本的概念を身に付け、教育を成り立たせる諸要因との関係を説明することができる。 (2)教育の歴史の基礎知識を身に付け、それらと多様な教育理念・教育との関わり及び教育・学校の変遷を説明することができる。 (3)教育に関する思想や理念、それらと今日の教育・学校との関わりについて理解することができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】教育を学ぶ意義と学校の役割について 【計画内容】胎児及び小児、少年の発達過程を理解し、教育を学ぶ意義、学校の果たすべき役割について考えをまとめる。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を読んでくること。子どもの頃の楽しかった想い出を考え、その理由を考えること。	A・G	第9回	【テーマ】教育基本法の理念と教育の目的・目標について 【計画内容】法律主義の意味を理解したうえで、教育基本法の各条文から教育の理念、その目的・目標、教育の果たすべき役割を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.84-p.85を読んでくること。札幌夜間中学「遠友塾」のホームページを閲覧し、学ぶ意味について考え、まとめること。また、幼児教育の意味を考えること。	A・G
第2回	【テーマ】教育の基本概念と教育の必要性について 【計画内容】子どもの成長の記録から教育の重要性・必要性を理解し、教育の基本概念を考える。また自己のライフストリーをみつめ、そのなかでの教育の果たす意義・必要性を考える。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.1-p.5を読んでくること。自分の母子手帳等の記録を見て、自分の成長を振り返ること。	A・G	第10回	【テーマ】教育制度の成立と展開について 【計画内容】ドイツ、アメリカ等の諸国の教育制度を理解し、日本の教育制度の変遷と教育行政の仕組みを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】自分の出身高校のホームページを閲覧し、学校教育の目標・カリキュラムなどを確認すること。北海道教育委員会のホームページを閲覧し、道の教育の目標などを確認すること。	A
第3回	【テーマ】教育の目的、義務としての教育について 【計画内容】教育の目標、教育の義務の必要性を教育思想を踏まえて、教育が必要となった理由及び教育に義務が生じた理由を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.6-p.10を読んでくること。「スバルタ」「無知の知」についてインターネットなどで調べ、まとめること。	A	第11回	【テーマ】現代社会における教育の課題について(1) 教育課程と課題 【計画内容】学校の教育課程の変遷を概観し、今日の教育の基盤である「生きる力」の内容を理解する。また今日の教育改革の動向や学校の新しい方向性を踏まえながら、そこに横たわる課題を考える。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.78-p.80、p.106-p.107を読んでくること。「北海道の教育の改革の動向」を検索し、その動向をまとめること。	A・G
第4回	【テーマ】日本の教育の歴史について(1) 終戦まで 【計画内容】明治5年までの教育、明治・大正・昭和初期の教育に関する政策・制度、教育内容の特徴を理解する。また教育勅語の内容と当時の教育のあり方を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.55-p.72の資料を確認すること。広島原爆資料館のホームページを閲覧して、戦争の惨禍について考えること。	A	第12回	【テーマ】現代社会における教育の課題について(2) 今日的教育の課題と子ども家庭福祉等との関わり 【計画内容】教育や学校が抱える今日的課題として、子どもの貧困、支援を要する子ども(特別支援教育の充実)、教員の多忙(チーム学校の必要性)などの問題を取り上げ、その内容を理解し、解決の方策を考える。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.147-p.148を読んでくること。自宅近くの特別支援学校のホームページを閲覧し、学校(幼稚部を中心として)の概要をまとめること。	A
第5回	【テーマ】日本の教育の歴史について(2) 戦後から現在まで 【計画内容】戦後から高度成長期、現在に至るまでの教育政策・制度と教育内容の特徴を、教育を受ける権利と義務を視点として学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.72-p.73、p.12-p.15を読んでくること。幼稚園・小学校における改善点(施設、教育活動他)を考えること。	A・G	第13回	【テーマ】子ども・家庭・地域・学校と相互関係について 【計画内容】今日の地域や家庭が抱える課題を理解したうえで、地域・家庭と学校との相互関係について学ぶ。また学校が地域・家庭に理解されるための連携等の方策を考える。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.33-p.135を読んでくること。出身(地域)の幼稚園・保育所、小学校のホームページを閲覧したうえで、地域の課題を考えること。	A
第6回	【テーマ】教育思想と子どもの権利について(1) 子どもの発見、産業革命と子どもの生活 【計画内容】子どもの発見、産業革命と子どもの生活を概観したうえで、フレーベル等の教育思想について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.24-p.33を読んでくること。自分が通った幼稚園・保育園の目標を、インターネットで調べること。	A	第14回	【テーマ】教師・子どもとの相互関係について 【計画内容】教育実践における教師と児童生徒との係りから、教員の育成指標を含めながら、教育の理念を考える。 【授業時間外の学修内容】自分が出会った教師を思い出し、思い出した理由をまとめてくること。授業で配付した資料を読みなおし、理想とする教師像を考えること。	A・G
第7回	【テーマ】教育思想と子どもの権利について(2) 新教育運動と子どもの権利 【計画内容】新教育運動などの教育思想・思想家を概観し、人権思想の高まり(世界人権宣言他)を理解したうえで、子どもに関する権利条約の内容、理念を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスト p.24-p.36、p.39-p.44を読んでくること。ペスタロッチについて、インターネット等で調べ、その理念をまとめること。	A	第15回	【テーマ】生涯学習社会における教育の現状と課題 【計画内容】教育は「子どもの未来をつくるため」に必要不可欠であることを理解し、「教育とはなにか」について考える。またこの授業で学んだことを、振り返りまとめる。 【授業時間外の学修内容】幼稚園、小・中学校、高校のアルバムを開き、どのような学校生活を送ってきたのかを振り返ること。これまで学んだことを振り返り、教育の意義について考え深めること。	A・L
第8回	【テーマ】教育を受ける権利について 【計画内容】日本国憲法における教育に係る条文を確認し、教育を受ける権利、平等主義、個人の尊重他を理解する。また、権利と義務の関係、権利の意味を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】日本国憲法の教育に関する条項を確認してくること。児童養護施設の役割について調べ、まとめること。	A・G				

テキスト	遠藤孝夫他、2016年、新訂版『資料で考える　子ども・学校・教育』、学術図書出版、4873617723
参考書	文部科学省、2017年、『幼稚園教育要領(平成29年告示)』、フレーベル館、9784577814222 内閣府・文部科学省・厚生労働省、2017年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年告示)』、フレーベル館、4577814242 厚生労働省、2017年、『保育所保育指針』、フレーベル館、9784577814239

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%			40%
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	高等学校教諭、学校評議員
	科目との関連	実務経験を活かし、教育実践上の課題等を含めながら教授します。

質問への対応	授業終了後に教室で質問に応じます。または、E-Mail:jun-jun@hoku-iryo-u.ac.jp にご連絡ください。
資格	[教]幼・小1種_必修、保育士_必修、社会福祉主事_選必
その他	各回の授業終了時に、授業に関する課題についてのコメント等を提出して貰うことがあります。

科目名	保育原理	授業形態	講義	単位数	2
教員名	工藤　ゆかり				

授業の目的	
ねらい	乳幼児期は人間形成の基礎を培う上で重要な時期であり、保育に携わる者には人間性と保育の専門性が求められています。また、今日の社会環境、育児環境の変化から保育ニーズへの多様化が進み、保育には質の高い養護と教育の機能を果たすことへの期待が高まっています。個々の子どもが現在をより良く生き、望ましい未来を創り出す力の基礎を培うことができるよう、保育の基本となる保育原理を学びます。また、乳幼児期の子どもの発達特性を理解し、遊びや生活を通して成長していくために保育者にはどのような援助が求められているかを学習します。
到達目標	(1)我が国の保育の意義と目標について理解する。 (2)日本や諸外国の保育の歴史や、その底流にある保育思想について理解する。 (3)保育の内容と方法、計画について事例などを通して理解する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】「保育原理」における学習の到達目標とねらいを理解すると共に、15回の授業内容を概観します。 【授業時間外の学修内容】『つながる保育原理』の目次と全体に目を通しておくこと	A	第9回	【テーマ】健康・安全と特別な支援を必要とする子どもへの対応 【計画内容】子どもが、安全が確保された環境の下で、健康に育つための配慮や取組について学習します。また、特別な支援を必要とする子どもに対する対応の理念と実際について学習します。 【授業時間外の学修内容】『つながる保育原理』の第3章を読んでおくこと	A・B
第2回	【テーマ】保育の意義と理念及び目標 【計画内容】保育の意義について考え、「保育」と「養護」および「教育」の関係、保育の専門性について学習します。 【授業時間外の学修内容】『つながる保育原理』の第1章を読んでおくこと	A・B	第10回	【テーマ】欧米の保育の歴史を振り返る 【計画内容】欧米における保育の歴史を振り返り、現在の日本の保育にどのような影響を与えているのかをグループで考え、全体で意見交換します。 【授業時間外の学修内容】『つながる保育原理』の第11章を読んでおくこと	A・B
第3回	【テーマ】保育基盤としての子ども観 【計画内容】自身がもつ子ども観、保育観について、演習を通して確認し、保育者の子ども観が保育にどのような影響を与えるかについて学習します。 【授業時間外の学修内容】『つながる保育原理』の第2章を読んでおくこと	A・B	第11回	【テーマ】日本の保育の歴史を振り返る 【計画内容】日本における保育の歴史を振り返り、現在の日本の保育にどのようにつながっているのかをグループで考え、全体で意見交換します。 【授業時間外の学修内容】『つながる保育原理』の第12章を読んでおくこと	A・B
第4回	【テーマ】子ども理解から出発する保育 【計画内容】保育における子ども理解の重要性について知り、子どもの発達や特性の理解に基づく保育の在り方について学習します。 【授業時間外の学修内容】『つながる保育原理』の第2章を読んでおくこと	A・B	第12回	【テーマ】保育者に求められる専門性 【計画内容】保育者としての仕事内容を理解し、子どもとの関わりの中で求められるもの、保護者との関わりの中で求められるものについて学習します。 【授業時間外の学修内容】『つながる保育原理』の第9章を読んでおくこと	A・B
第5回	【テーマ】子どもが育つ環境の理解 【計画内容】幼児教育の特色である「環境を通しての保育」について理解し、自分が実践したい保育室の環境についてグループで実際に図で描き、全体に披露し、他のグループと比較し、話し合うことを通して学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】『つながる保育原理』の第8章を読んでおくこと	A・B	第13回	【テーマ】在園児の保護者及び地域の子育て家庭に対する子育て支援の理念と実際 【計画内容】現在の子育てを取り巻く状況を理解し、子育て支援における保育者に求められる役割について学習します。 【授業時間外の学修内容】『つながる保育原理』の第10章を読んでおくこと	A・B
第6回	【テーマ】保育内容・方法の原則1 【計画内容】領域の考え方、保育の基本である子どもの主体性・自発性を発揮する保育の在り方、遊びを通しての総合的な指導について学習します。 【授業時間外の学修内容】『つながる保育原理』の第5章、第6章、第7章を読んでおくこと	A・B	第14回	【テーマ】保育の評価と苦情対応及び保育者の研修 【計画内容】保育の質の向上のための保育評価及び苦情解決の在り方について学習します。また、保育者の資質の向上に欠かせない研修はどのように行われているのかについて学習します。 【授業時間外の学修内容】『つながる保育原理』の第9章を読んでおくこと	A・B
第7回	【テーマ】保育内容・方法の原則2 【計画内容】保育内容・方法の原理1の学びを基に、自分はどのような保育を実践したいかを考え、発表して学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】自分のやりたい保育の計画を立てておくこと	B・F	第15回	【テーマ】保育の現状と課題 【計画内容】子育てを社会全体で支えるという意識が広がっていることの背景や実際上の課題について考えます。 【授業時間外の学修内容】『つながる保育原理』の第13章を読んでおくこと	A・B
第8回	【テーマ】保育の計画と実践の原理 【計画内容】保育の計画にはどのようなものがあるのかを知り、教育課程・保育課程と指導計画との関連性及び指導計画→保育実践→記録→省察→評価のサイクルについて学習します。 【授業時間外の学修内容】『つながる保育原理』の第8章を読んでおくこと	A・B				

テキスト	井上孝之・小原敏郎・三浦主博、2018年、『つながる保育原理』、みらい、978-4-86015-438-7
参考書	文部科学省、2017年、『幼稚園教育要領』、フレーベル館、978-4-577-81422-2 厚生労働省、2017年、『保育所保育指針』、フレーベル館、978-4-577-81423-9 内閣府、2017年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』、フレーベル館、978-4-577-81424-6

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			80%			20%
	補足			演習			プレゼンテーション

課題に関するフィードバックの方法	演習課題については、評価をして返却します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	幼稚園教諭・幼児教育担当指導主事
		科目との関連	幼稚園教諭・幼児教育担当指導主事の経験をもとに実務に即した指導を行う

質問への対応	講義中・講義後に質問を受けます。
資格	[教]幼1種_必修、保育士_必修、社会福祉主事_選必
その他	

科目名	幼児教育演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	岡　健吾、工藤　ゆかり、澤田　悦子				

授業の目的		
	ねらい	本コースでの4年間の学びについて見通しをもちながら、それぞれが目指す保育者像を描くとともに、そのために必要な知識・技術および経験について学びます。また、協同的な活動を通して、チームのなかで責任をもって役割を果たすことの重要性に気づきます。これらの学びによって、幼児教育について専門的に学習するための基礎的な力量を身につけることが、本授業の目的です。
	到達目標	(1)本コースでの4年間の学びを知る。 (2)目指す保育者に必要な知識・技術および経験を理解する。 (3)チームのなかで役割を果たす重要性を理解する。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業概要について説明する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておく。	A
	第2回	【テーマ】コースでの学びに向けて(1)保育カンファレンス① 【計画内容】保育場面の動画を視聴し、今後の学びと保育実践へのイメージをもつ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】保育施設の1日の流れや活動を調べておく。	B
	第3回	【テーマ】コースでの学びに向けて(2)手遊び・絵本・紙芝居 【計画内容】幼児に適した手遊び・絵本・紙芝居を調べ、グループで交流する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】手遊び・絵本・紙芝居を調べておく。	B・K
	第4回	【テーマ】コースでの学びに向けて(3)保育カンファレンス② 【計画内容】保育場面の動画を視聴し、保育実践へのイメージを深める。(全教員) 【授業時間外の学修内容】前回の保育カンファレンスでの学びを振り返っておく。	B
	第5回	【テーマ】コースでの学びに向けて(4)個別面談 【計画内容】担当教員との個別面談を通して自己課題を確認し、今後の学びにつなげる。(全教員) 【授業時間外の学修内容】自己課題を確認しておく。	B
	第6回	【テーマ】コースでの学びに向けて(5)保育者になるために 【計画内容】保育者として働くことを具体的にイメージしながら、実習や保育ボランティアに取り組むにあたって必要な手続きやマナーを確認する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】希望する進路について考えておく。	A
	第7回	【テーマ】こども向けイベントに向けて 【計画内容】後期に実施予定のこども向けイベントの内容を確認し、担当グループに分かれ、活動内容を検討する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】実施したい活動内容について考えておく。	A・H
	第8回	【テーマ】まとめ／夏休みの課題 【計画内容】これまでの授業を振り返るとともに、夏休みに取り組むべき課題を明確にする。(全教員) 【授業時間外の学修内容】前期の学びの到達点と課題を振り返っておく。	A・L

テキスト	講義時に適時配付します。
参考書	講義時に適時配付します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			80%		20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	工藤ゆかり / 幼稚園教諭、幼児教育担当指導主事
		科目との関連	工藤ゆかり / 幼稚園教諭、幼児教育担当指導主事の経験をもとに授業を展開する。

質問への対応	講義時ほか、随時受け付けます。
資格	
その他	

科目名	幼児教育演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	工藤　ゆかり、岡　健吾、澤田　悦子				
授業の目的	ねらい	現在の保育現場では、複数の保育者が協同してクラス運営やこども・保護者への対応を行うことが重視されています。この授業では、本コースで開催するこども向けイベントへの取り組みの中で、こどもに適した遊びの検討、行事の企画・運営を通して、他者と協同して物事を進める力を養うことを目指します。			
	到達目標	(1)グループのなかで協同して物事を進める重要性を理解する。 (2)子どもに適した遊びがわかる。 (3)行事の企画・運営に必要な事項を説明できる。 (4)夏休みの課題の交流を通して、各自の得意分野・苦手分野を理解する。			

授業の計画			
	第1回	【テーマ】オリエンテーション / 夏休みの課題交流 【計画内容】8回の授業の内容を確認する。また、夏休みに行った課題を提出し、グループごとに交流する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておく。	A・B
	第2回	【テーマ】こども向けイベントの準備① 【計画内容】担当グループごとに準備を開始する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】グループで行うべき準備について確認をしておく。	B・H
	第3回	【テーマ】こども向けイベントの準備② 【計画内容】グループごとに準備を進める。また、進捗状況を全体で確認し、情報共有を図る。(全教員) 【授業時間外の学修内容】グループ内で進捗状況を確認し、自分の行うべきことに取り組む。	B・H
	第4回	【テーマ】保育実習報告会 【計画内容】4年生の保育実習報告会に参加し、実習に必要な知識や技術等への理解を深める。(全教員) 【授業時間外の学修内容】保育実習を行う施設、実習の仕組みや内容について確認しておく。	B
	第5回	【テーマ】こども向けイベントの準備③ 【計画内容】グループごとに準備を進める。また、進捗状況を全体で確認し、情報共有を図る。(全教員) 【授業時間外の学修内容】グループ内で進捗状況を確認し、自分の行うべきことに取り組む。	B・H
	第6回	【テーマ】こども向けイベントの準備④ 【計画内容】イベントの全体像、当日の進め方、担当等、その他注意事項を最終確認する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】グループごとに報告すべき事項を確認しておく。	B・H
	第7回	【テーマ】こども向けイベントの実施 【計画内容】これまでの準備をもとに、こども向けイベントを実施する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】実施に係る事項について確認しておく。	B・H
	第8回	【テーマ】こども向けイベントの反省とまとめ 【計画内容】こども向けイベントの準備及び実施について、成果と反省点を振り返る。また、1年間の授業をふり返り、各自の到達点と課題を確認する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】子ども向けイベントの取組についてふり返りを行っておく。	L

テキスト	講義時に説明します。
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		70%	
	補足			夏休みの課題		イベントへの取組	

課題に関するフィードバックの方法	講義時に評価し、助言します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	工藤ゆかり / 幼稚園教諭、幼児教育担当指導主事
		科目との関連	工藤ゆかり / 幼稚園教諭、幼児教育担当指導主事の経験をもとに授業を展開する。

質問への対応	講義中ほか随時受け付けます。
資格	
その他	グループでの取り組み状況を重視して評価します。

科目名	社会福祉	授業形態	講義	単位数	2

教員名	鈴木　幸雄

授業の目的		
	ねらい	私たちの暮らしにおいて社会福祉は必要不可欠なものであり、誰もが福祉サービスを利用ができるようになっている。いまを生きていくためには、社会福祉を正しく理解し適切に活用できることが求められている。ここでは、社会福祉の理念や概念、具体的な社会生活上の諸問題、福祉サービスの施策と実施過程などを学び、社会福祉の持つ意義とその課題について理解することを目的とする。
	到達目標	(1)社会福祉の歴史的経過を把握し、社会福祉の意義と理念について理解する。 (2)社会福祉の制度や実施体系について理解する。 (3)社会福祉の暮しのなかでの結びつきについて理解する。 (4)社会生活上の諸問題や人権問題について理解する。 (5)社会福祉の動向と課題について理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】現代社会の変化と社会福祉 【計画内容】授業の説明、少子高齢社会、家族の動向、社会的不公平などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容をよく読んでおくこと。事前に教科書で学習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】社会福祉と障害児・者の諸問題 【計画内容】障害児・者の福祉動向、障害者総合支援法などの福祉対策の概要について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】毎回授業の最初に前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。事前に教科書で学習しておくこと。	A
	第2回	【テーマ】社会福祉の意義と理念 【計画内容】社会福祉の語義の変遷、一般的概念、基本理念などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】毎回授業の最初に前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。事前に教科書で学習しておくこと。	A	第10回	【テーマ】社会福祉と高齢者の諸問題 【計画内容】高齢者の定義と福祉動向、介護保険法などの福祉対策の概要について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】毎回授業の最初に前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。事前に教科書で学習しておくこと。	A
	第3回	【テーマ】社会福祉の史的発展① 【計画内容】イギリスの社会福祉の歴史について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】毎回授業の最初に前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。事前に教科書で学習しておくこと。	A	第11回	【テーマ】社会福祉と貧困の諸問題 【計画内容】生存権、公的扶助、生活保護制度の概要について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】毎回授業の最初に前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。事前に教科書で学習しておくこと。	A
	第4回	【テーマ】社会福祉の史的発展② 【計画内容】アメリカと日本の社会福祉の歴史について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】毎回授業の最初に前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。事前に教科書で学習しておくこと。	A・L	第12回	【テーマ】社会福祉と地域福祉の推進 【計画内容】地域福祉の動向、社会福祉協議会の活動、利用者保護制度の概要について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】毎回授業の最初に前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。事前に教科書で学習しておくこと。	A
	第5回	【テーマ】社会福祉の法と実施体制 【計画内容】社会福祉の法体系、実施体制、財政の概要について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】毎回授業の最初に前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。事前に教科書で学習しておくこと。	A	第13回	【テーマ】社会福祉専門職と社会福祉援助活動 【計画内容】社会福祉専門職制度の概要と相談援助活動の体系について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】毎回授業の最初に前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。事前に教科書で学習しておくこと。	A
	第6回	【テーマ】社会福祉とこども・家庭の諸問題① 【計画内容】子育て支援対策(保育対策)とこどもの貧困問題の概要について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】毎回授業の最初に前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。事前に教科書で学習しておくこと。	A	第14回	【テーマ】日本の社会保障制度 【計画内容】年金保険、医療保険などの社会保障制度の概要について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】毎回授業の最初に前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。事前に教科書で学習しておくこと。	A
	第7回	【テーマ】社会福祉とこども・家庭の諸問題② 【計画内容】ひとり親家庭対策(ＤＶ問題)と母子保健対策の概要について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】毎回授業の最初に前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。事前に教科書で学習しておくこと。	A	第15回	【テーマ】社会福祉の展望と課題 【計画内容】社会福祉の概要と今後の展望について整理する。 【授業時間外の学修内容】毎回授業の最初に前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	A・L
	第8回	【テーマ】社会福祉とこども・家庭の諸問題③ 【計画内容】こどもの虐待防止対策と社会的養護の問題の概要について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】毎回授業の最初に前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。事前に教科書で学習しておくこと。	A・L			

テキスト	鈴木幸雄編著、2018年、『改訂 現代の社会福祉』、中央法規出版、9784805856383
参考書	池上彰編、2015年、『日本の大課題子どもの貧困 - 社会的養護の現場から考える - 』、筑摩書房、9784480068187 白波瀬佐和子、2009年、『日本の不平等を考える - 少子高齢社会の国際比較 - 』、東京大学出版会、9784130511308

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	80%				20%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	児童指導員
		科目との関連	児童福祉施設での児童指導員としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。

質問への対応	原則講義中に対応します。
資格	[教]保育士_必修、社会福祉主事_選必
その他	講義で使用するプリントや統計資料などは適宜配付する。私語は避けること。

科目名	保育者論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	丸谷　雄輔				

授業の目的	
ねらい	本講義の目的は、現代社会の中で求められる幼児教育の意義や幼稚園、保育所、認定こども園の在り方について理解を深めると共に、社会情勢の変化等に伴い、地域に根差した幅広い保育実践の在り方が求められる保育現場の現状と課題を把握し、幼児教育の実践について幅広い観点から学びことを目指します。 また、教職員の研修や自己研鑽と保育者の人間性や専門性の向上についても理解を深め、園の運営やクラス経営をどのように対応したらよいかについても考察していきます。
到達目標	(1)幼児教育の意義について理解する。 (2)遊びの本質と保育者の役割について理解する。 (3)保育現場の現状と課題について理解する。 (4)家庭・地域との連携について理解する。 (5)保育者の資質向上とキャリア形成について理解する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】保育の仕事を考える 【計画内容】保育の仕事と保育者の役割について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H	第9回	【テーマ】保育実践を学ぶ(1) 【計画内容】多様な保育実践を知り、保育の視野を広げる。 【授業時間外の学修内容】他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H
第2回	【テーマ】新しい時代に求められる幼児教育(1) 【計画内容】幼児教育の歴史と未来について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H	第10回	【テーマ】学びを深める園内研修 【計画内容】保育の質向上を支える保育者間の連携・協働について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H
第3回	【テーマ】新しい時代に求められる幼児教育(2) 【計画内容】幼児教育と小学校教育の違いについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H	第11回	【テーマ】保育実践を学ぶ(2) 【計画内容】多様な保育実践を知り、保育の視野を広げる。 【授業時間外の学修内容】他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H
第4回	【テーマ】遊びを中心とした保育実践 【計画内容】幼稚園教育要領について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H	第12回	【テーマ】保育実践を支える家庭との連携 【計画内容】子どもの育ちを共有し、支えてもらう役割について考える。 【授業時間外の学修内容】他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H
第5回	【テーマ】子どもの育ちを支えるデイリープログラム 【計画内容】自由遊びと設定活動についての意図を理解し、園生活の一日を知る。 【授業時間外の学修内容】他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H	第13回	【テーマ】地域と繋がる保育実践 【計画内容】子どもの育ちを支える地域の環境資源について考える。 【授業時間外の学修内容】他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H
第6回	【テーマ】教育課程と指導計画 【計画内容】保育実践の質を支える全体的な計画の必要性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H	第14回	【テーマ】子どもの育ちを繋げる幼小の接続 【計画内容】幼児期の育ちと小学校以降の教育との関係性について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H
第7回	【テーマ】保育の振り返りと記録 【計画内容】保育の質向上を支える記録の在り方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H	第15回	【テーマ】保育者としてのキャリアアップ(授業のまとめと振り返り) 【計画内容】保育現場の中でのキャリアアップイメージを理解し、質の高い保育者の資質・能力について考える。 【授業時間外の学修内容】他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H
第8回	【テーマ】保育環境の重要性 【計画内容】子どもの姿に合わせた環境の意義について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H			

テキスト	講義時に説明します。
参考書	文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	幼稚園園長
	科目との関連	幼稚園園長の経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	授業前後の時間に対応する。その他必要に応じて個別対応有り。
資格	[教]保育士_必修
その他	

科目名	教育原理	授業形態	講義	単位数	2
教員名	井上　大樹				

授業の目的

ねらい	様々な教育職に通底する、教育に関する基本的な知見（歴史、法制度、学問領域、現代的課題など）を得る。中でも、学習する一人ひとりの権利が様々な教育実践によって内実が深まってきた経緯に重点をおく。講義全体をとおして、具体的な教育問題や教育実践を取りあげ、理論と実践を結ぶ視点を育む。
到達目標	(1)自分が目指す教育職との関わりを認識する。 (2)教育の基本的概念や教育の本質及び目標を、教育を成り立たせる要素とそれらの相互関係を理解する。 (3)教育に関する代表的な教育家の思想と理念や実際の学校との関わりを理解する。 (4)家族と社会の教育の歴史、近代教育制度の成立と展開を理解する。 (5)歴史的な視点を含めた現代社会における教育課題を理解する。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション／教育（学）とは何か 【計画内容】授業展開、学生の到達（行動）目標、成績評価方法などについて理解する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A・K	第9回	【テーマ】「学力」とは何か(1)：測定方法の変遷と日本の課題 【計画内容】PISA をはじめとする国際的な学力調査の整備に伴い、明らかになった日本の課題について理解する。 【授業時間外の学修内容】「全国学力調査」（国語、算数・数学）の問題を入手し、解きながら内容を検討すること。	B・K・L
第2回	【テーマ】教育の本質と目標 【計画内容】義務教育未了者の苦労と学ぶ喜びを実感している姿から、これまでの自分の学びへの姿勢を見直す。 【授業時間外の学修内容】事前配付資料を熟読すること。	A・J・L	第10回	【テーマ】「学力」とは何か(2)：「学力向上」の授業づくりの要点 【計画内容】学力の定義、望まれる学力について日本の教育政策の重点を確認した上で、社会的要請（人間力など）との関連を理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト1. 第2章、第11章を読み、わからない語句は事前に調べておくこと。	A・K・L
第3回	【テーマ】代表的な教育家の思想と現代の教育観 【計画内容】教育観（教育に対する基本的な考え方）の歴史を人物および社会的背景を交えて理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト1. 第1章を読み、わからない語句は事前に調べておくこと。	A・K・L	第11回	【テーマ】生徒の人間関係の現状と生徒指導・生活指導の原理 【計画内容】子どもたちの仲間づくりの現状について理解を深め、生徒指導の重要性について理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト1. 第10章を読み、わからない語句は事前に調べておくこと。	A・J・L
第4回	【テーマ】家族と社会による教育の歴史 【計画内容】家族や（地域）社会の教育的（子育て）機能の変遷を理解する。 【授業時間外の学修内容】事前配付資料を熟読すること。	A・K・L	第12回	【テーマ】学校における道徳教育の意義 【計画内容】特別な教科としての道徳教育の位置づけを歴史的経緯を踏まえて理解する。また、高校で新設される「公共」の意義についても理解する。 【授業時間外の学修内容】自分たちが受けてきた道徳教育について振り返り、意義と課題についてまとめること。	A・K・L
第5回	【テーマ】家庭や子どもに関わる教育の思想 【計画内容】多様化する家庭教育の価値観にそれぞれ通底する思想的ルーツを理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト1. 第3章を読み、わからない語句は事前に調べておくこと。	A・K・L	第13回	【テーマ】学校教育と生涯学習・社会教育 【計画内容】生涯学習の視点から、社会教育の実際と意義について明らかにし、学校教育との連携の今日的課題を考える。 【授業時間外の学修内容】テキスト1. 第12章を読み、わからない語句は事前に調べておくこと。	A・K・L
第6回	【テーマ】近代学校の成立から高等教育の大衆化まで 【計画内容】現在の学校教育の充実について、普通教育の制度整備や大学大衆化の社会的ニーズの視点から理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト1. 第5章を読み、わからない語句は事前に調べておくこと。	A・K・L	第14回	【テーマ】変容する社会と教育問題 【計画内容】子育て家庭の貧困、格差社会、若者の就職難、多文化共生など変容する社会が抱える問題が教育にどのように影響（問題化）するかを具体的事例などから検討する。 【授業時間外の学修内容】前時（第13回）に指定されたキーワードについて班内で分担して調べておくこと。	A・F・L
第7回	【テーマ】教育問題から見る現在の学校制度、学校文化 【計画内容】現在の教育問題に潜む、学校の「あたりまえ」（制度の基本概念、文化）について知り、問い直す視点をもつ。 【授業時間外の学修内容】現代の学校教育にまつわる問題について最近の新聞・雑誌記事から調べておくこと。	F・K・L	第15回	【テーマ】教育専門職として探求すべき教育学（まとめとふりかえり） 【計画内容】教育学の基本的な考え方についてまとめ、意見交流を踏まえ自分の見解をまとめる。 【授業時間外の学修内容】第2回～第14回の授業内容について、残された疑問についてあらかじめ調べたり質問したりすること。	G
第8回	【テーマ】学校や学習に関わる教育の思想 【計画内容】教育課程編成の原理や授業における児童の位置づけについての主な理論について理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト1. 第4章を読み、わからない語句は事前に調べておくこと。	A・K・L			

テキスト	勝野正章・庄井良信、2015年、『問いからはじめる教育学』、有斐閣、9784641150140 文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　総則編』、東山書房、9784827815597 文部科学省、2019年、『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説　総則編』、東洋館出版社、9784491036397
参考書	筒井美紀・遠藤野ゆり、2013年、『教育を原理する』、法政大学出版局、9784588680076 降旗信一編、2017年、『持続可能な地域と学校のための学習社会文化論』、学文社、9784762026973 児美川孝一郎、2015年、『まず教育論から変えよう』、太郎次郎社エディタス、9784811807812

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			55%		15%	30%
補足			ワークシート（予習も含む）		自主学習・議論など	学習のまとめ（復習を含む）

課題に関するフィードバックの方法	毎回のワークシートを添削の上、返却します。全体に共通する注意点（事実誤認、誤字など）があれば、随時注意喚起のアナウンスを行います。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]養教1種_必修、中・高1種（音楽）_必修、社会福祉主事_選必 [芸]中・高1種（美術）_必修
その他	「学習のまとめ」は第15回に実施（遠隔授業の場合は第13回～第15回に分けて実施）。 教育への実践的理解を深めるために、教育雑誌の講読及び教育系研究会・学会の参加を推奨する。

科目名	教職概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	礒島　年成				

授業の目的		
	ねらい	講義では、教師として必要な知識や技能を学ぶとともに、教師の仕事の内容について理解を深め、教師としての資質・能力を磨きます。また、現在の教育の課題に対してどう向き合っていくとよいのかを書籍・新聞や学校現場の情報等を基に考察していきます。そして、講義の過程においては、自分が教師となったことを想定して主体的に考えたり、意見をレポートに表したりしていきます。
	到達目標	(1)教育・教職に関する基本的な内容と意義を理解できる。 (2)教職の使命と責任感を理解し、自らの適性について自覚をもてる。 (3)求められる教師像を理解し、目指す教師像と具体的な課題を説明できる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の主な内容、教育・教職に関する用語の理解や受講の際の学び方等について確かめます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L	第9回	【テーマ】教師の仕事と役割③ 【計画内容】児童の問題等としての「いじめ」・「虐待」について取り上げ、実態と対応の仕方について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L
	第2回	【テーマ】教員養成と教育課程 【計画内容】教師を目指して学ぶ内容の把握をします。学習指導要領から教育課程について確認し、教員免許を取得する意義・重要性などの基礎的なことを学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L	第10回	【テーマ】教師の仕事と役割④ 【計画内容】授業の評価についての考え方、各教科等の評価の観点、評価方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L
	第3回	【テーマ】教育の現状と課題 【計画内容】今日の教育の現状を概観し、学習指導要領の変遷を通して教育の歴史と展望、併せて幼稚園の教育について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L	第11回	【テーマ】教師の服務・研修・身分保障 【計画内容】教師の法的な位置づけ、服務に関することを理解し、研修の内容・方法等について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L
	第4回	【テーマ】教職の意義と教師の使命 【計画内容】時代とともに変遷してきた「求められる教師像」について理解し、教職につく意義や教師の使命について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L	第12回	【テーマ】教師の業務の実際 【計画内容】学校現場で実際に勤務している教師の話等から教師になることの意義や教師を目指すために必要なこと等を学びます。講義後、「教職の制度・仕組みについての理解」「子ども理解」の二面からこれまで学んだことを各自がレポートにまとめます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L・G
	第5回	【テーマ】教えること・学ぶこと 【計画内容】授業で教えること、児童を支援することなど教師の指導の支援のあり方、教師の児童へのかかわり方について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L	第13回	【テーマ】教師の勤務 【計画内容】教師の勤務の仕方、「働き方改革」の視点からこれからの勤務の変化について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L
	第6回	【テーマ】子ども観の発達 【計画内容】子どもの捉え方の変遷を理解し、世界から見た日本の児童の実態、これからの児童に求められる資質・能力について学びます。これからの児童に求められる資質・能力の点から「プログラミング教育」についても実習を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・D・L	第14回	【テーマ】チームとしての学校 【計画内容】スクールカウンセラー等の外部人材活用、児童相談所・警察等の関係機関との連携、PTA等の保護者との連携など「チーム学校」として広い視野から学校現場について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L
	第7回	【テーマ】教師の仕事と役割① 【計画内容】発達段階に即した生徒指導のあり方、体罰、懲戒に関すること、「カウンセリング」、「キャリア教育」等について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L	第15回	【テーマ】これからの学校教育の重点 【計画内容】これまでの講義のまとめとして、「札幌市の学校教育の重点」を取り上げ、多様な分野・視点から学校教育について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、これまでの講義の成果と課題についてレポートにまとめてください。	A・L・G
	第8回	【テーマ】教師の仕事と役割② 【計画内容】学級事務、学級経営、家庭との連携、障がい・不登校児童とのかかわり等を取り上げ、担任教師の具体的業務について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%	20%	10%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	各講義の課題、ふり返り等を受けて次の講義の導入時にその回答をするなどして講評します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	公立学校における校長・教諭等としての経験
		科目との関連	小学校教諭としての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。連絡先メールアドレス E-Mail:toshi.is@wm.hokusho-u.ac.jp
資格	[教]養教1種_必修、中・高1種(音楽)_必修 [芸]中・高1種(美術)_必修
その他	

科目名	教育心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	三浦　公裕				

授業の目的	
ねらい	本講義では、教育心理学領域の基礎理論や最新の知見を通じて、児童生徒の心理を多角的に理解するための理論的枠組みを解説し、教育心理学を応用した教育実践の具体的な方法およびその評価プロセスについて理解を深め、多様なニーズに応じた教育実践を行うための引き出しを備えることを目的とする。
到達目標	(1)教育心理学に関する基礎的な用語を説明できる。 (2)児童生徒の心の発達過程を理論的な枠組みを用いて説明できる。 (3)行動問題や障害を個人と環境の相互作用の観点から理解できる。

授業の計画					
第1回	【テーマ】オリエンテーション(教育心理学の研究対象と方法) 【計画内容】講義の進め方、および教育心理学の研究対象と内容について理解する。 【授業時間外の学修内容】心理学関連の書籍を参考に、教育心理学の意義と内容について調べておくこと。	A・K	第9回	【テーマ】教授学習過程と技術 【計画内容】学習過程による授業の分類、授業の技術や学習評価のあり方について理解する。 【授業時間外の学修内容】発見学習、仮説実験授業、発問などの言葉の意味を調べておく。	A・K
第2回	【テーマ】発達観と子どもの認知の発達：生涯発達とピアジェの発達観 【計画内容】遺伝と環境、認知能力の発達、認知発達説について理解する。 【授業時間外の学修内容】教育と発達の関係、子どもの認知の発達について自己の経験から考える。	A・K	第10回	【テーマ】学級の理解と指導 【計画内容】学級における人間関係のとらえ方、教師のリーダーシップのあり方について理解する。 【授業時間外の学修内容】ソシオグラム、PM 理論について調べておく。	A・K
第3回	【テーマ】言語能力の発達：一次的言葉と二次的言葉 【計画内容】学校教育と言語発達の関係、子どもの言語の発達の段階について理解する。 【授業時間外の学修内容】喃語、三項関係などを事前に調べておく。	A・K	第11回	【テーマ】不適応児童・生徒の理解と指導 【計画内容】不登校、いじめ、学習不振児等の発症のメカニズムと対応について理解する。 【授業時間外の学修内容】不登校の発生状況などの統計資料に目を通しておく。	A・K
第4回	【テーマ】性格の形成：性格検査の意味と功罪 【計画内容】愛着、自己概念、性役割などについて理解する。 【授業時間外の学修内容】ボウルビー、エリクソンについて理解を深めておく。	A・K	第12回	【テーマ】心理検査と心理療法 【計画内容】心理検査、性格検査の種類と代表的な心理療法の理論について理解する。 【授業時間外の学修内容】今までに受けた心理検査や性格検査を確認しておく。	A・K
第5回	【テーマ】社会性と社会的スキルの発達 【計画内容】遊び、社会性、道徳性、社会的スキルの発達について理解する。 【授業時間外の学修内容】アイゼンバーグ、コールバーグ、ゴールドシュタインについて理解を深めておく。	A・K	第13回	【テーマ】教育評価の考え方と実際 【計画内容】教育評価の目的、評価基準の考え方、評価方法の種類について理解する。 【授業時間外の学修内容】相対評価、絶対評価、偏差値、ポートフォリオ、ルーブリックなどの意味を調べておく。	A・K
第6回	【テーマ】学習と動機づけ：学習の心理学的概念 【計画内容】内発的動機付け、原因帰属、自己効力感について理解する。 【授業時間外の学修内容】学習の成立と動機付けの関係について自己の経験から考えておく。	A・K	第14回	【テーマ】発達障害と特別支援教育 【計画内容】LD、ADHD、アスペルガー障害などの理解と対応について理解する。 【授業時間外の学修内容】ICDH2などの分類基準を調べておく。	A・K
第7回	【テーマ】学習の認知プロセス：学習理論と認知行動療法 【計画内容】記憶のプロセス、精緻化体制化の方略、メタ認知について理解する。 【授業時間外の学修内容】自己の記憶の方法などを振り返っておく。	A・K	第15回	【テーマ】学校教育相談のありかた 【計画内容】学校における教育相談体制と教師に求められるカウンセリング技術を理解する。 【授業時間外の学修内容】学級担任としてのカウンセリングの基本的なあり方を考えておく。	A・K・L
第8回	【テーマ】学習の多様性と個人差 【計画内容】アクティブラーニング、適正処遇交互作用、学習到達度の個人差、認知スタイルについて理解する。 【授業時間外の学修内容】習熟度別指導、完全習得学習、アクティブラーニングなどの言葉の意味について調べておく。	A・K			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	西村純一、2017年、『教育心理学エッセンシャルズ』、ナカニシヤ出版、9784779504518 文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領』 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	10%		30%		50%	10%
補足	小テスト等		レポート		ワークシート作成	発表

課題に関するフィードバックの方法	ワークシートを返却し、学んだ内容や疑問点について考察するとともに、グループ討議や全体の場において意見交流を行う。

実務経験と授業の関連			
該当	経験内容	公認心理師、学校心理士、ガイダンスカウンセラー	
	科目との関連	学校心理士・公認心理師としての研修及び業務経験をもとに実践的な指導を行う。	

質問への対応	随時440研究室にて対応する。
資格	[教]養教1種_必修、中・高1種(音楽)_必修　[芸]中・高1種(美術)_必修
その他	各自作成したレポートを返却し、学んだ内容を個人やグループで振り返り、まとめの講評を行う。また、講義で扱った内容について、実際の学校現場での活用方法を考察できるようにする。

科目名	養護実践学Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	今野　洋子				

授業の目的		
	ねらい	「養護教諭の先生はどんなことをするのですか？」と聞かれたら、どのように答えますか？この授業では、養護教諭の実践について学びます。養護教諭の活動がどのような根拠に基づいて行われるのか、養護活動の過程はどのようなものかを追究します。
	到達目標	(1)養護教諭成立の歴史的根拠について理解する。 (2)養護教諭の実践の根拠を理解する。 (3)養護活動の過程を理解する。 (4)「養護実践」を追究する態度を養う。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション：教育に果たす養護教諭の役割 【計画内容】本科目の位置づけや進め方、講義の課題について知ります。(課題シート配付) 【授業時間外の学修内容】養護実践に関する専門的な科目です。養護教諭とは何かをよく考え、臨みましょう。	A·K·L	第9回	【テーマ】養護教諭の歴史 【計画内容】養護教諭の歴史から探る養護実践について、先人の実践例を学びます。 【授業時間外の学修内容】養護教諭の歴史について、課題シートにまとめ、臨みます。	A·K·L
第2回	【テーマ】養護活動の拠点としての保健室·保健室経営 【計画内容】養護活動の拠点としての保健室·保健室の役割と機能について学びます。 【授業時間外の学修内容】「保健室」について課題シートにまとめ、臨みます。	A·K·L	第10回	【テーマ】養護教諭としての実践ー組織活動 【計画内容】組織としての展開·関係機関との連携について、具体的に学びます。 【授業時間外の学修内容】組織活動について、課題シートにまとめ、臨みます。	A·K·L
第3回	【テーマ】養護教諭の実践ー支援の方法としての救急処置活動·健康相談活動 【計画内容】支援の方法としての救急処置活動および健康相談活動の定義や課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】救急処置活動や健康相談活動について、課題シートにまとめ、臨みましょう。	A·K·L	第11回	【テーマ】養護教諭の研究能力 【計画内容】養護教諭の研究について、近年の研究動向を踏まえ、論文や学会誌を例に学びます。 【授業時間外の学修内容】養護教諭に研究について課題シートにまとめ、臨みます。	A·B·K·L
第4回	【テーマ】養護教諭の実践ー健康実態·健康課題の把握 【計画内容】養護教諭としてどのように健康実態·健康問題を把握するか学びます。 【授業時間外の学修内容】健康実態·健康課題の把握について、課題シートにまとめ、臨みます。	A·K·L	第12回	【テーマ】養護教諭に必要な資質能力 【計画内容】期待される養護教諭像と求められる資質能力について、考えを深めまとめます。 【授業時間外の学修内容】養護教諭の資質能力について課題シートまとめ、臨みます。	A·B·K·L
第5回	【テーマ】養護教諭の実践ー健康教育としての保健教育 【計画内容】健康教育活動として、保健教育をどう展開すればよいかについて学びます。 【授業時間外の学修内容】保健教育について、課題シートにまとめ、臨みます。	A·K·L	第13回	【テーマ】事例から考える①養護教諭の役割 【計画内容】養護教諭としてどのように課題をとらえるか、具体的な事例をもとに検討し、学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】課題シートに、事例に対する「養護教諭としての視点」についてまとめ、臨みます。	A·B·K·L
第6回	【テーマ】養護教諭の実践ー感染症対策と学校環境衛生活動 【計画内容】養護教諭としてどのように感染症対策を進めていくか、どのように環境衛生活動を進めていくか、学習します。 【授業時間外の学修内容】感染症対策·環境衛生活動について課題シートにまとめ、臨みます。	A·K·L	第14回	【テーマ】事例から考える②養護教諭の専門性 【計画内容】養護教諭としてどのように働きかけるか、把握した課題を学校全体で取り組むためにどうするか、考えを深めます。 【授業時間外の学修内容】課題シートに、事例に対し「養護教諭としてどうするか」をまとめ、臨みます。	A·B·K·L
第7回	【テーマ】養護教諭の実践ー健康診断 【計画内容】健康診断の意義について学習を深めるとともに、養護教諭として、どのように健康診断を進めていくか学びます。 【授業時間外の学修内容】健康診断について課題シートにまとめ、臨みます。	A·K·L	第15回	【テーマ】まとめと確認·養護教諭として高められた自己の資質能力について省察 【計画内容】養護教諭の専門性について学んだことを振り返り、まとめます。また、学習不足の点や自己課題について把握します。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習を振り返り、全体のまとめをして臨みます。	A·B·G·L
第8回	【テーマ】養護の本質と概念 【計画内容】養護の本質と概念について、歴史的背景や社会的背景、子どもの実態から学び、考えを広げます。 【授業時間外の学修内容】養護の本質と概念について、課題シートにまとめ、臨みます。	A·K·L			

テキスト	三木とみ子、2018年、『新訂　養護概説』、ぎょうせい プリントも使用します。
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	40%		30%		30%	
補足	毎回実施		課題シート		発表等	

課題に関するフィードバックの方法	第1回目の授業時に課題シートを配付します。また、授業の最後にまとめのプリントを配付します。これらを予習復習に活用し、課題シートは綴じて、最終講義のときに提出してください。毎回のワークシートおよび課題シートは優秀レポートを提示、各自には添削の上、返却します。

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	公立小学校および公立中学校での養護教諭としての経験
		科目との関連	経験をもとに養護実践の具体的なことがらを研究的視点を持って提示することができる。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。オフィスアワーを活用してください。
資格	[教]養教1種_必修
その他	定着度を上げるため、毎回テストを実施します。初回の授業で課題用紙集を配付しますので、よく調べ考えて芸術的に仕上げ、持参しましょう。課題用紙集は、最後の授業時に提出してもらいます。常に、課題意識を持って授業に臨んでください。本科目は養護実習の前提科目です。

科目名	養護実践学Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	今野　洋子				

授業の目的

ねらい	「養護実践学Ⅰ」で学んだことを基盤に、養護実践について理論と体験活動を通して学びます。養護実践の具体的な方法を考え、検討し、体験的に学びます。体験活動を通して学習を深めることにより、「養護教諭は、このように実践します」と具体的に例示できることを目指します。
到達目標	(1)養護活動の実践過程を体験的に学ぶ。 (2)養護教諭の実践を具体的に説明できる。 (3)養護実践の教育的意義を理解する。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション　分担・ほけんだよりで伝えよう、保健室の機能と養護教諭。 【計画内容】ほけんだよりで、子どもたちに保健室がどのような場所か、養護教諭がどういうものかを説明します。 【授業時間外の学修内容】前学期に学んだ保健室の機能と養護教諭についてまとめ、臨みます。	A・G・L	第9回	【テーマ】スタンプラリーで体験、小学生の子どもへの性に関する指導。 【計画内容】小学生の性に関する質問、①「生理になるのが怖い。どうしたらいいの」②「おかあさんから生まれたのに、おとうさんに似ているのはなぜ」③「どうしてふたごや三つ子が生まれるの」④「好きな子とキスするにはどうすればいいの」⑤「チカンってなあに」⑥「男から女になれるの」⑦「男の子がピンクを好きだとおかしいかな」⑧「エイズってなあに」等について、わかりやすく答えます。スタンプラリー形式で行います。 【授業時間外の学修内容】子どもの質問の答えを準備しておき、講義に臨みます。	F・H・L・N
第2回	【テーマ】ほけんだよりで伝えよう、健康診断の目的。 【計画内容】グループで小学校・中学校の①二計測②視力検査③聴力検査④歯科検診についてのほけんだよりを作成し説明します。 【授業時間外の学修内容】分担した検診についてのほけんだよりを持参し、臨みます。	A・B・F・G・L	第10回	【テーマ】体験しよう、保健指導指導案作成。 【計画内容】むしば予防・生活リズム(朝食摂取・排便・睡眠等)等、テーマを決めて保健指導指導案を作成します。 【授業時間外の学修内容】決めたテーマについて、資料を準備して、講義に臨みます。	A・F・G・L
第3回	【テーマ】演じよう、救急処置活動の実際。 【計画内容】養護教諭と保健委員たちとの指導場面を設定し、グループで、①鼻血・②つき指・③切傷・④すり傷・⑤やけど・⑥刺し傷・⑦歯が折れた時・⑧救急車の呼び方等について、正しい手当てとやってはいけないことを児童に指導します。 【授業時間外の学修内容】グループで考え、演じる内容を計画しておきます。	A・B・F・L・N	第11回	【テーマ】健康課題解決を実現しよう、保健室経営案 【計画内容】学校教育目標に即し、子どもの実態・健康課題を踏まえ、課題解決のための保健室経営案を立案します。 【授業時間外の学修内容】保健室経営案について復習し、講義に臨みます。	A・F・G・L
第4回	【テーマ】ミニ保健指導を行おう、感染症予防のためのポイント。 【計画内容】小学校での指導場面を設定し、グループで感染症のための手洗いを指導します。 【授業時間外の学修内容】グループで指導の内容および教材を準備して臨みます。	A・B・F・L・N	第12回	【テーマ】決定しよう、ほけんだよりコンテスト。 【計画内容】全員のほけんだよりを観点に沿って検討し、一番よいほけんだよりを選択し、よいほけんだより作成について考えを深めましょう。 【授業時間外の学修内容】ほけんだよりを作成し、講義に臨みます。	A・B・F・G・L
第5回	【テーマ】出店方式で教えよう、近年の子どもに多い病気。 【計画内容】グループで調べた①歯肉炎・②顎関節症・③アトピー性皮膚炎・④難聴・⑤オスグッド・シュラッター病・⑥過敏性腸症候群・⑦起立性調節障害・⑧食物アレルギー等について調べ、中学生を対象に出店形式で指導します。 【授業時間外の学修内容】調べた子どもに多い病気について簡潔に説明できるよう、教材も準備します。	A・B・F・H・L・N	第13回	【テーマ】体験しよう、模擬授業。 【計画内容】養護教諭役と子ども役に分かれ、特別活動における保健教育を体験します。 【授業時間外の学修内容】保健教育について理解を深めておきます。	A・B・F・L・N
第6回	【テーマ】作成しよう、保健調査票・健康観察表。 【計画内容】小学校・中学校の①入学時保健調査票、②マラソン大会前保健調査票、③修学旅行前保健調査票、④健康観察表を作成し、保護者にわかりやすいか、学校でつかいやすいか、記入しやすいか等、検討します。 【授業時間外の学修内容】グループで作成し、臨みます。	A・B・F・G・L	第14回	【テーマ】考えよう、養護実践の評価の観点と方法。 【計画内容】これまでの学習を振り返って、養護実践の評価のための評価の観点と方法を明らかにします。 【授業時間外の学修内容】PDCA について調べておきます。	A・B・F・G・L
第7回	【テーマ】完成させよう、五感にふれる掲示物つくり。 【計画内容】グループで視覚に訴える、触って楽しめることを考え、工夫して保健ポスターを作成します。 【授業時間外の学修内容】グループでテーマ等について話し合っておきます。	A・B・F・H・L	第15回	【テーマ】まとめと確認・養護教諭として養護実践に取り組む自己の資質能力についての評価 【計画内容】養護教諭の実践について学んだことを振り返り、まとめます。また、学習不足の点や自己課題について把握します。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習を振り返り、自己の課題についてまとめておきます。	A・B・G・L
第8回	【テーマ】作成しよう、健康診断結果のお知らせ文書。 【計画内容】小学校・中学校の①二計測②視力検査③聴力検査④歯科検診の結果を知らせる文書について、正確な表現か、保護者が理解しやすいか、学校教育としてふさわしいか等、検討します。 【授業時間外の学修内容】担当のお知らせ文書を作成し、臨みます。	A・B・F・G・L			

テキスト	三木とみ子、2018年、『養護概説』、ぎょうせい、978-4-324-10370-8
参考書	三木とみ子、2012年、『事例から学ぶ「養護教諭のヒヤリ・ハット」』、ぎょうせい、9784324094556 三木とみ子、2012年、『改訂　保健室経営マニュアル』、ぎょうせい、9784324094501 三木とみ子、2009年、『これだけは知っておきたい養護教諭の教育法規 Q & A』、ぎょうせい、9784324088357

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%	30%	30%	
補足			レポート	ほけんだより等		

課題に関するフィードバックの方法

毎回のワークシートや課題は、添削の上、返却します。
最終のレポート課題は、以下の通りです。
1. 小学校の児童を対象とした救急処置活動に関する具体的な保健指導例を書きなさい。
2. 近年の児童生徒に多い疾病をひとつ例に挙げ、特色や予防法などについて述べなさい。
3. 保健室とはどのような場所か、ほけんだよりで説明するときの具体例を書きなさい
4. 小学生対象の手洗い指導について、どのように行うか具体的に述べなさい。
5. 保健室経営案を作成するとき、留意することは何か、書きなさい。
6. 健康診断や健康診断結果のお知らせ文書を作成するとき、留意することは何か、書きなさい。
7. 小学校の児童を対象とした性に関する具体的な保健指導例を書きなさい。
8. ほけんだよりを作成するとき、留意することは何か、書きなさい。
9. 保健調査票や健康観察表を作成するとき、留意することは何か、書きなさい。
10. 養護実践の評価の観点および方法について、書きなさい。

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	公立小学校および公立中学校での養護教諭
		科目との関連	経験をもとに養護実践の具体的な方法について提示する
質問への対応	講義時に説明します。オフィスアワーを活用してください。		
資格	[教]養教1種_必修		
その他	「養護実践学Ⅰ」を既習していることが望ましいです。養護教諭1種免許状取得を目指す人、養護実習を希望している人はこの授業で実践力を身につける必要があります。		

科目名	健康相談活動の理論及び方法	授業形態	講義	単位数	2

教員名	野口　直美

授業の目的		
	ねらい	たとえば、子どもが「頭が痛い」と訴えて保健室に来たとき、養護教諭として何をどう考え、どう行動すればよいのでしょうか。 この講義では、養護教諭が行う健康相談活動の基本について学びます。子どもの抱える問題を把握し、それに対して共感的態度を示しながら、子どもが解決できるよう支援する能力を養います。子どもを深く理解するため、事例検討やロールプレイング等を体験しながらグループワークで行います。また、子どもの最良の支援のために連携する関係者や専門機関、連携の方法について学びます。
	到達目標	(1)健康相談活動の意義を理解する。 (2)健康相談活動の基本について理解する。 (3)子どもの抱える問題の読み取り方を学ぶ。 (4)子どもの具体的な支援方法を知る。 (5)連携すべき関係者や各機関、連携の方法を知る。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション·健康相談活動の基本的理解 【計画内容】健康相談活動の定義、保健体育審議会答申との関連などについて学び、基本的理解をしっかり行う。 【授業時間外の学修内容】「養護実践学Ⅰ」で学んだ健康相談活動について復習する。	A·K·L	第9回	【テーマ】特別支援教育と健康相談活動 【計画内容】特別支援教育とはどのようなものか、特別支援教育を必要とする子どもに対し、養護教諭が行う健康相談活動はどうあるべきか学ぶ。 【授業時間外の学修内容】なぜ特別支援教育というか調べ、養護教諭がどのように関わるべきか考える。	A·K·L
第2回	【テーマ】養護教諭の職務の特質および保健室の機能と健康相談 【計画内容】具体的にどのように職務を生かすのか、保健室の機能を生かすとはどういうことなのか、具体的な場面や具体的なものを考え学ぶ。 【授業時間外の学修内容】「養護実践学Ⅰ」での学びや答申等を振り返り、養護教諭の職務の特質および保健室の機能についてまとめる。	A·K·L	第10回	【テーマ】保健室登校のとらえ方と対応(討論) 【計画内容】保健室登校について基本的な事項を確認し、その後保健室登校賛成派と反対派に分かれて討議を行う。 【授業時間外の学修内容】保健室登校の意義、効果、留意点等について調べる。	A·I·L
第3回	【テーマ】児童生徒の心身の健康問題の現状と背景 【計画内容】時代背景や社会的状況と子どもの健康課題の関連、並びに子どもの健康課題と養護教諭の健康相談の関わりについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】現代の子どもの健康課題について、実務必携にある統計資料等をもとに把握する。	A·F·L	第11回	【テーマ】健康相談活動の記録と事例研究 【計画内容】健康相談活動における記録について学ぶとともに、事例検討のひとつである「インシデント·プロセス」について体験する。 【授業時間外の学修内容】記録の意義について把握し、事例検討の意義についてまとめる。	A·K·L
第4回	【テーマ】健康相談活動に関連する諸理論および技法 【計画内容】健康相談活動を進める上で、おさえておくべき発育発達理論や子どもの捉え方、カウンセリングの基礎について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】養護教諭が使えるような、保健室で活用できる理論とは何かを調べる。	A·K·L	第12回	【テーマ】保健室を想定したロールプレイングⅠ 【計画内容】養護教諭役は、バイタル測定(脈拍·体温)を実施しながら子どもの観察をし、よく話を聞きながら対応する。 【授業時間外の学修内容】看護学技術演習で学ぶバイタルサイン測定を復習し身につけておく。	A·B·K·L
第5回	【テーマ】健康相談活動の進め方 【計画内容】初期において、子どものどのような訴えにどう留意して対応すべきか、継続的なかかわりでどうすべきか、具体的な場面を想定し、考えながら学ぶ。 【授業時間外の学修内容】子どもが保健室に来室したときにどのような点を観察するか、どのような情報が必要か考える。	A·K·L	第13回	【テーマ】保健室を想定したロールプレイングⅡ 【計画内容】養護教諭役は保健室場面を設定し、バイタル測定(脈拍·体温)を実施しながら話をよく聞き、保健室にあるひざ掛けやぬいぐるみを用いて対応する。 【授業時間外の学修内容】前時に指示された予習課題に取り組むこと。	A·B·K·L
第6回	【テーマ】健康相談活動の実践効果を上げるための視点と方法 【計画内容】ヘルスアセスメントの留意点や、子どもの気持ちに応じたタッチング、「～しながらカウンセリング」の有効性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】養護教諭のヘルスアセスメントやタッチングについて把握する。	A·K·L	第14回	【テーマ】健康相談活動の評価 【計画内容】実際の学校の健康相談活動事例(記録)を分析し、定義に即して健康相談活動の評価を行う。 【授業時間外の学修内容】健康相談活動の評価項目や評価の観点について調べる。	A·K·L
第7回	【テーマ】健康相談活動における連携 【計画内容】健康相談活動において、養護教諭は誰とどのように連携するべきか、その順序や具体的な相手について学習を深める。 【授業時間外の学修内容】問題に応じてどのような連携すべき相手があるか調べる	A·K·L	第15回	【テーマ】まとめと確認·健康相談活動の理論および方法についての自己評価をまとめる 【計画内容】養護教諭として健康相談活動にどのように関わっていくべきかを、これまでの学習を振り返りながら深く考え、まとめる。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習を振り返り、理解を深めておくこと。	A·L
第8回	【テーマ】子どもの問題と健康相談活動の実際 【計画内容】「心因性腹痛」「心因性頭痛」「虐待」「薬物乱用問題」「性の逸脱行動」「自傷行為」等、子どものさまざまな問題に応じた対応について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事例を選択し、養護教諭はどのような対応をするべきか調べ、まとめる。	A·F·L			

テキスト	三木とみ子·徳山美智子、2019年、『新訂養護教諭が行う健康相談·健康相談活動の理論と実践』、ぎょうせい、9784324106006 課題プリントを使用します。
参考書	講義時にお知らせします。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	70%		20%		10%	
	補足			課題シート			

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	養護教諭
		科目との関連	養護教諭としての実践から指導することができる

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]養教1種_必修
その他	「養護実習」を希望する人は履修しなければなりません。

科目名	栄養学(食品学を含む)	授業形態	講義	単位数	2
教員名	木下　教子				

授業の目的

ねらい	日本人の食生活は現在、飽食の時代といわれる中での栄養過多や逆に拒食症による健康障害の問題が起きている。私たちは必要とする栄養素を毎日、食品から適切に摂取しなければならない。量･質ともに過不足なく、しかもおいしく食生活を営めるよう、食物のもつ栄養学的特徴や、体内における働きを知り、毎日の活動にあった食物摂取に生かせるような知識をもつことを目的とする。
到達目標	(1)栄養素の体内における働きを理解する。 (2)各自の必要とする栄養素量、食品摂取量を知る。 (3)食品と特徴的な栄養素との関連を知り、毎日の食品選択に生かせる能力を持つことを目標とする。

授業の計画

第1回	【テーマ】健康と栄養 【計画内容】健康と栄養とのかかわり、日本の食生活や栄養摂取の現状について話します。 【授業時間外の学修内容】健康のために気をつけていることをまとめましょう。	A	第9回	【テーマ】ビタミンの働き 【計画内容】ビタミンの種類、生理機能について学びます。 【授業時間外の学修内容】普段、食べているビタミンが含まれる食品についてまとめましょう。	A
第2回	【テーマ】栄養素の種類と機能 【計画内容】栄養の定義、摂取⇒消化吸収⇒代謝、食事の摂り方について学びます。 【授業時間外の学修内容】1週間の食事のパターンについてふりかえり、食事の摂り方についてまとめましょう。	A	第10回	【テーマ】ビタミンと食品 【計画内容】野菜と果物をとりあげそれらの栄養特性について学びます。 【授業時間外の学修内容】1日の野菜の摂取量350g を満たすために、3食の副菜の献立を考えてください。	A
第3回	【テーマ】学童期と思春期の食生活 【計画内容】体と心の成長、栄養素量、望ましい食習慣の形成、食事の重要性について学びます。 【授業時間外の学修内容】学校給食の特徴について、まとめましょう。	A	第11回	【テーマ】ミネラルの働き 【計画内容】日本人に不足しているカルシウムをはじめとする無機質の種類と機能について学びます。 【授業時間外の学修内容】丈夫な骨をつくるための栄養素について調べましょう。	A
第4回	【テーマ】タンパク質と食品 【計画内容】タンパク質を多く含む魚介類、畜肉類、鶏卵、大豆製品をとりあげそれらの栄養特性について学びます。 【授業時間外の学修内容】日常よく食べている主菜について、まとめましょう。	A	第12回	【テーマ】ミネラルと食品 【計画内容】不足傾向にあるカルシウム供給源としての乳･乳製品をとりあげそれらの栄養特性について学びます。 【授業時間外の学修内容】乳製品以外にカルシウムの含まれる食品を調べましょう。	A
第5回	【テーマ】脂質と食品 【計画内容】脂質の種類と摂取の現状、生活習慣病とのかかわりについて学びます。 【授業時間外の学修内容】肉と魚に含まれる脂質の違いについて調べましょう。	A	第13回	【テーマ】食事摂取基準と献立作成 【計画内容】日本人の食生活の目標である「食事摂取基準」、「食事バランスガイド」、「食生活指針」ついて学びます。 【授業時間外の学修内容】成人期の食事バランスガイドについて調べましょう。	A
第6回	【テーマ】炭水化物:糖質の働き 【計画内容】糖質の体内での働き、また摂取量と生活習慣病に及ぼす影響について学びます。 【授業時間外の学修内容】ご飯、パン、麺などの主食の量を確認して、エネルギー量を計算をしてください。	A	第14回	【テーマ】食育の内容と計画および評価 【計画内容】食育のねらい及び内容について学び、学校における食育の年間計画について学びます。 【授業時間外の学修内容】児童、生徒の食生活、食行動の問題点について調べましょう。	A
第7回	【テーマ】炭水化物:食物繊維の働き 【計画内容】食物繊維の体内での働き、またこれらの摂取と生活習慣病に及ぼす影響にについて学びます。 【授業時間外の学修内容】食物繊維が多く含まれる食品について調べましょう。	A	第15回	【テーマ】振り返りとまとめ 【計画内容】講義全体を振り返りをし、まとめを行う。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントをもとに復習し、疑問点を整理しておく。	L
第8回	【テーマ】炭水化物と食品 【計画内容】炭水化物を多く含む米、小麦の加工品をとりあげそれらの栄養特性について学びます。 【授業時間外の学修内容】米や小麦を使った加工品について調べてみましょう。	A			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	講義中に提示します。

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	40%		40%		20%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	管理栄養士
	科目との関連	管理栄養士の実務経験を活かし、栄養学の基礎や食育について教授する。

質問への対応	授業中に説明します。
資格	[教]養教1種_必修、社会福祉主事_選必
その他	楽しく、健全な食生活を営むために、学んだ知識を自ら食事をつくるなど実践につなげてほしい。

科目名	解剖生理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	沖田　孝一				

授業の目的	
ねらい	科学および医学は急速に進歩している。ヒトの遺伝情報の全貌が明らかにされつつある現代において、人間の身体の仕組みの基礎を理解することは極めて重要なことである。現代医学の進歩を踏まえて、介護や福祉領域および教職に従事するために重要なヒトの身体構造と生理機能を理解し生命現象のメカニズムを学ぶことを目的とする。
到達目標	(1)人体の構造と機能ならびに生命現象のアウトラインとメカニズムを理解する。 (2)生体防御機能、身体活動を維持するための諸器官の相互連関について理解する。 (3)身体に起こる疾病を理解するための各組織・臓器の形態的および生理学的特徴に関する基礎知識を身につける。

授業の計画						
第1回	【テーマ】総論：人体とそれを構成する細胞と細胞内小器官について 【計画内容】講義の概要を紹介する。人体の最小単位である細胞の構造と働きについての基本を理解する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】消化器系Ⅱ（肝・胆・膵） 【計画内容】肝臓・胆嚢・膵臓の構造と機能を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】紹介するテキストにそって予習しておくこと。	A
第2回	【テーマ】骨格系 【計画内容】骨および関節の構造と機能を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】紹介するテキストにそって予習しておくこと。	A	第10回	【テーマ】循環器系 【計画内容】心臓・血管系の構造と機能を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】紹介するテキストにそって予習しておくこと。	A
第3回	【テーマ】骨格筋系 【計画内容】骨格筋（筋肉）の構造と機能を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】紹介するテキストにそって予習しておくこと。	A	第11回	【テーマ】血液系 【計画内容】血液・血球成分の構造と機能を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】紹介するテキストにそって予習しておくこと。	A
第4回	【テーマ】神経系Ⅰ（大脳－中枢神経系） 【計画内容】大脳・中枢神経系の構造と機能を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】紹介するテキストにそって予習しておくこと。	A	第12回	【テーマ】呼吸器系 【計画内容】呼吸器系の構造と機能を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】紹介するテキストにそって予習しておくこと。	A
第5回	【テーマ】神経系Ⅱ（末梢神経・自律神経系） 【計画内容】末梢神経系・自律神経系の構造と機能を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】紹介するテキストにそって予習しておくこと。	A	第13回	【テーマ】腎・泌尿器系 【計画内容】腎臓・泌尿器系の構造と機能を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】紹介するテキストにそって予習しておくこと。	A
第6回	【テーマ】感覚器系 【計画内容】感覚器系の構造と機能を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】紹介するテキストにそって予習しておくこと。	A	第14回	【テーマ】生殖器系 【計画内容】生殖器系の構造と機能を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】紹介するテキストにそって予習しておくこと。	A
第7回	【テーマ】内分泌系・各種ホルモン 【計画内容】内分泌系器官の構造・機能とホルモンの働きを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】紹介するテキストにそって予習しておくこと。	A	第15回	【テーマ】老化およびまとめ 【計画内容】老化のメカニズムを理解する。人体諸器官の機能と相互の関連を理解する。 【授業時間外の学修内容】これまで学んだことをあらかじめ復習しておくこと。	A
第8回	【テーマ】消化器系Ⅰ（口腔・胃・十二指腸・小腸・大腸） 【計画内容】消化・吸収を担う器官の構造と機能を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】紹介するテキストにそって予習しておくこと。	A			

テキスト	江連和久・村田栄子、2015年、『看護学生のための解剖生理よくわかる BOOK 第2版』、メヂカルフレンド社、9784839215804
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	50%		30%		20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	適宜、全体的正答率と評価結果と模範解答を紹介する。また正答率が低かった内容について、詳しく解説する。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	医師・医学博士、総合内科専門医、循環器専門医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、日本医師会認定健康スポーツ医
		科目との関連	基礎的な内容、最先端の内容に加えて、内科・循環器内科専門医およびスポーツ医として、実務してきた経験を活かした授業内容も教授する。

質問への対応	随時および E-Mail など。E-Mail: okitak@hokusho-u.ac.jp
資格	[教]養教1種_必修
その他	学問は聞き流すものでない。積極的に考え、講義に参加する姿勢が大切である。小グループでの討論およびディベートも行う。

科目名	微生物学(免疫学を含む)	授業形態	講義	単位数	2
教員名	吉田　繁				

授業の目的		
	ねらい	学校保健や医療に関わる者にとって、世界規模の感染症から日常にみられる通常の感染症まで多岐にわたる感染症の知識と対策が求められる。特に学校保健において微生物学は感染制御に欠かせない知識となる。この基本となる知識と感染制御に重要な役割を果たす免疫反応について、理解できるよう講義する。
	到達目標	(1)病原微生物の種類やそれぞれの特徴が理解できる。 (2)感染症と病原微生物の関係が理解できる。 (3)微生物を制御する滅菌･消毒が理解できる。 (4)免疫の機構が理解できる。 (5)感染症と免疫の関係が理解できる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】ガイダンスと講義全体の説明 【計画内容】講義の紹介をし、15回の講義展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】主な病原細菌と感染症② 【計画内容】医療の分野で問題となる病原細菌を中心に、病原細菌と感染症との関係を学びます。 【授業時間外の学修内容】前回講義に配付したプリントを復習し理解を深めておくこと。	A
	第2回	【テーマ】微生物学の歴史 【計画内容】微生物学の歴史を学ぶ中から微生物とは何なのか学びます。 【授業時間外の学修内容】前回講義に配付したプリントを復習し理解を深めておくこと。	A	第10回	【テーマ】主な病原真菌･ウイルスと感染症 【計画内容】医療の分野で問題となる病原真菌、ウイルスを中心に感染症との関係を学びます。 【授業時間外の学修内容】前回講義に配付したプリントを復習し理解を深めておくこと。	A
	第3回	【テーマ】細菌学① 【計画内容】細菌の形態や構造を学びます。 【授業時間外の学修内容】前回講義に配付したプリントを復習し理解を深めておくこと。	A	第11回	【テーマ】感染制御 【計画内容】感染制御について、感染経路と対策、滅菌と消毒、その違いや方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回講義に配付したプリントを復習し理解を深めておくこと。	A
	第4回	【テーマ】細菌学② 【計画内容】細菌の代謝、遺伝、分類について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回講義に配付したプリントを復習し理解を深めておくこと。	A	第12回	【テーマ】免疫学① 【計画内容】免疫とは何なのか。生体内における免疫細胞の種類と役割について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回講義に配付したプリントを復習し理解を深めておくこと。	A
	第5回	【テーマ】真菌･原虫学 【計画内容】真菌と原虫の形態や構造、病原性について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回講義に配付したプリントを復習し理解を深めておくこと。	A	第13回	【テーマ】免疫学② 【計画内容】免疫とは何なのか。生体内における免疫細胞の種類と役割について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回講義に配付したプリントを復習し理解を深めておくこと。	A
	第6回	【テーマ】ウイルス学 【計画内容】ウイルスの形態や構造、病原性について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回講義に配付したプリントを復習し理解を深めておくこと。	A	第14回	【テーマ】微生物･免疫学のまとめ① 【計画内容】微生物による感染症と免疫との全体像について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回講義に配付したプリントを復習し理解を深めておくこと。	A
	第7回	【テーマ】感染と感染症 【計画内容】感染と感染症の定義、感染経路や感染予防について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回講義に配付したプリントを復習し理解を深めておくこと。	A	第15回	【テーマ】微生物･免疫学のまとめ② 【計画内容】今までの講義を振り返り、その内容を再確認することで、微生物学に対する理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】今までの講義で配付したプリントを復習し、全体的な内容を再確認しておくこと。	A
	第8回	【テーマ】主な病原細菌と感染症① 【計画内容】医療の分野で問題となる病原細菌を中心に、病原細菌と感染症との関係を学びます。 【授業時間外の学修内容】前回講義に配付したプリントを復習し理解を深めておくこと。	A			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	西條政幸、2015年、『クイックマスター微生物学』、サイオ出版、4907176317 増澤俊幸、2020年、『感染制御の基本がわかる微生物学･免疫学』、羊土社、978-4758109758

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	70%				10%	20%
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	臨床検査技師
		科目との関連	病院検査室での細菌検査業務の経験を活かし、微生物の基礎から感染制御に関する知識を教授する。

質問への対応	E-Mail:shiyoshi@hoku-iryo-u.ac.jp
資格	[教]養教1種_選択
その他	

科目名	看護学概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	丸岡　里香				

授業の目的	
ねらい	現代社会の中で健康はどのようにとらえられており、どのように意識され行動化されているのかを自らの生活や健康行動を振り返りながら理解する。その上で養護活動を行う視点から、必要な健康観を育成することと、ライフサイクルの視点から発達と健康にかかわる生活、環境、対策について学ぶ。さらに、健康にかかわる保健・医療・福祉の連携やその他の社会的資源の活用について学ぶ。
到達目標	(1)養護実践学の基礎科目として看護学を学ぶ意義が理解できる。 (2)看護の対象があらゆる健康レベルの人であり、日々の生活に看護の知識が活用されることを理解できる。 (3)心身の発達を基礎知識にした、ライフサイクル各期の健康問題と看護について理解できる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】講義のガイダンス「養護と看護」 【計画内容】15回の講義の目標を示し、養護基礎学として看護学を学ぶ意義を説明する。これまでの自分を振り返り、健康についての意識や行動を認識する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】ライフサイクルと看護(6)母性の健康と看護② 【計画内容】妊娠・出産・育児期の健康問題と看護について、健康レベルでとらえ、その特徴を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】妊娠・出産・育児と健康の関わりについて身近にとらえる事例を読んでおく。	A・L
第2回	【テーマ】健康と看護とライフサイクル 【計画内容】WHO の健康の概念をもとに、健康とは何かを考えながら、健康の概念を見直し健康を支援する立場としての健康観と対象について学ぶ。日本の現状を通して世界の動向を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康や疾病、障害を身近に感じるエピソードを探す。	A・H	第10回	【テーマ】ライフサイクルと健康(7)成人期の健康と看護 【計画内容】成人期の特徴について理解し、成人期までの行動や生活が健康に及ぼす影響や、健康上の問題を考え、看護・支援について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】生活習慣病とはなにか、また日本の現状について予習する。	A
第3回	【テーマ】看護と保健・医療・福祉・養護 【計画内容】「国民衛生の動向」に見られる日本の現状から、健康の特徴を理解し保健対策や福祉対策が生活の中でどのようにかかわっているのかを理解し養護とのかかわりを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】日本の健康の動向について、関連ある新聞記事を探す。	A	第11回	【テーマ】ライフサイクルと健康(8)老年期の健康 【計画内容】老年期の特徴について理解し、高齢化社会の中で生活する健康上の問題を考え、「健康寿命」やソーシャルサポート及び看護・支援について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】老年期の健康問題にはどのようなものがあるかを挙げる。	A
第4回	【テーマ】ライフサイクルと看護(1)新生児期・乳幼児期の健康と看護 【計画内容】人間が生きていることと死を迎えることの中に健康の各段階があることを理解し、どの段階にどのような看護が必要なのか、また段階にあわせた看護とは何かを考え、看護を通した対象とのかかわりを学ぶ。一回目は新生児期・幼児期の発育・発達の特徴を理解し、この時期の生活環境が影響する心身の健康上の問題を考え、看護・支援について学び、望ましい環境について考える。 【授業時間外の学修内容】ライフサイクルとは何か、他の講義の中での学びと結びつける。	A・H	第12回	【テーマ】ライフサイクルと健康に関するまとめと看護過程とは 【計画内容】各ライフサイクルにおける健康問題の特徴をまとめる。健康問題を持つ対象について看護過程を通して支援を考える。看護過程がどのような構成要素で成り立っているのかを理解し、情報収集の視点やアセスメントの必要性を考え看護計画を立案する展開を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】資料に沿って事例の情報整理に取り組む。	A・H
第5回	【テーマ】ライフサイクルと看護(2)学童期の健康と看護 【計画内容】行動範囲が広がり生活行動を獲得していく学童期の発育・発達の特徴を理解し、教育や環境の影響と健康上の問題を考え、看護・支援について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】学校保健に関わる学童期の発育・発達についてテキストを予習する。	A	第13回	【テーマ】看護過程(1)グループ学習 【計画内容】健康問題のアセスメントをするための情報の収集、整理をし、長期・短期の目標を立てる必要性を理解し、事例の展開から学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回までの情報とアセスメントを整理し記録する。	H・K
第6回	【テーマ】ライフサイクルと看護(3)思春期の健康と看護①成長発達 【計画内容】思春期の発育と身体変化を理解し、自立にむけて必要な教育や環境について理解し、健康上の問題を考え、看護・支援について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】思春期の成長発達に関する健康問題にはどのようなものがあるかを挙げる。	A	第14回	【テーマ】看護過程(2)グループ学習 【計画内容】事例を通して対象の個別性を考えた援助を具体的に計画する。 【授業時間外の学修内容】前回までの記録から情報と問題点と目標につながりがあるかを確認する。	H・K
第7回	【テーマ】ライフサイクルと看護(4)思春期の健康と看護②メンタルヘルス 【計画内容】思春期の成長発達とメンタルヘルスの課題を知り、その特徴と看護の在り方を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】思春期・青年期の発達課題を予習する。	A・L	第15回	【テーマ】看護過程(3)グループ発表 【計画内容】対象理解から対象の個別性を考えた看護計画を考え、看護過程に基づいた看護実践について理解し、チームとしてかかわることの実際と記録の必要性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】資料に沿って各自課題に取り組む。	F・H・K
第8回	【テーマ】ライフサイクルと看護(5)母性の健康と看護① 【計画内容】母性機能の発達の視点から母性と看護について理解し、健康上の問題を考え、看護・支援について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】女性、男性、母性、父性、親性などの用語を予習する。	A			

テキスト	岡田加奈子、2019年、『学校看護』、東山書房、9784827815511
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	60%		30%		10%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	受講者は、健康に関するトピックを講義内に発表します。発表後、自分たちで評価し全体の結果を公表します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	看護師
		科目との関連	臨床看護、看護教育の経験に基づいた基礎看護学から講義を展開します。

質問への対応	オフィスアワーに768研究室にて対応します。 急ぐ用件は Teams にて対応します。
資格	[教]養教1種_必修、社会福祉主事_選必
その他	

科目名	看護学各論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	畑江　郁子				

授業の目的		
	ねらい	子どもの健康問題は心身の成長発達を脅かすものであることから、現代の病気の現状や問題について理解を深める。この科目ではこれまでに学んでいる養護実践の対象である子どもの健康なからだの成り立ちやしくみを基礎知識とし、子どもによくみられる病気を中心に、病気が子どもと家族に与える影響及びその支援について看護の視点で学ぶ。
	到達目標	(1)成長・発達過程にある子どものからだのしくみや機能を理解することができる。 (2)成長・発達過程にある子どもの健康障害とその看護について理解することができる。 (3)健康障害が子どもと家族の生活に及ぼす影響について理解することができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義ガイダンスと子どもの健康 【計画内容】15回の講義展開と目標について示す。養護基礎学にとっての看護の意義と学習の必要性を説明する。人の健康と成長・発達について認識し、「子ども」の健康の重要性を想起する。 【授業時間外の学修内容】「看護学概論」の復習をして臨むこと。	A・H・K	第9回	【テーマ】子どもの健康問題と看護(7)内分泌系疾患　腎・泌尿器の疾患 【計画内容】内分泌と腎・泌尿器の障害による疾患の病態を学び、子どもと家族への影響と看護を理解する。 【授業時間外の学修内容】膵臓・甲状腺・腎臓の機能について復習しておく。	A・H・K
	第2回	【テーマ】子どもの成長・発達 【計画内容】子どもの成長・発達とその評価について学ぶとともに、身体的構造と働き・心理・社会面の特徴を理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト「成長発達」を熟読しておく。	A・H・K	第10回	【テーマ】子どもの健康問題と看護(8)発達障害・虐待 【計画内容】発達障害の種類と特徴を学び子どもと家族の看護について理解する．虐待を受けている子どもへの援助と親に対する対応について考える。 【授業時間外の学修内容】虐待について学習しておく。	A・H・K
	第3回	【テーマ】子どもの健康問題と看護(1)新生児の疾患 【計画内容】母体外の環境に適応する時期である新生児の身体的構造と機能の特徴から、新生児によくみられる健康問題について学び、新生児とその家族に与える影響とその看護について理解する。 【授業時間外の学修内容】新生児のからだの特徴についてテキストを熟読しておく。	A・H・K	第11回	【テーマ】子どもの健康問題と看護(9)けいれん性の疾患・運動器系疾患 【計画内容】けいれんを症状とする代表的な疾患の症状と病態を学び、子どもと家族への影響と看護を理解する。子どもによくみられる運動器系の障害の病態を学び、子どもと家族のへの影響と看護について理解する。 【授業時間外の学修内容】けいれんについての復習と骨・筋の解剖・生理を復習しておく。	A・H・K
	第4回	【テーマ】子どもの健康問題と看護(2)消化器の疾患 【計画内容】消化器系からみた子どもの身体的構造と機能の特徴を学ぶ。子どもの健康問題でよくみられる疾患を中心に疾患が子どもとその家族に与える影響と看護について理解する。 【授業時間外の学修内容】消化器の構造と働きについて復習しておく。	A・H・K	第12回	【テーマ】小児の看護過程(1)小児における看護過程の展開 【計画内容】小児の看護過程の特徴。看護問題の明確化に向けた系統的・意図的な情報収集と整理、その分析と判断、計画立案、看護介入、評価とは何かについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習した子どもの健康問題について復習すること。	A・B・H・J
	第5回	【テーマ】子どもの健康問題と看護(3)呼吸器の疾患　循環器系の疾患 【計画内容】呼吸器系・循環器系からみた子どもの身体的構造と機能の特徴を学ぶ。頻度の高い子どもの健康問題を中心に、子どもとその家族への影響と看護について理解する。 【授業時間外の学修内容】呼吸器・循環器の構造と機能について復習しておく。	A・H・K	第13回	【テーマ】小児の看護過程(2)事例の展開　グループ学習 【計画内容】健康問題を抱える小児の事例を実際にアセスメントしすることで、看護問題の明確化と全体像を捉える。抽出された問題点に対して、看護計画を立案することから看護過程について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の看護過程に関する資料を熟読しておくこと。	B・H・J
	第6回	【テーマ】子どもの健康問題と看護(4)アレルギー・膠原病の疾患 【計画内容】疾患の病態を学び、アレルギー疾患や膠原病が子どもとその家族へ与える影響と看護について理解する。 【授業時間外の学修内容】免疫やアレルギーについての機能を学習しておく。	A・H・K	第14回	【テーマ】小児の看護過程(3)事例展開の発表 【計画内容】事例の全体像の捉えと看護計画立案までの経過について共有し、看護過程について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】前回までの看護過程に関する資料を熟読しておくこと。	F・L
	第7回	【テーマ】子どもの健康問題と看護(5)血液・造血器のの疾患 【計画内容】血液・造血機能が障害されることで生じる疾患の病態を学び、子どもと家族への影響と看護を理解する。 【授業時間外の学修内容】造血機能と血液の働きについて学習しておく。	A・H・K	第15回	【テーマ】健康問題が子どもと家族に与える影響・まとめ 【計画内容】子どもの身体的構造・機能の特徴と健康問題が子どもと家族に及ぼす影響について、これまでの学習を振り返り、必要な看護を深める。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習内容を復習しておくこと。	A・L・G
	第8回	【テーマ】子どもの健康問題と看護(6)感染症 【計画内容】子どもによくみられる感染症の種類と特徴、感染予防について学び、子どもと家族への影響と看護を理解する。 【授業時間外の学修内容】細菌とウイルスの特徴について学習しておく。	A・H・K			

テキスト	早川浩、2012年、『テキスト子どもの病気』、日本小児医事出版社、9784889242195
参考書	岡田加奈子、2019年、『学校看護』、東山書房、978427845009 江連和久、2014年、『看護学生のための解剖生理学』、メヂカルフレンド社、978-4-8392

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	60%		30%		10%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	ワークシートは添削の上、返却します。		
実務経験と授業の関連	該当	経験内容	看護師
		科目との関連	基礎看護学、小児看護学、成人看護学、フィジカルアセスメント
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します		
資格	[教]養教1種_必修		
その他	「看護学概論」を履修していることが望ましい		

科目名	学校看護学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	丸岡　里香				

授業の目的

ねらい	この講義は、前学期「看護学概論」で学んだ看護学の発展科目として養護教諭が看護の視点で対象の健康問題と関わる具体的方法や、「看護技術演習Ⅰ」と並行して「フィジカルアセスメント」の原理や方法を深め情報収集、情報分析、対象理解を身につけることを目的とする。
到達目標	(1)急性期の症状を訴える子どもへの支援を理解し援助方法を身につける。 (2)特別な支援を要する身体上課題のある子どもと家族を理解し支援を身につける。 (3)医療的ケアの必要性を理解し、学校生活における支援が理解できる。

授業の計画

第1回	【テーマ】Ⅰ　子どもの基本的生活習慣と支援① 【計画内容】成人への移行期にある子どものセルフケアの発達と支援について、子どもの今日的課題を含めて基礎的な理解をする。 【授業時間外の学修内容】子どもの成長・発達について「看護学各論」と重なる点を理解する。	A	第9回	【テーマ】Ⅲ　特別な支援を要する身体上の課題のある子どもと家族の理解と支援② 【計画内容】2-2. 慢性疾患とともに生きる子どもと家族の理解と支援 3)先天性心疾患の現状と重症度と治療について理解し、子どもへの支援・援助について学ぶ。 4)糖尿病の現状と診断と管理について理解し、インスリン注射の取り扱いや低血糖への対処など子どもへの支援・援助について学ぶ。 5)腎臓病の現状と治療やその副作用について理解し、活動等の制限などの子どもへの支援・援助を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスト・参考書の「先天性心疾患」「糖尿病」「腎臓病」について熟読しておく。	A・J
第2回	【テーマ】Ⅰ　子どもの基本的生活習慣と支援② 【計画内容】子どもの生活行動や、睡眠、活動の現状を知り、健康課題との関連を考える。 【授業時間外の学修内容】日本や北海道の子どもの健康課題を調べておく。	A	第10回	【テーマ】Ⅲ　特別な支援を要する身体上の課題のある子どもと家族の理解と支援③ 【計画内容】2-3. 慢性疾患とともに生きる子どもと家族の理解と支援 6)てんかんの現状と分類や症状について理解し、日常や発作などの子どもへの支援・援助を学ぶ。 7)先天異常を持つ子どもについて、その現状と医療的ケアを含む支援・援助を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスト・参考書の「てんかん」「先天異常」について熟読しておく。	A・J
第3回	【テーマ】Ⅱ　急性期の症状を訴える子どもに対する支援・援助① 【計画内容】1. 子どもに多い急性期症状についてその症状を理解し支援・援助をすすめるために養護教諭のできることとは何かを理解する。 2-1. 多様な急性期症状と支援について 1)子どもの頭痛と学校看護について原因や支援・援助を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスト・参考書の「頭痛」について熟読しておく。	A	第11回	【テーマ】Ⅳ　共通する看護と技術① 【計画内容】1. 医療的ケアについて、特別支援教育の中の現状とその課題について学ぶ。 2. 排尿障害や排便障害を持つ子どもへの排泄支援について、自己導尿や人工肛門の管理について学校における取り扱いについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】医療的ケアについて復習し、医行為の範囲について調べておく。	A・J
第4回	【テーマ】Ⅱ　急性期の症状を訴える子どもに対する支援・援助② 【計画内容】2-2. 多様な急性期症状と支援について 2)子どもの腹痛の原因や支援・援助を①アセスメント②症状の段階ごとの対応③腹痛時の直接的支援について具体的方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスト・参考書の「腹痛」について熟読しておく。	A	第12回	【テーマ】Ⅳ　共通する看護と技術② 【計画内容】3. 呼吸障害を持つ子どもの呼吸管理・支援について、初期対応や酸素療法、気道内吸引の実際を理解し学校看護としての対応を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスト・参考書の「呼吸障害」やについて熟読しておく。	A・J
第5回	【テーマ】Ⅱ　急性期の症状を訴える子どもに対する支援・援助③ 【計画内容】2-3. 多様な急性期症状と支援について 3)子どもの嘔気・嘔吐の原因や支援・援助を①アセスメント②症状の段階ごとの対応③嘔気・嘔吐の直接的支援について具体的方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスト・参考書の「嘔気・嘔吐」について熟読し、メカニズムを復習しておく。	A	第13回	【テーマ】Ⅳ　共通する看護と技術③ 【計画内容】4. 摂食嚥下障害を持つ子どもへの食事の支援について、食形態や摂食指導の実際を理解し経管栄養などへの対応について学ぶ。 5. 水分管理を必要とする子どもについて、適切な水分量の把握方法や水分出納の把握方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスト・参考書の「摂食嚥下障害」「与薬」について熟読しておく。	A
第6回	【テーマ】Ⅱ　急性期の症状を訴える子どもに対する支援・援助④ 【計画内容】2-4. 多様な急性期症状と支援について 4)子どもの便秘の原因や支援・援助について①アセスメント②症状の段階ごとの対応③便秘時の直接的支援について具体的方法を学ぶ。 5)子どもの下痢の原因や支援・援助について①アセスメント②症状の段階ごとの対応③下痢時の直接的支援について具体的方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスト・参考書の「便秘」「下痢」について熟読し、メカニズムを復習しておく。	A	第14回	【テーマ】Ⅴ　学校看護と身体的・精神的支援 【計画内容】障害の特性と学校での対応発達障害、てんかん、脳性まひ、ダウン症などの特性と学校の対応を学ぶ。特別支援学校における保健室の施設設備について考える。 【授業時間外の学修内容】さまざまな障害や疾患の特徴について振り返っておく。	A
第7回	【テーマ】Ⅱ　急性期の症状を訴える子どもに対する支援・援助⑤ 【計画内容】2-5. 多様な急性期症状と支援について 6)子どもの発熱の原因や支援・援助について①アセスメント②段階ごとの対応③発熱時の直接的支援について具体的方法を学ぶ。 7)子どものかゆみの原因や支援・援助について①アセスメント②段階ごとの対応③かゆみのある時の直接的支援について具体的方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスト・参考書の「発熱」「かゆみ」について熟読しメカニズムを復習しておく。	A	第15回	【テーマ】Ⅵ　学校看護と支援のまとめ 【計画内容】これまでの学びを統合し、学校の中で行われる支援や対応についてのまとめをする。 【授業時間外の学修内容】前回までのそれぞれの疾患や障害の症状と支援を復習しておく。	A・L
第8回	【テーマ】Ⅲ　特別な支援を要する身体上の課題のある子どもと家族の理解と支援① 【計画内容】1. 特別な支援とは 2-1. 慢性疾患とともに生きる子どもと家族の理解と支援 1)子どもの理解と支援・家族の理解と支援について学ぶ。 2)気管支ぜんそくの現状と子どもへの支援・援助について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】特別支援教育の制度について復習しておく。	A・J			

テキスト	岡田加奈子、2019年、『学校看護』、東山書房、9784827815511
参考書	早川浩、2012年、『テキスト子どもの病気』、日本小児医事出版社、9784889242195

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	90%				10%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	課題レポートは添削の上返却いたします。

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	看護師
	科目との関連	臨床経験、看護教育経験から学校現場での疾病や障がいへの対応を指導する。

質問への対応	オフィスアワー：768研究室にて対応する。 急ぎの用件は Teams にて連絡をすること。
資格	
その他	「看護学概論」「看護学各論」「看護技術演習Ⅰ」を履修または履修中であることが望ましい。

科目名	看護技術演習(救急処置を含む)Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2

教員名	丸岡　里香、畑江　郁子

授業の目的		
	ねらい	養護実践学の基礎科目として、看護援助の科学的根拠を理解し具体的な技術を学ぶ。対象者の情報を収集し援助の必要をアセスメントする過程を通し、日常生活の援助を提供することを目標とする。「看護学臨床実習」における病院実習の準備としても位置付けられる。
	到達目標	(1)看護援助の目的を理解することができる。 (2)援助技術の根拠を理解することができる。 (3)日常生活の援助技術を実践することができる。 (4)救急処置の基本を理解し実践することができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業ガイダンス　1. 看護技術とは　　1)感染予防 【計画内容】本講義の目的を理解し、目的に達するための講義の進め方について説明する。講義の導入として看護学の構成や養護との関連を確認する。また、学校における安全・安楽に看護技術がどのように活用されるかについて感染予防の視点から考える。(丸岡里香) 【授業時間外の学修内容】「看護学概論」・「看護学各論」を復習して臨むこと。	A	第9回	【テーマ】3)フィジカルアセスメントに用いる技術　(2)バイタルサインのチェック:血圧・意識 【計画内容】バイタルサインの中でも救急処置に結びつく血圧・意識の測定方法を理解し、アセスメントに結びつける基本を学び、演習によって身につける。(丸岡里香・畑江郁子) 【授業時間外の学修内容】テキスト「バイタルサイン」を熟読のこと。	A・B
	第2回	【テーマ】2)保健室等環境への活動　(1)環境調整とは 【計画内容】環境を調整するための構成要素を理解し、室内環境の調整やベッドメーキングが健康にどのように結びつくかについて学ぶ。(丸岡里香) 【授業時間外の学修内容】テキスト「環境調整」を熟読のこと。	A	第10回	【テーマ】4)フィジカルアセスメントの実際　(1)顔面・頭頸部・眼・耳・鼻・口腔のフィジカルアセスメント 【計画内容】演習①顔面・頭頸部・眼・耳・鼻・口腔の解剖を理解し、各部位のフィジカルアセスメントを演習し理解する。 (丸岡里香・畑江郁子) 【授業時間外の学修内容】テキスト「フィジカルアセスメント」を熟読のこと。	A・B
	第3回	【テーマ】2)保健室等環境への活動　　(2)ベッドメーキング 【計画内容】演習:前回の講義から環境調整やベッドメーキングの必要性を理解し、演習を通して身につける。また、援助技術としての「ボディメカニクス」を理解し、活用した動作を身につける。 (丸岡里香・畑江郁子) 【授業時間外の学修内容】テキスト「ベッドメーキング」を熟読のこと。	A・B	第11回	【テーマ】4)フィジカルアセスメントの実際　(2)胸部・腹部のフィジカルアセスメント 【計画内容】演習:②胸部・腹部の解剖を理解し、各部位のフィジカルアセスメントを演習し理解する。(丸岡里香・畑江郁子) 【授業時間外の学修内容】テキスト「フィジカルアセスメント」を熟読のこと。	A・B
	第4回	【テーマ】3)安楽のための看護技術 【計画内容】看護技術を活用して「安楽」を援助することの生理学的な意味を理解する。援助技術としての安楽な体位についての援助を学び、どのような場面でどのような技術が必要かを考える。 (丸岡里香・畑江郁子) 【授業時間外の学修内容】テキスト「安楽」の章を熟読のこと。	A・B	第12回	【テーマ】4)フィジカルアセスメントの実際　(3)脳神経・浮腫についてのフィジカルアセスメント 【計画内容】演習③脳神経・浮腫についての解剖を理解し、各部位のフィジカルアセスメントを演習し理解する。 (丸岡里香・畑江郁子) 【授業時間外の学修内容】テキスト「フィジカルアセスメント」を熟読のこと。	A・B
	第5回	【テーマ】2. 基礎技術　1)学校におけるヘルスアセスメントの考え方　2)ヘルスアセスメントのプロセス 【計画内容】なぜ養護教諭にヘルスアセスメント技術が必要かを学び、ヘルスアセスメントのプロセスとしての技術を演習する。 (丸岡里香・畑江郁子) 【授業時間外の学修内容】前回の講義を振り返り、テキスト・参考書を熟読のこと。	A・B	第13回	【テーマ】3. 技術の復習と確認:ベッドメーキングとバイタルサインの測定　1)技術の統合 【計画内容】これまで演習した技術を統合し、支援としてどのように提供するかを実践する。(丸岡里香・畑江郁子) 【授業時間外の学修内容】前回までの講義・演習を振り返り復習をする。	A・B
	第6回	【テーマ】3)フィジカルアセスメントに用いる技術　(1)フィジカルアセスメントと問診技術 【計画内容】フィジカルアセスメントの構成を学び、観察と問診について具体的な項目や順番を考える演習をする。 (丸岡里香・畑江郁子) 【授業時間外の学修内容】テキスト「問診技術」を熟読のこと。	A・B	第14回	【テーマ】3. 技術の復習と確認:ベッドメーキングとバイタルサインの測定　2)技術の確認 【計画内容】さまざまな場面での技術の活用について演習し、個人の学びの達成度を確認する。(丸岡里香・畑江郁子) 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容を復習し、繰り返し技術を練習する。	A・B
	第7回	【テーマ】3)フィジカルアセスメントに用いる技術　(2)バイタルサインのチェックとは 【計画内容】演習:バイタルサインのチェックに必要な用具の説明と使い方を学び実際に測定する。バイタルサインをアセスメントに結びつける基本を学び、正確な測定を演習によって身につける。 (丸岡里香・畑江郁子) 【授業時間外の学修内容】テキスト「バイタルサイン」を熟読のこと。	A・B	第15回	【テーマ】4. さまざまな場面で必要とされる看護技術のまとめ 【計画内容】これまでに修得した知識と演習した技術をどのような場面でどのように活用するのかを演習する。 (丸岡里香・畑江郁子) 【授業時間外の学修内容】テキスト及び資料を復習し、前回の内容を繰り返し練習する。	A・B
	第8回	【テーマ】3)フィジカルアセスメントに用いる技術　(2)バイタルサインのチェック:体温・脈拍・呼吸 【計画内容】バイタルサインのチェックの中でも活用頻度の高い体温・脈拍・呼吸の測定方法を理解し、アセスメントに結びつける基本を学び、演習によって身につける。(丸岡里香・畑江郁子) 【授業時間外の学修内容】テキスト「バイタルサイン」を熟読のこと。	A・B			

テキスト	岡田加奈子、2019年、『学校看護』、東山書房、9784827815511 守田美奈子、2020年、『看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス』、インターメディカ、9784899963394
参考書	大谷尚子、2011年、『養護教諭のためのフィジカルアセスメント』、日本小児医事出版社、9784889242140

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%	20%	10%		10%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	ワークシートや課題については、添削の上、返却します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	丸岡里香 / 看護師・救急救命士、畑江郁子 / 看護師
		科目との関連	丸岡里香 / 臨床経験、看護教育経験に基づいた技術指導、畑江郁子 / 臨床経験、看護教育経験に基づいた技術指導

質問への対応	オフィスアワーに768研究室にて対応します。 急ぎの用件は Teams にて対応します。
資格	[教]養教1種_必修
その他	講義の開始前に準備のためのレポートの提出を求めています。 各テーマに演習が組み込まれており、演習を重視しています。欠席のための演習の補充は難しく、技術習得のための自己練習も必要となります。

科目名	救急処置活動論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	丸岡　里香				

授業の目的	ねらい	救命救急の実際の活動について基礎的知識を学び、実技を身につけることを目的とする。そのために講義の中で実際の事例を用いてその原因･対応･事後処置をアセスメントし、養護教諭としてどのような知識や技術が必要であるかを確認する。また、教育的関わりとして身に付けた救急処置の技術を保健指導に取り入れ、子どもが自分のからだを守ることを目的とした指導を組み立てる。救急処置の対象として一般はもちろんのこと小児の救急処置の特徴を学ぶ事を重視する。
	到達目標	(1)救急処置についての原理･原則を理解して実施することができる。 (2)心肺蘇生法を身につけ実施することができる。 (3)養護教諭として学校現場の救急処置活動ができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション･救急処置の基本　①学校教育のなかの救急処置活動について 【計画内容】本学習の目標を確認し、学校教育で必要な救急処置の実際について事例から学ぶ。 【授業時間外の学修内容】最近の児童生徒の救急処置の事例を探しまとめておく。	A･J	第9回	【テーマ】救急処置の基本「アレルギー疾患」 【計画内容】近年増加しているアレルギーについて学び、知識と技術をどのような判断のもとに活用するのかを実際の事例を通して考え学ぶ。 【授業時間外の学修内容】これまでの演習で学んだ知識と技術を確認しておく。	A･J
	第2回	【テーマ】救急処置の基本　②創傷･打撲等の処置 【計画内容】外傷時の救急処置を必要とする生理的な生体の変化とその回復について、これまで学んできた知識を復習しながら統合する。 【授業時間外の学修内容】「解剖生理学」の組織について復習しておく。	A･J	第10回	【テーマ】救急処置の基本「呼吸困難や意識障害」 【計画内容】学校生活の中で起こりやすい、気持ちが悪い、めまいがする、息苦しい、倒れるなどの症状への対応と緊急性の判断を学ぶ 【授業時間外の学修内容】テキスト「気分が悪いなどの訴え」「てんかん」を予習しておくこと。	A･J
	第3回	【テーマ】救急処置の基本　「骨折･捻挫･脱臼」① 【計画内容】外傷の一つである「骨折」について、生理学的なダメージと回復を理解し、処置の方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】「解剖生理学」の骨の構造について復習しておく。	A･J	第11回	【テーマ】救命救急処置の基本 【計画内容】心停止、呼吸停止とは生理学的にどのようなことが起こっているのかを理解し、適切な対応について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスト「知っておきたい知識や技術の基本事項」を読んで予習しておくこと。	A･B
	第4回	【テーマ】救急処置の基本「骨折･捻挫･脱臼」② 【計画内容】外傷の一つである「捻挫」について、生理学的なダメージと回復を理解し、処置の方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】「解剖生理学」の骨･筋肉の構造を復習しておく。	A･J	第12回	【テーマ】救命救急処置の実際 【計画内容】救命につながる胸骨圧迫、人工呼吸、AEDについて、そのメカニズムと技術について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】フィジカルアセスメントについて復習しておく。	A･J
	第5回	【テーマ】救急処置の基本「骨折･捻挫･脱臼」③ 【計画内容】外傷の一つである「脱臼」について生理学的なダメージと回復について理解し、処置の方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】「解剖生理学」を復習しておく。	A･J	第13回	【テーマ】救急処置の技術 【計画内容】救命処置活動を演習し、正確な判断と技術を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】12回、13回の内容を復習しておく。	A･E･B
	第6回	【テーマ】救急処置の基本「筋肉･腱･関節の痛み」 【計画内容】学校生活で起こりうる「痛み」についての対応と処置を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスト「筋肉･腱･関節の痛み」の章を読んでくる。	A･J	第14回	【テーマ】学校における救急事例の発生と校内体制 【計画内容】学校内で傷病事故発生時に必要とされる体制や、傷病事故の予防について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回までの講義を振り返り復習しておく。	A･J
	第7回	【テーマ】救急処置の基本「熱傷、異物混入、野外活動時の対応」 【計画内容】熱傷の程度の判断や処置についてや、野外活動で起こりうる危険について考える。 【授業時間外の学修内容】テキスト「熱傷、異物混入、野外活動での救急処置」を読んでくる。	A･J	第15回	【テーマ】救急処置活動技術トレーニング 【計画内容】基本を理解し、様々な場面で応用できる能力をトレーニングする。 【授業時間外の学修内容】これまでの全体を復習しておく。	A･K
	第8回	【テーマ】救急処置の基本「内科的な救急処置」 【計画内容】外傷以外に救急処置を必要とする症状を知り、程度と判断ついて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキスト「救急処置の実際(内科的なもの)」を読み予習すること。	A･J			

テキスト	全養サ書籍編集委員会、2018年、『ここがポイント学校救急処置』、農文協、9784540181528
参考書	杉浦守邦、2015年、『養護教諭ための診断学』、東山書房、9784827814958

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	60%		30%		10%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	「看護技術演習Ⅰ」「看護技術演習Ⅱ」を履修済または履修中であることが望ましい。 学外での演習に参加することもあり、学内･学外とも演習の出席は単位認定のために必須である。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	看護師･救急救命士
		科目との関連	臨床経験、看護教育経験に基づいた救急処置について講義を展開します。

質問への対応	オフィスアワーに768研究室にて対応します。 急ぐ用件は Teams にて対応します。
資格	
その他	

科目名	養護教諭基礎セミナーⅠ	授業形態	演習	単位数	2

教員名	今野　洋子、佐藤　朱美、丸岡　里香

授業の目的		
	ねらい	理想の養護教諭になるためには、どのように大学生活を送ればよいのでしょう。 このセミナーでは、体験学習を通し、理想の養護教諭を目指す上で必要な学習計画や具体的な学習方法について学びます。また、養護実習についての理解を深めます。
	到達目標	(1)理想の養護教諭像を確立する。 (2)理想の養護教諭に向けての大学生活の学習計画を立てる。 (3)理想の養護教諭を目指す上での自己課題を理解する。 (4)意欲的に大学生活に取り組む。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション･養護教諭を目指しての学修計画 【計画内容】なりたい理想の養護教諭を踏まえ、1年間の学修計画を確認します。また、コースの仲間と互いに意見を交換し、組織づくりをします。(全教員) 【授業時間外の学修内容】一年間の学修計画を完成させて、臨みます。	A･B･F･H･K	第9回	【テーマ】養護実習を知る③ 【計画内容】養護実習報告会に参加し、報告を聞いて、グループ討議の時間を活用して、実習生に積極的に質問紙、養護実習について理解を深めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】疑問点を明らかにしておきます。	A･F･H･K
	第2回	【テーマ】特別講義1「美しい学生生活のために」 【計画内容】キャリアコンサルタントの中村友美先生をお迎えして、有意義な学生生活を送るために具体的にどうすればよいのか、学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】自己課題を整理して、臨みます。	A･F･H･K	第10回	【テーマ】養護実習を知る④ 【計画内容】養護実習報告会を振り返り、学んだことを振り返り、グループでポスターを作成して発表し、学びを交流します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】養護実習報告会で省察したことを振り返り、臨みます。	A･F･H･K
	第3回	【テーマ】特別講義2「大学4年間をどう過ごすか」 【計画内容】4年生の先輩をお迎えして、4年間を見通した学生生活をどう過ごせばよいか、学びを深めます。 (全教員) 【授業時間外の学修内容】学習面･生活面での計画を考え、臨みます。	A･F･H･K	第11回	【テーマ】特別講義3「大学での学びが養護教諭として生かされるために①」 【計画内容】本学卒業生で現在活躍している養護教諭の先生をお招きし、養護教諭としての実践について学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】養護実践について整理し、臨みます。	A･F･H･K
	第4回	【テーマ】現職養護教諭との交流に向けて 【計画内容】現職養護教諭の先生との交流のため、準備します。服装･髪を整え、どのように交流すればよいか、事前学習を行いいます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】交流当日想定し、臨みます。	A･F･H･K	第12回	【テーマ】特別講義4「大学での学びが養護教諭として生かされるために②」 【計画内容】本学卒業生で現在活躍している養護教諭の先生をお招きし、養護教諭としての実践について学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】養護実践について整理し、臨みます。	A･F･H･K
	第5回	【テーマ】現職養護教諭との交流 【計画内容】現職養護教諭が実際にどのような教育的意義をもとに養護実践しているか、交流を通して、理解を深め、学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】事前学習を振り返り、臨みます。	A･F･H･K	第13回	【テーマ】特別講義5「大学での学びが養護教諭として生かされるために③」 【計画内容】本学卒業生で現在活躍している養護教諭の先生をお招きし、養護教諭としての実践について学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】養護実践について整理し、臨みます。	A･F･H･K
	第6回	【テーマ】現職養護教諭との交流の振り返り 【計画内容】現職養護教諭との交流から学んだことを振り返り、グループでポスターを作成して発表し、検討します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】自分の考えを整理し、臨みます。	A･F･H･K	第14回	【テーマ】特別講義3～5の振り返り 【計画内容】3名の養護教諭の先生の実践を振り返り、改めて大学生活をどう送るべきか省察します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】特別講義での学びを振り返り、整理して臨みます。	A･F･H･K･L
	第7回	【テーマ】養護実習を知る① 【計画内容】養護実習について担当教員からの講義を通して、理解を深め、養護実習報告会の基礎とします。(全教員) 【授業時間外の学修内容】養護実習報告書を読み、臨みます。	A･K	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの学習を振り返り、学習不足の点や課題について把握します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】これまでの学習を振り返り、整理しておきます。	A･F･H･K･L
	第8回	【テーマ】養護実習を知る② 【計画内容】養護実習報告会に参加し、報告を聞いて、養護実習の理解をさらに深めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】養護実習についての講義を振り返り、臨みます。	A･H･K･M			

テキスト	初回にプリントを配付します。
参考書	初回に紹介します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			レポート		発表等	

課題に関するフィードバックの方法	ワークシートや課題は、添削の上、返却します。 最終のレポート課題は以下の通りです。 1.「養護教諭基礎セミナーⅠ」を振り返り、学んだことと、獲得とした資質能力について書きなさい。 2. 後学期に向けての自己課題を検討し、書きなさい。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	初回に説明します。オフィスアワーを活用してください。
資格	
その他	養護教諭になる上で、また、充実した大学生活を送る上で有意義なセミナーです。

科目名	養護教諭基礎セミナーⅡ	授業形態	演習	単位数	2

教員名	今野　洋子、佐藤　朱美、丸岡　里香

授業の目的		
	ねらい	このセミナーでは、実際に学校を訪問しての保健室見学や学会参加を通し、理想の養護教諭像をたしかなものにしていきます。さらに、教育委員会の方のご講義や現職養護教諭のご講義等の貴重な機会を通し、考えを深めることができます。また、看護学臨床実習について深く学びます。
	到達目標	(1)理想の養護教諭像を確立し近づけるようにする。 (2)理想の養護教諭に向けての大学生活の学習を進めることができる。 (3)理想の養護教諭を目指す上での自己課題を理解する。 (4)意欲的に大学生活に取り組む。

授業の計画						
第1回	【テーマ】看護学臨床実習を知る① 【計画内容】看護学臨床実習について、理解を深めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】看護学臨床実習について確認し、臨みます。	A・F・H・K	第9回	【テーマ】2年生の研究発表に学ぶ② 【計画内容】2年生の研究発表で学んだことを振り返り、グループでポスターにまとめて発表し交流します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】2年生の研究発表の資料を整理しておきます。	A・B・H・K
第2回	【テーマ】看護学臨床実習を知る② 【計画内容】看護学臨床実習報告会に参加し、実習生の報告から、実習に対する理解を深めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を振り返り、臨みます。	A・F・H・K	第10回	【テーマ】特別講義「夢をかなえるために」 【計画内容】キャリアコンサルタントの中村友美先生をお迎えし、夢をかなえるために、今からできることを学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】これまで学んだことを整理し、臨みます。	A・H・K
第3回	【テーマ】看護学臨床実習を知る③ 【計画内容】看護学臨床実習報告会を振り返り、実習までに学ぶことや身につけなければならないことを検討し、グループでポスターにまとめて発表します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】報告会の資料をよく読み、臨みます。	A・M	第11回	【テーマ】特別講義のふりかえり 【計画内容】学んだことを振り返り、グループでポスターにまとめて発表し交流します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】特別講義の資料を整理し、臨みます。	A・B・H・K
第4回	【テーマ】日本家族計画協会セミナーで学ぶ① 【計画内容】日本家族計画協会セミナーに参加し、健康生活についての学びを深めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】日本家族計画協会について調べ、臨みます。	F・H・K・L	第12回	【テーマ】北海道中央児童相談所・北海道特別支援センター訪問学習① 【計画内容】北海道中央児童相談所・北海道特別支援センターを訪問し、学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】北海道中央児童相談所・北海道特別支援センターについて調べ、臨みます。	A・K
第5回	【テーマ】日本家族計画協会セミナーで学ぶ② 【計画内容】セミナーで学んだことを振り返り、グループでポスターにまとめて発表し交流します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】セミナー資料を整理し、臨みます。	A・H・K	第13回	【テーマ】北海道中央児童相談所・北海道特別支援センター訪問学習② 【計画内容】学んだことを振り返り、グループでポスターにまとめて発表し交流します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】訪問学習の資料を整理し、臨みます。	A・B・H・K
第6回	【テーマ】保健室の整理収納講座で学ぶ① 【計画内容】保健室の整理収納講座に参加し、保健室の整理収納の基本について学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】保健室について学習したことを振り返り、臨みます。	A・H・K	第14回	【テーマ】1年生の調べ学習発表会 【計画内容】学んだことまとめ、グループでパワーポイントを使用して発表します。コースの先生から講評していただきます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】これまでの学習を整理し、臨みます。	A・B・H・K
第7回	【テーマ】保健室の整理収納講座で学ぶ② 【計画内容】学んだことを振り返り、グループでポスターにまとめて発表し交流します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】講座のテキストをよく読み、臨みます。	A・H・K・N	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの学習を振り返り、学習不足の点や課題について把握します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】これまでの学習を振り返り、整理しておきます。	A・H・K・L
第8回	【テーマ】2年生の研究発表に学ぶ① 【計画内容】2年生の研究発表に参加し、調査の基本等について学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】研究や調査について調べておきます。	A・H・K			

テキスト	初回にプリントを配付します。
参考書	初回に紹介します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	札幌市内小学校の訪問学習・防災教育についての学習・卒業研究発表会参加等もあります。 ワークシートや課題は、添削の上、返却します。 最終のレポート課題は以下のとおりです。 1.「養護教諭基礎セミナーⅡ」で何を学んだか。 2.「養護教諭基礎セミナーⅡ」で、特に身についた資質能力とは何か。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回に説明します。オフィスアワーを活用してください。
資格	
その他	養護教諭になるうえで、また、充実した大学生活を送る上で有意義なセミナーです。

科目名	ヘルスアセスメント論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	島瀬　史子、畑江　郁子				

授業の目的		
	ねらい	健康相談･健康相談活動や救急処置活動で必要なヘルスアセスメントの基礎について学び、知識および技術の獲得を目指します。保健室でのアセスメントに役立てることができるよう、学習を深めます。
	到達目標	(1)ヘルスアセスメントの基本について理解する。 (2)保健室での活用方法について説明できる。 (3)子どもの訴えに応じたヘルスアセスメントができるよう体験的に学ぶ。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション･ヘルスアセスメントの基本 【計画内容】ヘルスアセスメントとは何か、養護教諭がどのように活用するかを学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】健康相談･健康相談活動および救急処置の過程を確認して臨みます。	A･H･L	第9回	【テーマ】胸部に対するアセスメントの基本 【計画内容】胸部に対するアセスメントの基本を行う際に必要な基礎知識を確認し、アセスメントを行うときの視点や方法、技術について学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】胸部に関する訴えや異常について調べ、臨みます。	A･H･L
	第2回	【テーマ】ヘルスアセスメントの活用の実際 【計画内容】養護教諭がどのようにヘルスアセスメントを行い、活用するかを事例を通して学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】ヘルスアセスメントの具体的な方法について調べ、臨みます。	A･L	第10回	【テーマ】腹部に対するアセスメントの基本(1) 【計画内容】腹部に対するアセスメントの基本を行う際に必要な基礎知識を確認し、アセスメントを行うときの視点や方法、技術について学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】腹部に関する訴えや異常について調べ、臨みます。	A･H･L
	第3回	【テーマ】フィジカルアセスメントの準備と留意点 【計画内容】身体的側面のアセスメントであるフィジカルアセスメントについての準備と留意点について学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】フィジカルアセスメントの基本的技術について確認し、臨みます。	A･L	第11回	【テーマ】腹部に対するアセスメントの基本(2) 【計画内容】腹部に対するアセスメントの基本を行う際に必要な基礎知識を確認し、アセスメントを行うときの視点や方法、技術について学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】腹部に関する訴えや異常について調べ、臨みます。	A･H･L
	第4回	【テーマ】顔面･頭部に対するアセスメントの基本 【計画内容】顔面･頭部に対するアセスメントを行う際に必要な基礎知識を確認し、アセスメントを行うときの視点や方法、技術について学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】顔面･頭部に関する訴えや異常について調べ、臨みます。	A･L	第12回	【テーマ】四肢に対するアセスメントの基本 【計画内容】四肢に対するアセスメントの基本を行う際に必要な基礎知識を確認し、アセスメントを行うときの視点や方法、技術について学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】四肢に関する訴えや異常について調べ、臨みます。	A･H･L
	第5回	【テーマ】頸部に対するアセスメントの基本 【計画内容】頸部に対するアセスメントの基本を行う際に必要な基礎知識を確認し、アセスメントを行うときの視点や方法、技術について学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】頸部に関する訴えや異常について調べ、臨みます。	A･L	第13回	【テーマ】ロールプレイング体験(1) 【計画内容】これまでの学習を生かし、養護教諭役と児童生徒役のロールプレイングを実施しながら学習を深めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】これまでの学習を振り返り、要点をまとめておきます。	A･H･L･N
	第6回	【テーマ】耳･鼻に対するアセスメントの基本 【計画内容】耳･鼻に対するアセスメントの基本を行う際に必要な基礎知識を確認し、アセスメントを行うときの視点や方法、技術について学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】耳･鼻に関する訴えや異常について調べ、臨みます。	A･L	第14回	【テーマ】ロールプレイング体験(2) 【計画内容】これまでの学習を生かし、養護教諭役と児童生徒役のロールプレイングを実施しながら学習を深めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】これまでの学習を振り返り、留意事項を整理しておきます。	A･H･L･N
	第7回	【テーマ】目に対するアセスメントの基本 【計画内容】目に対するアセスメントの基本を行う際に必要な基礎知識を確認し、アセスメントを行うときの視点や方法、技術について学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】目に関する訴えや異常について調べ、臨みます。	A･L	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】ヘルスアセスメントについて学んだことを振り返り、まとめます。また、学習不足の点や課題について把握します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】これまでの学習を振り返り、自己課題についてまとめておきます。	A･G･L
	第8回	【テーマ】口に対するアセスメントの基本 【計画内容】口に対するアセスメントの基本を行う際に必要な基礎知識を確認し、アセスメントを行うときの視点や方法、技術について学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】口に関する訴えや異常について調べ、臨みます。	A･L			

テキスト	初回にプリントを配付します。
参考書	守田美奈子、2017年、『看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス』、インターメディカ、9784899963394

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	40%		30%		30%	
補足			ノート		発表等	

課題に関するフィードバックの方法	ノートは添削して返却します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	島瀬史子 / 養護教諭、学校保健担当指導主事、畑江郁子 / 看護師
		科目との関連	養護教諭、学校保健担当指導主事および看護師の経験に基づく授業を展開する。

質問への対応	初回講義時に説明します。オフィスアワーを活用してください。
資格	
その他	養護教諭として必要な知識･技術を学ぶことができます。特に、養護実習を希望する学生にとっては、保健室1日実習の際の対応に直接的に結びつき、学習を深めることができます。

科目名	ソルフェージュ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	岡元　敦司				

授業の目的	
ねらい	譜面に書かれた音楽の性質や特徴を捉え、視唱と聴音の力をつける。時代ごとに記譜された楽曲を読譜する知識を身につけ、旋律、ハーモニー、リズム(歌詞)など譜面が示すあらゆる情報を演奏に活かす力をつける。またグループごとにアカペラ視唱が出来るように実践的な学習もする。
到達目標	(1)譜面の読み方を学ぶ。 (2)音程を捉えて歌唱が出来る、もしくは聞き取ることが出来る。 (3)調性を理解しながらフレーズを考え、歌唱が出来る。 (4)歌詞を読みながら視唱できる力を養い、その情感を表現することが出来る。 (5)和声を感じ、重唱ができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】講義ガイダンスと音を読む力をつける 【計画内容】譜面の起源について触れながら、西洋音楽における様々な音符、記号について学ぶ。自筆譜面を使って作者の意図を探りながら簡単なフレーズの視唱に取り組む。 【授業時間外の学修内容】身近な旋律を五線紙ノートに書き出してくること。	E・A	第9回	【テーマ】リズムとことばの関連性について 【計画内容】古典歌曲に使われた詩の読解と韻律の関係性を学び、リズムや拍子の取り方を分析する。複雑なリズムの視唱をする。 【授業時間外の学修内容】気に入った日本の詩をノートに書き出してくる。	E・A
第2回	【テーマ】声を使って譜面を読む(読譜) 【計画内容】声の仕組みと発声法について学びながら、人間にとって一番身近な声を分析する。音の高さ、リズムといった要素を練習、ことばのイントネーションから作られる旋律について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】第一回授業に配付したプリントをよく読んでくること。	E・A	第10回	【テーマ】歌詞を伴った視唱について 【計画内容】歌唱にける歌詞の読み方(イタリア語)と日本語の発音について学び、譜面に書かれた内容を深く理解する力をつける。 【授業時間外の学修内容】事前に配付したプリントを予習してくること。	E・A
第3回	【テーマ】ソルフェージュ(初見演奏について) 【計画内容】様々な練習教則本の例を使って、ソルフェージュの重要性を考察する。音階練習、調性、移動ドと固定ドの読み方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】第二回授業に学んだ発声法を復習してくること。	E・A	第11回	【テーマ】協和と不協和における美 【計画内容】古典音楽における自筆譜面を読解しながら、譜面に書かれた内容と時代背景を深く理解しながら美しい和声について考察する。 【授業時間外の学修内容】事前に配付したプリントを予習してくること。	E・A
第4回	【テーマ】様々な音符の形について 【計画内容】様々な音符の形の違いを学びながら、新曲視唱、または聴音ができるように練習をする。 【授業時間外の学修内容】第二回授業に学んだ発声法を復習してくること。	E・A	第12回	【テーマ】転調と臨時記号の解釈 【計画内容】配付するプリントを使って、転調、臨時記号を使った譜面を視唱する。その際に時代に準じた演奏スタイルや調性について考察する。 【授業時間外の学修内容】事前に配付したプリントを予習してくること。	E・A
第5回	【テーマ】階名とオクターブの練習 【計画内容】階名を使って歌唱練習をしながら、オクターブ(8度)から様々な音の跳躍練習をする。視唱と聴音が出来るように心がける。 【授業時間外の学修内容】第二回授業に学んだ発声法を復習してくること。	E・A	第13回	【テーマ】小作品視唱 【計画内容】小作品を視唱する力をつける。繰り返し演奏されるリトルネッロや古典的な楽曲を用いて理解力を深め表現演奏が出来るように心がける。 【授業時間外の学修内容】事前に配付したプリントを予習してくること。	E・A
第6回	【テーマ】和声感について 【計画内容】グループに分かれながら和声を歌唱し、旋律と和声の関連性と和声の聴音を学ぶ。これまでに使った視唱の単旋律に和声をつける。 【授業時間外の学修内容】第二回授業に学んだ発声法を復習してくること。	E・A	第14回	【テーマ】声のハーモニー(重唱) 【計画内容】各グループに分かれて古典楽曲から現代のアカペラを用いた重唱に取り組むことで、和声感と調整感を養い、これまで視唱で取り組んだ成果をまとめる。 【授業時間外の学修内容】事前に配付したプリントを予習してくること。	E・A
第7回	【テーマ】調性を探る 【計画内容】各調性の性質、転調における楽曲の変化について学ぶ。これまでに視唱した曲を転調させながらその曲の調性を捉える力をつける。 【授業時間外の学修内容】今までの視唱プリント、五線紙ノートを復習してくること。	E・A	第15回	【テーマ】重唱発表 【計画内容】各グループごとに事前練習したアカペラ(重唱)を発表する。 【授業時間外の学修内容】各グループごとに練習をすること。	E・A
第8回	【テーマ】フレーズを聴き取る 【計画内容】グレゴリオ聖歌で用いたネウマ譜面の読譜、対旋律について学びながら、オーケストラやオペラの中に繰り返し使われるモチーフを読み取る力をつける。 【授業時間外の学修内容】指定したオーケストラ曲のモチーフを五線紙ノートに書き出してくること。	E・A				

テキスト	講義時に説明をします。
参考書	講義時に説明をします。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%		30%	30%
補足			視唱試験		平常時	重唱試験

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	声楽家
	科目との関連	声楽家としてソルフェージュの指導を行っている。

質問への対応	適宜対応をする。843研究室　E-Mail:okamoto3@wm.hokusho-u.ac.jp
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修
その他	五線紙ノートと A4ファイルを持参。

科目名	楽典	授業形態	講義	単位数	2
教員名	千葉　圭説				

授業の目的	
ねらい	音楽教員として音楽の楽しさを伝えるためには「楽譜」を正確に理解することが重要である。演奏表現においても楽譜を正確に理解することで、音楽の楽しさや美しさなどの表現方法を指導することができる。「音楽活動の基礎」として、音階や調、和音、用語や形式について学ぶ。
到達目標	(1)楽譜の様々な約束ごとを理解し、楽譜を正確に読める。 (2)各種音階と調、和音の種類について理解し、楽譜が書ける。 (3)音楽用語や基本的な楽曲構造を理解し、音楽を楽しむことができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】講義の概要 【計画内容】講義内容を紹介し、15回の授業展開の概要を説明する。楽典の基礎知識を確認します。 【授業時間外の学修内容】ト音記号など知っている音楽用語を書きだしておくこと。	A	第9回	【テーマ】和音① 【計画内容】三和音·コードネームの基礎を学びます。 【授業時間外の学修内容】「和音」とはどのようなものかを調べておくこと。	A
第2回	【テーマ】音の高さを読む 【計画内容】音の名前と成り立ち、音高などを学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの第1章を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】和音② 【計画内容】コードネームの応用を学び、和音についての振り返りと確認を行います。 【授業時間外の学修内容】和音の種類とつながり方について調べておくこと。	A
第3回	【テーマ】音の名前と音同士の関係① 【計画内容】音の名前と成り立ち、変化記号などを学びます。 【授業時間外の学修内容】高さに対する変化記号の種類を調べておくこと。	A	第11回	【テーマ】音楽用語と記号① 【計画内容】速度標語や強弱記号など音楽用語について学びます。 【授業時間外の学修内容】音楽用語は主に何語か、有名ないくつかの言葉の意味を調べておくこと。	A
第4回	【テーマ】音の名前と音同士の関係② 【計画内容】音の名前と成り立ち、変化記号、音程などを学びます。 【授業時間外の学修内容】自分が持っている楽譜で確認しておくこと。	A	第12回	【テーマ】音楽用語と記号② 【計画内容】省略記号や装飾音符など、どのように演奏するのかを学びます。 【授業時間外の学修内容】各自が演奏する楽譜の中から音楽用語や記号を抜き出しておくこと。	A
第5回	【テーマ】リズムについて① 【計画内容】リズムの基礎となる拍、拍子などを学びます。 【授業時間外の学修内容】音符·休符の種類と名前を調べておくこと。	A	第13回	【テーマ】音楽の構成① 【計画内容】終止形や動機を理解し、音楽の形式について学びます。 【授業時間外の学修内容】自分の知っている曲について、テーマやモチーフを調べておくこと。	A
第6回	【テーマ】リズムについて② 【計画内容】リズムと音符、休符、記譜法などの関連を学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の内容を復習しておくこと。	A	第14回	【テーマ】音楽の構成② 【計画内容】ソナタ形式など、様々な形式について学びます。 【授業時間外の学修内容】自分の知っている曲について、形式を調べておくこと。	A
第7回	【テーマ】調性① 【計画内容】長音階と短音階の違いを学びます。 【授業時間外の学修内容】音階にはどのような種類があるか調べておくこと。	A	第15回	【テーマ】楽典のまとめと確認 【計画内容】楽典のまとめを行う。 【授業時間外の学修内容】今まで学んだことで不得意なところを復習しておくこと。	A
第8回	【テーマ】調性② 【計画内容】様々な調について学びます。 【授業時間外の学修内容】各調の音階にある「主音」「属音」「下属音」は何か調べておくこと。	A			

テキスト	小谷野謙一、2011年、『よくわかる楽典の教科書』、株式会社ヤマハミュージックメディア 文部科学省、『中学校学習指導要領解説 音楽編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説 芸術編』
参考書	芥川也寸志、1971年、『音楽の基礎』、岩波新書、4004140579

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	50%		30%		20%	
補足			レポート		平時	

課題に関するフィードバックの方法	次回授業時に行う。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。オフィスアワーを活用してください。(841研究室)
資格	[教]中·高1種(音楽)_必修
その他	参考書については、随時関連図書を講義の中で提示します。

科目名	音楽概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	岡元　敦司				

授業の目的	
ねらい	音楽の基本理念とその知識を定着化させ、『音楽』の歴史を考察する。音楽の三要素『旋律』『ハーモニー』『リズム』の成り立ち、楽曲における記号や詩を読解し、表現方法としての声や楽器の種類、構造と発音原理など、様々な角度から学びます。
到達目標	(1)歴史的背景を踏まえて音楽基礎の理論を理解する。 (2)音楽と詩の関係性を学び、楽譜と言葉について理解する。 (3)様々な楽器の種類を学び、その多様性と新しい音楽の創造ができるように工夫する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】講義ガイダンスと生活に関わる音 【計画内容】生活における様々な音の在り方を探り、その音の性質をいくつかあげる。生活における音と音楽との違いを考察しながら、音楽の歴史と成り立ちを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】生活における音をいくつかノートに書き出してくること。	A	第9回	【テーマ】オーケストラと室内楽について 【計画内容】古典派音楽からオーケストラ譜面と室内楽譜面の違いと、演奏スタイルについて学ぶ。指揮者の仕事について考察しながら音楽をまとめる力について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指揮者の仕事について考えられることをノートにいくつか書き出しておくこと。	A
第2回	【テーマ】私たちの様々な音楽 【計画内容】西洋における音楽の成り立ちと我が国における音楽を比較しながら、各国にある様々な音楽とその種類を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】それぞれ気に入った音楽とその特徴を調べてくること。	A	第10回	【テーマ】オペラについて 【計画内容】声の仕組み、声種について学びながら、オペラと能、様々な歌劇の形を比較分析する。総合芸術としての舞台の仕組みやその役割を考察する。 【授業時間外の学修内容】知っているオペラについてその内容を説明できるようにしておくこと。	A
第3回	【テーマ】楽譜を読む力・書く力 【計画内容】譜面が伝えることについて考察する。その歴史を捉えながら、楽譜に必要な記号、またその読み方を学び、様々な自筆譜面とその特徴についてもディスカッションをする。 【授業時間外の学修内容】音楽記号を五線紙ノートにいくつか書き出してくること。	A	第11回	【テーマ】ピアノと歌曲について 【計画内容】ロマン派における作曲作品のピアニストと歌手の役割とその芸術性について探る。古典詩を読み取りながら、現代に繋がるメッセージを探る。 【授業時間外の学修内容】歌曲について調べてくること。	A
第4回	【テーマ】旋律を支える音階 【計画内容】音楽史から捉えた様々な音階を取り上げ、その旋律の特徴と言葉の関係を学ぶ。音楽の三要素の1つ『旋律』の例を挙げてその特徴と成り立ちを学習する。 【授業時間外の学修内容】気に入った旋律を五線紙ノートに書いてくること。	A	第12回	【テーマ】新しい音楽の世界 【計画内容】印象派音楽、未来を創造する音楽の在り方と現代音楽について学ぶ。新しい音楽について鑑賞、様々な音楽ジャンルを学習する。 【授業時間外の学修内容】新しい音楽について、その種類を考察してくること。	A
第5回	【テーマ】ハーモニーとその歴史 【計画内容】音楽史から捉えた和声の歴史を学びながら、音楽の三要素の1つである『ハーモニー(和声)』の性質を分析する。 【授業時間外の学修内容】気に入った和声を五線紙ノートに書いてくること。	A	第13回	【テーマ】日本の音楽、その演奏形態、スタイルについて 【計画内容】我が国で作られた様々な作曲作品を取り上げながら、その演奏形態とスタイルを提案する。 【授業時間外の学修内容】好きな日本の曲ををノートに書き出してくること。	A
第6回	【テーマ】リズムと言葉の成り立ち 【計画内容】各国の言語におけるイントネーションの仕組みを捉えながら、音楽の三要素『リズム』の成り立ちを学ぶ。詩とリズムの関連性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】気に入った詩を五線紙ノートに書いてくること。	A	第14回	【テーマ】日本歌曲について 【計画内容】我が国の詩について本来の意味を知り、適切な表現方法を考える。 【授業時間外の学修内容】音楽で使用されることばを予習してくること。	A
第7回	【テーマ】音楽の三要素についての振り返りと調性について 【計画内容】音楽の三要素について振り返り、確認し理解を深める。 【授業時間外の学修内容】これまでに学んだ旋律、ハーモニー、リズム(詩)をまとめてくること。	A・G	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】音楽の三要素、音楽記号、調性、音楽用語について、オペラもしくはオーケストラについての小論文、新しい音楽の在り方を考えた小論文を時間内に用紙にまとめる。 【授業時間外の学修内容】これまでのノートの復習をしておくこと。	A・G
第8回	【テーマ】楽器の種類とその音について 【計画内容】ルネサンス期における弦楽器、管楽器、打楽器、鍵盤楽器の特徴を学ぶ。オーケストラ楽曲の中でどのようなパートを受け持っているのかを聞き分ける。 【授業時間外の学修内容】好きな楽器の特徴をノートに書いてくること。	A			

テキスト	講義時に説明をします。
参考書	講義時に説明をします。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	30%		20%		30%	20%
補足	試験		レポート課題		平常時	課題発表

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	声楽家
	科目との関連	声楽家として歌曲、オペラの演奏を続けている。

質問への対応	適宜対応をする。843研究室　E-Mail:okamoto3@wm.hokusho-u.ac.jp
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修
その他	ある程度楽譜を読めること。五線紙ノート、授業ファイル(A4)を用意すること。

科目名	声楽基礎演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	岡元　敦司、川島　沙耶				

授業の目的

ねらい	声楽とは、声を楽器として磨き上げ、詩を美しい声で奏でることを言います。声を発するための発声法、力まないで声を出すための呼吸法を習得し歌を気持ちよく歌えるようにトレーニングします。発声教則本の音階練習、イタリア古典歌曲集を用いて唱法を磨き、一人一人の声を美しく奏でられる技術を養います。
到達目標	(1)歌唱表現をするうえでの身体的メカニズムがわかる。 (2)歌唱における表現ができる。 (3)日本語、イタリア語の歌詞を読むことが出来る。

授業の計画

第1回	【テーマ】講義ガイダンス 【計画内容】講義の説明と、取り組み方、必要な教材を説明します。 【授業時間外の学修内容】それぞれの声域について確認してくること。	A・E	第9回	【テーマ】イタリア古典歌曲集のリズムとハーモニーを学ぶ 【計画内容】イタリア古典歌曲集の指定された一曲を歌唱しながら、伴奏とのハーモニー、韻律を用いたイタリア語のリズムを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】第8回授業に配付した楽譜を予習してくること。	A・E
第2回	【テーマ】効率的な呼吸法を使い、声を出してみる 【計画内容】呼気、吸気の関連性と、横隔膜の働きについて説明をします。効率的な呼吸法を実践することで声の発し方を学びます。 【授業時間外の学修内容】腹式呼吸と胸式呼吸について調べてくること。	A・E	第10回	【テーマ】日本歌曲を朗読してその叙情を歌唱表現する 【計画内容】指定された日本歌曲の詩を朗読しながら、叙情を読み取る。楽曲の構成を考え、旋律を歌唱表現をする。 【授業時間外の学修内容】第9回授業に配付した楽譜を予習してくること。	A・E
第3回	【テーマ】発語と発声について 【計画内容】ことばをきれいに発語する事に意識をしながら母音発声を練習します。その際に発声教則本を使います。 【授業時間外の学修内容】第2回授業の際に配付した楽譜を予習してくること。	A・E	第11回	【テーマ】日本歌曲における作品の分析と発表 【計画内容】第10回授業で取り組んだ楽曲の分析をし、歌唱表現に活かしながら、どのような事に注意して歌唱するかを発表する。 【授業時間外の学修内容】指定された日本歌曲について作品分析をしてくること。	A・E
第4回	【テーマ】美しい声で旋律を奏でる 【計画内容】美しい声を用いて発声教則本から指定された旋律を奏でる練習をします。その際に母音発声と階名発声を用いて柔軟な発声が出来るように心がけます。 【授業時間外の学修内容】第3回授業の際に配付した楽譜を予習してくること。	A・E	第12回	【テーマ】現代の日本歌曲における詩の解釈と考察 【計画内容】現代声楽曲を選出し、詩の解釈と分析を行なう。これまでの歌曲と比較をしながら歌唱することによって現代の歌唱について考察する。 【授業時間外の学修内容】第11回授業において指定された現代声楽曲から1曲を選択して予習してくること。	A・E
第5回	【テーマ】旋律における跳躍を練習する 【計画内容】発声教則本における3度、4度、5度の跳躍練習を行ないます。美しくなめらかに跳躍が出来るように心がけます。 【授業時間外の学修内容】第4回授業の際に配付した楽譜を予習してくること。	A・E	第13回	【テーマ】現代の日本歌曲とこれからの歌曲について 【計画内容】現代声楽曲にある詩とハーモニーの美しさを学び、時代の移り変わりを考察し、歌曲の在り方と歌唱の仕方についてディスカッションする。 【授業時間外の学修内容】第12回授業において研究した楽曲について復習をしてくること。	A・E
第6回	【テーマ】イタリア語歌詞と日本語歌詞の違いを身につける 【計画内容】イタリア語歌詞の付いた発声教則本を用いて、イタリア語の発音を用いた発声練習をする。その際に日本語で慣れ親しんだ母音発語との違いを認識できるよう練習する。 【授業時間外の学修内容】第5回授業の際に配付した楽譜を予習してくること。	A・E	第14回	【テーマ】楽曲の仕上げとまとめ 【計画内容】これまでに学んだ楽曲の中から選んだ学期末試験の楽曲の暗譜歌唱の練習をする。 【授業時間外の学修内容】予め選曲された楽曲の暗譜に取り組んでおくこと。	A・E
第7回	【テーマ】イタリア語歌詞の読み方を学ぶ 【計画内容】イタリア古典歌曲集から指定された1曲のことば読み練習をする事で詩と旋律の関係を学び、イントネーションを正確に発語する事で一定のリズムを認識する。 【授業時間外の学修内容】第6回授業の際に指定したイタリア古典歌曲を譜読みしてくること。	A・E	第15回	【テーマ】学期末発表 【計画内容】予め練習された選出曲をピアノ伴奏で授業内発表をする。 【授業時間外の学修内容】選出曲を暗譜歌唱できるように準備をする。	A・E
第8回	【テーマ】イタリア古典歌曲の歴史的背景とそのスタイルについて知る 【計画内容】イタリア古典曲集の指定された一曲について、作曲家と作品の詳細、当時の歴史背景から作品の構成と奏法を想像する。 【授業時間外の学修内容】第7回授業に取り組んだイタリア古典歌曲について詳細を調べて発表できるようにする。	A・E			

テキスト	講義時に説明します。
参考書	畑中良輔、『イタリア古典歌曲集』、全音出版社、9784117132205

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			20%		40%	40%
補足			課題		平常時	学期末試験

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	岡元敦司 / 声楽家
	科目との関連	岡元敦司 / 声楽家として歌曲、オペラの演奏を続けている。

質問への対応	適宜対応する。843研究室　E-Mail:okamoto3@wm.hokusho-u.ac.jp
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修
その他	A4ファイルに配付楽譜をまとめること。

科目名	声楽基礎演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2

教員名	岡元　敦司、川島　沙耶

授業の目的		
	ねらい	「声楽基礎演習Ⅰ」で学んだ事を踏まえて、声を発するための発声法、力まないで声を出すための呼吸法を習得し歌を気持ちよく歌えるようにトレーニングします。発声教則本の音階練習、日本歌曲、イタリア古典歌曲集、ドイツ歌曲を練習し、唱法を磨き、一人一人の声を美しく奏でられる技術を養います。
	到達目標	(1)声楽の読譜力、和声力、曲想力を学ぶ。 (2)日本歌曲、イタリア歌曲、ドイツ歌曲のことば読み、演奏スタイルを学ぶ。 (3)美しい発声を目指して、豊かな音楽性を身につける。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】講義の説明と、取り組み方、必要な教材を説明します。 【授業時間外の学修内容】それぞれの声域について確認してくること。	A・E	第9回	【テーマ】ドイツ語歌唱の特徴を捉える 【計画内容】ドイツ語の持っている楽曲のスタイル、ことばのイントネーションを歌唱に活かしながら作品の分析をする。 【授業時間外の学修内容】第7回目授業に配付された楽譜を復習してくること。	A・E
	第2回	【テーマ】効率的な呼吸法を使いながら呼気と吸気の使い方を学ぶ 【計画内容】呼気、吸気の関連性と、横隔膜の働きについて学びながら、発声教則本を用いて効率的な呼吸法を実践し、美しい声の発し方を学びます。 【授業時間外の学修内容】第1回目授業に配付された楽譜を予習しておくこと。	A・E	第10回	【テーマ】日本歌曲の特徴を捉える 【計画内容】『中学生の音楽』の中から選曲して歌唱に取り組む。正しい日本語の発音と発声に注意しながら練習をする。 【授業時間外の学修内容】『中学生の音楽』上下から日本歌曲を選択してくること。	A・E
	第3回	【テーマ】イントネーションと旋律の関連性を探る 【計画内容】アクセントやイントネーションを正確に捉える力を養い、発声教則本における跳躍やアーティキュレーションを円滑に行えるように訓練をする。 【授業時間外の学修内容】第2回目授業に配付された楽譜を予習してくること。	A・E	第11回	【テーマ】日本歌曲の指導法を考える 【計画内容】『中学の音楽』より1曲を選曲し、指導法について考察する。歌唱に気をつけるべき要点をディスカッションする。 【授業時間外の学修内容】『中学生の音楽』上下から選択した歌曲をよく調べておくこと。	A・E
	第4回	【テーマ】レガート唱法に心がける 【計画内容】母音の連なりを考えながら発声教則本を使い、レガート唱法を練習する。 【授業時間外の学修内容】第3回目授業に配付された楽譜を予習してくること	A・E	第12回	【テーマ】現代日本歌曲の歌唱について考察する 【計画内容】『中学生の音楽』より現代日本歌曲を選択し、その歌唱について考察する。詩の内容とその伴奏形態を読み取り適切な構成を考え、練習する。 【授業時間外の学修内容】『中学生の音楽』上下から選択した歌曲についてよく調べておくこと。	A・E
	第5回	【テーマ】イタリア語の発音を用いたレガート唱法を習得する。 【計画内容】イタリア古典歌曲集の中から指定された一曲を学びながら、イタリア語におけるレガート唱法を練習する。 【授業時間外の学修内容】第4回授業に配付された楽譜を予習してくること。	A・E	第13回	【テーマ】外国歌曲の歌唱について考察する 【計画内容】『中学の音楽』上下より外国歌曲を取り上げ楽曲分析しながら、歌唱スタイルを学ぶ。ことばのイントネーションやアクセントを理解しながら練習をする。 【授業時間外の学修内容】学期末発表に暗譜歌唱する曲をこの回までに決めておくこと。	A・E
	第6回	【テーマ】イタリア古典歌曲集の中から指定された一曲について譜面分析をする 【計画内容】時代背景や作者の思い、作品の詳細を調べて発表する。作品の概要を深く捉えて表現歌唱する方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】選択されたイタリア古典歌曲について調べてくること。	A・E	第14回	【テーマ】現代散文を使った日本歌曲に取り組む 【計画内容】現代における新しい歌曲に対する歌唱アプローチを考える。学期末試験に歌唱する曲の練習をしながら曲の構成力を高める。 【授業時間外の学修内容】学期末発表に暗譜歌唱する曲目を良く伴奏者と合わせてくること。	A・E
	第7回	【テーマ】中間発表 【計画内容】これまでに学んだ歌曲一曲を伴奏付で授業内発表をする。歌唱についてディスカッションをする。 【授業時間外の学修内容】伴奏者と合わせをしてくること。暗譜歌唱でなくても良い。	A・E	第15回	【テーマ】学期末発表 【計画内容】予め練習された選出曲をピアノ伴奏で授業内発表をする。 【授業時間外の学修内容】選出曲を暗譜歌唱できるように準備をする。	A・E
	第8回	【テーマ】ドイツ語の歌唱に触れる 【計画内容】ドイツ語の歌詞を読みながら、言語の違いを考察する。簡単な曲の歌唱をしながら、これまでのレガート唱法に心がけて練習をする。 【授業時間外の学修内容】第7回目授業に配付された楽譜を予習してくること。	A・E			

テキスト	畑中良輔、『イタリア古典歌曲集』、音楽之友社、9784117132205
参考書	小原光一、2019年、『中学生の音楽1』、教育芸術社 小原光一、2019年、『中学生の音楽2, 3上』、教育芸術社 小原光一、2019年、『中学生の音楽2, 3下』、教育芸術社

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			20%		40%	40%
	補足					平常時	学期末発表

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	岡元敦司 / 声楽家
		科目との関連	岡元敦司 / 声楽家として歌曲、オペラの演奏を続けている。

質問への対応	適宜対応する。843研究室　E-Mail:okamoto3@wm.hokusho-u.ac.jp
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修
その他	A4ファイルを持参すること。楽譜の取り扱いに注意すること。

科目名	器楽基礎演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	千葉　圭説、佐藤　淳一、島方　晴康、白子　正樹、白戸　達也、多田　宏江、中野　耕太郎、八條　美奈子				

授業の目的		
	ねらい	各自選択した管打楽器の構造を理解し、楽器の取り扱い方及び日常の手入れの仕方を習得し、楽器演奏の基本的奏法を学び、身につける。また楽器の特徴を通して曲想を工夫する。
	到達目標	(1)楽器の基本奏法を身につけ、音階や簡易な楽曲を演奏できる。 (2)日常の手入れを行い、楽器を良好な状態に保つことができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業概要 【計画内容】授業の概要を説明し、選択楽器及び担当教員、楽器用ロッカーを決定する。 【授業時間外の学修内容】楽器図鑑などを活用し、各自選択する楽器を絞り込んでおくこと。各自選択する楽器について、奏法の基本及び手入れ方法を確認しておくこと。	E	第9回	【テーマ】中間発表の振り返り(自己課題発見) 【計画内容】中間発表での演奏を思い出し、より練習が必要な点を確認する。各自の基本的奏法習得状況に合わせた簡易な練習曲を選定し、読譜力や練習課題を確認する。 【授業時間外の学修内容】音階や1つ打ちなど基本奏法を繰り返し練習すること。	E
	第2回	【テーマ】楽器操作の基本とメンテナンス 【計画内容】楽器の構造と取り扱い方、及び毎日の手入れ方法、基本的奏法を学び実習する。 【授業時間外の学修内容】楽器図鑑などを活用し、楽器の基本構造を調べておくこと。	E	第10回	【テーマ】楽曲演奏の選曲 【計画内容】各自の基本的奏法習得状況に合わせた簡易な楽曲を選定し、読譜力や練習課題を確認する。 【授業時間外の学修内容】楽曲演奏に必要な譜読みをしておくこと。	E
	第3回	【テーマ】楽器操作の基本と演奏基本 【計画内容】毎日の手入れ方法を確認する。基本的奏法(呼吸法、ロングトーン、1つ打ちなど)を確認し習得を目指す。 【授業時間外の学修内容】日常の手入れを行い、楽器を良好な状態に保つ方法を調べておく。	E	第11回	【テーマ】楽曲演奏Ⅰ 【計画内容】選曲したものを演奏基本に基づいて演奏する。読譜力や練習課題を確認する。 【授業時間外の学修内容】基礎基本練習に重点を置き、楽曲練習を繰り返すこと。	E
	第4回	【テーマ】演奏基本法 【計画内容】前授業の復習と共に手入れ方法を確認する。呼吸法、ロングトーン、1つ打ちのグループで確認する。 【授業時間外の学修内容】呼吸法や一つ打ちなど奏法の基本を忠実に練習すること。	E	第12回	【テーマ】楽曲演奏Ⅱ 【計画内容】各自が選曲したものを基本奏法に基づいた点から確認する。 【授業時間外の学修内容】基礎基本練習に重点を置きながら、楽曲練習を繰り返すこと。	E
	第5回	【テーマ】演奏基本と音階　基礎打ちⅠ 【計画内容】基本的奏法を確認し、#、♭が3つまでの音階練習を行う。読譜練習をする。 【授業時間外の学修内容】基本的奏法を確認し、#、♭が3つまでの音階練習をすること。読譜練習をすること。	E	第13回	【テーマ】演奏発表準備 【計画内容】演奏発表を前に各自が取り組んできた楽曲の演奏確認をする。指使いやリズム、音程の間違いなど初歩的確認を行う。 【授業時間外の学修内容】基礎基本練習に重点を置きながら、楽曲練習を繰り返すこと。	E
	第6回	【テーマ】演奏基本と音階　基礎打ちⅡ 【計画内容】前回の音階練習を各自演や読譜練習をする。 【授業時間外の学修内容】基本奏法を身につけるため、繰り返し練習をすること。	E	第14回	【テーマ】演奏発表 【計画内容】各自与えられた課題を演奏し、それまでの練習成果を確認する。 【授業時間外の学修内容】試験に備え、集中力を持って練習すること。	E
	第7回	【テーマ】中間発表への準備 【計画内容】呼吸法や基礎打ちを確認し音階演奏と一つ打ちの簡単な楽曲に取り組む。 【授業時間外の学修内容】基本奏法に注意し音階や楽曲を演奏できるよう繰り返し練習をすること。	E	第15回	【テーマ】これまでの振り返りとまとめ 【計画内容】楽器の管理状況確認、演奏発表を含む基本的奏法習得成果を確認する。 【授業時間外の学修内容】楽器の手入れを行い、演奏発表までの取り組みをまとめておくこと。	E
	第8回	【テーマ】中間発表と確認 【計画内容】楽器の取り扱いや管理状況、基本的奏法の習得状況を確認する。 【授業時間外の学修内容】発表会にむけて個人練習をすること。	E			

テキスト	初回講義時に指示します。
参考書	初回講義時に指示します。 文部科学省、『中学校学習指導要領解説　音楽編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説　芸術編』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		70%			30%	
補足		適時			平時	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	オフィスアワーを設け対応します。
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修
その他	与えられた楽曲は個人練習をしておくこと。

科目名	器楽基礎演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	千葉　圭説、佐藤　淳一、島方　晴康、白子　正樹、白戸　達也、多田　宏江、中野　耕太郎、八條　美奈子				

授業の目的	
ねらい	「器楽基礎演習Ⅰ」で習得した楽器の取り扱い方及び日常の手入れの仕方を活かし，楽器を良好な状態に保ちながら，楽器演奏の基礎基本をしっかりと身につけ，音色や音程などサウンド面での向上を目指します。和楽器(箏)の基本奏法及び楽譜の読み方の確認，簡単なフレーズの演奏を行います。
到達目標	(1)楽器の基本奏法を身につけ、よいサウンドで音階や簡易な楽曲を演奏できる。 (2)日常の手入れを行い、楽器を良好な状態に保つことができる。 (3)和楽器「箏」の基礎知識を学び、基本奏法ができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業概要 【計画内容】授業の概要を説明し、選択楽器及び担当教員、楽器用ロッカーを決定します。 【授業時間外の学修内容】呼吸法など「器楽基礎演習Ⅰ」で学んだ基本奏法を確認しておくこと。各自選択する楽器について、奏法の基本及び手入れ方法を確認しておくこと。	E	第9回	【テーマ】これまでの振り返りと各自の課題 【計画内容】中間発表での演奏を思い出し、より練習が必要な点を確認します。 【授業時間外の学修内容】音階や2つ打ちなど基本奏法を繰り返し練習すること。	E
第2回	【テーマ】演奏基本と音階　基礎打ち1 【計画内容】基本奏法の習得状況に合わせ今学期の学習目標を設定します。サウンド向上に向けての課題を設定し実習します。 【授業時間外の学修内容】楽器の手入れをしておくこと。	E	第10回	【テーマ】楽曲演奏の選曲 【計画内容】演奏発表へむけての楽曲の選曲と練習。各自の基本的奏法習得状況に合わせた簡易な独奏曲を選定し、読譜力や練習課題を確認します。 【授業時間外の学修内容】楽曲演奏に必要な譜読みをしておくこと。	E
第3回	【テーマ】演奏基本と音階　基礎打ち2 【計画内容】基本奏法を確認します。基本的奏法(呼吸法、ロングトーン、1つ打ち・2つ打ちなど)を確認し習得を目指します。和楽器(箏)の組み立て、練習法を学びます。 【授業時間外の学修内容】日常の手入れを行い、楽器を良好な状態に保つ方法を調べておく。	E	第11回	【テーマ】楽曲の教材研究 【計画内容】引き続き楽曲練習と各自の基本的奏法習得状況に合わせた指導を行います。また独奏曲の教材研究し、各自の作品の理解を深めます。読譜力や練習課題を確認します。 【授業時間外の学修内容】基礎基本練習に重点を置きながら、楽曲練習を繰り返すこと。	E
第4回	【テーマ】演奏基本と音階　基礎打ち3 【計画内容】音階 ♯、♭が5つまでの長調、短調、また日本音階を理解し演奏可能にします。基本的奏法(呼吸法、ロングトーン、2つ打ちなど)を確認し習得を目指します。和楽器(箏)の演奏法を学び、簡易な旋律を演奏します。 【授業時間外の学修内容】呼吸法や一つ打ちなど奏法の基本を忠実に練習すること。	E	第12回	【テーマ】独奏曲をピアノ伴奏で演奏1 【計画内容】楽曲練習と各自の基本的奏法習得状況に合わせた簡易な練習曲を選定し、読譜力や練習課題を確認します。 【授業時間外の学修内容】基礎基本練習に重点を置きながら、楽曲練習を繰り返すこと。	E
第5回	【テーマ】エチュードで学ぶ1 【計画内容】基本的奏法を確認し、音階練習を行います。また各楽器ごとのエチュードを使用し簡単な練習曲の読譜練習をします。 【授業時間外の学修内容】音楽演奏に欠かせない楽譜を読む練習をしておくこと。	E	第13回	【テーマ】独奏曲をピアノ伴奏で演奏2 【計画内容】後学期の演奏発表に向けて基本奏法を確認し、演奏発表を準備します。特にピアノとの音程やリズム合わせに気をつけます。 【授業時間外の学修内容】基礎基本練習に重点を置きながら、楽曲練習を繰り返すこと。	E
第6回	【テーマ】エチュードで学ぶ2 【計画内容】各自のエチュードでの練習をし、基本的奏法(呼吸法、ロングトーン、1つ打ち・2つ打ちなど)を確認し、音階練習を行います。 【授業時間外の学修内容】基本奏法を身につけるため、繰り返し練習をすること。	E	第14回	【テーマ】演奏発表 【計画内容】各自与えられた課題を演奏し、それまでの練習成果を確認します。 【授業時間外の学修内容】試験に備え、集中力を持って練習すること。	E
第7回	【テーマ】エチュードで学ぶ3 【計画内容】中間発表へむけてのエチュード曲の練習、基本的奏法(呼吸法、ロングトーン、1つ打ち・2つ打ちなど)を確認し、音階練習をします。読譜練習をします。 【授業時間外の学修内容】基本奏法に注意し、音階や楽曲を演奏できるよう繰り返し練習をすること。	E	第15回	【テーマ】これまでの振り返りとまとめ 【計画内容】楽器の管理状況確認、演奏発表を含む基本的奏法習得成果を確認します。 【授業時間外の学修内容】楽器の手入れを行い、演奏発表までの取り組みをまとめておくこと。	E
第8回	【テーマ】中間発表 【計画内容】各自、演奏発表を行います。楽器の取扱いや管理状況、基本的奏法の習得状況を確認します。 【授業時間外の学修内容】発表会にむけて個人練習をすること。	E			

テキスト	初回講義時に指示します。
参考書	文部科学省、『中学校学習指導要領解説　音楽編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説　芸術編』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		70%			30%	
補足					平常点	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	オフィスアワーを設け対応します(時間については4月中に発表)。
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修
その他	継続的な楽器練習を行い、授業の準備をしてください。

科目名	ピアノ基礎演習Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	坂田　朋優、平野　雅子、吉泉　善太				

授業の目的

ねらい	ピアノは88鍵盤をもつ音域の広さであらゆる楽器の音域を網羅し、更に、旋律・ハーモニー・リズムと音楽の多様な要素に、ソロ・アンサンブルとして対応できます。その意味から、豊かな音楽の世界に通じることのできる楽器です。本科目では、教員との個人またはグループによるレッスンを通して、指導者として必要なピアノ演奏の基礎を学習します。
到達目標	(1)基礎的な読譜力と、基本的なピアノの奏法を身につける。 (2)歌唱教材への導入として、童謡に簡単な伴奏を付け、移調ができる。 (3)音楽の構成を学ぶ基礎として、スケール＆カデンツを理解し、演奏できる。

授業の計画

第1回	【テーマ】ガイダンス：「ピアノ基礎演習Ⅰ」で学ぶこと 【計画内容】「ねらい」と「到達目標」について説明し、この授業の概要を確認します。また、実技レッスンの準備をします。 【授業時間外の学修内容】音楽科教育において、ピアノにはどのような役割があるのかを考え、まとめておくこと。	A	第9回	【テーマ】実技レッスン5～基本的奏法の修得①～ 【計画内容】正しい奏法を身につけるため、椅子の座り方、手の形、腕の演奏する際の基本的なフォームについて学習します。 【授業時間外の学修内容】前回のレッスン内容を復習しておくこと。課題曲を練習しておくこと。	B・E
第2回	【テーマ】実技レッスン1～基礎的読譜の習得①～ 【計画内容】楽譜を正確に読み取るため、楽譜に書かれている音符、拍子、リズムについて確認します。個人のレベルにあったテキストを選びます。 【授業時間外の学修内容】自分の指導者とレッスン室を確認しておくこと。課題曲を練習しておくこと。	B・E	第10回	【テーマ】実技レッスン6～基本的奏法の習得②～ 【計画内容】正しい奏法を身につけるため、打鍵による音色の違い、アーティキュレーション(音の切り方)について学習します。 【授業時間外の学修内容】前回のレッスン内容を復習しておくこと。課題曲を練習しておくこと。	B・E
第3回	【テーマ】実技レッスン2～基礎的読譜の習得②～ 【計画内容】楽譜を正確に読み取るため、楽譜に書かれているフレージング、ディナーミク、運指番号について学習します。 【授業時間外の学修内容】前回のレッスン内容を復習しておくこと。課題曲を練習しておくこと。	B・E	第11回	【テーマ】中間発表2～演奏発表～ 【計画内容】これまで学習した内容の楽曲(クラシック・ポピュラー等)を全員の前で中間発表します。 【授業時間外の学修内容】充分に楽曲を練習するなど、発表できる段階まで準備すること。	B・E・H
第4回	【テーマ】スケールの習得 【計画内容】運指やカデンツを確認しながら、演奏技術の向上のために必要なスケールの習得を目指します。 【授業時間外の学修内容】運指に注意しながら練習しておくこと。	B・E	第12回	【テーマ】実技レッスン7～基本的奏法の修得③～ 【計画内容】正しい奏法を身につけるため、呼吸法によるフレージングについて学習します。 【授業時間外の学修内容】前回のレッスン内容を復習しておくこと。課題曲を練習しておくこと。	B・E
第5回	【テーマ】伴奏付けと移調奏の習得 【計画内容】童謡などを用いて簡単な伴奏付け、移調奏を行います。 【授業時間外の学修内容】伴奏の動きを意識しながら、課題曲の練習をしておくこと。	B・E	第13回	【テーマ】実技レッスン8～基本的奏法の修得④～ 【計画内容】正しい奏法を身につけるため、旋律と伴奏の関係について学習します。 【授業時間外の学修内容】前回のレッスン内容を復習しておくこと。課題曲を練習しておくこと。	B・E
第6回	【テーマ】実技レッスン3～基礎的読譜の修得③～ 【計画内容】楽譜を正確に読み取るため、楽譜に書かれているテンポ記号、音楽用語について学習します。 【授業時間外の学修内容】前回のレッスン内容を復習しておくこと。課題曲を練習しておくこと。	B・E	第14回	【テーマ】基本的奏法のまとめ、演奏発表の準備 【計画内容】これまでの学んだ奏法の確認と、演奏発表の準備をします。 【授業時間外の学修内容】前回のレッスン内容を復習しておくこと。課題曲を練習しておくこと。	B・E
第7回	【テーマ】中間発表1～スケール・カデンツ・伴奏付け・移調奏～ 【計画内容】スケール・カデンツ・伴奏付け・移調奏の発表をします。 【授業時間外の学修内容】充分に課題を練習して、発表できる段階まで準備すること。	B・E・H	第15回	【テーマ】最終発表とまとめ 【計画内容】全員の前で最終発表として演奏し、互いの演奏を聴きあう学習です。 【授業時間外の学修内容】充分に楽曲を練習するなど、発表できる段階まで準備すること。	E・F・L
第8回	【テーマ】実技レッスン4～基本的読譜の習得④～ 【計画内容】楽譜を正確に読み取るため、3部形式や簡単なソナタ形式について学習します。 【授業時間外の学修内容】前回のレッスン内容を復習しておくこと。課題曲を練習しておくこと。	B・E			

テキスト	個人の進度に合わせて指示します。
参考書	文部科学省、『中学校学習指導要領解説　音楽編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説　芸術編』

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足					課題曲の予習・復習を含む	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連

経験内容	
科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修
その他	楽器の習得は、毎日の練習が基本であることを自覚して授業に臨んでください。 [実技レッスン]、[スケール]、[移調奏]、[中間発表]の順は、変更になる場合があります。

科目名	ピアノ基礎演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	坂田　朋優、平野　雅子、吉泉　善太				

授業の目的

ねらい	ピアノは88鍵盤をもつ音域の広さであらゆる楽器の音域を網羅し、更に、旋律・ハーモニー・リズムと音楽の多様な要素に、ソロ・アンサンブルとして対応できます。その意味から、豊かな音楽の世界に通じることのできる楽器です。本科目では、「ピアノ基礎演習Ⅰ」で学んできたことを活かし、教員との個人またはグループによるレッスンを通して、指導者として必要なピアノ演奏の基礎を学習します。
到達目標	(1)基礎的な読譜力と基本的なピアノの奏法、音楽表現を身につける。 (2)歌唱教材への導入として、童謡に簡単な伴奏を付け、移調ができる。 (3)音楽の構成を学ぶ基礎として、スケール＆カデンツを理解し、演奏できる。

授業の計画

第1回	【テーマ】ガイダンス：「ピアノ基礎演習Ⅱ」で学ぶこと 【計画内容】「ねらい」と「到達目標」について説明し、この授業の概要を確認します。また、実技レッスンの準備をします。 【授業時間外の学修内容】「ピアノ基礎演習Ⅰ」で学んだスケールを復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】中間発表2～演奏発表～ 【計画内容】これまで学習した内容の楽曲(クラシック・ポピュラー等)を全員の前で中間発表します。 【授業時間外の学修内容】充分に楽曲を練習するなど、発表できる段階まで準備すること。	E・H・L
第2回	【テーマ】スケール 【計画内容】運指やカデンツを確認しながら、演奏技術の向上のために必要なスケールの習得を目指します。 【授業時間外の学修内容】運指に注意しながら練習しておくこと。	B・E	第10回	【テーマ】実技レッスン4～基礎的読譜の習得④～ 【計画内容】楽譜を正確に読み取るため、3部形式や簡単なソナタ形式について学習します。 【授業時間外の学修内容】前回のレッスン内容を復習しておくこと。課題曲を練習しておくこと。	B・E
第3回	【テーマ】実技レッスン1～基礎的読譜の習得①～ 【計画内容】楽譜を正確に読み取るため、楽譜に書かれている音符、拍子、リズムについて確認します。個人のレベルにあったテキストを選びます。 【授業時間外の学修内容】自分の指導者とレッスン室を確認しておくこと。課題曲を練習しておくこと。	B・E	第11回	【テーマ】実技レッスン5～基本的奏法の習得①～ 【計画内容】正しい奏法を身につけるため、椅子の座り方、手の形、腕の使い方など演奏する際の基本的なフォームについて学習します。 【授業時間外の学修内容】前回のレッスン内容を復習しておくこと。課題曲を練習しておくこと。	B・E
第4回	【テーマ】伴奏付けと移調奏の習得 【計画内容】童謡などを用いて簡単な伴奏付け、移調奏を行います。 【授業時間外の学修内容】伴奏の動きを意識しながら、課題曲の練習をしておくこと。	B・E	第12回	【テーマ】実技レッスン6～基本的奏法の習得②～ 【計画内容】正しい奏法を身につけるため、打鍵による音色の違い、アーテキュレーション(音の切り方)について学習します。 【授業時間外の学修内容】前回のレッスン内容を復習しておくこと。課題曲を練習しておくこと。	B・E
第5回	【テーマ】実技レッスン2～基礎的読譜の習得②～ 【計画内容】楽譜を正確に読み取るため、楽譜に書かれているフレージング、ディナーミク、運指番号について学習します。 【授業時間外の学修内容】前回のレッスン内容を復習しておくこと。課題曲を練習しておくこと。	B・E	第13回	【テーマ】実技レッスン7～基本的奏法の習得③～ 【計画内容】正しい奏法を身につけるため、呼吸法によるフレージングについて学習します。 【授業時間外の学修内容】前回のレッスン内容を復習しておくこと。課題曲を練習しておくこと。	B・E
第6回	【テーマ】スケール、伴奏付け・移調奏のまとめ 【計画内容】これまでに学んだスケール、伴奏付け・移調奏を振り返り、各自の課題を明確にします。 【授業時間外の学修内容】スケール、伴奏付け・移調奏の復習をしておくこと。	B・E	第14回	【テーマ】実技レッスン8～基本的奏法の習得④～ 【計画内容】正しい奏法を身につけるため、旋律と伴奏の違いについて学習します。 【授業時間外の学修内容】前回のレッスン内容を復習しておくこと。課題曲を練習しておくこと。	B・E
第7回	【テーマ】中間発表1～スケール・カデンツ・伴奏付け・移調奏～ 【計画内容】スケール・カデンツ・伴奏付け・移調奏の発表をします。 【授業時間外の学修内容】充分に課題を練習して、発表できる段階まで準備すること。	E・H・L	第15回	【テーマ】最終発表とまとめ 【計画内容】全員の前で最終発表として演奏し、互いの演奏を聴きあう学習です。 【授業時間外の学修内容】充分に楽曲を練習するなど、発表できる段階まで準備すること。	E・H・L
第8回	【テーマ】実技レッスン3～基礎的読譜の習得③～ 【計画内容】楽譜を正確に読み取るため、楽譜に書かれているテンポ記号、音楽用語について学習します。 【授業時間外の学修内容】前回のレッスン内容を復習しておくこと。課題曲を練習しておくこと。	B・E			

テキスト	個人の進度に合わせて指示します。
参考書	文部科学省、『中学校学習指導要領解説　音楽編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説　芸術編』

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足					課題曲の予習・復習含む	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連

	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[教]中・高1種(音楽)_必修
その他	楽器の習得は、毎日の練習が基本であることを自覚して授業に臨んでください。 [実技レッスン]、[スケール]、[移調奏]、[中間発表]の順は、変更になる場合があります。

芸　術　学　科
学 科 専 門 科 目

科目名	美術概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	林　亨、森井　綾				

授業の目的

ねらい	「美術とは何か？」という根本的問いを主題として、現代の多様な美術・デザイン表現について、素材や手法・様式の面と主題や理念の面の両面から考察する。表現者としての自己の内面を掘り下げ、創作の思考を深め、表現力を養うための基盤を構築することを目標とする。また、様々な造形要素の今日的有り様を探りながら、映像による作品鑑賞を通して、鑑賞力の深化を図り、自己の表現活動へ反映させる方法を模索する。
到達目標	(1)美術及びデザインの概念を理解する。 (2)美術及びデザインの領域を理解する。 (3)美術及びデザインの現在を理解する。

授業の計画

第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の紹介をし、15回の授業展開を説明する。(林亨・森井綾) 【授業時間外の学修内容】シラバスをを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】美術作品の価値 【計画内容】「美術とは何か？」という根本的問いを主題にした前半を振り返りながら、美術作品の価値について考える。(森井綾) 【授業時間外の学修内容】参考図書をよく読んでおくこと。	A
第2回	【テーマ】美術の概念について 【計画内容】美術の基本的な概念について学ぶ。(林亨) 【授業時間外の学修内容】参考図書をよく読んでおくこと。	A・B	第10回	【テーマ】アートに対しての概念の変遷について 【計画内容】近代、現代のアートの変遷についてさらに学びを深める。(森井綾) 【授業時間外の学修内容】配付プリントおよび参考図書をよく読んでおくこと。	A
第3回	【テーマ】美術の種類と領域について 【計画内容】美術のカテゴリーの変遷と現在の領域概念を学ぶ。また、美術作品の映像を使って対話により鑑賞を実施する。(林亨) 【授業時間外の学修内容】配付資料および参考図書をよく読んでおくこと。	A・I	第11回	【テーマ】近代、現代のアートの役割について 【計画内容】アートと社会の結びつきや、アートの価値を変化させた社会構想の変化などについて学ぶ。(森井綾) 【授業時間外の学修内容】配付プリントおよび参考図書をよく読んでおくこと。	A
第4回	【テーマ】美術の社会的役割について 【計画内容】美術の社会的役割について学ぶ。また、美術作品の映像を使って対話により鑑賞を実施する。(林亨) 【授業時間外の学修内容】配付資料および参考図書をよく読んでおくこと。	A・I	第12回	【テーマ】近代美術の歴史について 【計画内容】クリスト、キース・ヘリング、アンディ・ウオーホル、バンクシーなどの作品を例にコンセプチュアルアートやポップアートなどの近代・現代美術の歴史について概観する。(森井綾) 【授業時間外の学修内容】配付プリントおよび参考図書をよく読んでおくこと。	A
第5回	【テーマ】近世および近代美術の歴史について 【計画内容】ルネサンス以降の近世・近代美術の歴史について概観する。また、美術作品の映像を使って対話により鑑賞を実施する。(林亨) 【授業時間外の学修内容】配付資料および参考図書をよく読んでおくこと。	A・I	第13回	【テーマ】現代アートが目指しているものについて 【計画内容】第2次世界大戦後に始まったⅠコラボレーションやフルクサスなどの総合的・融合的な制作、ミニマルアートや新しい抽象芸術、ロン・ミュエクらの作品を通して、様々なのアートの近代史について概観する。(森井綾) 【授業時間外の学修内容】配付プリントおよび参考図書をよく読んでおくこと。	A
第6回	【テーマ】現代美術の歴史について 【計画内容】第2次世界大戦後の現代美術の歴史について概観する。また、美術作品の映像を使って対話により鑑賞を実施する。(林亨) 【授業時間外の学修内容】配付資料および参考図書をよく読んでおくこと。	A・I	第14回	【テーマ】アートの現在について 【計画内容】ポップカルチャーの影響を受けたムーブメントから、デザイン、デジタルアート、ニューメディアにおけるアートの試みを学ぶ。(森井綾) 【授業時間外の学修内容】配付プリントおよび参考図書をよく読んでおくこと。	A
第7回	【テーマ】美術の現在について 【計画内容】ポストモダン以降の美術の現在について学ぶ。また、美術作品の映像を使って対話により鑑賞を実施する。(林亨) 【授業時間外の学修内容】配付資料および参考図書をよく読んでおくこと。	A・I	第15回	【テーマ】アートの将来について 【計画内容】これまでの講義内容についての確認と、学んできた「美術とは何か？」という根本的問いを再度考察するとともに、アートの将来について考えてみる。(森井綾) 【授業時間外の学修内容】講義ノートの整理と課題レポートの作成。	A
第8回	【テーマ】美術(アート)とデザインの関係について 【計画内容】美術(アート)とデザインの関係について、5つのポイントにまとめて学ぶ。また、第1回から第7回までの講義内容についてのまとめを行う。(林亨) 【授業時間外の学修内容】講義資料とノートの整理。	A・L			

テキスト	自作のプリントを使用します。
参考書	講義時に説明します。 文部科学省、『中学校学習指導要領解説　美術編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説　芸術編』

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%		60%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	
実務経験と授業の関連	経験内容： 科目との関連：
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]中・高1種(美術)_必修
その他	

科目名	ファッションデザイン概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	大信田　静子、冨田　玲子				

授業の目的	
ねらい	ファッションデザインは、形、色彩、素材、更には作り方と着こなしがあり完成する。そして、そのデザインが歴史を作り変わり続ける。ファッションの持つ社会的役割が、どのように変化していったかを検証し、ファッションをどのように生活の中で役立てていけば良いのかを考える。衣服とは何か？自分らしさとは何か？を一緒に考える。
到達目標	(1)日常生活の中での衣服・ファッションとは何かを考え、基礎的要素のデザインから入り、造形・色彩のセオリーを通して内面的・外面的な美しさを学ぶ。 (2)様々なフォーマルシーン(慶弔別)におけるフォーマルウエアーのルール・マナーが理解できる。 (3)ファッションデザインの意義と可能性を理解する。 (4)ファッション分野の科目を履修する上で指針となる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の紹介をし、15回の講義展開を説明します。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】20世紀のファッション①洋装における昼のフォーマルシーン 【計画内容】男女別に正礼装、準礼装、略礼装について、オケージョンに合わせたドレスコードを理解します。(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A
第2回	【テーマ】衣服・ファッションとは 【計画内容】衣服はいつから始まり、どのような衣類を纏っていたのでしょうか。歴史も含めながらみていきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】ファッションについて考えておくこと。	A	第10回	【テーマ】20世紀のファッション②洋装における夜のフォーマルシーン 【計画内容】男女別に正礼装、準礼装、略礼装について、オケージョンに合わせたドレスコードを理解します。(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A
第3回	【テーマ】衣服・ファッションと身体について① 【計画内容】人はなぜ洋服を着用するのか。歴史的な被服と身体装飾から探っていきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A	第11回	【テーマ】20世紀のファッション③洋装における喪服シーン 【計画内容】男女別に正礼装、準礼装、略礼装について、オケージョンに合わせたドレスコードを理解します。(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A
第4回	【テーマ】衣服・ファッションと身体について② 【計画内容】衣服の目的としての実用性と表現、身体保護と機能性を考えていきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A	第12回	【テーマ】まとめと確認ならびにレポート提出 【計画内容】第8回－第11回までの内容についてまとめ、レポートを提出します。(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A
第5回	【テーマ】衣服・ファッションと身体について③ 【計画内容】ファッションが人に及ぼすイメージと色彩及び錯視についてみていきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A	第13回	【テーマ】20世紀のファッション④制服 【計画内容】制服から発展した現代ファッションを世界に送り出してきたトラディショナル・スタイル(メンズスタイル)について学びます。(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A
第6回	【テーマ】衣服・ファッションと身体について④ 【計画内容】衣服の外面的・内面的美しさと個性について考えていきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を熟読しておくこと。	A	第14回	【テーマ】20世紀のファッション⑤デザインの源泉 【計画内容】ヴィオネと三宅一生の発想と展開について学びます。(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A・B
第7回	【テーマ】まとめとレポート提出 【計画内容】第2回－第6回までの内容についてまとめ、レポートを提出します。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を熟読しておくこと。	G	第15回	【テーマ】まとめとレポートについて 【計画内容】これまでのまとめと確認を行います。(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】プリントを読み復習しておくこと。	A・L
第8回	【テーマ】ファッションをデザインする 【計画内容】服飾に関するデザインのプロセスについて学び、ファッションにおける大切な要素について考えます。(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容を確認しておくこと。	A			

テキスト	2013年、『フォーマルウエアー・ルールブック』、日本フォーマルウエアー協会 プリントを使用します。
参考書	ジョアン・フィンケルシュタイン 成実弘至訳、2007年、『ファッションの文化社会学』、せりか書房、9784796702799 ベティ・カーク、2002年、『VIONNET』、求龍堂、9784763097309

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足	最終		レポート		平時	

課題に関するフィードバックの方法	ファッション分野の科目を履修する上で指針となるデザインが歴史を作り変わり続ける。ファッションの持つ社会的役割が、どのように変化していったか、レポートによるフィードバックを行い学習に対する理解の一助となるようにする。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	大信田静子　630研究室 E-Mail:shisieva@hokusho-u.ac.jp 冨田玲子　640研究室 E-Mail:reiko@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	

科目名	舞台芸術概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	村松　幹男、平井　伸之、イナダ　ヒロシ				

授業の目的		
	ねらい	舞台芸術全般にわたる基礎的知識について習得する。とくに「演劇」とは何かについて学ぶ。また、日本・西洋の演劇史を学ぶ。
	到達目標	(1)舞台芸術についての基本的な知識がある。 (2)「演劇とは何か」についての基礎的な知識があり、かつ「演劇とは何か」について考察することができる。 (3)西洋演劇史の基本的な知識がある。 (4)現代日本演劇史の基本的知識がある。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義展開について説明する。 (村松幹男・平井伸之) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】日本現代演劇史④ 【計画内容】1990年代の日本の演劇について概観する。 (イナダヒロシ) 【授業時間外の学修内容】授業でおこなったことを復習し、資料を読んでおくこと。	A
	第2回	【テーマ】舞台芸術とは何か 【計画内容】舞台芸術とは何かについて考える。 (村松幹男) 【授業時間外の学修内容】授業でおこなったことを復習し、資料を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】日本現代演劇史⑤ 【計画内容】2000年代以降の日本の演劇について概観する。(村松幹男・イナダヒロシ) 【授業時間外の学修内容】授業でおこなったことを復習し、資料を読んでおくこと。	A
	第3回	【テーマ】演劇とは何か 【計画内容】演劇とは何かについて考える。(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】授業でおこなったことを復習し、資料を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】西洋演劇史① 【計画内容】古代ギリシア・古代ローマについて学ぶ。 (平井伸之) 【授業時間外の学修内容】授業でおこなったことを復習し、資料を読んでおくこと。	A
	第4回	【テーマ】戯曲・演技と俳優 【計画内容】戯曲および演技と俳優について考える。 (村松幹男) 【授業時間外の学修内容】授業でおこなったことを復習し、資料を読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】西洋演劇史② 【計画内容】中世期の演劇・ルネサンスについて学ぶ。 (平井伸之) 【授業時間外の学修内容】授業でおこなったことを復習し、資料を読んでおくこと。	A
	第5回	【テーマ】劇場と観客 【計画内容】劇場と観客について考える。(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】授業でおこなったことを復習し、資料を読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】西洋演劇史③ 【計画内容】18世紀・19世紀の演劇について学ぶ。 (平井伸之) 【授業時間外の学修内容】授業でおこなったことを復習し、資料を読んでおくこと。	A
	第6回	【テーマ】日本現代演劇史① 【計画内容】1960年代の日本の演劇について概観する。 (村松幹男・イナダヒロシ) 【授業時間外の学修内容】授業でおこなったことを復習し、資料を読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】西洋演劇史④ 【計画内容】近代・現代の演劇について学ぶ。(平井伸之) 【授業時間外の学修内容】授業でおこなったことを復習し、資料を読んでおくこと。	A
	第7回	【テーマ】日本現代演劇史② 【計画内容】1970年代の日本の演劇について概観する。 (イナダヒロシ) 【授業時間外の学修内容】授業でおこなったことを復習し、資料を読んでおくこと。	A	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】講義全体をまとめる。(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】授業でおこなったことを復習しておくこと。	L
	第8回	【テーマ】日本現代演劇史③ 【計画内容】1980年代の日本の演劇について概観する。 (イナダヒロシ) 【授業時間外の学修内容】授業でおこなったことを復習し、資料を読んでおくこと。	A			

テキスト	プリントを配付します。
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	35%		35%		30%	
	補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、第15回の「振り返りと確認」時に行います。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	イナダヒロシ / 劇作家・演出家
		科目との関連	イナダヒロシ / 劇作家・演出家としての経験を活かした指導

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	第16回に最終評価のためのテストを行う予定です。 講義の順番は変わることがあります。

科目名	ドローイングⅠ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	永野　光一				

授業の目的	
ねらい	「物を観て描く」とは、どういう意味を持つのか。様々な見方ができようが、単に「上手に再現する」という事だけでなく、言葉や会話と同じように自らの視覚や触覚(「表現」に至っては五感全て)や様々な道具、素材を駆使した自己表現法、コミュニケーション法の1つとして捉えることができます。表現としての美術全般に通じるドローイングの演習を通して描画の重要な要素である明暗、形体、構造、バランス等を的確に把握し、洞察力、造形表現感覚の向上を図り、美的諸感覚を高めます。ここでは、小型石膏像を使用し、木炭の描画材による演習からドローイングの基礎知識と基礎技術の修得を目指します。
到達目標	(1)ドローイングの基礎知識を修得する。 (2)ドローイングの基礎技術を修得する。 (3)物の観かたの感覚を向上させる。

授業の計画					
第1回	【テーマ】オリエンテーション･木炭デッサンの基礎 【計画内容】授業内容について具体的に説明をします。木炭デッサンの工程を学習します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておいてください。	A	第9回	【テーマ】作品：小石膏像描写(2) 【計画内容】木炭の特徴と様々な表現方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B
第2回	【テーマ】課題:線の練習 【計画内容】ハッチング等の線の描写方法を学び線の練習をします。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B	第10回	【テーマ】作品：小石膏像描写(3) 【計画内容】モチーフの全体と部分の結びつき、構造とフォルムについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B
第3回	【テーマ】課題:グラデーション　鉛筆(1) 【計画内容】ハッチングによるグラデーションについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B	第11回	【テーマ】作品：小石膏像描写(4) 【計画内容】面と線の表現、さらにその強弱とめりはりについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B
第4回	【テーマ】課題:グラデーション　鉛筆(2) 【計画内容】連続陰影によるグラデーションについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B	第12回	【テーマ】作品：小石膏像描写(5) 【計画内容】明部、暗部、反射等について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B
第5回	【テーマ】課題:球を描く 【計画内容】鉛筆による球の描写をおこないます。明部、暗部等を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B	第13回	【テーマ】作品：小石膏像描写(6) 【計画内容】視点からの距離とコントラストについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B
第6回	【テーマ】課題:グラデーション　木炭(1) 【計画内容】木炭を使用した濃淡、強弱の表現について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B	第14回	【テーマ】作品：小石膏像描写(7) 【計画内容】モチーフに対する光の方向と仕上げについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B
第7回	【テーマ】課題:グラデーション　木炭(2) 【計画内容】3つの表現法について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B	第15回	【テーマ】まとめ･講評 【計画内容】授業のまとめ及び提出課題･提出作品について講評します。 【授業時間外の学修内容】授業で学習した知識･技術を再確認してください。	A･L
第8回	【テーマ】作品：小石膏像描写(1) 【計画内容】描き出しの構図とムーブマンについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	文部科学省、『中学校学習指導要領解説　美術編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説　芸術編』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			20%	30%	50%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明をします。
資格	[芸]中･高1種(美術)_必修、インテリアプランナー_選必
その他	制作に適した服装で受講してください。

科目名	空間デザイン基礎	授業形態	演習	単位数	2

教員名	小室　晴陽

授業の目的	
ねらい	空間デザインの方法とその表現方法、インテリアデザイン･建築デザインの基礎について、小空間の造形や住空間の設計課題等を通して理解する。空間造形の楽しさや形態抵抗構造について模型制作課題等を通じて理解し、また、3次元形状の表現技法について作図課題等を通じて習得します。住宅設計･空間設計の基礎力を身に着けるトレーニングとして、模型による造形演習や平面･立面･断面等の製図基礎演習に取り組みながら空間デザインの基礎を学んでいく。
到達目標	(1)空間造形の方法とインテリアデザインの基礎を理解する。 (2)空間デザインのための各種製図法･模型制作の基礎を理解する。 (3)空間造形の楽しさや形態抵抗構造について模型制作課題等を通じて理解する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション。課題説明－「折板構造による造形演習1 【計画内容】折板構造とシェル構造について。簡単な折板構造模型の製作。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A･B	第9回	【テーマ】建築設計製図の基礎5 【計画内容】演習課題により展開図の作図方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A･B
第2回	【テーマ】空間造形基礎演習－「折板構造による造形演習」2 【計画内容】折板構造模型の作図と製作。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A･B	第10回	【テーマ】演習課題「住宅空間の設計」1 【計画内容】課題説明、外形エスキス。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A･B
第3回	【テーマ】空間造形基礎演習－に「折板構造よる造形演習」3 【計画内容】折板構造模型の完成、発表･講評。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A･B	第11回	【テーマ】演習課題「住宅空間の設計」2 【計画内容】エスキス、平面図･立面図の作図。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A･B
第4回	【テーマ】空間造形基礎演習－に「折板構造よる造形演習」4 【計画内容】折板構造模型の完成、発表･講評。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A･B	第12回	【テーマ】演習課題「住宅空間の設計」3 【計画内容】立面図の作図、模型製作。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A･B
第5回	【テーマ】建築設計製図の基礎1 【計画内容】各種図法の説明、製図用具の基礎知識、線の引き方演習。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A･B	第13回	【テーマ】演習課題「住宅空間の設計」4 【計画内容】展開図の作図、模型製作。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A･B
第6回	【テーマ】建築設計製図の基礎2 【計画内容】演習課題により平面図の作図方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A･B	第14回	【テーマ】演習課題「住宅空間の設計」5 【計画内容】模型製作、等角投影図の作図。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A･B
第7回	【テーマ】建築設計製図の基礎3 【計画内容】演習課題により立面図･断面図の作図方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A･B	第15回	【テーマ】演習課題「住宅空間の設計」6 作品発表･講評 【計画内容】作品発表･講評。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A･B
第8回	【テーマ】建築設計製図の基礎4 【計画内容】演習課題により等角投影図の作図方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A･B			

テキスト	自作プリントを配付します。
参考書	富塚信司、1989年、『建築製図3訂版』、実教出版、978-4-407-02281-0 文部科学省、『中学校学習指導要領解説　美術編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説　芸術編』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	課題作品の提出時や課題展示の際にコメントを伝えます。

実務経験と授業の関連			
該当	経験内容	企業内建築部門での一級建築士としての建築設計職
	科目との関連	建築設計の実務経験を活かし建築設計製図の方法、空間デザイン手法を教授する

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]中･高1種(美術)_必修、1・2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必
その他	学んだ内容を振り返りながら、提出された課題作品等に対して授業内でコメントを伝えます。

科目名	服飾基礎実習	授業形態	実習	単位数	2
教員名	竹森　郁、冨田　玲子				
授業の目的	ねらい	衣服を製作するうえでの基本的な製図と基礎的な理論や縫製技術を習得する。実物作品としてベスト･スカートまたはパンツを製作し、時代に適応した被服製作ができるような実習を行う。			
	到達目標	(1)体型を把握し、製作する作品のパターンを描くことができる。 (2)布の扱い方が理解できる。 (3)縫製技術を身につけ、ミシン、ロックミシン、アイロン等の機器を扱うことができる。			

授業の計画					
第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義内容と講義展開についての説明(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第16回	【テーマ】作品製作(12) 【計画内容】作品(ベスト、スカートまたはパンツ)の仮縫い②(竹森郁) 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D
第2回	【テーマ】原型について 【計画内容】ドレメ式原型(短寸式)の作図方法についての学習(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】『ドレメファッション造形講座④ブラウス･ワンピースドレス』で原型の引き方について確認しておくこと。	D	第17回	【テーマ】作品製作(13) 【計画内容】作品(ベスト、スカートまたはパンツ)の試着･補正(各自の体型に合わせて補正する)①(竹森郁) 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D
第3回	【テーマ】採寸･原型について 【計画内容】各自の採寸(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】『ドレメファッション造形講座④ブラウス･ワンピースドレス』で採寸の仕方を確認しておくこと。	D	第18回	【テーマ】作品製作(14) 【計画内容】作品(ベスト、スカートまたはパンツ)の試着･補正(各自の体型に合わせて補正する)②(竹森郁) 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D
第4回	【テーマ】作品製作について 【計画内容】各自の原型の作図と作品(ベスト、スカートまたはパンツ)の製作条件についての説明(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】原型について復習しておくこと。	D	第19回	【テーマ】作品製作(15) 【計画内容】作品(ベスト、スカートまたはパンツ)の型紙の訂正、布に印を付け直す①(竹森郁) 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D
第5回	【テーマ】作品製作(1) 【計画内容】作品(ベスト、スカートまたはパンツ)のデザインと布の選定①(竹森郁) 【授業時間外の学修内容】作品のデザイン、使用する布のプランを練っておくこと。	D	第20回	【テーマ】作品製作(16) 【計画内容】作品(ベスト、スカートまたはパンツ)の型紙の訂正、布に印を付け直す②(竹森郁) 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D
第6回	【テーマ】作品製作(2) 【計画内容】作品(ベスト、スカートまたはパンツ)のデザインと布の選定②(竹森郁) 【授業時間外の学修内容】作品のデザイン、使用する布のプランを練っておくこと。	D	第21回	【テーマ】作品製作(17) 【計画内容】ベストの身頃、見返しの縫製(竹森郁) 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D
第7回	【テーマ】作品製作(3) 【計画内容】各自がデザインした作品(ベスト、スカートまたはパンツ)の作図①(竹森郁) 【授業時間外の学修内容】テキスト、書籍等で各自のデザインに対応する参考製図を調べておくこと。	D	第22回	【テーマ】作品製作(18) 【計画内容】スカートまたはパンツの縫製(竹森郁) 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D
第8回	【テーマ】作品製作(4) 【計画内容】各自がデザインした作品(ベスト、スカートまたはパンツ)の作図②(竹森郁) 【授業時間外の学修内容】テキスト、書籍等で各自のデザインに対応する参考製図を調べておくこと。	D	第23回	【テーマ】作品製作(19) 【計画内容】スカートまたはパンツのファスナー付け(竹森郁) 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D
第9回	【テーマ】作品製作(5) 【計画内容】作品(ベスト、スカートまたはパンツ)の製図の整理①(竹森郁) 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D	第24回	【テーマ】作品製作(20) 【計画内容】スカートまたはパンツのベルト付け(竹森郁) 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D
第10回	【テーマ】作品製作(6) 【計画内容】作品(ベスト、スカートまたはパンツ)の製図の整理②(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D	第25回	【テーマ】作品製作(21) 【計画内容】作品(ベスト、スカートまたはパンツ)の裾の始末･ボタンホール(竹森郁) 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D
第11回	【テーマ】作品製作(7) 【計画内容】作品(ベスト、スカートまたはパンツ)の布地の裁断①(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D	第26回	【テーマ】作品製作(22) 【計画内容】作品(ベスト、スカートまたはパンツ)のボタン付け･仕上げ(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D
第12回	【テーマ】作品製作(8) 【計画内容】作品(ベスト、スカートまたはパンツ)の布地の裁断②(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D	第27回	【テーマ】作品製作(23) 【計画内容】トータルコーディネートとして、スパンコール、ビーズ、コード刺繍などを付ける①(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D
第13回	【テーマ】作品製作(9) 【計画内容】作品(ベスト、スカートまたはパンツ)の印付け①(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D	第28回	【テーマ】作品製作(24) 【計画内容】トータルコーディネートとして、スパンコール、ビーズ、コード刺繍などを付ける②(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。作品を仕上げること。	D
第14回	【テーマ】作品製作(10) 【計画内容】作品(ベスト、スカートまたはパンツ)の印付け②(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D	第29回	【テーマ】作品提出 【計画内容】作品(ベスト、スカートまたはパンツ)の着用提出(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】出来上がった作品を各自でチェックし、作品提出票に必要事項を記入しておくこと。	D
第15回	【テーマ】作品製作(11) 【計画内容】作品(ベスト、スカートまたはパンツ)の仮縫い①(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D	第30回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】作品製作の過程についての復習･提出作品についての講評･レポート提出(冨田玲子) 【授業時間外の学修内容】作品製作の過程をA4のファイル(ポートフォリオ)にまとめておくこと。	F

テキスト	ドレメファッション造形講座①②基礎テキスト(上･下)、ドレスメーカー学院出版局 『ドレメファッション造形講座④ブラウス･ワンピースドレス』、ドレスメーカー学院出版局 パターンカッティングⅠ･Ⅱ、ドレスメーカー学院出版局
参考書	参考プリント配付します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				70%	30%	
	補足				作品への取組	平時	

課題に関するフィードバックの方法	制作過程の中で、その都度評価を行い、良い点および改善点を伝える。達成感を味わえているか、講評によるフィードバックを行い、学習に対する理解の一助となるようにする。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	640研究室　E-Mail:reiko@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	「パターンメーキング」を履修すること。

科目名	ファッション造形実習	授業形態	実習	単位数	2
教員名	辻　美恵子				

授業の目的		
	ねらい	衣服を製作するうえでの基本的な製図と基礎的な理論や縫製技術を習得する。実物作品としてブラウス･シャツを製作し、時代に適応した被服製作ができるような実習を行う。
	到達目標	(1)体型を把握し、製作する作品のパターンを描くことができる。 (2)布の扱い方が理解できる。 (3)縫製技術を身につけ、ミシン、アイロン等の機器を扱うことができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業内容と授業展開について説明。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第16回	【テーマ】作品製作(12) 【計画内容】ブラウス･シャツの仮縫い② 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D
	第2回	【テーマ】原型について 【計画内容】ドレメ式原型(短寸式)の作図方法について学習。 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A･B	第17回	【テーマ】作品製作(13) 【計画内容】ブラウス･シャツの試着･補正(各自の体型に合わせて補正する)① 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A･D
	第3回	【テーマ】採寸 【計画内容】各自の採寸。 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A･D	第18回	【テーマ】作品製作(14) 【計画内容】ブラウス･シャツの試着･補正(各自の体型に合わせて補正する)② 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D
	第4回	【テーマ】原型作図　作品製作について 【計画内容】各自の原型を作図。作品(ブラウス･シャツ)の製作条件について説明。 【授業時間外の学修内容】原型の引き方を復習しておくこと。	A･D	第19回	【テーマ】作品製作(15) 【計画内容】ブラウス･シャツの型紙の訂正、布に印を付け直す① 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A･D
	第5回	【テーマ】作品製作(1) 【計画内容】ブラウス･シャツのデザインと布の選定① 【授業時間外の学修内容】作品のデザイン、使用する布のプランを練っておくこと。	A･D	第20回	【テーマ】作品製作(16) 【計画内容】ブラウス･シャツの型紙の訂正、布に印を付け直す② 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D
	第6回	【テーマ】作品製作(2) 【計画内容】ブラウス･シャツのデザインと布の選定② 【授業時間外の学修内容】作品のデザイン、使用する布のプランを練っておくこと。	D	第21回	【テーマ】作品製作(17) 【計画内容】見頃、見返しの縫製。 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A･D
	第7回	【テーマ】作品製作(3) 【計画内容】各自がデザインしたブラウス･シャツの作図① 【授業時間外の学修内容】テキスト、書籍等で各自のデザインに対応する参考製図を調べておくこと。	A･D	第22回	【テーマ】作品製作(18) 【計画内容】ブラウス･シャツの衿の縫製。 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A･D
	第8回	【テーマ】作品製作(4) 【計画内容】各自がデザインしたブラウス･シャツの作図② 【授業時間外の学修内容】テキスト、書籍等で各自のデザインに対応する参考製図を調べておくこと。	D	第23回	【テーマ】作品製作(19) 【計画内容】ブラウス･シャツの袖の縫製。 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A･D
	第9回	【テーマ】作品製作(5) 【計画内容】ブラウス･シャツの製図の整理① 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A･D	第24回	【テーマ】作品製作(20) 【計画内容】ブラウス･シャツの衿と袖を見頃に付ける① 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A･D
	第10回	【テーマ】作品製作(6) 【計画内容】ブラウス･シャツの製図の整理② 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D	第25回	【テーマ】作品製作(21) 【計画内容】ブラウス･シャツの衿と袖を見頃に付ける② 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D
	第11回	【テーマ】作品製作(7) 【計画内容】ブラウス･シャツの布地の裁断① 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A･D	第26回	【テーマ】作品製作(22) 【計画内容】ブラウス･シャツの裾のしまつ、ボタンホール。 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A･D
	第12回	【テーマ】作品製作(8) 【計画内容】ブラウス･シャツの布地の裁断② 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D	第27回	【テーマ】作品製作(23) 【計画内容】ブラウス･シャツのボタン付け、仕上げ① 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A･D
	第13回	【テーマ】作品製作(9) 【計画内容】ブラウス･シャツの印付け① 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読み理解を深めておく。	A･D	第28回	【テーマ】作品製作(24) 【計画内容】ブラウス･シャツのボタン付け、仕上げ② 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。作品を仕上げること。	D
	第14回	【テーマ】作品製作(10) 【計画内容】ブラウス･シャツの印付け② 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D	第29回	【テーマ】作品提出 【計画内容】ブラウス･シャツの着用提出。 【授業時間外の学修内容】出来上がった作品を各自でチェックし、作品提出票に必要事項を記入しておくこと。	D･L
	第15回	【テーマ】作品製作(11) 【計画内容】ブラウス･シャツの仮縫い① 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A･D	第30回	【テーマ】作品の返却、まとめと振り返り 【計画内容】作品製作の過程についての復習。提出作品についての講評。 【授業時間外の学修内容】作品製作の過程を A4のファイル(ポートフォリオ)にまとめておくこと。	A･D･L

テキスト	推薦図書を指示します。
参考書	参考プリントを配付します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				70%	30%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	第30回で作品を返却し、学んだ内容を振り返りながら講評します。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	620研究室　E-Mail:tsujim@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	「服飾造形論」、「パターンメーキング」を履修すること。

科目名	クリエイティブシンキング	授業形態	講義	単位数	2
教員名	浅井　貴也				

授業の目的

ねらい	21世紀の成熟社会では、正解が存在せず、過去の前例が通じない問題が社会のあらゆる分野において存在します。このような世の中では、新しいアイデアやイノベーションを生み出すための創造的思考（クリエイティブ・シンキング）が必要です。この科目では問題提起・解決、多様な物の見方、アイデア作りなど、クリエイティブな発想に必要となることについて、グループによるディスカッション、様々な実験を通して実践的に学びます。
到達目標	(1)創造性とは何かを理解し、その必要性を認識して実践できる。 (2)主体的に問題を探し、それに取り組むことで実際に仮説を立てて解決策を提案できる。 (3)自分の考えを効果的に他者へ伝え、お互いに納得できる答えを導き出せる。 (4)チームワークを通して、多様な考えや価値を認め合うこと、自ら動いてチームに貢献することで他者と協働できる。 (5)実験の中でたくさん失敗することで、失敗に対する心の免疫力を獲得する。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】全15回の講義計画・内容の説明をします。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。また今回の授業内容について文献やインターネットを活用して調べてノートにまとめて次回に備えること。	A	第9回	【テーマ】クリエイティブワークショップ 1-1 【計画内容】チームに分かれ、与えられたクリエイティブチャレンジに挑みます。チームで話し合い、試作、実験、結果の検証などを繰り返し行うことで問題解決方法を模索します。 【授業時間外の学修内容】次回の成果発表に向けて、各チームで実験を行い、結果に基づく改善策を考える。	A・H
第2回	【テーマ】創造力とは何か？問題提起・解決とは何か？ 【計画内容】創造力とは何か？どこにあるのか？なぜ必要なのか？問題提起・解決とは何か？何で必要なのかについて実際の社会で起こっている事例をもとに学習します。 【授業時間外の学修内容】講義ノートをまとめること。講義内で紹介された事例のほかに自分で探してみること。	A・H	第10回	【テーマ】クリエイティブワークショップ 1-2 【計画内容】前回に引き続き、授業時間内で実験を継続し、成果発表をおこない、これまでの取り組みを振り返ります。 【授業時間外の学修内容】ワークショップで浮上した新しいアイデア実際にやってみた時の感想、自分たちの取り組み内容を報告書にまとめること。	A・H・F・L
第3回	【テーマ】デザインによる創造性の発掘1 【計画内容】解決すべき問題とは何か？なぜそうすべきなのか？について考えることで、問題提起を具体的に行う事の重要性について学びます。 【授業時間外の学修内容】問題提起の練習課題をグループでまとめ、次回のプレゼンテーションの準備をしておくこと。	A・H	第11回	【テーマ】クリエイティブワークショップ 2-1 【計画内容】新しいチームに分かれ、与えられたクリエイティブチャレンジに挑みます。チームで話し合い、試作、実験、結果の検証などを繰り返し行うことで問題解決方法を模索します。 【授業時間外の学修内容】次回の成果発表に向けて、各チームで実験を行い、結果に基づく改善策を考える。	A・H
第4回	【テーマ】デザインによる創造性の発掘2 【計画内容】プレゼンテーションによる発表と講評を行います。テーマやメッセージが的確に伝わっているか検証します。 【授業時間外の学修内容】講評時に指摘された意見やアドバイスを反省とし、講義ノートにまとめること。	A・H・F	第12回	【テーマ】クリエイティブワークショップ 2-2 【計画内容】前回に引き続き、授業時間内で実験を継続し、成果発表をおこない、これまでの取り組みを振り返ります。 【授業時間外の学修内容】ワークショップで浮上した新しいアイデア実際にやってみた時の感想、自分たちの取り組み内容を報告書にまとめること。	A・H・F・L
第5回	【テーマ】デザインによる創造性の発掘3 【計画内容】イノベーションにおけるアイデア探求と知見を得る方法を学び、どのようにして多くのアイデアを生み出すか練習します。 【授業時間外の学修内容】グループごとにミーティングを行い、アイデアまとめの準備をしておくこと。	A・H	第13回	【テーマ】FORTH イノベーションメソッドによるイノベーションワークショップ1 【計画内容】アイデアの出し方、ブレーンストームの活用方法、出てきたアイデアの集約について実践します。 【授業時間外の学修内容】チームで課題シートを完成させ、次週持参すること。	A・H
第6回	【テーマ】デザインによる創造性の発掘4 【計画内容】皆さんの脳を拡張して生み出されたアイデアをどのようにして具体的なものへと集約するのかについて学びます。 【授業時間外の学修内容】アイデア集約したまとめを次週発表しますので、各グループで課外時間にまとめ作業を終わらせること。	A・H	第14回	【テーマ】FORTH イノベーションメソッドによるイノベーションワークショップ2 【計画内容】集約されたアイデアをどのように具体的なアクションプランに落とし込むのかを学びます。 【授業時間外の学修内容】チームで課題シートを完成させ、次週持参すること。	A・H
第7回	【テーマ】デザインによる創造性の発掘5 【計画内容】グループによる発表と講評を行います。その後、全員で実現性と魅力度を測り評価します。 【授業時間外の学修内容】グループごとに振り返り、気づきや発見を整理し、講義ノートにまとめておくこと。	A・H・F・L	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】過去14回の講義を振り返り、今後、どのようにしてクリエイティブシンキングを活かすことができるかを考えます。 【授業時間外の学修内容】これからの制作活動において、本講義で学んだことを実践すること。	A・H・L
第8回	【テーマ】想像から創造、そしてイノベーションへ：事例考察 【計画内容】国内外の事例をもとに、アイデアを組み合わせることで生まれた新しいアイデアがどのように実現され、世界を動かしてきたのかについて考えます。 【授業時間外の学修内容】講義内容をノートにまとめておくこと。海外の事例をリサーチし、次回の講義で紹介すること。	A・H・J			

テキスト	必要に応じてプリントを使用します。
参考書	デイヴィット・ケリー・トム・ケリー、2014年、『クリエイティブ・マインドセット 想像力・好奇心・勇気が目覚める驚異の思考法』、日経 BP 社、4822250253 佐宗邦威、2015年、『21世紀のビジネスにデザイン思考が必要な理由』、クロスメディア・パブリッシング、4844374214 石川俊祐、2019年、『Hello Design　日本人とデザイン』、幻冬舎、9784344034440

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%	10%	50%	
補足			プロジェクトに関する提出物	プレゼンテーション	積極的な授業参加、チーム貢献、努力	

課題に関するフィードバックの方法	担当教員による解説や課題を使ったグループワーク、ディスカッションなどを通して学生の皆さんと振り返ります。

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	レゴ ® シリアスプレイ ® 教材とメソッドの認定ファシリテーター、FORTH イノベーションメソッド認定ファシリテーター
	科目との関連	企業や団体、地方自治体における創造的側面からの人材開発、コミュニケーション研修等の経験を活かし、学生に必要な創造的思考について紹介します。

質問への対応	授業に関する質問は、直接またはメールで受付しています。 芸術学科 浅井 貴也 先生　E-Mail:takaya@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	受講生皆さんによる主体的な授業展開となりますので、積極的な授業参加、課外時間での学習が必須です。自分の意見や考えを発表する機会が毎週あります。専門性に関係なく、多様な価値観や考え方、アイデアを歓迎します。担当教員は、LEGO®SERIOUS PLAY® メソッドと教材の認定ファシリテーター（デンマーク）/ FORTH イノベーションメソッド認定ファシリテーター（オランダ）です。

科目名	インテリアデザイン	授業形態	演習	単位数	2
教員名	千里　政文				

授業の目的	
ねらい	インテリアデザインを学習する上で必要な、基本的知識の習得を目的とする。インテリアデザインの成立要素、人体寸法、インテリアと人間工学、内装材料、モジュールと工業化、室内環境の要素、室内環境と法規において理解し、インテリアデザインの基本的手法を習得する。
到達目標	(1)本講義は、インテリアにおけるデザインの基礎を修得することを目標とする。 (2)本講義を通じて、インテリアデザインのための必要な知識と技術を身に付ける。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション インテリアデザインとは 【計画内容】講義内容を具体的に説明する。 【授業時間外の学修内容】関連する分野の資料を事前に確認し、講義ノートを1冊用意しておくこと。	A・B	第9回	【テーマ】展開図とその表現法 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B
第2回	【テーマ】インテリア計画と人体寸法(モジュールと尺貫法) 【計画内容】インテリア計画と人体寸法(モジュールと尺貫法)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B	第10回	【テーマ】子ども部屋におけるインテリアの工夫事例と遠近法スケッチの小演習 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B
第3回	【テーマ】インテリア計画と内装材料(床・壁・天井) 【計画内容】インテリア計画と内装材料(床・壁・天井)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B	第11回	【テーマ】子ども部屋における色彩等の工夫事例と遠近法スケッチの小演習 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B
第4回	【テーマ】インテリア計画と構造・構法・建具・住宅設備 【計画内容】インテリア計画と構造・構法・建具・住宅設備について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B	第12回	【テーマ】展開図と3次元の表現法の小演習 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B
第5回	【テーマ】インテリア計画と法規 【計画内容】インテリア計画と法規について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B	第13回	【テーマ】理想のマイルームの小演習 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B
第6回	【テーマ】インテリア計画と室内環境(シックと換気) 【計画内容】インテリア計画と室内環境(シックと換気)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B	第14回	【テーマ】小演習とプレゼンテーションの仕方 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B
第7回	【テーマ】インテリアデザインの手法 【計画内容】インテリアデザインの手法について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B	第15回	【テーマ】小演習の発表プレゼンテーション 【計画内容】完成した小演習課題をプレゼンテーションする。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B
第8回	【テーマ】平面図とその表現法 【計画内容】演習課題により具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A・B			

テキスト	Airprah、2014年、『超図解で全部わかるインテリアデザイン入門』、エクスナレッジ、9784767818764
参考書	関連資料・演習用資料を適宜配付します 文部科学省、『中学校学習指導要領解説　美術編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説　芸術編』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
該当	経験内容	1級建築士
	科目との関連	1級建築士として働いた知識を実践的教育に役立てている。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]中・高1種(美術)_必修、1・2級建築士__選択、インテリアプランナー_選必
その他	受講するには、指定の教科書を入手し、持参することが必要となります。

科目名	基礎デザイン	授業形態	実習	単位数	1
教員名	勝田　信吾				

授業の目的		
	ねらい	デザインには様々なジャンルがあるが、専門化すればするほど学問としては横のつながり、つまりそれらに共通したベーシックな研究が必要となる。この授業では主として抽象立体を扱い、実例を参考にしながら、素材・機能・構造はもとより美しさや調和を考えて一つの形態にまとめあげる創造力・表現力を培うことを目的とする。造形素材の中で最も扱い易いものの一つである「紙」を材料にして、制作を通して抽象的な立体の表現技術について学習する。
	到達目標	(1)基礎的な制作態度・知識・技術を身につける。 (2)様々な技法について理解する。 (3)自分のイメージした「形」に知識・技術・技法を応用する力を身につける。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の概要とその展開方法の説明の後、基礎的技法の説明。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A・B	第9回	【テーマ】「空間を内包した表現」 小課題H 【計画内容】参考作品・応用例を通して形の特徴を知り、立体化した形態の練習課題を通してその技法と表現について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テーマの技法の特徴を試作を通してよく理解・研究しておくこと。	B
	第2回	【テーマ】「柔らかく優美な形態の表現」 小課題A 【計画内容】参考作品・応用例を通して形の特徴を知り、レリーフ状の曲面折りの練習課題を通してその技法と表現について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テーマの技法の特徴を試作を通してよく理解・研究しておくこと。	B	第10回	【テーマ】課題5-1「各自の自由テーマによる表現」 【計画内容】上記以外の技法と応用例を通して各自がテーマを決め、試作を行う。 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料を見て作品の構想を練っておくこと。	B
	第3回	【テーマ】「柔らかく優美な形態の表現」 小課題B 【計画内容】参考作品・応用例を通して形の特徴を知り、立体化した曲面折りの練習課題を通してその技法と表現について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テーマの技法の特徴を試作を通してよく理解・研究しておくこと。	B	第11回	【テーマ】課題5-2「各自の自由テーマによる表現」 【計画内容】試作を繰り返しながら完成作品の構想・計画をたてる。 【授業時間外の学修内容】(試作)をどうまとめるか構想を練っておくこと。	B
	第4回	【テーマ】「軽快感のある表現」 小課題C 【計画内容】参考作品・応用例を通して形の特徴を知り、カットを生かした形態の練習課題を通してその技法と表現について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テーマの技法の特徴を試作を通してよく理解・研究しておくこと。	B	第12回	【テーマ】課題5-3「各自の自由テーマによる表現」 【計画内容】様々な技法の特徴・組み合わせを考えながら、曲げとカットのラインを書く。 【授業時間外の学修内容】(試作)をどうまとめるか構想を練っておくこと。	B
	第5回	【テーマ】「軽快感のある表現」 小課題D 【計画内容】カットを多用し、紙の薄さを生かした制作を行う。 【授業時間外の学修内容】テーマの技法の特徴を試作を通してよく理解・研究しておくこと。	B	第13回	【テーマ】課題5-4「各自の自由テーマによる表現」 【計画内容】完成イメージに基づき計画的に曲げ、カットラインなどを描く作業を行う。 【授業時間外の学修内容】サイズや制作手順など完成までの計画を立てておくこと。	B
	第6回	【テーマ】「幾何学的な秩序を持つ表現」 小課題E 【計画内容】参考作品・応用例を通して形の特徴を知り、幾何学的な秩序をもつ形の練習課題を通してその技法と表現について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テーマの技法の特徴を試作を通してよく理解・研究しておくこと。	B	第14回	【テーマ】課題5-5「各自の自由テーマによる表現」 【計画内容】曲げ・カット・接合ラインの作業を行い、立体化する。 【授業時間外の学修内容】構想どおりの作品に仕上がっているか振り返っておくこと。	B
	第7回	【テーマ】「幾何学的な秩序を持つ表現」 小課題F 【計画内容】参考作品・応用例を通して形の特徴を知り、幾何学的な秩序をもつ形の練習課題を通してその技法と表現について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テーマの技法の特徴を試作を通してよく理解・研究しておくこと。	B	第15回	【テーマ】課題作品提出　鑑賞とまとめ 【計画内容】作品全体の講評を行う。 【授業時間外の学修内容】制作意図や技法、その効果などを文章でまとめておくこと。	B
	第8回	【テーマ】「空間を内包した表現」 小課題G 【計画内容】参考作品・応用例を通して形の特徴を知り、立体化した形態の練習課題を通してその技法と表現について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テーマの技法の特徴を試作を通してよく理解・研究しておくこと。	B			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	朝倉直己、2001年、『芸術・デザインの立体構成』、美術出版社、4897371694

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				70%	30%	
	補足				小課題5及び自由課題		

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明するほか、講義時に随時説明します。
資格	
その他	必要道具＝筆記用具、カッター、定規、ハサミ、コンパスなど。 授業の初めに随時実例と応用例を提示するので遅刻に注意すること。

科目名	ユニバーサルデザイン	授業形態	講義	単位数	2
教員名	千里　政文				

授業の目的		
	ねらい	建築計画をユニバーサルデザインの視点を取り入れ学ぶ。少子超高齢社会に対応するための、保育園・幼稚園、小・中・高校、各種学校、高齢者施設・医療施設をはじめ都市計画について学び、多くの人々に使いやすく、多様なニーズに対応可能な、これからの社会に対応できる建築計画について習得する。
	到達目標	(1)建築基準法「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー新法)」から、少子超高齢社会に対応した建築計画を学ぶ。 (2)建築家ロン・メイスによる提案された「アクセスしやすい建築」の視点、すなわちユニバーサルデザインから建築計画を学ぶ。 (3)人体寸法・動線計画、集住計画・高齢者施設・グループホーム・医療施設・学校教育施設・地域コミュニティ施設等について学ぶ。 (4)本授業を通じて、少子超高齢社会に対応できる建築計画の知識と技術を身に付ける。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】建築計画における国土交通省の取り組みについて 【計画内容】建築計画における国土交通省の取り組み：バリアフリー新法(高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関連する分野の資料を事前に学習し、講義ノートを1冊用意しておくこと。	A	第9回	【テーマ】認知症高齢者グループホームと障害者グループホームの建築計画 【計画内容】認知症高齢者グループホームと障害者グループホームの建築計画について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A
	第2回	【テーマ】アクセスしやすい建築(建築家ロン・メイスとユニバーサルデザイン) 【計画内容】アクセスしやすい建築について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	第10回	【テーマ】医療施設(病院・診療所) 【計画内容】医療施設(病院・診療所)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A
	第3回	【テーマ】建築計画と人体寸法(乳児から後期高齢者まで) 【計画内容】乳児から後期高齢者までの人体寸法について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	第11回	【テーマ】学校教育施設と地域コミュニティ計画(小学校・中学校、保育所・幼稚園建築と都市計画) 【計画内容】学校教育施設と地域コミュニティ計画について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A
	第4回	【テーマ】高齢者・身体障害者に対応した細部計画(動作寸法、廊下・階段の計画、バリアフリーデザイン、ユニバーサルデザイン) 【計画内容】動作寸法、廊下・階段の計画、バリアフリーデザイン、ユニバーサルデザインについて具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	第12回	【テーマ】加齢に伴う建築計画(色の識別変化と色彩計画、照明計画) 【計画内容】加齢に伴う建築計画について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A
	第5回	【テーマ】超高齢社会のための建築計画(在宅介護を可能にする建築計画) 【計画内容】高齢になっても対応可能な住宅計画を具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	第13回	【テーマ】住宅・都市のバリアフリー計画(少子超高齢社会への対応) 【計画内容】住宅・都市のバリアフリー計画について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A
	第6回	【テーマ】少子超高齢社会における動線計画 【計画内容】少子超高齢社会における動線計画について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	第14回	【テーマ】都市計画(ノーマライゼーション・コンパクトシティー含) 【計画内容】都市計画について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A
	第7回	【テーマ】集住計画(集合住宅、シェアハウス、世代間交流) 【計画内容】集住計画について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A	第15回	【テーマ】本授業のまとめ 【計画内容】本授業で学び習得してきた内容について振り返り、授業全体をまとめつつ、これからの建築計画のあり方を考える。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習内容を再確認しておくこと。	A
	第8回	【テーマ】高齢者施設(高齢者施設の種類、サービスの種類、各部門の計画) 【計画内容】高齢者施設について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】予習復習し課題に取り組むこと。	A			

テキスト	『人にやさしい北国のユニバーサルデザイン 』
参考書	自作プリントを配付します。 〈建築のテキスト〉編集委員会編、2000年、『初めての建築計画(建築のテキスト)』、学芸出版社、9784761530907 福田健策著、2003年、『専門士課程建築計画』、学芸出版社、9784761523046

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	1級建築士
		科目との関連	1級建築士として働いた知識を実践的教育に役立てている。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]1級建築士_必修・2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必
その他	受講するには、指定の教科書を入手し、持参することが必要となります。

科目名	デジタルイメージⅠ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	浅井　貴也				

授業の目的

ねらい	コンピュータグラフィックスを学習するための第一歩として、画像処理・合成ソフトのスタンダードである「Photoshop（フォトショップ）」を用いた画像処理や加工の基礎を修得します。また画像処理の技術を他メディアへの応用や活用方法についても学習します。
到達目標	(1)画像処理におけるコンピューターの基礎知識を習得する。 (2)学内ネットワークの使用方法を理解し、実際に使用できる。 (3)コンピューターでの色彩、解像度の基礎について理解できる。 (4)フォトショップの基礎的な使用方法を習得する。 (5)スキャナー、スマートフォン等の周辺機器とフォトショップを連動して使用できる。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】「デジタルイメージⅠ」の全講義内容と講義計画を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。また今回の授業内容について文献やインターネットを活用して調べてノートにまとめて次回に備えること。	A	第9回	【テーマ】フォトショップ応用2 【計画内容】フォトショップのフィルタ機能を使った表現方法を実験します。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A・B
第2回	【テーマ】コンピューター・グラフィック（CG）の基礎知識について 【計画内容】CGの基礎概念と写真、色彩理論について学びます。 【授業時間外の学修内容】次週使用する画像素材の準備、講義内容をノートにまとめる。	A・B	第10回	【テーマ】フォトショップ応用3 【計画内容】フォトショップにおける印刷について、実際にサンプルを使用して学習します。 【授業時間外の学修内容】講義で学習した印刷方法について、これまでに制作した作品を実際に印刷し、復習しておくこと。	A・B
第3回	【テーマ】画像処理の基礎について 【計画内容】解像度の概念、デジタルカメラ、スキャナー等の周辺機器の使用方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】周辺機器の操作方法を復習し、実際に写真画像をコンピューターへ取り込むこと。	A・B	第11回	【テーマ】フォトショップ応用4 【計画内容】フォトショップの応用をプロのクリエイターによる作品や事例を通じて学びます。 【授業時間外の学修内容】フォトショップの応用について、いろいろな作品を鑑賞してフォトショップの可能性について考えること。	A・B・H
第4回	【テーマ】フォトショップ基礎1 【計画内容】フォトショップの基本使用方法について、各ツールの使い方を中心に学習します。 【授業時間外の学修内容】実際にサンプル画像を使用した操作練習とノートまとめによる復習をしておくこと。	A・B	第12回	【テーマ】最終課題制作1 【計画内容】最終課題の内容について配付するプリントをもとに説明し、作品コンセプトについて考えます。 【授業時間外の学修内容】作品コンセプトについて考え、次週までに決定すること。	A・B・H
第5回	【テーマ】フォトショップ基礎2 【計画内容】フォトショップによる色調補正の基礎を学習します。 【授業時間外の学修内容】課題として用意される画像を使って色相、彩度、明度の調整を行い、画像の色修正を行う（詳しくは講義時に説明）。	A・B	第13回	【テーマ】最終課題制作2 【計画内容】素材となる写真画像の撮影、収集を行い、作品制作を開始します。 【授業時間外の学修内容】引き続き、課外時間を使って作品制作を行うこと。	A・B・H
第6回	【テーマ】フォトショップ基礎3 【計画内容】画像の部分選択を行うための方法（選択範囲作成とマスキング）について学習します。 【授業時間外の学修内容】用意される画像を使って、画像に映っている様々な形のオブジェクトの選択範囲作成の練習をする。	A・B	第14回	【テーマ】最終課題制作3 【計画内容】前回から継続して作品制作を行います。講義時間をワークショップとして、教員は個別対応します。 【授業時間外の学修内容】作品制作を続けて行い、完成後は印刷をしておくこと。次週は作品の講評をするので、コンセプトや制作のポイント等の発表内容をまとめておくこと。	A・B・H・F
第7回	【テーマ】フォトショップ基礎の確認 【計画内容】これまでに学習した知識と技術を応用して、課題作品制作に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】講義内から取り組む作品制作に引き続き取り組み、作品を完成させること。理解できていない部分を明らかにし、次週質問すること。	A・B・H	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】最終課題の講評を行い、作者がそれぞれ自分の作品のポイントを解説し、クラスメートから意見をもらいます。「デジタルイメージⅠ」の総括もします。 【授業時間外の学修内容】これまで作成した作品をまとめ、ポートフォーリオ（作品集）にまとめること。	A・B・H・F
第8回	【テーマ】フォトショップ応用1 【計画内容】フォトショップにおけるデジタルカメラの画像処理を中心に、日常でも使用できる実用的な技術を学びます。 【授業時間外の学修内容】デジタルカメラを使って写真を撮影し、フォトショップで加工する練習をすること。	A・B			

テキスト	必要に応じてプリントを使用します。
参考書	髙橋としゆき・吉岡豊・高嶋一成ほか、2017年、『やさしいレッスンで学ぶ きちんと身につく photoshop の教本』、MdN 出版、4844366785 拓植ヒロポン・加藤才智・吉田浩章ほか、2017年、『Photoshop レッスンブック』、ソシム出版、4802610947

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%	20%	30%	
補足			課題制作5つ（各10%）	最終課題	授業参加	

課題に関するフィードバックの方法	担当教員による解説や課題を使ったグループワーク、作品講評などを通して振り返ります。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	質問、相談のある方は、直接または、メールでお問い合わせ下さい。 芸術学科 浅井 貴也先生　E-Mail:takaya@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	芸術学科必修科目です。

科目名	デジタルデザインⅠ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	森井　綾				

授業の目的		
	ねらい	主に Adobe Illustrator を中心としたグラフィックソフトの使い方の基礎を学ぶと共に、デザインワークの基礎を学んでいく。本演習で使用するドロー系のアプリケーションと、デザイン制作の現場で同じようによく使用されている AdobePhotoshop などのビットマップ系のアプリとの違いを理解し、特性を生かしたデザインの方法を身につけるのがねらいとなる。
	到達目標	(1)ドロー系のグラフィックアプリケーションを使用した作品制作を通じて、パソコンを使ったデザイン・画像制作の知識や技術習得を目標とする。 (2)印刷媒体・映像・Web など様々な形で関わってくるコンピュータグラフィックスについての実践を通して、自作のメディアづくり等へ考察を広げることを目標とする。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】本講義の概要を説明後、自己紹介を作成。Illustrator を使った簡単な文字のレイアウト・フォントの指定方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】身の回りにあるデザインされた様々な物を見ておくこと。	B	第9回	【テーマ】レイアウト 【計画内容】簡単な版下レイアウトを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前時までの講義で学んだ内容をしっかりと復習しておくこと。さまざまなデザインを、制作する側の視点からも考える様にこころがける。	B
	第2回	【テーマ】Illustrator の主なツールの使い方 【計画内容】ドロー系のグラフィックソフトの機能の基礎を、主なツールの使い方を学ぶことによって知る。 【授業時間外の学修内容】身の回りにあるデザインされた様々な物を見ておくこと。	B	第10回	【テーマ】線の描き方 【計画内容】Illustlator の線のさまざまな描き方の機能を覚え、描き分けを行う。 【授業時間外の学修内容】前時までの講義で学んだ内容をしっかりと復習しておくこと。さまざまなデザインを、制作する側の視点からも考える様にこころがける。	B
	第3回	【テーマ】ベジェ曲線を使った図形の作成 【計画内容】アプリケーションの各機能についての解説と、普段使う機会が少ないベジェ曲線を使った描画方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前時までの講義内容を復習しておくこと。身の回りにあるデザインされた様々な物を見ておくこと。	B	第11回	【テーマ】グラデーション 【計画内容】グラデーションの描き方を学び、その機能を生かした効果的なデザインを作成する。 【授業時間外の学修内容】前時までの講義で学んだ内容をしっかりと復習しておくこと。さまざまなデザインを、制作する側の視点からも考える様にこころがける。	B
	第4回	【テーマ】ベジェ曲線を使ったパスの利用法 【計画内容】アプリケーションの各機能についてのより詳しい解説と、アンカーポイントを繋ぐパスによる描画方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前時に学んだベジェ曲線の使い方をしっかりと練習しておくこと。	B	第12回	【テーマ】回転ツールを使ったデザイン 【計画内容】オブジェクトの回転の機能を使ったグラフィカルなデザインを作成する方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前時までの講義で学んだ内容をしっかりと復習しておくこと。さまざまなデザインを、制作する側の視点からも考える様にこころがける。	B
	第5回	【テーマ】レタリング・タイポグラフィー 【計画内容】中学校や高校までに学んできたレタリング等の文字デザインをドロー系のグラフィックソフトを使って作成してみる。 【授業時間外の学修内容】前時に学んだパスによる描画方法をしっかりと身につけておくこと。身の回りにあるデザインされた様々な物、特に文字中心にデザインされたものを見ておくこと。	B	第13回	【テーマ】繰り返しのパターンのデザイン 【計画内容】繰り返しのパターンを機能を使って描く方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前時までの講義で学んだ内容をしっかりと復習しておくこと。さまざまなデザインを、制作する側の視点からも考える様にこころがける。	B
	第6回	【テーマ】イラストの作成 【計画内容】ベジェ曲線と塗りを使ったイラストレーションを作成する。 【授業時間外の学修内容】前時に学んだベジェ曲線による描画方法復習しておく。身の回りにある花をモチーフにしたデザインされた物を見ておくこと。	B	第14回	【テーマ】デザインパレットの使い方 【計画内容】Illustrator の様々なカラー機能を使って色彩を効果的に使ったデザインを作成する。 【授業時間外の学修内容】前時までの講義で学んだ内容をしっかりと復習しておくこと。さまざまなデザインを、制作する側の視点からも考える様にこころがける。	B
	第7回	【テーマ】メッセージカードの作成・デザイン立案 【計画内容】前時までに作成したイラストを構成しなおし、メッセージの文字とともにレイアウトする。 【授業時間外の学修内容】前時に作成したイラストを完成させておく。年賀状やメッセージカードなどのデザインを見ておくこと。	B	第15回	【テーマ】フライヤーの作成 【計画内容】Illustrator の様々な機能を使って手描きでは描画しにくいイラストを使ったフライヤーを作成してみる。 【授業時間外の学修内容】前時までの講義で学んだ内容をしっかりと復習しておくこと。さまざまなデザインを、制作する側の視点からも考える様にこころがける。	B
	第8回	【テーマ】3D 描画機能使ったイラストと、様々な保存方法 【計画内容】3D 描画機能を学び、作成したファイルを Illustrator 形式だけでなく JPG や PSD ファイル等で保存し、Web や他のメディアで閲覧できるようにする。 【授業時間外の学修内容】身の回りにあるロゴやタイトルを見て、デザインする側の視点からも考える様にこころがける。	B			

テキスト	適宜指示します。
参考書	適宜指示します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分				62%	38%	
補足					平時	

課題に関するフィードバックの方法	Teams その他で質問などを受け付けます。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	グラフィックデザイン
		科目との関連	グラフィックデザイナーとしての経験を活かし、デザインワークやグラフィックソフトの使い方を指導

質問への対応	講義時に質問を受け付けます。オフィスアワー等も利用してください。
資格	
その他	

科目名	博物館概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	柴　勤				

授業の目的	
ねらい	博物館の歴史はヨーロッパにおいても、せいぜい250年に過ぎない。日本においては150年にも満たない。しかし、この間に果たしてきた役割は、言葉に尽くせないほど大きい。一つには、人類が残した過去の偉大な財産を現在に引き継いでいる点である。もう一方で、それらを広く公開することにより、世界にまたがる数多の市民が文化的な恩恵に浴している点である。文化施設の危機的状況にある現在、その中核となる博物館・美術館について学び、そのあり方を問い直すことは、私たちの精神生活に直結する重要な課題であろう。現実の生活と結びつつ、こうした認識を共有する手がかりを得ることが、本講義の目的である。
到達目標	(1)博物館・美術館の歴史を学ぶ。 (2)博物館・美術館の機能・役割を学ぶ。 (3)博物館・美術館組織を学ぶ。 (4)博物館・美術館と地域社会との関係を学ぶ。 (5)博物館・美術館の将来的なあり方を学ぶ。

授業の計画						
第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】講義の進め方と単位取得のための課題などについて説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】博物館のコレクション 【計画内容】博物館における核心的使命でもある資料・作品収集の意味、意義、方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A
第2回	【テーマ】博物館とは？ 【計画内容】日本における博物館を事例に、博物館の役割、機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A	第10回	【テーマ】博物館の展示 【計画内容】博物館における資料・作品展示の意義、理念について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A
第3回	【テーマ】博物館の歴史(日本) 【計画内容】明治以降、現在に至る日本における博物館・美術館の歴史について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A	第11回	【テーマ】博物館の展覧会 【計画内容】常設展示、特別展示など、博物館における実際の展覧会について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A
第4回	【テーマ】博物館の歴史(北海道) 【計画内容】北海道の博物館・美術館は他県に比べ施設数も多く種類も豊富である。その歴史、特色などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A	第12回	【テーマ】博物館の教育普及 【計画内容】博物館における教育普及事業の役割、内容、意義について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A
第5回	【テーマ】博物館の歴史(国外) 【計画内容】古代に源を発するヨーロッパの博物館の歴史について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A	第13回	【テーマ】博物館とボランティア 【計画内容】博物館における市民参加のあり方を、道立近代美術館などの事例を参考に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A
第6回	【テーマ】博物館の実際 【計画内容】ルーヴル美術館の映像などを用いて、博物館のあり方、実際の姿を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A	第14回	【テーマ】博物館と地域社会 【計画内容】地域社会において博物館が果たす役割を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A
第7回	【テーマ】博物館概論のまとめ 【計画内容】第2回から第6回までの講義内容についてのまとめの講義。ふりかえりを行う。 【授業時間外の学修内容】講義ノートの整理。	A・G	第15回	【テーマ】博物館概論のまとめ 【計画内容】第8回から第14回までの講義内容についてのまとめの講義。ふりかえりを行い、課題レポートを作成する。 【授業時間外の学修内容】講義ノートの整理と課題レポートの作成。	A・G
第8回	【テーマ】学芸員のエートス 【計画内容】博物館において中心的役割を果たす専門職員である学芸員の役割、意義、倫理を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリント記載の課題について学習を深めること。	A			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	講義時に指示します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	50%		20%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	基本的には授業内で処理、必要に応じてメールを活用します。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	美術館の学芸員、館長
	科目との関連	現場の実情、課題等を織り込みながら、リアルタイムの授業を教授する。

質問への対応	原則として講義時。必要に応じてメール対応します。 E-Mail:3013019@wm.hokusho-u.ac.jp
資格	[芸]学芸員_必修
その他	

科目名	舞台芸術各論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	村松　幹男、イナダ　ヒロシ、高村　由紀子				

授業の目的	
ねらい	「演出論」、「舞台美術論」、「舞台監督について」、「制作の実務について」、「日本の伝統芸能」について学ぶ。演出論では、演出の役割について考える。舞台美術論では、舞台美術のスタッフワークについて学び、舞台美術作品を分析的に見る力を養う。また、舞台監督の基本的な仕事を学び、制作の仕事の一つであるスケジュール管理、会計処理を学ぶ。日本の基本的な伝統芸能について概観する。
到達目標	(1)演出の役割について考えることができる。 (2)舞台美術における基本的スタッフワークを理解している。 (3)舞台監督の仕事を理解している。 (4)舞台におけるスケジュール管理、会計処理の基礎的知識がある。 (5)日本の伝統芸能(神楽～能・歌舞伎等)について基本的な知識がある。

授業の計画						
第1回	【テーマ】ガイダンス・日本の伝統芸能史①(神楽・散楽など) 【計画内容】舞台芸術各論についての説明を行う。 (村松幹男) 日本の芸能の歴史を学ぶ。神楽、田楽、猿楽、散楽など。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】演出論④　演出プランを考える③ 【計画内容】戯曲を読んで演出プランを考える。 (イナダヒロシ) 【授業時間外の学修内容】前回の内容を復習しておくこと。演出プランの構想を練っておくこと。	A・G
第2回	【テーマ】日本の芸能史②(能、狂言、人形浄瑠璃、歌舞伎など) 【計画内容】日本の伝統芸能を学ぶ。能、狂言、人形浄瑠璃、歌舞伎など(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】前回の内容を復習し、課題を終わらせること。次週の資料を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】演出論⑤　演出とは何か 【計画内容】演出の役割とは何かについて考える。 (イナダヒロシ) 【授業時間外の学修内容】前回の内容を復習しておくこと。演出プランの構想を練っておくこと。	A・L
第3回	【テーマ】舞台監督の役割について学ぶ 【計画内容】舞台監督の役割についての基本的な事項を学ぶ(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】前回の内容を復習し、課題を終わらせること。次週の資料を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】舞台美術論①　舞台製作のスタッフ組織 【計画内容】欧米の劇場のスタッフワークの組織構成を知り、それぞれの役割分担を理解する。 (高村由紀子) 【授業時間外の学修内容】前回の内容を復習しておくこと。プリントを読んでおくこと。	A
第4回	【テーマ】制作の実務について①(スケジュール管理) 【計画内容】制作の実務の一つ、スケジュール管理(香盤表の作成など)を実際に行ってみる。(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】前回の内容を復習し、課題を終わらせること。次週の資料を読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】舞台美術論②　舞台美術の役割 【計画内容】チェーホフ、イプセンの作品の時代変遷を概観する。モスクワ芸術座のリアリズム演劇から象徴主義演劇への変遷における舞台美術について学ぶ。 (高村由紀子) 【授業時間外の学修内容】前回の内容を復習しておくこと。プリントを読んでおくこと。	A
第5回	【テーマ】制作の実務について②(会計処理) 【計画内容】制作の実務の一つ、会計処理を実際に行ってみる。(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】前回の内容を復習し、課題を終わらせること。次週の資料を読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】舞台美術論③　舞台美術の色、形、イメージ 【計画内容】舞台美術家の台頭により多様化が進む舞台芸術の変遷を知る。(高村由紀子) 【授業時間外の学修内容】前回の内容を復習しておくこと。プリントを読んでおくこと。	A
第6回	【テーマ】演出論①　演劇のスタッフワークと演出 【計画内容】演劇のスタッフワークについて概観し、その上で演出の役割について考える。 (イナダヒロシ) 【授業時間外の学修内容】前回の内容を復習しておくこと。	A	第14回	【テーマ】舞台美術論④　劇場空間と舞台美術 【計画内容】劇場の形の多様化にともなう舞台美術の役割の拡大について学ぶ。(高村由紀子) 【授業時間外の学修内容】前回の内容を復習しておくこと。課題をやっておくこと。	A
第7回	【テーマ】演出論②　演出プランを考える① 【計画内容】戯曲を読んで演出プランを考える。 (イナダヒロシ) 【授業時間外の学修内容】前回の内容を復習しておくこと。プリントを読んでおくこと。	A・G	第15回	【テーマ】舞台美術論⑤　舞台美術と照明・音響 【計画内容】照明技術の発達がもたらした舞台表現の大きな改革について学ぶ。また、音響効果、音、音楽などが舞台芸術の中で果たす役割の多様性を知る。 (高村由紀子) 【授業時間外の学修内容】前回の内容を復習しておくこと。課題をやっておくこと。	A・L
第8回	【テーマ】演出論③　演出プランを考える② 【計画内容】戯曲を読んで演出プランを考える。 (イナダヒロシ) 【授業時間外の学修内容】前回の内容を復習しておくこと。演出プランの構想を練っておくこと。	A・G				

テキスト	プリントを使用します。
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	30%		40%		30%	
補足	含む小テスト		レポート			

課題に関するフィードバックの方法	課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、15回に行います。

実務経験と授業の関連			
該当	経験内容	イナダヒロシ / 劇作家・演出家　高村由紀子 / 舞台美術家
	科目との関連	各専門の経験を活かした指導

質問への対応	授業内で対応します。
資格	
その他	担当者の行う順番は変わる場合があります。また履修状況によって内容が変わることがあります。これらは、最初のガイダンスで説明します。

科目名	服飾造形論	授業形態	講義・演習	単位数	2
教員名	辻　美恵子				

授業の目的	
ねらい	「ファッション造形実習」と関連する内容である。衣服を製作する上で必要とする人体の採寸やパターンメーキング、裁断、縫製素材や副資材の扱いなど、基礎的な知識や理論を学習する。また、企業における工程表の作成や製品検査の方法を知ることで、自作作品の自己評価や、合理的で計画性のある製作プランを立てることができる。
到達目標	(1)縫製素材や副素材の扱いなど、基礎的な知識と理論が理解できる。 (2)計画性のある製作プランを立てることができる。 (3)製作する作品についての自己評価ができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】講義のガイダンス / 衣服造形からみた人体の構造について 【計画内容】講義内容と講義展開について説明する。体型把握の採寸方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んでおくこと。教材を購入し、テキスト『ブラウス・ワンピースドレス』で採寸の仕方について確認しておくこと。	A	第9回	【テーマ】型紙 / 布の扱い(3) 【計画内容】試着補正後の型紙、布の訂正方法について学習する。 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A・B
第2回	【テーマ】衣服造形について / 洋裁用具について 【計画内容】衣服造形の過程について説明する。使用する洋裁用具について説明する。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの内容を確認しておくこと。	A	第10回	【テーマ】縫製について(1)副素材について 【計画内容】縫製の手順と副素材(裏地、芯地)の扱い方について学習する。 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A・B
第3回	【テーマ】素材について 【計画内容】柄の種類、布の種類や扱いについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの内容を確認しておくこと。	A・B	第11回	【テーマ】ミシンについて 【計画内容】ミシンの扱いと縫製付属品の種類と用途について学習する。 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A・B
第4回	【テーマ】作図の方法について 【計画内容】文化式原型(胸度式)、囲み製図、原型を使った作図(ショールカラーのブラウス)について学習する。 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A・B	第12回	【テーマ】仕様書・工程表について / 製品(作品)検査について 【計画内容】製作しているブラウス・シャツの仕様書、工程表、作品検査の記入方法について学習する。 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A・B
第5回	【テーマ】型紙の整理について 【計画内容】作図後の製図の整理方法について学習する。 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A・B	第13回	【テーマ】縫製について(2)/ 課題のまとめ 【計画内容】パーツ縫製、アッセンブリー縫製について学習する。 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A・B
第6回	【テーマ】布の扱い(1) 【計画内容】布地の裁断方法や縫製方法について学習する。 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A・B	第14回	【テーマ】ボタンとボタンホールについて 【計画内容】ボタンの形状、打ち合いとボタンホールの関係を学習する。 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。時間内にできなかった課題を仕上げること。	A・B
第7回	【テーマ】布の扱い(2) 【計画内容】仮縫いについて説明。縫製方法の分類と用途について学習する。 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A・B	第15回	【テーマ】課題提出・まとめ 【計画内容】講義内容のまとめと振り返りを行う。 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかった課題を仕上げておくこと。	L
第8回	【テーマ】特殊素材について 【計画内容】レース、レザー、プリーツ等の特殊素材の扱い方について学習する。 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A・B			

テキスト	推薦図書を指示します。
参考書	参考プリントを配付します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	提出課題を基に学んだ内容を振り返ります。

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	620研究室　E-Mail:tsujim@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	「ファッション造形実習」を履修していること。

科目名	ドローイングⅡ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	永野　光一				

授業の目的		
	ねらい	「ドローイングⅠ」での基礎知識や基礎技術をふまえ、諸要素の再確認をした上で更に表現要素としての動勢や量感、材質感、空間感等を加え、高次元な表現を求めるとともに、自己の表現上の傾向を認識し新たな視点や表現を探り、試行する。対象物としての中型石膏像の積極的な観察から本質に迫る表現を深化させる事をねらいとする。
	到達目標	(1)ドローイングの専門知識を修得する。 (2)ドローイングの専門技術を修得する。 (3)物の観かたの感覚の伸展を図る。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業内容について具体的に説明をします。作品制作について説明をします。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】作品：中型石膏像描写B(1) 【計画内容】構図についての考察とムーブマンについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B
	第2回	【テーマ】作品：中型石膏像描写A(1) 【計画内容】全体の構造やスケール、バランスを意識した描き出しと構図について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B	第10回	【テーマ】作品：中型石膏像描写B(2) 【計画内容】構造とフォルムについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B
	第3回	【テーマ】作品：中型石膏像描写A(2) 【計画内容】動勢や量感、プロポーションの確認と形体の正確な把握について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B	第11回	【テーマ】作品：中型石膏像描写B(3) 【計画内容】面の観察と線の表現方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B
	第4回	【テーマ】作品：中型石膏像描写A(3) 【計画内容】質感、反射に関わる描画方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B	第12回	【テーマ】作品：中型石膏像描写B(4) 【計画内容】明部、暗部、陰影、反射等について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B
	第5回	【テーマ】作品：中型石膏像描写A(4) 【計画内容】画面上のモチーフとその余白の関連性、立体感、空間感の考察について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B	第13回	【テーマ】作品：中型石膏像描写B(5) 【計画内容】遠近感とコントラストについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B
	第6回	【テーマ】作品：中型石膏像描写A(5) 【計画内容】木炭技法と描きこみの密度について考察します。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B	第14回	【テーマ】作品：中型石膏像描写B(6) 【計画内容】ハーフトーンと仕上げについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B
	第7回	【テーマ】作品：中型石膏像描写A(6) 【計画内容】陰影の表現について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B	第15回	【テーマ】まとめ・講評 【計画内容】授業のまとめ及び提出作品について講評します。 【授業時間外の学修内容】授業で学習した知識・技術を再確認してください。	A・L
	第8回	【テーマ】作品：中型石膏像描写A(7) 【計画内容】完成度の高い表現について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	プリントを使用します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				50%	50%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明をします。
資格	
その他	制作に適した服装で受講してください。

科目名	絵画Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	林　亨				

授業の目的		
	ねらい	この演習は、絵画表現の基本構造を知るために、描画材で最も融通が利き、数多くの表現技法が可能な油彩画（油絵）制作を通して、その基本的な性質を知り、初歩的な使い方の習得を目的とする。古典的な技法を基本にしながら、油絵の具の独特の発色を理解し、豊かな色彩表現に繋げていくようにする。モチーフは前半が単体モデルの静物画、後半は複数モデルの静物画を制作する。また、完成した作品を受講者で鑑賞し合い、講評会も実施する。さらに、写真やビデオなどの映像メディア表現の基礎技能を学ぶ。なお、遠隔授業になった場合は、油彩絵具をアクリル絵具に替えて実施することがある。
	到達目標	(1)油絵の具の基本的な性質を理解する。 (2)油彩画の初歩的な技法を習得する。 (3)絵画表現のおもしろさを感じ、自分なりの表現世界を考えるきっかけをつくる。 (4)写真やビデオなどの映像メディア表現を活用できるようになる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】絵画表現の基礎知識と映像メディア表現の基礎技能 【計画内容】絵画表現の基本構造と簡単な歴史について学ぶ。また、写真撮影などの映像表現の基本技能を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A・B	第9回	【テーマ】静物画制作（複数モデル）（様々なタッチによる表現方法） 【計画内容】ハッチング（線描き）や点描、ペインティングナイフなどの表現方法と効果について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。	B・E
第2回	【テーマ】油彩画制作準備 【計画内容】キャンバスの基本構造、絵の具の基本的な扱い方、地塗りについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの読み、内容を把握しておくこと。	B	第10回	【テーマ】静物画制作（複数モデル）（初期の描き込み） 【計画内容】重ね塗り効果を考えながら描き込みを始める。 【授業時間外の学修内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。	B・E
第3回	【テーマ】静物画制作（単品モデル）（下描きの方法） 【計画内容】鉛筆や木炭を使った下描きの方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。	B・B・E	第11回	【テーマ】映像メディア表現の実際 【計画内容】写真の基本的な知識と撮影法、特に被写体との対し方、構図の取り方などを実践的に学ぶ。また、それらの写真データをコンピュータを使って独創的に表現する方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】写真に関する書籍や写真集を見て、写真表現の多様性を知っておく。	A・B
第4回	【テーマ】静物画制作（単品モデル）（油彩絵の具の性質） 【計画内容】油彩画の基本的技法、グリザイユ技法およびカマイユ技法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。	B・E	第12回	【テーマ】静物画制作（複数モデル）（油彩技法の現在）（描き込み・油彩技法の現在） 【計画内容】厚塗り技法における地塗りと絵の具のパートを理解する。印象派時代の画家（モネやゴッホ）の作品考察も行う。 【授業時間外の学修内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。	B・E
第5回	【テーマ】静物画制作（単品モデル）（油彩画技法の基本） 【計画内容】グレージング（うす塗り）の方法と効果について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。	B・E	第13回	【テーマ】静物画制作（複数モデル）（油彩技法の応用）（描き込み・油彩技法の応用） 【計画内容】透明色と不透明色の混合やホワイトとの混色法などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。	B・E
第6回	【テーマ】静物画制作（単品モデル）（グリザイユ技法とカマイユ技法の基本） 【計画内容】重ね塗り効果を考えながら作品を完成させる。講評会も実施する。また、写真などの映像メディアをプレゼンテーションに活かす方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を仕上げておくこと。	B・E	第14回	【テーマ】静物画制作（複数モデル）（油彩技法と材料の関係）（描き込み・油彩技法と材料の関係） 【計画内容】厚塗りの後のグレーズ法とオイルの種類や用途について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。	B・E
第7回	【テーマ】静物画制作（複数モデル）（構図を考える） 【計画内容】古典的技法を応用し、モノトーン表現から色彩表現を展開させる。 【授業時間外の学修内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。	B・E	第15回	【テーマ】静物画制作（複数モデル）（油彩技法の仕上げ方法と合評会） 【計画内容】複合的技法の完成。講評会の実施。また、写真などの映像メディアをプレゼンテーションに活かす方法を学ぶ。さらに写真を使った比較検討法についても学ぶ。 【授業時間外の学修内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を仕上げておくこと。	B・G・I
第8回	【テーマ】静物画制作（複数モデル）（油彩絵の具の性質） 【計画内容】絵の具のパートを意識させた重色表現の方法と効果について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。	B・E			

テキスト	適宜自作プリントなどを使用します。
参考書	谷川渥（監修）、2001年、『絵画の教科書』、日本文教出版 文部科学省、『中学校学習指導要領解説　美術編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説　芸術編』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			10%	70%	20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]中・高1種（美術）_必修
その他	受講者は油彩画用具一式、キャンバス等、指定された油彩用具を必ず用意すること。斡旋販売もする。詳細はオリエンテーション時に説明。《絵の具、オイル、油壺、クリーナー、用具ケース、筆、ナイフ、パレット、筆洗器等》

科目名	絵画Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	八子　直子				

授業の目的	
ねらい	絵画を学ぶ時 - 裸婦を描くということは、どういう意味があるのでしょうか。初めて取り組む人にとっては、その圧倒的迫力と、日常にありのままの形で立つ姿に違和感と戸惑いをおぼえるかもしれません。しかし人体の構造を知る上で、また「生命あるモチーフ」とした時に、裸婦像ほどたくさんのことを学ばせてくれる素材はありません。この授業では、油彩による裸婦を描きます。"じっくり観察すること"そこから、そのものの形態・動きを探り、油絵の具特有の重厚な色彩を体験します。そしてモチーフから受ける外的要素(形・構造)、内的要素(生命力・エネルギー)をいかに表現するかを考え学びます。
到達目標	(1)正確なパース・量をはかることができる。 (2)動きにあった形を理解し表現することができる。 (3)色・形の美しさを感じ取り、絵の具の特性を生かし、表現することができる。

授業の計画					
第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介と15回の授業展開を説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】裸婦習作Ⅱ(1) 【計画内容】習作Ⅰでの留意点を踏まえながら、下地作り。自分に合う下地処理を考察しながら。 【授業時間外の学修内容】キャンバスとクロッキー帳を使用。忘れずに持参。講評での事柄をまとめておく。	E
第2回	【テーマ】裸婦習作Ⅰ(1) 【計画内容】モデルをパースを図りながら、クロッキー帳などにドローイングし、構図構想を練る。それぞれ指定サイズのキャンバスを用意しこの日に持参する。 【授業時間外の学修内容】キャンバスとクロッキー帳使用。忘れずに。出来上がった作品を良く眺め、次回の進め方を自分なりに考えておくこと。	E	第10回	【テーマ】裸婦習作Ⅱ(2) 【計画内容】構図構成を決定。 【授業時間外の学修内容】出来上がった作品を良く眺め、次回の進め方を自分なりに考えておくこと。	E
第3回	【テーマ】裸婦習作Ⅰ(2) 【計画内容】構図構成の決定。キャンバスに。 【授業時間外の学修内容】着彩道具の手入れ。	E	第11回	【テーマ】裸婦習作Ⅱ(3) 【計画内容】習作Ⅰでの留意点を踏まえて制作にあたる。さらに人体のもつ動感・生命力等も考慮する。 【授業時間外の学修内容】出来上がった作品を良く眺め、次回の進め方を自分なりに考えておくこと。	E
第4回	【テーマ】裸婦習作Ⅰ(3) 【計画内容】構図構成をふまえ、パースをさらに図りながら、次に色・形・塊を意識し制作する。 【授業時間外の学修内容】出来上がった作品を良く眺め、次回の進め方を自分なりに考えておくこと。	E	第12回	【テーマ】裸婦習作Ⅱ(4) 【計画内容】習作Ⅰの留意点を踏まえて制作にあたる。さらに人体のもつ動感・生命力等動きなども考慮する。 【授業時間外の学修内容】出来上がった作品を良く眺め、次回の進め方を自分なりに考えておくこと。	E
第5回	【テーマ】裸婦習作Ⅰ(4) 【計画内容】常に、パースを図りながら、色・形・塊を常に意識して制作する。 【授業時間外の学修内容】出来上がった作品を良く眺め、次回の進め方を自分なりに考えておくこと。	E	第13回	【テーマ】裸婦習作Ⅱ(5) 【計画内容】習作Ⅰの留意点を踏まえて制作にあたる。仕上げの準備に入る。 【授業時間外の学修内容】出来上がった作品を良く眺め、次回の進め方を自分なりに考えておくこと。	E
第6回	【テーマ】裸婦習作Ⅰ(5) 【計画内容】常に、パースを図りながら、色・形・塊を常に意識して制作する。 【授業時間外の学修内容】出来上がった作品を良く眺め、次回の進め方を自分なりに考えておくこと。	E	第14回	【テーマ】裸婦習作Ⅱ(6) 【計画内容】全体の見極め。仕上げる。(全体の構成をバランスを見ながら、最後に必要に応じた細部を入れる。) 【授業時間外の学修内容】出来上がった作品を良く眺め、次回の進め方を自分なりに考えておくこと。	E
第7回	【テーマ】裸婦習作Ⅰ(6) 【計画内容】全体の構成をみながら、仕上げをする。 【授業時間外の学修内容】出来上がった作品を良く眺め、次回の進め方を自分なりに考えておくこと。	E	第15回	【テーマ】講評 【計画内容】裸婦習作Ⅰ、習作Ⅱを並べ、考察する。 【授業時間外の学修内容】習作Ⅰ、習作Ⅱ、2作品忘れずに。出来上がった作品を良く眺めておくこと。	F・L
第8回	【テーマ】講評 【計画内容】習作の講評をする。一人ひとりの作品をふまえ、問題点を一緒に考え、次の到達目標を決める。 【授業時間外の学修内容】裸婦習作Ⅰの作品をかならず持参すること。出来上がった作品を良く眺め、次回の制作を自分なりに考えておくこと。	F・L			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	プリントを使用して、実習中に随時説明します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分				60%	40%	
補足				魅力と成果	作品、道具の配慮、習作への取り組み方、忘れ物の有無	

課題に関するフィードバックの方法	実習を二回に分けて制作し、前半の作品を自身、と回りの学生、講師とのディスカッションにより 作者自身に次の目標を立てさせ、次回の制作の方向性を探らせる。さらに後半でも実際に前半の自分の立てた目標を軸に発表してもらい自覚を促すそれを基に講評する。

実務経験と授業の関連			
該当	経験内容	絵画教室講師サブ　公募展会員　画家	
	科目との関連	主に人物をテーマに、作品を制作発表。さらに長年にわたる非常勤講師の経験により各自の個性に寄り添った指導を行う。	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します
資格	[芸]中・高1種(美術)_必修
その他	実習実技ですから、キャンバスなどの材料・道具類を忘れると授業になりません。 特に実習2回とも、初日は場所決めがあるので欠席の無いように。 講評日に作品がないと成績が付かないので欠席の無いように。

科目名	グラフィックデザインⅠ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	澁谷　俊彦				

授業の目的		
	ねらい	グラフィックデザインⅠは、平面基礎造形の訓練(点・線・面)(配色計画)の反復により確かなデザイン造形力を養います。同時にデザイン領域全般への好奇心と探求心を育むデザインリサーチも同時展開します。
	到達目標	(1)目的に応じたイメージを的確に視覚化(構成)できること。 (2)目的に応じたイメージを的確に視覚化(色彩コントロール)できること。 (3)デザイン作業が的確に行える基礎技術が習得できている。 (4)デザイン用具が正しい方法で使いこなすことができる。 (5)デザインリサーチから学ぶデザインライフ。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】全15回の講義の概要説明、デザイン用具の一括購入申し込みの説明を行う。専門用具のない学生は受講が困難となるので、必ず出席すること。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】実践課題1-2　配色計画も含めたデザイン 【計画内容】アイデアスケッチ(前週からの継続)デザイン決定と配色計画。 【授業時間外の学修内容】アイデアスケッチの継続、資料収集。	D
	第2回	【テーマ】基礎講義：紙サイズの知識(日常用いられる紙のA判B判の特性などを講義) 【計画内容】練習課題1: フリーハンドで描く作図の方法を探る。(自由な発想の訓練) 【授業時間外の学修内容】事前配付プリントの内容確認。	B	第10回	【テーマ】実践課題1-3　デザインを発展させながら制作を開始 【計画内容】決定したデザインを本制作(作図) 【授業時間外の学修内容】制作の進行に応じた自宅制作。	D
	第3回	【テーマ】基礎講義：用紙中央への画面作図の方法・三角定規を用いた平行線の作図方法 【計画内容】練習課題2: 指定画面の作図と平行線を引く訓練。(学生準備：三角定規、直定規、製図ペン、筆記用具) 【授業時間外の学修内容】事前配付プリントの内容確認。	B	第11回	【テーマ】実践課題1-4　クオリティを考えながらの制作 【計画内容】配色計画に基づいた彩色作業。(効率的な作業手順を実践を通じて経験していく) 【授業時間外の学修内容】制作の進行に応じた自宅制作。	D
	第4回	【テーマ】基礎講義：アクリルガッシュの平塗りと溝引き技法の練習 【計画内容】練習課題3:6つの画面に指定色をむらなく彩色する訓練。溝引き技法でアウトラインが歪まずに、そして平塗りによってむらなく絵の具が塗れることが全作業の基本技術となる。(学生準備：アクリルガッシュ、筆セット、溶き皿、直定規、三角定規、水拭き用布、ティッシュ) 【授業時間外の学修内容】前週の演習の反復訓練。	D	第12回	【テーマ】実践課題1-5　仕上げまでの効率的な手順を考えた制作 【計画内容】彩色作業(先週からの継続制作)。 【授業時間外の学修内容】制作の進行に応じた自宅制作。	D
	第5回	【テーマ】基礎講義(前週からの継続制作)：アクリルガッシュの平塗りと溝引き技法の習得 【計画内容】練習課題3:6つの画面に指定色をむらなく彩色する訓練の仕上げ。溝引き技法でアウトラインが歪まずに、そして平塗りによってむらなく絵の具が塗れることが全作業の基本技術となる。(学生準備：ポスターカラー、筆セット、溶き皿、直定規、三角定規、水拭き用布、ティッシュ) 【授業時間外の学修内容】前週の演習の反復訓練。	D	第13回	【テーマ】実践課題1-6　完成にむけて 【計画内容】彩色作業(先週からの継続制作)。 【授業時間外の学修内容】制作の進行に応じた自宅制作。	D
	第6回	【テーマ】基礎講義：アクリルガッシュの平塗りと溝引き技法の習得(完成をめざす) 【計画内容】継続制作(完成へ)。余白の汚れ等に対応したホワイト修正の方法を実践する。 【授業時間外の学修内容】授業時間内での完成を目指した自宅制作。	D	第14回	【テーマ】実践課題1-6　完成へ 【計画内容】彩色作業(先週からの継続制作)→完成へ。 ねらい：アイデアスケッチのイメージが本制作できちんと再現出来ているか。作業はきれいに仕上がっているか。 【授業時間外の学修内容】制作の進行に応じた自宅制作。	D
	第7回	【テーマ】黄金比と白銀比 【計画内容】白銀比と黄金比の理解とデザインリサーチ 【授業時間外の学修内容】配付プリントの内容確認	A	第15回	【テーマ】デザイン合評会 【計画内容】ねらい：テーマに即したデザインが表現出来ているか。そして個性的なデザインに展開出来たか。制作者自らによる客観的分析は思考出来るようになっているか。 【授業時間外の学修内容】制作の進行に応じた自宅制作。	A
	第8回	【テーマ】実践課題1-1　アイディア立案 【計画内容】円のみを構成要素として動物のかたちをデザインする。 ねらい：制約された条件下での造形を試みる。強調と省略によってそのものの本質を見極める。(学生準備：円のテンプレート、アイデアスケッチ用クロッキー帳、筆記用具) 【授業時間外の学修内容】事前配付プリントの内容確認と資料収集。	D			

テキスト	配付プリントを使用します。
参考書	配付プリントを使用します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分				50%	45%	5%
補足				平時	平時	

課題に関するフィードバックの方法	授業時間内個別対応及びチャット		
実務経験と授業の関連	該当	経験内容	元美術予備校講師、現専門学校学校長、美術家
		科目との関連	高い技術力と実践教育。社会で役立つデザインの教養と基礎造形力の拡充。
質問への対応	チャットで平時対応		
資格	[芸]中・高1種(美術)_必修、インテリアプランナー選必		
その他	デザイン用具は一括購入申し込みとなります。オリエンテーションまたは講義内で申し込みプリントの配付、及び説明を行います。専門用具なしでは受講不可ですので、十分注意してください。 ※未提出作品が1点でもある場合は作品評価は不可(0点)となります。第16回は補講日として活用します。		

科目名	グラフィックデザインⅡ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	澁谷　俊彦、森井　綾				

授業の目的	
ねらい	グラフィックデザインⅠで学んだ幅広いデザイン造形感覚を更に高め、基礎造形力拡充のための様々な演習課題を行います。目的に応じた画面分割から色彩構成へと発展。客観的なデザイン伝達力とさらに豊かな個性的な表現力を色とかたちで造形デザインします。
到達目標	(1)的確な技術を身に付け、デザイン造形表現のための基礎力を養います。 (2)的確な画面分割デザインの習得。 (3)目的応じた配色デザインを習得。 (4)総合的なデザイン造形力の拡充。 (5)発展的にオリジナリティに重点を置いたデザイン表現への試み。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション:講義の概要説明。課題1の導入 【計画内容】講義の概要説明。「課題1」の導入画面分割のアイデアスケッチと本制作(画面作図)(澁谷俊彦) 【授業時間外の学修内容】シラバスから学びの目的を確認しておくこと。	D	第9回	【テーマ】「課題2」仮面の配色デザイン　(継続制作) 【計画内容】仮面のかたちのトレースを完了させる。 次に色鉛筆とトーナルカラーを使って配色計画、配色デザインへ。(澁谷俊彦) 【授業時間外の学修内容】自宅でのアイデアスケッチ(配色デザイン)の奨励。 課題内容に即したデザインリサーチの奨励。	D
第2回	【テーマ】「課題1」画面分割の決定と画面作図 配色計画(トーナルカラー)1 【計画内容】学生個々のアイデアスケッチのチェック、目的応じたデザインへの誘導。 画面作図の技術指導(澁谷俊彦) 【授業時間外の学修内容】自宅でのアイデアスケッチの奨励。	D	第10回	【テーマ】「課題2」仮面の配色デザイン　(継続制作) 【計画内容】配色デザインに基づき、画材特性を活かした効率的な作業手順を踏まえた彩色制作へ移行。(澁谷俊彦) 【授業時間外の学修内容】自宅でのアイデアスケッチの奨励。 課題内容に即したデザインリサーチの奨励。	D
第3回	【テーマ】「課題1」配色計画(トーナルカラー)2 【計画内容】トーナルカラーを用いた複数の配色プランから目的に応じた選択を促す。配色計画の決定。(澁谷俊彦) 【授業時間外の学修内容】自宅でのアイデアスケッチの奨励。 課題内容に即したデザインリサーチの奨励。	D	第11回	【テーマ】「課題2」仮面の配色デザイン　(継続制作) 【計画内容】画材特性を活かした効率的な作業手順を踏まえた彩色制作(澁谷俊彦) 【授業時間外の学修内容】自宅でのアイデアスケッチの奨励。 課題内容に即したデザインリサーチの奨励。	D
第4回	【テーマ】「課題1」　彩色制作へ 【計画内容】配色計画に基づいて、アクリルガッシュを用いて彩色へ展開。(澁谷俊彦) 【授業時間外の学修内容】自宅でのアイデアスケッチの奨励。 課題内容に即したデザインリサーチの奨励。	D	第12回	【テーマ】「課題2」仮面の配色デザイン　(継続制作) 【計画内容】画材特性を活かした効率的な作業手順を踏まえた彩色制作(澁谷俊彦) 【授業時間外の学修内容】制作に遅れのある学生は自宅での制作の奨励。 課題内容に即したデザインリサーチの奨励。	D
第5回	【テーマ】「課題1」　継続制作(彩色) 【計画内容】画材特性を活かした効率的な作業手順を踏まえた彩色制作(継続制作)(澁谷俊彦) 【授業時間外の学修内容】自宅でのアイデアスケッチの奨励。 課題内容に即したデザインリサーチの奨励。	D	第13回	【テーマ】「課題2」仮面の配色デザイン　(継続制作) 【計画内容】画材特性を活かした効率的な作業手順を踏まえた彩色制作(澁谷俊彦) 【授業時間外の学修内容】制作に遅れのある学生は自宅での制作の奨励。 課題内容に即したデザインリサーチの奨励。	D
第6回	【テーマ】「課題1」　継続制作(彩色) 【計画内容】画材特性を活かした効率的な作業手順を踏まえた彩色制作(澁谷俊彦) 【授業時間外の学修内容】課題内容に即したデザインリサーチの奨励。	D	第14回	【テーマ】「課題2」仮面の配色デザイン　継続制作から完成へ 【計画内容】要求された制作時間内での完成を目指します。(澁谷俊彦) 【授業時間外の学修内容】自宅でのアイデアスケッチの奨励。 課題内容に即したデザインリサーチの奨励。	D
第7回	【テーマ】「課題1」継続制作から完成へ 【計画内容】要求された制作時間内での完成を目指します。(澁谷俊彦) 【授業時間外の学修内容】テクニックの不備を補う自主的練習への取り組み 課題内容に即したデザインリサーチの奨励。	D	第15回	【テーマ】「課題2」仮面の配色デザイン　合評会 【計画内容】目的応じた配色が作品として表現出来たか。また的確な技術で仕上げられたか。の自己分析及び、講評。(森井綾・澁谷俊彦) 【授業時間外の学修内容】課題内容に即したデザインリサーチの奨励。	L
第8回	【テーマ】「課題2」仮面の配色デザイン 【計画内容】世界各地の伝統的な仮面のかたちを引用して、感情(喜怒哀楽)のイメージを伝達する目的で、配色計画を試みる。まず定められた仮面の意匠から任意に1つを選択。かたちのトレースに入ります。(澁谷俊彦) 【授業時間外の学修内容】自宅でのアイデアスケッチの奨励。 課題内容に即したデザインリサーチの奨励。	D				

テキスト	配付プリントを使用します。
参考書	配付プリントを使用します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		50%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	授業時間内　随時個別対応

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	澁谷俊彦 / 元美術予備校講師、現専門学校学校長、現代美術家
		科目との関連	高い技術指導力と実践教育。社会で役立つデザイン教養と考察。基礎造形力の拡充。

質問への対応	授業時間内　随時個別対応　及びチャットにて。
資格	[芸]中・高1種(美術)_必修
その他	「グラフィックデザインⅡ」は前期の同Ⅰの発展的実習科目です。「グラフィックデザインⅠ」を履修済みであることが望ましいです。また画材(道具)のない学生は課題制作が行えませんので、事前に必要画材の購入が必要となります。　課題の未提出がある場合は作品評価が0点となります。

科目名	デジタルイメージⅡ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	伊藤　隆介				

授業の目的	
ねらい	「デジタルイメージⅠ」で修得した画像処理ソフトウェア(Adobe Photoshop)の基礎をもとに、実践的な応用方法を学習します。また、デザインの基礎理論や色彩についての学習や作品制作のプロセスを理解し、フォトショップを使ったさまざまな表現方法に触れます。
到達目標	(1) Adobe Photoshop を使った画像補正と使用目的に応じた画像最適化ができる。 (2)スキャナー、デジタルカメラなどの関連機器を使い、的確な画像入力と利用ができる。 (3) Photoshop のツールを使用し、意図する効果的な視覚伝達や個性ある作品を制作できる。 (4)作品制作にあたって、基礎的なデザイン理論や色彩と印刷の関係などが理解できる。 (5)画像処理によるデータの、使用目的に応じた保存や管理を行える。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の概要を紹介し、15回の講義展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】「デジタルイメージⅠ」のおさらいとネットワーク共有フォルダの使用方法について復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】Photoshop によるデザイン研究2 【計画内容】フォトショップのツールを使って、イラストレーション制作(描画)についての知識を習得します。この回では、リアルな空間感を表現するための基本的ルールについて学びます。 【授業時間外の学修内容】学習した内容を講義ノートを参考に復習しておくこと。	E
第2回	【テーマ】「デジタルイメージⅠ」のおさらい 【計画内容】Photoshop の基本操作(ファイル作成、色調補正、画像リサイズやレタッチ等)の復習をします。 【授業時間外の学修内容】「デジタルイメージⅠ」で学習した内容を講義ノートを参考に復習しておくこと。	E	第10回	【テーマ】Photoshop によるデザイン研究3 【計画内容】フォトショップのツールを使って、イラストレーション制作(描画)を行います。この回では、描写対象の構成について観察、描写、編集方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】イラストレーションの課題内容について、完成すること。	E
第3回	【テーマ】デジタルカメラ等を使用した画像素材の入力について 【計画内容】カメラやスマートフォン、ネット利用など、画像情報の取り込みの方法を整理、画像加工の工程を学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内で説明された課題を完成させ、次週ファイルを持参すること。	E	第11回	【テーマ】Photoshop によるデザイン研究4 【計画内容】Photoshop のツールを使って、イラストレーション制作(描画)を行います。この回では、ツールを使った光と影の表現、対象の立体感の作り方のテクニックを学びます。 【授業時間外の学修内容】イラストレーションの課題内容について、完成すること。	E
第4回	【テーマ】スキャナーを使用した画像素材の準備について 【計画内容】解像度についての復習とモアレ除去について学び、書籍や新聞を効果的にデジタル画像として取り込む方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】スキャナーの使用方法と解像度について復習すること。特に解像度の概念はしっかり理解しておくこと。	E	第12回	【テーマ】Photoshop によるデザイン研究5 【計画内容】フォトショップのツールを使って、イラストレーション制作(描画)を行います。この回では、バックグラウンドの扱い、仕上げについて、制作を通して考察します。 【授業時間外の学修内容】イラストレーションの課題作品を完成、提出すること。	E
第5回	【テーマ】Photoshop による色彩研究 【計画内容】コンピューター上でどのように色彩が取り扱われているのか、また、データとしての色彩とは何か等について、伝統的な視覚メディアとの比較などを通して学びます。 【授業時間外の学修内容】コンピューターにおける色彩の考え方について復習し、理解すること。	A	第13回	【テーマ】Photoshop によるデザイン研究6 【計画内容】web 用の画像最適化のプロセスについて : ホームページに使用する画像フォーマットや画像圧縮によるファイルサイズと画質の関係について学びます。 【授業時間外の学修内容】ウェブデザインでは必ず使用する技術なので、しっかり復習すること。	A
第6回	【テーマ】Photoshop による表現研究1 【計画内容】フォトショップのレイヤー、レイヤーマスク、ブラシツール等、複数のツールを活用して、写実的な高度な塗り絵に挑戦します。 【授業時間外の学修内容】課題を完成させ、印刷して次週の講義に持参すること。レイヤーマスクとブラシツールの使い方をマスターしておくこと。	E	第14回	【テーマ】最終課題制作 【計画内容】講義時間をワークショップとしてコンセプトに沿った作品制作を行います。担当教員は皆さんの質問に個別に対応します。 【授業時間外の学修内容】最終課題を完成させ提出しておくこと。次週、作品を持参し講義内で講評します。	E
第7回	【テーマ】Photoshop による表現研究2 【計画内容】「上手い絵とは何なのか」をテーマに、フォトショップのフィルタ機能などの紹介と作品制作に挑戦します。 【授業時間外の学修内容】Photoshop など、画像編集機能とはどういうものなのか実験すること。	E	第15回	【テーマ】最終課題発表とまとめ 【計画内容】完成した作品の発表と講評を行います。クラスメートの作品を鑑賞し、参考になること、改善点などを考えます。 【授業時間外の学修内容】講義ノートをまとめ、これからの学習に活かすこと。	F・A
第8回	【テーマ】Photoshop によるデザイン研究1 【計画内容】レイアウトデザインをする上で参考になるデザイン理論についてを学び、印刷物(版下)を制作します。 【授業時間外の学修内容】課題を完成させ、次週の講義に持参すること。	E			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%	40%	20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	講義に関しては、授業内容のまとめシートの提出評価を行います。 実技課題については、提出翌週に各自プレゼンテーション(作品説明)を行うと共に、講評(全員の作品の鑑賞会)を行い、指導します。

実務経験と授業の関連			
該当	経験内容	グラフィック・デザイン、および CG イラストレーション
	科目との関連	デジタル機器を使用した画像処理およびデザインの知識と実技技術を指導

質問への対応	講義時に説明します。
資格	
その他	「デジタルイメージⅠ」、「デジタルデザインⅠ」を履修済み、または、同等の知識と技術を有していること。 受講する前に上記2科目の内容を事前に復習しておくこと。

科目名	デジタルデザインⅡ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	森井　綾				
授業の目的	ねらい	「デジタルデザインⅠ」で学んだ基礎的な技術を更に発展させる。Adobe Illustrator、Photoshop の使用を主とし、作品制作を通してそれぞれの特性･相互関係を理解することで、より高度なデザインワークが行えるようスキルアップを図る。また、身の回りの素材をデジタル作品に取り込む等、新たな展開の仕方を学ぶ。				
	到達目標	(1) Illustrator、Photoshop の特性を理解し、利用できるようになる。 (2)大きなものから小さなものまで、身の回りにあるデザインを意識して観察し、自分の技術として取り込めるようになる。 (3)デザインに繋げるテキストの扱い方を知る。				

授業の計画						
第1回	【テーマ】「デジタルデザインⅠ」の確認と復習 【計画内容】本講義の概要を説明。デザイン事例などを紹介。Illustrator、Photoshop で何ができるのかを知る。「デジタルデザインⅠ」で学んだ技術･知識の確認と復習、応用の仕方を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】「デジタルデザインⅠ」で学んだ内容を復習しておく。	B	第9回	【テーマ】ロゴ制作(加工編) 【計画内容】Illustrator で制作したロゴを Photoshop で加工してみる。スタンプ加工、ブラシ設定等、Illustrator からの画像化、アレンジ方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前講義でロゴが完成しなかった者は授業外の時間で完成させておくこと。さまざまなデザインを、制作する側の視点からも考える様にこころがける。	B
第2回	【テーマ】Illustrator 確認課題 【計画内容】Illustrator をどの程度理解しているか、また不明点はなにかを探る。図形や各種基本ツールを使用した簡単な課題を通し基礎知識や技術力を計る。 【授業時間外の学修内容】「デジタルデザインⅠ」で学んだ内容を復習しておく。さまざまなデザインを、制作する側の視点からも考える様にこころがける。	B	第10回	【テーマ】ロゴを使用したレターヘッドデザイン制作 【計画内容】Photoshop で加工したロゴなどを使用し、レターヘッドをデザインする。画像合成、画像のパス化など、今まで学んだことを確認する。 【授業時間外の学修内容】前講義までの内容を復習しておく。ロゴのアレンジが済んでない者は済ませておくこと。さまざまなデザインを、制作する側の視点からも考える様にこころがける。	B
第3回	【テーマ】Illustrator のツールの使い方(応用編) 【計画内容】ツールの組み合わせにより、より高度で複雑な形を作れるようになる。新たなツールの研究。ブレンド･グラデーションアレンジ･パスファインダ･整列ツール等の複合使用。 【授業時間外の学修内容】「デジタルデザインⅠ」で学んだ内容を復習しておく。さまざまなデザインを、制作する側の視点からも考える様にこころがける。	B	第11回	【テーマ】印刷用データの作成 【計画内容】自分で制作した画像、パスなどをイラストレーター上で組み立て、印刷原稿を制作してみる。(罫線、トンボ制作)完成提出。 【授業時間外の学修内容】前講義までの内容を復習しておく。制作が遅れている者は授業外で各々進めておくこと。さまざまなデザインを、制作する側の視点からも考える様にこころがける。	B
第4回	【テーマ】テキストの扱い方･画像からのパス作成方法とは 【計画内容】テキストデータのアレンジ方法、美しく見せる設定方法を学ぶ。また、身の回りの素材、画像からパスを作成する方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前講義で学んだ内容を復習しておく。さまざまなデザインを、制作する側の視点からも考える様にこころがける。	B	第12回	【テーマ】CD ジャケットデザイン制作･その1 【計画内容】Illustrator、Photoshop を使用し、CD ジャケットのデザイン制作を行う。画像加工、テキストアレンジ等現在の自分に何ができるかを改めて知る。制作前にラフの提示。 【授業時間外の学修内容】前講義までの内容を復習しておく。	B
第5回	【テーマ】ロゴデザイン 【計画内容】文字のデザイン課題。前学期で学んだ内容を踏まえ、言葉から受けるイメージをその文字の形を利用し、イラストレーターでビジュアル化する。 【授業時間外の学修内容】前講義で学んだ内容を復習しておく。	B	第13回	【テーマ】CD ジャケットデザイン制作･その2 【計画内容】Illustrator、Photoshop を使用し、CD ジャケットのデザイン制作を行う。画像加工、テキストアレンジ等現在の自分に何ができるかを改めて知る。ラフの確認→制作。 【授業時間外の学修内容】前講義でラフが提示できなかった者は授業外で書いてくること。さまざまなデザインを、制作する側の視点からも考える様にこころがける。	B
第6回	【テーマ】グラフの作成 【計画内容】Illustlator の機能を使ったグラフィカルなグラフの作成方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前講義で学んだ内容を復習しておく。さまざまなデザインを、制作する側の視点からも考える様にこころがける。	B	第14回	【テーマ】CD ジャケットデザイン制作･その3 【計画内容】Illustrator、Photoshop を使用し、CD ジャケットのデザイン制作を行う。画像加工、テキストアレンジ等現在の自分に何ができるかを改めて知る。テキストのきれいな扱い方を学ぶ。制作。 【授業時間外の学修内容】前講義までで遅れてる者は授業外で各々進めておくこと。(ラフの OK が出ている者のみ)。さまざまなデザインを、制作する側の視点からも考える様にこころがける。	B
第7回	【テーマ】地図を作る 【計画内容】普段よく目にする地図だが、それを実際にデザインするにはどんな要素が必要なのかを考え、身近な場所の地図を構成してみる。 【授業時間外の学修内容】普段いろいろな場所で目にする地図を、デザインの視点から気を付けて観察しておく。	B	第15回	【テーマ】CD ジャケットデザイン制作･その4 【計画内容】Illustrator、Photoshop を使用し、CD ジャケットのデザイン制作を行う。画像加工、テキストアレンジ等現在の自分に何ができるかを改めて知る。完成･提出。 【授業時間外の学修内容】制作が遅れている者は授業外で各々進めておくこと。さまざまなデザインを、制作する側の視点からも考える様にこころがける。	B
第8回	【テーマ】図形の変形 【計画内容】効果の機能を使って、デザイン性の高いロゴなどを作ってみる。 【授業時間外の学修内容】普段いろいろな場所で目にするサインや看板を、デザインの視点から気を付けて観察しておく。	B				

テキスト	必要に応じて講義内にて配付･説明します。
参考書	必要に応じて講義内にて配付･説明します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分				62%	38%	
補足					平時	

課題に関するフィードバックの方法	課題についての質問なども、講義内にて対応します。

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	グラフィックデザイン
	科目との関連	グラフィックデザイナーとしての経験を活かし、デザインワークやグラフィックソフトの使い方を指導

質問への対応	講義内にて対応します。オフィスアワー等も利用してください。
資格	
その他	第1回から PC での作業を開始するため、遅刻･欠席はしないこと。 「デジタルデザインⅠ」、「グラフィックデザインⅠ」、「ドローイングⅠ」を履修済みであることが望ましい。

科目名	ファッション画	授業形態	実習	単位数	1
教員名	田　恩蘋				
授業の目的	ねらい	ファッション画における基礎知識、着装表現、彩色、素材表現、デザイン発想等の基礎を学び、個性的な作品をイラストレーションで表現する方法を学習します。			
	到達目標	(1)ファッション画の基礎知識と技術を身につける。 (2)色鉛筆などの道具の使い方と技法を修得する。 (3)ファッション画の基礎となるプロポーションが描けるようになる。 (4)様々な洋服の素材がイラストレーションで表現できるようになる。			

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】全15回の授業展開やその他諸注意について説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。必要となる道具を各自準備して次回持参すること。	A・H	第9回	【テーマ】布地の材質表現2(夏) 【計画内容】夏の服の素材と色彩の特徴や表現方法、服の材質やデザイン(例:レース、柄、ストライプなど)の描き方を学びます。 【授業時間外の学修内容】着装した人物の全身を彩色した作品を1体、次回の授業で発表するために完成させること。	A・B・H
第2回	【テーマ】プロポーションの描き方 【計画内容】鉛筆の使い方と技法、ファッションデザイン知識とプロポーションの描き方を学びます。 【授業時間外の学修内容】作品を完成させ、次回授業で発表するための準備をすること。	A・B・H	第10回	【テーマ】布地の材質表現3(秋) 【計画内容】秋の服の素材と色彩の特徴や表現方法、服の材質やデザイン(例:ニット、ウールなど)の描き方を学びます。 【授業時間外の学修内容】着装した人物の全身を彩色した作品を1体、次回の授業で発表するために完成させること。	A・B・H
第3回	【テーマ】基本ポーズ 【計画内容】2種類の基本ポーズから応用ポーズへの描き方を学びます。 【授業時間外の学修内容】作品を完成させ、次回授業で発表するための準備をすること。	A・B・H	第11回	【テーマ】布地の材質表現4(冬) 【計画内容】冬の服の素材と色彩の特徴や表現方法、服の材質やデザイン(例:皮革、毛皮など)の描き方を学びます。 【授業時間外の学修内容】着装した人物の全身を彩色した作品を1体、次回の授業で発表するために完成させること。	A・B・H
第4回	【テーマ】服と体の関係 【計画内容】人物が実際に服を着た状態をポーズに合わせて服のしなりやしわのつき具合などを絵で表現します。 【授業時間外の学修内容】作品を完成させ、次回授業で発表するための準備をすること。	A・B・H	第12回	【テーマ】デザイン発想1: ムードボード 【計画内容】自分のイメージに近いデザイン(カラー、スタイル、イメージなど)を考え、その要素をムードボードにアイデアをまとめます。 【授業時間外の学修内容】次回の授業では、このムードボードを使ってアイデアを発表する。	A・B・H
第5回	【テーマ】着装の描き方1: 上着 【計画内容】描き方のポイントの説明を受け、衿、袖などの描き方を学びます。 【授業時間外の学修内容】描いた作品を2体、次回授業内で発表する。	A・B・H	第13回	【テーマ】デザイン発想2: ワークショップ 【計画内容】授業時間全部を使って作品制作を行います。教員は個別に指導します。 【授業時間外の学修内容】課外時間においても作業を続けること。	A・B・H
第6回	【テーマ】着装の描き方2: 下着 【計画内容】描き方のポイントの説明を受け、スカート、パンツの描き方を学びます。 【授業時間外の学修内容】描いた作品を2体、次回授業内で発表する。	A・B・H	第14回	【テーマ】デザイン発想3: ワークショップ 【計画内容】授業時間全部を使って作品制作を行います。教員は個別に指導します。 【授業時間外の学修内容】課外時間においても作業を続けること。	A・B・H
第7回	【テーマ】着色練習 【計画内容】色鉛筆、水彩など、さまざまな画材の特徴と表現方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】着装した人物の全身を彩色した作品を2体、次回の授業で発表するために完成させること。	A・B・H	第15回	【テーマ】デザイン発想4: 発表会とまとめ 【計画内容】過去3週に渡って作り上げた作品を発表し講評します。全員で意見交換し作品の質を上げるためのアドバイスをします。また、15回全体を振り返り、ファッション画の大切さと今後の制作活動についてみんなで考えます。 【授業時間外の学修内容】これまで描いた作品をまとめ、ポートフォリオとして記録すること。	A・F
第8回	【テーマ】布地の材質表現1(春) 【計画内容】春の服の素材と色彩の特徴や表現方法、服の材質やデザイン(例:レース、シフォン(chiffon)など)の描き方を学びます。 【授業時間外の学修内容】着装した人物の全身を彩色した作品を1体、次回の授業で発表するために完成させること。	A・B・H				

テキスト	必要に応じて授業でプリントを配付します。
参考書	講義内で紹介します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%	50%	20%	
補足			毎週課題1つ	中間・最終	授業や発表会などでの積極的な授業参加	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	授業時間前後、または芸術学科の浅井先生(E-Mail:takaya@hokusho-u.ac.jp)までご相談ください。
資格	
その他	授業で毎週必要となる道具や画材を各自で購入していただきます。第1回の授業で詳しく説明します。

科目名	テキスタイルデザイン	授業形態	実習	単位数	2
教員名	竹森　郁、大信田　静子				

授業の目的	
ねらい	テキスタイルとは、織物、染物、編物など布地のことである。洋服、インテリア、ファッション雑貨など私達の生活には様々な「布」が息づいている。その布地を製作する上で、素材を知り、「織り」「染め」「編む」など様々な手法を取り入れてデザインしていくことを目的とする。基礎的な手織りから入り、応用作品として服飾や装飾雑貨などの作品を通して様々な手法を学び豊かな創造力や感性を育み学んでいく。
到達目標	(1)実際に織りながら基礎的な織り方を習得する。 (2)作品の製作を通して、糸の配色、用途など個々の感性を研く。 (3)様々な素材の特徴を知り、活用法を身につける。

授業の計画						
第1回	【テーマ】講義ガイダンス 【計画内容】講義を紹介し、30回の講義展開について説明します。 (竹森郁・大信田静子) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第16回	【テーマ】作品Ⅱの製作 【計画内容】各自の作品に合わせて様々な手法で製作を行っていきます。 (大信田静子) 【授業時間外の学修内容】作品の製作方法を理解しながら技術を習得しておくこと。	D
第2回	【テーマ】様々な織物や素材について 【計画内容】様々な織物に触れ、経糸と緯糸の仕組みをルーペを使ってみていきます。製作する作品のサンプルについて説明します。 (竹森郁・大信田静子) 【授業時間外の学修内容】プリントを熟読しておくこと。	D	第17回	【テーマ】作品Ⅱの製作 【計画内容】各自の作品に合わせて様々な手法で製作を行っていきます。 (大信田静子) 【授業時間外の学修内容】作品の製作方法を理解しながら技術を習得しておくこと。	D
第3回	【テーマ】織りの用具と扱い方・作品Ⅰについて 【計画内容】作品Ⅰ(基礎織り)のデザインを考え、作品に合う縦糸の選定をします。(竹森郁・大信田静子) 【授業時間外の学修内容】プリントを熟読しておくこと。	D	第18回	【テーマ】作品Ⅱの製作 【計画内容】各自の作品に合わせて製作を行っていきます。作品の進捗状況を確認すると共に、他者の作品の制作方法もお互いに学びます。 (大信田静子) 【授業時間外の学修内容】作品の製作方法を理解しながら技術を習得しておくこと。	D
第4回	【テーマ】作品Ⅰの製作 【計画内容】経糸の整経(経糸の本数、長さなどを計算式に当てはめて大きさを決める)の方法を学んでいきます。(竹森郁・大信田静子) 【授業時間外の学修内容】プリントを熟読し、機織りの名称について理解しておくこと。	D	第19回	【テーマ】作品Ⅱの製作 【計画内容】各自の作品に合わせて様々な手法で製作を行っていきます。 (大信田静子) 【授業時間外の学修内容】作品の製作方法を理解しながら技術を習得しておくこと。	D
第5回	【テーマ】作品Ⅰの製作 【計画内容】経糸を整経して綜こう通しに通して機織上げをしていきます。 (竹森郁・大信田静子) 【授業時間外の学修内容】機織りの仕組みについて理解しておくこと。	D	第20回	【テーマ】作品Ⅱの製作 【計画内容】各自の作品に合わせてそれぞれの方法を用いて組み立てていきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】作品の製作方法を理解しながら技術を習得しておくこと。	D
第6回	【テーマ】作品Ⅰの製作 【計画内容】縦糸の通し終了、緯糸を板杼に準備し、織り上げていきます。 (竹森郁・大信田静子) 【授業時間外の学修内容】織り糸の仕組みについて理解しておくこと。	D	第21回	【テーマ】作品Ⅱの製作 【計画内容】各自の作品に合わせてそれぞれの方法を用いて組み立てていきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】作品の製作方法を理解しながら技術を習得しておくこと。	D
第7回	【テーマ】作品Ⅰの製作 【計画内容】各自デザインした色に合わせ緯糸を織り込んでいきます。 (竹森郁・大信田静子) 【授業時間外の学修内容】織り糸の仕組みについて理解しながら習得しておくこと。	D	第22回	【テーマ】作品Ⅱの製作 【計画内容】各自の作品に合わせてそれぞれの方法を用いて組み立てていきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】作品の製作方法を理解しながら技術を習得しておくこと。	D
第8回	【テーマ】作品Ⅰの製作 【計画内容】デザインに合わせ緯糸を織り込んでいきます。 (竹森郁・大信田静子) 【授業時間外の学修内容】織り糸の仕組みについて理解しながら習得しておくこと。	D	第23回	【テーマ】作品Ⅱの製作 【計画内容】各自の作品に合わせてそれぞれの方法を用いて組み立てていきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】作品の製作方法を理解しながら技術を習得しておくこと。	D
第9回	【テーマ】作品Ⅰの製作 【計画内容】デザインに合わせ緯糸を織り込んでいきます。 (竹森郁・大信田静子) 【授業時間外の学修内容】織り糸の仕組みについて理解しながら習得しておくこと。	D	第24回	【テーマ】作品Ⅱの製作 【計画内容】各自の作品に合わせて仕上げの方法を考えながら製作していきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】作品の製作方法を理解しながら技術を習得しておくこと。	D
第10回	【テーマ】作品Ⅰの製作 【計画内容】デザインに合わせ緯糸を織り込んでいきます。 (竹森郁・大信田静子) 【授業時間外の学修内容】織り糸の仕組みについて理解しながら習得しておくこと。	D	第25回	【テーマ】作品Ⅱの製作 【計画内容】各自の作品に合わせて仕上げの方法を考えながら製作していきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】作品の製作方法を理解しながら技術を習得しておくこと。	D
第11回	【テーマ】作品Ⅰの仕上げについて 【計画内容】織り機からの外し方、糸始末について説明します。房部分の糸始末としてネクタイ結びをしていきます。(竹森郁・大信田静子) 【授業時間外の学修内容】織り糸の仕組みについて理解しながら習得しておくこと。	D	第26回	【テーマ】作品Ⅱの製作 【計画内容】各自の作品に合わせて仕上げの方法を考えながら製作していきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】作品の製作方法を理解しながら技術を習得しておくこと。	D
第12回	【テーマ】作品Ⅰの提出及び提出カード作成・作品Ⅱ(応用作品)の説明 【計画内容】作品の提出カードを作成し、完成作品に添付提出します。 (竹森郁・大信田静子) 【授業時間外の学修内容】織り糸の仕組みについて理解しながら習得しておくこと。	D	第27回	【テーマ】作品Ⅱの製作 【計画内容】各自の作品をまとめ、仕上げていきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】作品の製作方法を理解しながら技術を習得しておくこと。	D
第13回	【テーマ】作品Ⅱ(応用作品)について 【計画内容】応用作品として織物の手法(裂き織り、レース織り、綴れ織り、ノッティングなど)および様々な素材(原毛、リボン、毛糸、紙バンドなど)について紹介していきます。作品Ⅱのデザイン検討をしていきます。(竹森郁・大信田静子) 【授業時間外の学修内容】テキスタイル(織り、布)の作品にはどのような物があるのか調べておくこと。	D	第28回	【テーマ】作品Ⅱの製作 【計画内容】各自の作品をまとめ、仕上げていきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】作品の製作方法を理解しながら技術を習得しておくこと。	D
第14回	【テーマ】作品Ⅱの製作 【計画内容】各自の作品を決め、素材を使用して作品の手順を検討します。 (竹森郁・大信田静子) 【授業時間外の学修内容】応用作品のデザインについて考え材料を用意しておくこと。	D	第29回	【テーマ】作品Ⅱの仕上げ 【計画内容】各自の作品をまとめ、仕上げていきます。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】作品の製作方法を理解しながら技術を習得しておくこと。	D
第15回	【テーマ】作品Ⅱの製作 【計画内容】各自の作品に合わせて様々な手法で製作を行っていきます。 (竹森郁・大信田静子) 【授業時間外の学修内容】作品の製作方法を理解しながら技術を習得しておくこと。	D	第30回	【テーマ】作品Ⅱの提出と批評会 【計画内容】作品の仕上げ、まとめと振り返りをしていきます。 (大信田静子) 【授業時間外の学修内容】作品の技法について理解を深め、確実に習得し仕上げておくこと。	F

テキスト	プリントを使用します。
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分				60%	40%	
補足				作品提出	作品への取り組み・意欲	

課題に関するフィードバックの方法	作品制作を通して、縦糸と緯糸の関係性・応用作品を通して様々な素材の扱い方について評価していきます。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	E-Mail:shisieva@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	応用作品については、各自で材料をそろえます。(それぞれに使用する素材が異なるため)

科目名	パターンメーキング	授業形態	演習	単位数	2
教員名	冨田　玲子				

授業の目的	
ねらい	ファッションの専門知識および工業用パターンメーキング技術として展開されている平面作図などの能力を養います。フラットパターンとして、ディテール別に身頃、衿、袖、スカート、パンツなどの製図原理および展開について理解するとともにファッション画からのパターンメーキングやドレーピングなどの基礎技術の理解を深めます。
到達目標	(1)フラットパターンメーキングとして身頃、衿、袖、スカート、パンツなどの製図原理が理解できる。 (2)デザイン画からのパターン製図、ドレーピングなどの基礎技術の理解を深める。 (3)コンピュータで作図を行うことができるアパレル CAD との連動によりパターンの理解を深める。

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。また、原型前身頃のダーツの方向移動法を学びます。(1/2縮尺使用) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	B	第9回	【テーマ】フラットパターンメーキング 【計画内容】ストレートパンツのパターンを学びます。(1/2縮尺使用) 【授業時間外の学修内容】パンツの作図方法を習得しておくこと。	B
第2回	【テーマ】フラットパターンメーキング 【計画内容】アンダーブラウスのパターンを学びます。(1/2縮尺使用) 【授業時間外の学修内容】テキスト、プリントを熟読しておくこと。	B	第10回	【テーマ】フラットパターンメーキング 【計画内容】フレアースカート、フレアーギャザーのパターンを学びます。(1/2縮尺使用) 【授業時間外の学修内容】スカートの作図方法を習得しておくこと。	B
第3回	【テーマ】フラットパターンメーキング 【計画内容】シャツカラーAB、台付シャツカラーA-1を学びます。(1/2縮尺使用) 【授業時間外の学修内容】テキストを熟読しておくこと。	B	第11回	【テーマ】フラットパターンメーキング 【計画内容】ティアードスカートのパターンを学びます。 【授業時間外の学修内容】スカートの作図方法を習得しておくこと。	B
第4回	【テーマ】フラットパターンメーキング 【計画内容】フラットカラー、セーラーカラーのパターンを学びます。(1/2縮尺使用) 【授業時間外の学修内容】6種類の衿について、理解を深め、確実に習得しておくこと。	B	第12回	【テーマ】フラットパターンメーキング 【計画内容】フラットパターンメーキング　(スカート、パンツ)の作図を行います。(1/2縮尺使用) 【授業時間外の学修内容】スカート、パンツの作図方法を確実に習得しておくこと。	B
第5回	【テーマ】フラットパターンメーキング 【計画内容】タイトスリーブ(半袖)、袖山ギャザーのパターンを学びます。(1/2縮尺使用) 【授業時間外の学修内容】テキスト(袖)を熟読しておくこと。	B	第13回	【テーマ】フラットパターンメーキング 【計画内容】ツーピーススリーブのパターンを学びます。(1/2縮尺使用) 【授業時間外の学修内容】プリント(2枚袖)について、熟読しておくこと。	B
第6回	【テーマ】フラットパターンメーキング 【計画内容】シャツスリーブのパターンを学びます。(1/2縮尺使用) 【授業時間外の学修内容】袖について、理解を深め、確実に習得しておくこと。	B	第14回	【テーマ】フラットパターンメーキング 【計画内容】ベストのパターンを学びます。 【授業時間外の学修内容】プリント(ベスト)を熟読しておくこと。	B
第7回	【テーマ】まとめと確認を行います 【計画内容】フラットパターンメーキング「ブラウス」のまとめを行います。(1/2縮尺使用) 【授業時間外の学修内容】ブラウスにおけるフラットパターンの作図方法を確実に習得しておくこと。	B	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】まとめと確認を行います。 【授業時間外の学修内容】前回配付したプリントを復習しておくこと。	B
第8回	【テーマ】フラットパターンメーキング 【計画内容】タイトスカートのパターンを学びます。(1/2縮尺使用) 【授業時間外の学修内容】プリント(スカート)を熟読しておくこと。	B			

テキスト	日本ファッション教育振興協会、2003年、『パターンメーキング技術検定試験3級ガイドブック』、株式会社文化カラー印刷
参考書	ドレスメーカー学院、2004年、『パターンカッティングⅠ』、ドレスメーカー出版社 ドレスメーカー学院、2004年、『パターンカッティングⅡ』、ドレスメーカー出版社

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	70%				30%	
	補足	最終				平時	

課題に関するフィードバックの方法	アイテム別にパターンを熟知し問題点をフィードバックして修正する。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	640研究室　E-Mail:reiko@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	パターンメーキングは数多く作図すること、さらに「服飾基礎実習」を履修することで、より理解が深まります。 アパレル CAD も使用しパターンメーキング技術検定の資格取得を視野に入れた授業展開をしています。

科目名	アパレルデザイン	授業形態	演習	単位数	2
教員名	森井　綾、大信田　静子				

授業の目的		
	ねらい	単なるイラストレーションではなく、服飾を学んでいる学生がコンテストに出品したり、自分が制作する服をデザインするための表現を学ぶ。これまでに洋裁やパターンメークの授業で学んだ事を生かしながら、自分が表現したい服装のデザインをデザイン画によって表現する事を目的とする。また、そのデザイン画を元に、実際に制作して行く過程を経験する事によって、作りたいファッションのデザインプロセスを考え、設計図としてのデザイン画の表現方法を学ぶ。
	到達目標	(1)人体のプロポーション・様々な種類の服が描ける様になる。 (2)いろんなポーズが描ける様になる。 (3)効果的な描写や省略表現ができるようになる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】15回の授業展開と授業内容を説明し、これまで先輩が作った作品などを紹介しながらファッションイラストレーションについて説明する。(森井綾) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておく。	A	第9回	【テーマ】非日常的なデザイン 【計画内容】20才の女性が着たいプリンセスドレスをテーマに、フォーマル系のドレスのデザインを考えてみる。(森井綾) 【授業時間外の学修内容】ブライダルや成人式の時のドレス等を、デザインの視点から見直しておく。	B
	第2回	【テーマ】服作りのアイディア 【計画内容】ファッションデザインのヒントするための様々なアイディアのアプローチや自由な発想の素材の選び方などを考えてみる。(森井綾) 【授業時間外の学修内容】アパレル以外の分野も含めた身の回りにあるデザインについて興味を持って見ておく。	A	第10回	【テーマ】ファッション画を元にしたドレスメーキング1 【計画内容】実際に制作する事を念頭に、デザイン画を描いてみる。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】前時までに行った絵画的手法を振り返っておく。	B
	第3回	【テーマ】デザイン画の描き方 【計画内容】ドローイングや絵画の授業などで学んだ内容を踏まえながら、単なるイラストではなく服作りのためのデザイン画の描き方や、人体のプロポーションと描き方を学ぶ。(森井綾) 【授業時間外の学修内容】これまでに学んだドローイングやデザイン・絵画の授業について振り返っておく。	B	第11回	【テーマ】ファッション画を元にしたドレスメーキング2 【計画内容】前時に作成したデザイン画を元に、実際に着用するサイズでのパターンメーキングを行う。時間に余裕があれば天竺布を使った仮縫いまでを目指す。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】前時までに行った絵画的手法を振り返っておく。日常生活で触れる様々なファッションや、メディアで目にするファッションなども参考にしながら、自分のデザインワークに役立てる様つとめる。	B
	第4回	【テーマ】ファッションイラストの考え方 【計画内容】通常のイラストと、ファッションイラストの違いについて考え、リメイク作品のイラストを描いてみる。 (森井綾) 【授業時間外の学修内容】古着やリメイク・小物も含めたアパレルショップで売っている商品の傾向などを振り返っておく。	B	第12回	【テーマ】ファッション画を元にしたドレスメーキング3 【計画内容】前時に作成したデザイン画を元に、実際に着用するサイズでのパターンメーキングを行う。時間に余裕があれば天竺布を使った仮縫いまでを目指す。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】前期の服飾造形実習などで学んだ縫製の手順を振り返っておく。	B
	第5回	【テーマ】素材に注目したデザイン 【計画内容】ファッションをデザインする上で、どういう素材を選択するか、また素材を生かすにはどの様なフォルムが良いのかを、先輩たちやプロデザイナーの作品などを参考にして考える。(森井綾) 【授業時間外の学修内容】日用品や建築資材など、本来ファッションのための用途として作られていない素材を服作りに生かせないか、考えておく。	B	第13回	【テーマ】ファッション画を元にしたドレスメーキング4 【計画内容】試着補正用の布を断裁し、細部の寸法やデザインを直す。必要に応じてパターンを引きなおす。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】パターンを完成させておく	B
	第6回	【テーマ】ファッションイラストのアイディア 【計画内容】デザインの発想を形にするのがファッションイラストであるので、服を制作する上で様々な発想のヒントを考えながら、ユニフォームのデザインを考えてみる。(森井綾) 【授業時間外の学修内容】普段目にする様々なユニフォームについて、デザインの視点から見直しておく。	B	第14回	【テーマ】ファッション画を元にしたドレスメーキング5 【計画内容】断裁した本布で縫製作業に入る。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】パターンを修正し完成させる。	B
	第7回	【テーマ】様々な画材による表現の違い 【計画内容】絵の具、パステル等、マーカーや着彩する紙の種類を選んでみる等、さまざまな画材を実際に使ってみて、表現の違いを知るとともに、水彩絵の具で描写する際の上手な描き方について学ぶ。(森井綾) 【授業時間外の学修内容】これまでに学んだデザイン・絵画等のテクニックについて振り返っておく。	B	第15回	【テーマ】仕上げ 【計画内容】縫製を仕上げ、作品を完成させる。(大信田静子) 【授業時間外の学修内容】前時までの作業が遅れている人は、完成できるところまで作業を進めておく。	B
	第8回	【テーマ】本格的なイラストレーションを描くために必要な事 【計画内容】パネルの水張りの手法を学び、前時までに行った描写の方法をいろいろと試しながらデザイン画を描いてみる。 (森井綾) 【授業時間外の学修内容】前時までに学んだドローイング・絵画作成の手法を振り返っておく。他の服飾系の授業で制作するデザインワークにも、これらを生かせるようにこころがける。	B			

テキスト	適宜指示します。
参考書	適宜指示します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分				62%	38%	
補足					平時	

課題に関するフィードバックの方法	Teams で質問などを受け付けます

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	実際にドレスを制作するところまで行いますので、「ファッションデザイン概論」「服飾基礎実習」「パターンメーキング」などのファッション分野の授業を事前に履修してください。また、「ドローイングⅠ・Ⅱ」「絵画」「グラフィックデザイン」などの授業も、是非履修してください。必要用具：鉛筆、消しゴム、水彩画道具他。

科目名	彫刻Ⅰ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	山下　圭介				

授業の目的		
	ねらい	現在、芸術における彫刻という領域は様々な他領域と複雑にからみ合いながら成り立っている。その上で、彫刻で何ができるのか思考する作業が重要であると考えられる。自身の行為が彫刻を作り上げる上で重要な役割を担っていることを理解し、受講生自身のコンセプトの形成を行いながら、塑像作品の制作課題を通じて多角的な観察力を身につけることを目的としている。
	到達目標	(1)粘土の扱い方を習得する。 (2)型取りの知識を習得する。 (3)モデリングの技法を習得する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】オリエンテーションを行った後、小課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A･B･E･L	第9回	【テーマ】課題Ⅱ「陰刻鋳造」② 【計画内容】陰刻鋳造の課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B･E
	第2回	【テーマ】課題Ⅰマスク模刻：芯棒 【計画内容】塑造(マスク)の芯棒制作、粘土練りについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B･E	第10回	【テーマ】課題Ⅱ「陰刻鋳造」③ 【計画内容】陰刻鋳造の課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B･E
	第3回	【テーマ】課題Ⅰマスク模刻：粘土荒付け① 【計画内容】塑造(マスク)の粘土粗付け：を行います。主に「量感(マッス)」について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B･E	第11回	【テーマ】課題Ⅱ「陰刻鋳造」④ 【計画内容】制作した粘土型に石膏を流しこみ、その後自身が作った作品を鑑賞します。 【授業時間外の学修内容】授業時までに課題作品を完成させておいてください。	B･E
	第4回	【テーマ】課題Ⅰマスク模刻：粘土荒付け② 【計画内容】塑造(マスク)の粘土粗付け：を行います。主に「ムーブメント」について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B･E	第12回	【テーマ】課題Ⅲ「風景をつくる」① 【計画内容】自分の手をモチーフに塑像を作り、既製品と組みわせることで予め設定した状景やストーリーを表現します。 課題の説明を行った後、芯棒づくりを行います。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	A･B･E
	第5回	【テーマ】課題Ⅰマスク模刻：粘土荒付け③ 【計画内容】塑造(マスク)の粘土粗付け：を行います。主に「構造」について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B･E	第13回	【テーマ】課題Ⅲ「風景をつくる」② 【計画内容】構課題作品の想を深め、粘土粗付け：を行います。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B･E
	第6回	【テーマ】課題Ⅰマスク模刻：粘土仕上げ① 【計画内容】塑造(マスク)の粘土粗付け：を行います。主に「フォルム」について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B･E	第14回	【テーマ】課題Ⅲ「風景をつくる」③ 【計画内容】粘土粗付け：を行います。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B･E
	第7回	【テーマ】課題Ⅰマスク模刻：粘土仕上げ② 【計画内容】塑造(マスク)の粘土粗付け：を行います。主に「ディテール」について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B･E	第15回	【テーマ】課題Ⅲ「風景をつくる」講評／授業まとめ 【計画内容】課題Ⅲの作品を用いてプレゼンテーションを行ってもらい、講評をします。 【授業時間外の学修内容】課題の報告書を作成し、プレゼンテーションの準備をしてください。	A･F
	第8回	【テーマ】課題Ⅱ「陰刻鋳造」① 【計画内容】型取り技法についてスライド学習した後、自身の顔をモチーフに陰刻鋳造の課題に取り組みます。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	A･B･E			

テキスト	プリントを使用します。 講義時に説明します。
参考書	文部科学省、2010年、『中学校学習指導要領解説 美術編』、日本文教出版 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領解説 芸術編』、日本文教出版 藤井匡、2014年、『現代彫刻の方法』、美術出版

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%	30%	40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	プレゼンテーション時に講評し、提出した報告書にフィードバックコメントをします。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	中学校教諭、教育学部非常勤講師
		科目との関連	教員経験を活かし、彫刻分野における美術教育の可能性、及び用具の適切な使用方法を教授します。

質問への対応	Teams のチャットもしくは PC アドレス yama.k@hokusho-u.ac.jp にて受付ます。
資格	[芸]中･高1種(美術)_必修
その他	本科目は二つのグループに別れて授業を行います。人数を均等に分けるために登録時間を変更してもらう可能性があります。 制作に適した服装で受講してください。 受講人数によって材料費を集める可能性があります。詳細は授業初回時に説明します。 授業の進行状況によって第16回目にプレゼンテーション試験を行う場合もあります。

科目名	彫刻Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	山下　圭介				

授業の目的		
	ねらい	彫刻Ⅰの授業をふまえて、本授業では立体造形の基礎となるモデリング技法の習得を目指す。モデルをモチーフとした塑像課題に取り組み、ただ形を模刻するのではなく、受講者独自の視点で造形を解釈し、作品として完成させる技術を身につける。 後半の課題では様々彫刻作品を鑑賞し、その作家のオマージュ作品を制作することでその作家の表現方法や特徴を理解する。
	到達目標	(1)自己の表現方法の確立 (2)観察力(構造理解・背景想像)を身につける (3)美術作家の表現やコンセプト形成の過程を理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】オリエンテーションを行った後、クラス分け及び第二回目授業の準備をします。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A・B・E・L	第9回	【テーマ】課題Ⅰ頭像:プレゼンテーション 【計画内容】課題Ⅰの作品を用いてプレゼンテーションを行い、講評をします。 【授業時間外の学修内容】授業までに作品を完成させ、プレゼンテーションの準備をしておいてください。	F
	第2回	【テーマ】課題Ⅰ頭像:芯棒 【計画内容】モデルを使った頭像を制作します。頭像用の心棒作りと塑像用粘土の準備を行います。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B・E	第10回	【テーマ】課題Ⅱオマージュ作品:課題説明 【計画内容】課題の対象となる作品鑑賞をします。 【授業時間外の学修内容】次回授業時まで作品構想をまとめたドローイングを作成しておいてください。	B・E
	第3回	【テーマ】課題Ⅰ頭像:粘土荒付け① 【計画内容】塑像課題に取り組み、粘土荒づけを行います。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B・E	第11回	【テーマ】課題Ⅱオマージュ作品:対象作家・作品研究 【計画内容】対象となる作品・作家の研究を行い、材料や制作方法の実験を行います。 【授業時間外の学修内容】授業時までに課題作品を完成させておいてください。	B・E
	第4回	【テーマ】課題Ⅰ頭像:粘土荒付け② 【計画内容】塑像課題に取り組み、粘土荒づけを行います。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B・E	第12回	【テーマ】課題Ⅱオマージュ作品:制作① 【計画内容】課題作品を制作します。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	A・B・E
	第5回	【テーマ】課題Ⅰ頭像:粘土荒付け③ 【計画内容】塑像課題に取り組み、粘土荒づけを行います。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B・E	第13回	【テーマ】課題Ⅱオマージュ作品:制作② 【計画内容】課題作品を制作します。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B・E
	第6回	【テーマ】課題Ⅰ頭像:粘土荒付け④ 【計画内容】塑像課題に取り組み、粘土荒づけを行います。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B・E	第14回	【テーマ】課題Ⅱオマージュ作品:制作③ 【計画内容】課題作品を制作します。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B・E
	第7回	【テーマ】課題Ⅰ頭像:仕上げ① 【計画内容】塑像課題に取り組み、細部仕上げを行います。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	B・E	第15回	【テーマ】課題Ⅱ「オマージュ」講評 / 授業まとめ 【計画内容】課題Ⅱの作品を用いてプレゼンテーションを行ってもらい、講評をします。 【授業時間外の学修内容】課題の報告書を作成し、プレゼンテーションの準備をしてください。	A・F
	第8回	【テーマ】課題Ⅰ頭像:仕上げ② 【計画内容】塑像課題に取り組み、細部仕上げを行います。 【授業時間外の学修内容】配付のプリント資料を確認し理解を深めてください。	A・B・E			

テキスト	プリントを使用します。 講義時に説明します。
参考書	文部科学省、2010年、『中学校学習指導要領解説 美術編』、日本文教出版 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領解説 芸術編』、日本文教出版 藤井匡、2014年、『現代彫刻の方法』、美術出版

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%	30%	40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	プレゼンテーション時に講評し、提出した報告書にフィードバックコメントをします。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	中学校教諭、教育学部非常勤講師
		科目との関連	教員経験を活かし、彫刻分野における美術教育の可能性、及び用具の適切な使用方法を教授します。

質問への対応	Teams のチャットもしくは PC アドレス yama.k@hokusho-u.ac.jp にて受付ます。
資格	[芸]中・高1種(美術)_必修
その他	本科目は「彫刻Ⅰ」の授業をふまえて展開していきます。本科目を受講する上で事前に「彫刻Ⅰ」を履修しておくことが望ましいです。尚、免許履修の関係やその他の事情でやむを得ずこの科目を先に履修する場合は事前に連絡をしてください。 制作に適した服装で受講してください。 受講人数によって材料費を集める可能性があります。詳細は授業初回時に説明します。 授業の進行状況によって第16回目にプレゼンテーション試験を行う場合もあります。

科目名	ダンス	授業形態	実技	単位数	1
教員名	村松　幹男、田　光子、平井　伸之、竹内　聡実				

授業の目的	ねらい	ダンスを通して、コミュニケーションや表現することについて考察する。 主に、ヒップホップ、ジャズダンスなど、集団で踊ることを中心に行いその基本的な動きを習得する。 なお、この授業は、札幌円山キャンパスにおいて、履修する学生を被験者として位置づけた舞台芸術研究グループの実践的研究の場である。今期は、舞台芸術製作の俳優分野を「俳優トレーニング」、「ダンス」で、スタッフ分野を大学は「スタッフワーク」、短大は「演劇入門Ⅰ」で担い、基本的な知識・技能の習得をめざす。もちろん、舞台芸術製作においては、俳優分野とスタッフ分野は相互補完関係にあるのでそれぞれの科目を単独で履修することを認めていない。主にグループ学習を中心として行い、「コミュニケーション能力」や「チームとして協働する能力」を身につけていくことをめざす。
	到達目標	(1)ヒップホップ、ジャズダンスの基本的な動きを習得する。 (2)ダンス表現について考えることができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の進め方について学ぶ。ウォーミングアップの方法を学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A・E	第9回	【テーマ】作品つくり① 【計画内容】集団で踊るダンス作品を創作する(構想、企画)。(田光子・竹内聡実) 【授業時間外の学修内容】創作するダンスの構想・企画を準備すること。	B・E・H
第2回	【テーマ】ダンス(ヒップホップ・ジャズ)の基本的な動き① 【計画内容】ダンスの基本的な動きについて学ぶ。(田光子・竹内聡実) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。	E	第10回	【テーマ】作品つくり② 【計画内容】集団で踊るダンス作品を創作する(具体的な振り付け)。(竹内聡実) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。具体的な振り付けを事前に考えてくること。	B・E・H
第3回	【テーマ】ダンス(ヒップホップ・ジャズ)の基本的な動き② 【計画内容】ダンスの基本的な動きについて学ぶ。(竹内聡実) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。	E	第11回	【テーマ】作品つくり③ 【計画内容】集団で踊るダンス作品を創作する(具体的な振り付け)。(竹内聡実) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。稽古すること。	B・E・H
第4回	【テーマ】ダンスの歴史とジャンル① 【計画内容】ダンスの歴史を概観し、それぞれのジャンルの特徴を学ぶ。(田光子・平井伸之) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。	A・H	第12回	【テーマ】作品つくり④ 【計画内容】集団で踊るダンス作品を創作する(具体的な振り付け)。(竹内聡実) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。稽古すること。	B・E・H
第5回	【テーマ】ダンスの歴史とジャンル② 【計画内容】ダンスの歴史を概観し、それぞれのジャンルの特徴を学ぶ。(田光子・村松幹男) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。	A・H	第13回	【テーマ】作品つくり⑤ 【計画内容】集団で踊るダンス作品を創作する(作品の仕上げに向けて)。(竹内聡実) 【授業時間外の学修内容】練習しておくこと。	B・E・H
第6回	【テーマ】ジャズダンス 【計画内容】ジャズダンスの基本的な動きを学び、集団で表現する。(竹内聡実) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。	E	第14回	【テーマ】作品の発表 【計画内容】発表と振り返り。講評。(全教員) 【授業時間外の学修内容】発表に向けた準備をしておくこと。	B・E・H
第7回	【テーマ】ヒップホップ 【計画内容】ヒップホップの基本的な動きを学び、集団で表現する。(竹内聡実) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。	E	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】作品の修正発表と、授業のまとめ。(田光子・平井伸之・村松幹男) 【授業時間外の学修内容】修正発表に向けた準備をしておくこと。	L
第8回	【テーマ】ヒップホップ① 【計画内容】ヒップホップの基本的な動きを学び、集団で表現する。(竹内聡実) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。	E			

テキスト	講義時に説明します。
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	30%	30%	10%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、第15回の「振り返りと確認」時に行う。		
実務経験と授業の関連	該当	経験内容	竹内聡実 / ダンススタジオ主宰
		科目との関連	竹内聡実 / ダンススタジオ主宰としての経験を活かした指導
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。		
資格			
その他	俳優分野を学ぶ「俳優トレーニング」、「ダンス」そしてスタッフ分野を学ぶ「スタッフワーク」は必ず履修しなければならない。先に述べたように、舞台芸術製作において俳優分野とスタッフ分野は相互補完的関係にあるので、単位認定は連動して行われ、1科目だけとか2科目だけの単位認定は行わない。動ける格好で受講すること。 本授業は北翔大学北方圏学術情報センターにおける被験授業である。		

科目名	俳優トレーニング	授業形態	実習	単位数	1
教員名	平井　伸之、村松　幹男				

授業の目的		
	ねらい	俳優にとって必要なトレーニング(呼吸法、発声法、筋力、柔軟、感情表現など)について理論と実践を学ぶ。また、インプロビゼーションやシーンレッスンなどを行う。 なお、この授業は、札幌円山キャンパスにおいて、履修する学生を被験者として位置づけた舞台芸術研究グループの実践的研究の場である。今期は、舞台芸術製作の俳優分野を「俳優トレーニング」、「ダンス」で、スタッフ分野を大学は「スタッフワーク」、短大は「演劇入門Ⅰ」で担い、基本的な知識・技能の習得をめざす。もちろん、舞台芸術製作においては、俳優分野とスタッフ分野は相互補完関係にあるのでそれぞれの科目を単独で履修することを認めていない。主にグループ学習を中心として行い、「コミュニケーション能力」や「チームとして協働する能力」を身につけていくことをめざす。
	到達目標	(1)呼吸法についての基本的な理解がある。 (2)発声法についての基本的な理解がある。 (3)体幹トレーニング、ストレッチに関して基本的な理解がある。 (4)感情表現について基本的な理解がある。 (5)インプロビゼーションの基本的なゲームについて理解している。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の進め方について説明する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】器具を使ったトレーニング① 【計画内容】バランスボール、ロープを使ったトレーニングについて体験する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。	E
第2回	【テーマ】呼吸法について・発声法について① 【計画内容】呼吸法、発声法について学ぶ。またリラクゼーションについても学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】プリントを読んでおくこと。	E	第10回	【テーマ】器具を使ったトレーニング② 【計画内容】バランスボール、ロープを使ったトレーニングについて体験する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。	E
第3回	【テーマ】呼吸法について・発声法について② 【計画内容】呼吸法、発声法について学ぶ。またリラクゼーションについても学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。	E	第11回	【テーマ】インプロビゼーション① 【計画内容】インプロビゼーションの基本的なゲームについて学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。	B・E・H
第4回	【テーマ】体幹トレーニング 【計画内容】体幹トレーニング(ピラティス－臨時講師を招く予定－)について学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。	E	第12回	【テーマ】インプロビゼーション② 【計画内容】インプロビゼーションの基本的なゲームについて学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。	B・E・H
第5回	【テーマ】体幹トレーニング・ストレッチ① 【計画内容】体幹トレーニングの復習、動的・静的ストレッチについて学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。	E	第13回	【テーマ】シーンレッスン① 【計画内容】短いシーンを実際に演じ、感情表現、他者との関係性について学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。	B・E・H
第6回	【テーマ】体幹トレーニング・ストレッチ② 【計画内容】体幹トレーニング、動的・静的ストレッチについて学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。	E	第14回	【テーマ】シーンレッスン② 【計画内容】短いシーンを実際に演じ、感情表現、他者との関係性について学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。	B・E・H
第7回	【テーマ】体幹トレーニング・ストレッチ③ 【計画内容】体幹トレーニング、動的・静的ストレッチについて学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。	E	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】俳優にとって必要なトレーニングについてまとめる。(全教員) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。	L
第8回	【テーマ】トレーニングプランの作成 【計画内容】自分自身のトレーニングプランを作成する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。	B			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	30%	30%	10%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、第15回の「振り返りと確認」時に行う。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	講義時に説明します。
資格	
その他	俳優分野を学ぶ「俳優トレーニング」、「ダンス」そしてスタッフ分野を学ぶ「スタッフワーク」は必ず履修しなければならない。先に述べたように、舞台芸術製作において俳優分野とスタッフ分野は相互補完的関係にあるので、単位認定は連動して行われ、1科目だけとか2科目だけの単位認定は行わない。動ける格好で受講すること。 本授業は北翔大学北方圏学術情報センターにおける被験授業である。

科目名	スタッフワーク	授業形態	演習	単位数	2
教員名	村松　幹男、田　光子、平井　伸之、五ノ井　浩、鈴木　静悟、高村　由紀子、冨井　昭次、服部　正巳、藤原　宏行、干場　美恵子、百瀬　俊介				

授業の目的		
	ねらい	演劇に関する基本的な知識・技能を学ぶ。特にスタッフの役割についての基本的な事柄を学ぶ。 なお、この授業は、札幌円山キャンパスにおいて、履修する学生を被験者として位置づけた舞台芸術研究グループの実践的研究の場である。今期は、舞台芸術製作の俳優分野を「俳優トレーニング」、「ダンス」で、スタッフ分野を大学は「スタッフワーク」、短大は「演劇入門Ⅰ」で担い、基本的な知識・技能の習得をめざす。もちろん、舞台芸術製作においては、俳優分野とスタッフ分野は相互補完関係にあるのでそれぞれの科目を単独で履修することを認めていない。主にグループ学習を中心として行い、「コミュニケーション能力」や「チームとして協働する能力」を身につけていくことをめざす。
	到達目標	(1)演劇の基本用語を理解している。 (2)ホールの舞台機構について知っている。 (3)演劇発表に必要なスタッフの基本的知識、技能、役割を知っている。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業に関する説明をする。 (村松幹男・平井伸之・田光子・五ノ井浩・鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。北翔舞台芸術の目標について復習しておくこと。	B・E・H	第9回	【テーマ】音響② 【計画内容】音響に関する基礎的な知識を学ぶ。 (平井伸之・五ノ井浩・服部正巳・百瀬俊介・冨井昭次) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	A
第2回	【テーマ】舞台機構について 【計画内容】舞台機構について説明する。また、安全対策についても学ぶ。 (平井伸之・五ノ井浩・鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	B・E・H	第10回	【テーマ】音響③ 【計画内容】音響の仕込み方について学ぶ。(五ノ井浩・鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介・冨井昭次) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	B・E・H
第3回	【テーマ】舞台美術① 【計画内容】舞台で使用する平台、箱馬、幕、紐の扱い方について学ぶ。 (村松幹男・五ノ井浩・鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介・高村由紀子) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	B・E・H	第11回	【テーマ】メイク① 【計画内容】舞台メイクの基本的な知識を学ぶ。(田光子・藤原宏行) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	A・E
第4回	【テーマ】舞台美術② 【計画内容】舞台美術で使用する道具や用語を学ぶ。 (五ノ井浩・鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介・高村由紀子) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	A・E	第12回	【テーマ】メイク② 【計画内容】舞台メイクの考え方を学ぶ。(田光子・五ノ井浩・鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介・藤原宏行) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	A・E
第5回	【テーマ】照明① 【計画内容】舞台照明の機材について学ぶ。(村松幹男・五ノ井浩・鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	B・E・H	第13回	【テーマ】舞台衣装 【計画内容】舞台衣装の基本的な考え方を学ぶ。照明との関係を学ぶ。(田光子・鈴木静吾・干場美恵子) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	A
第6回	【テーマ】照明② 【計画内容】照明に関する基礎的な知識を学ぶ。 (村松幹男・五ノ井浩・鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】舞台監督、制作、そして演出 【計画内容】舞台監督とはどのような仕事をするのか、制作はどのような仕事をするのか、演出はどのような仕事をするのか、その基本的な事柄について学ぶ。(村松幹男・五ノ井浩・鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	A
第7回	【テーマ】照明③ 【計画内容】基本的な照明の仕込み方について学ぶ。 (五ノ井浩・鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	B・E・H	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】この授業のまとめを行う。(平井伸之・田光子・五ノ井浩・鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	L
第8回	【テーマ】音響① 【計画内容】舞台の音響機材について学ぶ。(平井伸之・五ノ井浩・鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	B・E・H			

テキスト	講義時に説明します。
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	30%	30%	10%		30%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、第15回目の「振り返りと確認」時に行う。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	五ノ井浩 / ホール勤務　鈴木静悟 / 照明家　高村由紀子 / 舞台美術家　冨井昭次 / 元音楽スタジオ経営　服部正巳 / 舞台関連会社経営　藤原宏行 / メイクアップアーティスト　干場美恵子 / 照明家　百瀬俊介 / 音響家
		科目との関連	各講師の実務経験を活かした指導

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	俳優分野を学ぶ「俳優トレーニング」、「ダンス」そしてスタッフ分野を学ぶ「スタッフワーク」は必ず履修しなければならない。先に述べたように、舞台芸術製作において俳優分野とスタッフ分野は相互補完的関係にあるので、単位認定は連動して行われ、1科目だけとか2科目だけの単位認定は行わない。動ける格好で受講すること。 本授業は北翔大学北方圏学術情報センターにおける被験授業である。 第16回に筆記試験と実技試験を行う。

科目名	朗読・ナレーション	授業形態	演習	単位数	2
教員名	松本　直人				

授業の目的

ねらい

さまざまな日本語の文章(文字表現)にふれ、声を中心とする朗読表現の可能性を実践の中で多面的に考え、関連して発声・発音等の基礎面も学ぶ。基本的には、ライブパフォーマンスとしての朗読表現(ライブリーディング)に実際に取り組み、声以外の要素も意識することになる。声優等の録音メディア系表現とはやや異なるので、その点を理解して履修されたい。終盤には学内向け発表会も実施。均一な「正しい読み方」ではなく個々に応じた「豊かな読み方」を探る。
なおナレーションについては、朗読の実践に関連づけそれとの相違に着目させて特性の理解を促す。
以下の授業計画・展開方法は、履修生の人数等に対応して変更する場合がある。

到達目標

(1)文章等の書き言葉を声にして伝えることの多様性と可能性を認識する。
(2)声の仕組みを理解し、より豊かな使い方を探っていく。
(3)ライブリーディングの場における声以外の要素について理解する。
(4)各自にとってのより豊かな読み方を探っていく視点を持つ。
(5)ライブリーディングとナレーションの相違を理解する。

授業の計画

第1回	【テーマ】授業ガイダンス 【計画内容】授業の目的や授業展開のスタンスを理解し、短い文章を実際に読んでみる。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A・E・G	第9回	【テーマ】朗読の実践(2)「絵本」 【計画内容】文字以外の要素が伴う作品の読みの可能性を探る。絵本における声を加えた表現のあり方を探る。 【授業時間外の学修内容】見本絵本、または各自で選んだ絵本を下読みし、練習しておくこと。	E・G
第2回	【テーマ】朗読の基礎(1)「短編小説」<1> 【計画内容】発声基本。短編小説を読み聴きして、声にすることの基本を意識する。 【授業時間外の学修内容】前回配付予定の小説を下読みして、言葉の意味など下調べもしておくこと。	A・E・G	第10回	【テーマ】朗読の実践(3)「リトライほか」 【計画内容】これまでに触れた課題の中から改めて朗読実践したいものにリトライする。 【授業時間外の学修内容】これまでの課題の中から改めて読みたいものを選び、準備しておく。	A・E・H・G
第3回	【テーマ】朗読の基礎(2)「短編小説」<2> 【計画内容】発声の基本を知る。短編小説を読み聴きして、声にすることの基本をより意識する。 【授業時間外の学修内容】前々回配付予定の小説を前回の授業を参考に、イメージしながら読む練習をしておくこと。	A・E・G	第11回	【テーマ】朗読の実践(4)「発表会に向けた取り組み」<1> 【計画内容】各自が自主的に選んだ作品(一人当り5分程度・受講人数等により多少変化)を不特定多数の前で発表するための練習・アドバイス。※第8回～第11回の組み立てについては、履修人数によって修正する場合がある。 【授業時間外の学修内容】発表会で読むものを決めるため、これまでの指摘をふまえて候補作品を見つけて練習しておくこと。	E・G
第4回	【テーマ】朗読の基礎(3)「童話」<1> 【計画内容】発声の仕組みを知る。童話を読み聴きして、読むことや基本的な手法を理解していく。 【授業時間外の学修内容】前回配付予定の童話を下読みし、イメージしながら読む練習をしておくこと。	A・E・G	第12回	【テーマ】朗読の実践(5)「発表会に向けた取り組み」<2> 【計画内容】発表会に向けた練習・アドバイス。発表会流れ確認。現場確認等。 【授業時間外の学修内容】前回の指摘なども改めて意識しながら、自分なりの作品を絞り読み方を工夫しておくこと。	E・G
第5回	【テーマ】朗読の基礎(4)「童話」<2> 【計画内容】声の違いを意識する。童話を読み聴きして基本的な手法を理解し、併せてライブリーディング(朗読)とナレーションのスタンスを実践対比の中で認識する。 【授業時間外の学修内容】前々回配付予定の童話を前回の授業を参考に、よりイメージを伝えられる読み方を意識して練習しておくこと。	A・E・G・H	第13回	【テーマ】朗読の実践(6)「発表会準備」 【計画内容】発表会最終準備。現場でのリハーサル。 【授業時間外の学修内容】発表作品の読み方の方向性を決め、準備しておく。学内からの観客を集める工夫もしておくこと。	A・D・E・H・G
第6回	【テーマ】朗読の基礎(5)「詩」<1> 【計画内容】声の変化要素を意識する。詩を読み聴きして、聴き手の想像力を刺激する読み方を探る。 【授業時間外の学修内容】前回配付予定の詩を下読みし、よりイメージを伝えられる読み方を意識して練習しておくこと。	A・E・G	第14回	【テーマ】朗読の実践(7)「発表会実施」 【計画内容】多くの前で発表することで、「ライブリーディング(朗読)」の可能性を体感する。 【授業時間外の学修内容】改めて現場で新鮮に読めるように準備しておく。	E・H・G
第7回	【テーマ】朗読の基礎(6)「詩」<2> 【計画内容】各自の声の可能性を探る。持ち寄った詩を読み聴きして、声にしたときの作品世界の多様な可能性を体感していく。 【授業時間外の学修内容】各自が読みたい詩を探して、読み伝える練習しておくこと。	A・E・G	第15回	【テーマ】ライブリーディング(朗読)とナレーション等について(振り返りとまとめ) 【計画内容】各自の認識の再確認や重要ポイント等の再指摘など、振り返りとまとめ。朗読とナレーション、アナウンス等の基本的相違なども再確認する。 【授業時間外の学修内容】この講義全体を通して認識したことなどを振り返っておく。	A・G・L
第8回	【テーマ】朗読の実践(1)「エッセイ」 【計画内容】声の可能性を探る。その他のタイプの文章としてエッセイにふれ、声にするときの多様な可能性を体感していく。 【授業時間外の学修内容】前回配付予定のエッセイを下読みし、練習しておくこと。	A・E・G			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	プリントを使用します。

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		30%		10%	40%	20%
補足		課題毎に1度はリーディング発表を行う		発表会時		感想発見等レポート毎回提出必須

課題に関するフィードバックの方法	各回提出必須の感想等レポートにてやりとりする。原則的に次の授業で返信を加えて返却します。

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	読み語り(朗読)パフォーマーおよびナレーター
	科目との関連	実践経験に基づいて、朗読とナレーションの相違にも留意させながら、朗読表現への具体的アドバイスを行う。

質問への対応	各回提出必須の感想等レポートにてやりとりする。
資格	
その他	毎回、その日の授業で発見したことや感想、あれば疑問や質問などを記載して提出していただきます(必須)。

科目名	リビングデザイン論	授業形態	講義	単位数	2

教員名	小室　晴陽

授業の目的	
ねらい	建築作品やインテリア作品は、単なる住まい手のニーズだけではなく、技術・経済性・気候・風土・習慣など、さまざまな条件の結果として造りだされます。本講義では、建築空間・形態デザインと各種条件との関わりについて、また独立住宅や集合住宅における生活空間のあり方について、多くの事例を見ながら学びます。また、寸法・規模計画の基本と住居空間の計画手法について、独立住宅を中心に解説します。
到達目標	(1)建築空間・形態デザインと各種条件との関わりについて理解します。 (2)建築家が設計した住宅作品を通して、多様な住宅のあり方を学びます。 (3)独立住宅の寸法・規模計画の基本及び住宅の平面計画手法を学びます。

授業の計画						
第1回	【テーマ】講義の進め方 / 評価方法説明と様々な建築空間①(現代建築事例) 【計画内容】オリエンテーション。様々な建築作品のスライド画像を投影しその特質を解説する(主に商業空間)。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】住空間の寸法 【計画内容】建築・インテリアの各空間の寸法が人体寸法や動作寸法と強く関係していることを知る。また、各種の建材や住宅部品、モデュラー・コーディネーションについて解説する。 【授業時間外の学修内容】自分自身の各部寸法(身長、座高、両腕を広げた幅、眼高、へそ高、肩幅、各指幅など)を把握・計測しておくこと。	A
第2回	【テーマ】様々な建築空間②(現代建築事例) 【計画内容】様々な建築作品のスライド画像を投影しその特質を解説する(主に公共施設、住宅建築)。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読み、講義の中で解説する予定の建築概要を把握しておくこと。	A	第10回	【テーマ】リビング空間の家具レイアウト 【計画内容】モノの大きさを知り住空間をレイアウトする。家具類などのモノ寸法を確認し、動作寸法を意識したプランニング方法を学ぶ。100分の1でマンション住戸の家具レイアウトを描く。 【授業時間外の学修内容】前回の学習内容を復習(動作寸法の確認)しておくこと。	B
第3回	【テーマ】巨匠が設計した住宅作品の分析「安藤忠雄」 【計画内容】建築家安藤忠雄が設計した独立住宅作品を具体的に示しつつ、その建築家の作風や設計手法を解説する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。建築家:安藤忠雄の作品について書籍やインターネット等を用いて調べておくこと。	A	第11回	【テーマ】住宅の計画①(公室空間・私室空間・動線空間・水廻り空間の計画について) 【計画内容】LDK 空間の計画、私室空間の計画、収納空間、各部寸法、階段・廊下、水廻り空間の計画方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回までの学習内容を復習しておくこと。	B
第4回	【テーマ】巨匠が設計した住宅作品の分析「ル・コルビジェ、フランク・ロイド・ライト、ミース・ファン・デル・ローエ」 【計画内容】建築家ル・コルビジェやフランク・ロイド・ライトが設計した独立住宅作品を具体的に示しつつ、その建築家の作風や設計手法を解説する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。ル・コルビジェ、フランク・ロイド・ライト、ミース・ファン・デル・ローエの作品について書籍やインターネット等を用いて調べておくこと。	A	第12回	【テーマ】住宅の計画②(広さの目安と動線条件・間取り評価) 【計画内容】住宅の間取りの動線条件や規模条件について学び、既存の住宅平面をもとにプラン評価を行う。 【授業時間外の学修内容】新聞広告や住宅雑誌などで住宅やマンションの広告を調べ、掲載された間取り図(平面図)をよく見ておくこと。授業に持参してもよい。	A
第5回	【テーマ】小さな家 【計画内容】狭小敷地に建ちながらも豊かな生活空間を実現している住宅について紹介し、その空間の特徴を解説する。題材:「最小限住宅」、「塔の家」、「シュレーダー邸」、「コルビジェ小さな家」など。 【授業時間外の学修内容】講義で取り上げる予定の作品について、あらかじめインターネット等で調べておくこと。	A	第13回	【テーマ】住宅の計画③(条件を満足する間取りを描く)課題 :2階建て住宅のプランニング 【計画内容】課題説明、作図のルール確認、参照プランをもとに間取り図を描いてみる。 【授業時間外の学修内容】住宅平面の動線条件、規模条件について復習し、プランを読み込むトレーニングをしておくこと。	B
第6回	【テーマ】集合住宅住戸 【計画内容】集合住宅の建築的・空間的な構成や都心居住・コンパクトシティー・省エネルギーの面でのメリット、人々が密度高く集まって住むことから生まれるコミュニティ形成や生活のあり方についてなど、集住化の多様な可能性について考える。 【授業時間外の学修内容】アクセス形式による集合住宅の分類について、あらかじめ調べておくこと。	A	第14回	【テーマ】住宅の計画④(条件を満足する間取りを描く)課題 :2階建て住宅のプランニング 【計画内容】1階と2階の平面の収容部分を完成させる。作図中の住宅プランを動線条件や規模条件から支障がないかチェックする。課題 :2階建て住宅のプランニングを完成させ、提出する。 【授業時間外の学修内容】課題の進捗状況に応じて適宜、作図を進めておくこと。	B
第7回	【テーマ】街並み景観・家並み 【計画内容】ヨーロッパの日本の各都市の景観の違い、積雪寒冷地と温暖な地域の家並みの違いなど、特徴的な都市風景や住宅地景観が生まれた要因を探りながら、住宅の集合によってつくられる街の風景のあり方について考える。 【授業時間外の学修内容】積雪寒冷地における住宅地景観の特徴について、あらかじめ考えておくこと。	A	第15回	【テーマ】本講義のまとめ 【計画内容】本講義で学び習得してきた内容について振り返り講義全体をまとめつつ、これからの住空間のあり方を考える。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習内容を再確認しておくこと。	A
第8回	【テーマ】住宅のハードウェア 【計画内容】住宅はさまざまな建材や構造材、台所・浴室・トイレ・照明などの住宅設備で構成され、それらの多くは工業化され部品化されている。住宅をつくりあげているこれらの建材や部品について解説する。 【授業時間外の学修内容】住宅設備のショールームへの訪問、あるいは住宅設備のカタログパンフレットなどに目を通しておくこと。	A				

テキスト	自作プリントを配付します。
参考書	福田健策・高梨亮子、2003年、『専門士課程建築計画』、学芸出版社、9784761523046 〈建築のテキスト〉編集委員会編、2000年、『初めての建築計画』、学芸出版社、9784761530907

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	課題の提出返却時や課題展示の際にコメントを伝えます。

実務経験と授業の関連			
該当	経験内容	企業内建築部門での一級建築士としての建築設計職
	科目との関連	建築設計の実務経験を活かし、住空間のデザイン手法・規模寸法計画の方法について教授する。

質問への対応	毎回の講義の中で適宜対応します。オフィスアワー(質問を受けるために研究室(120研)に待機する時間)を利用して気軽に来訪し質問をしてください。
資格	[芸]1級建築士_必修・2級建築士_選必、インテリアプランナー_選必
その他	学んだ内容を振り返りながら、提出された課題等に対してコメントを伝えます。

教科及び
教職に関する科目

科目名	教育原理	授業形態	講義	単位数	2
教員名	井上　大樹				

授業の目的	
ねらい	様々な教育職に通底する、教育に関する基本的な知見（歴史、法制度、学問領域、現代的課題など）を得る。中でも、学習する一人ひとりの権利が様々な教育実践によって内実が深まってきた経緯に重点をおく。講義全体をとおして、具体的な教育問題や教育実践を取りあげ、理論と実践を結ぶ視点を育む。
到達目標	(1)自分が目指す教育職との関わりを認識する。 (2)教育の基本的概念や教育の本質及び目標を、教育を成り立たせる要素とそれらの相互関係を理解する。 (3)教育に関する代表的な教育家の思想と理念や実際の学校との関わりを理解する。 (4)家族と社会の教育の歴史、近代教育制度の成立と展開を理解する。 (5)歴史的な視点を含めた現代社会における教育課題を理解する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション／教育（学）とは何か 【計画内容】授業展開、学生の到達（行動）目標、成績評価方法などについて理解する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で学びたいことを整理して、関連する資料を調べておくこと。	A・K	第9回	【テーマ】「学力」とは何か(1)：測定方法の変遷と日本の課題 【計画内容】PISA をはじめとする国際的な学力調査の整備に伴い、明らかになった日本の課題について理解する。 【授業時間外の学修内容】「全国学力調査」（国語、算数・数学）の問題を入手し、解きながら内容を検討すること。	B・K・L
第2回	【テーマ】教育の本質と目標 【計画内容】義務教育未了者の苦労と学ぶ喜びを実感している姿から、これまでの自分の学びへの姿勢を見直す。 【授業時間外の学修内容】事前配付資料を熟読すること。	A・J・L	第10回	【テーマ】「学力」とは何か(2)：「学力向上」の授業づくりの要点 【計画内容】学力の定義、望まれる学力について日本の教育政策の重点を確認した上で、社会的要請（人間力など）との関連を理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト1. 第2章、第11章を読み、わからない語句は事前に調べておくこと。	A・K・L
第3回	【テーマ】代表的な教育家の思想と現代の教育観 【計画内容】教育観（教育に対する基本的な考え方）の歴史を人物および社会的背景を交えて理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト1. 第1章を読み、わからない語句は事前に調べておくこと。	A・K・L	第11回	【テーマ】生徒の人間関係の現状と生徒指導・生活指導の原理 【計画内容】子どもたちの仲間づくりの現状について理解を深め、生徒指導の重要性について理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト1. 第10章を読み、わからない語句は事前に調べておくこと。	A・J・L
第4回	【テーマ】家族と社会による教育の歴史 【計画内容】家族や（地域）社会の教育的（子育て）機能の変遷を理解する。 【授業時間外の学修内容】事前配付資料を熟読すること。	A・K・L	第12回	【テーマ】学校における道徳教育の意義 【計画内容】特別な教科としての道徳教育の位置づけを歴史的経緯を踏まえて理解する。また、高校で新設される「公共」の意義についても理解する。 【授業時間外の学修内容】自分たちが受けてきた道徳教育について振り返り、意義と課題についてまとめること。	A・K・L
第5回	【テーマ】家庭や子どもに関わる教育の思想 【計画内容】多様化する家庭教育の価値観にそれぞれ通底する思想的ルーツを理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト1. 第3章を読み、わからない語句は事前に調べておくこと。	A・K・L	第13回	【テーマ】学校教育と生涯学習・社会教育 【計画内容】生涯学習の視点から、社会教育の実際と意義について明らかにし、学校教育との連携の今日的課題を考える。 【授業時間外の学修内容】テキスト1. 第12章を読み、わからない語句は事前に調べておくこと。	A・K・L
第6回	【テーマ】近代学校の成立から高等教育の大衆化まで 【計画内容】現在の学校教育の充実について、普通教育の制度整備や大学大衆化の社会的ニーズの視点から理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト1. 第5章を読み、わからない語句は事前に調べておくこと。	A・K・L	第14回	【テーマ】変容する社会と教育問題 【計画内容】子育て家庭の貧困、格差社会、若者の就職難、多文化共生など変容する社会が抱える問題が教育にどのように影響（問題化）するかを具体的事例などから検討する。 【授業時間外の学修内容】前時（第13回）に指定されたキーワードについて班内で分担して調べておくこと。	A・F・L
第7回	【テーマ】教育問題から見る現在の学校制度、学校文化 【計画内容】現在の教育問題に潜む、学校の「あたりまえ」（制度の基本概念、文化）について知り、問い直す視点をもつ。 【授業時間外の学修内容】現代の学校教育にまつわる問題について最近の新聞・雑誌記事から調べておくこと。	F・K・L	第15回	【テーマ】教育専門職として探求すべき教育学（まとめとふりかえり） 【計画内容】教育学の基本的な考え方についてまとめ、意見交流を踏まえ自分の見解をまとめる。 【授業時間外の学修内容】第2回～第14回の授業内容について、残された疑問についてあらかじめ調べたり質問したりすること。	G
第8回	【テーマ】学校や学習に関わる教育の思想 【計画内容】教育課程編成の原理や授業における児童の位置づけについての主な理論について理解する。 【授業時間外の学修内容】テキスト1. 第4章を読み、わからない語句は事前に調べておくこと。	A・K・L			

テキスト	勝野正章・庄井良信、2015年、『問いからはじめる教育学』、有斐閣、9784641150140 文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　総則編』、東山書房、9784827815597 文部科学省、2019年、『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説　総則編』、東洋館出版社、9784491036397
参考書	筒井美紀・遠藤野ゆり、2013年、『教育を原理する』、法政大学出版局、9784588680076 降旗信一編、2017年、『持続可能な地域と学校のための学習社会文化論』、学文社、9784762026973 児美川孝一郎、2015年、『まず教育論から変えよう』、太郎次郎社エディタス、9784811807812

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			55%		15%	30%
補足			ワークシート（予習も含む）		自主学習・議論など	学習のまとめ（復習を含む）

課題に関するフィードバックの方法	毎回のワークシートを添削の上、返却します。全体に共通する注意点（事実誤認、誤字など）があれば、随時注意喚起のアナウンスを行います。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[芸]中・高1種（美術）_必修　[教]養教1種_必修、中・高1種（音楽）_必修、社会福祉主事_選必
その他	「学習のまとめ」は第15回に実施（遠隔授業の場合は第13回～第15回に分けて実施）。 教育への実践的理解を深めるために、教育雑誌の講読及び教育系研究会・学会の参加を推奨する。

科目名	教職概論			授業形態	講義	単位数	2
教員名	礒島　年成						
授業の目的	ねらい	講義では、教師として必要な知識や技能を学ぶとともに、教師の仕事の内容について理解を深め、教師としての資質・能力を磨きます。また、現在の教育の課題に対してどう向き合っていくとよいのかを書籍・新聞や学校現場の情報等を基に考察していきます。そして、講義の過程においては、自分が教師となったことを想定して主体的に考えたり、意見をレポートに表したりしていきます。						
	到達目標	(1)教育・教職に関する基本的な内容と意義を理解できる。 (2)教職の使命と責任感を理解し、自らの適性について自覚をもてる。 (3)求められる教師像を理解し、目指す教師像と具体的な課題を説明できる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の主な内容、教育・教職に関する用語の理解や受講の際の学び方等について確かめます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L	第9回	【テーマ】教師の仕事と役割③ 【計画内容】児童の問題等としての「いじめ」・「虐待」について取り上げ、実態と対応の仕方について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L	
	第2回	【テーマ】教員養成と教育課程 【計画内容】教師を目指して学ぶ内容の把握をします。学習指導要領から教育課程について確認し、教員免許を取得する意義・重要性などの基礎的なことを学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L	第10回	【テーマ】教師の仕事と役割④ 【計画内容】授業の評価についての考え方、各教科等の評価の観点、評価方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L	
	第3回	【テーマ】教育の現状と課題 【計画内容】今日の教育の現状を概観し、学習指導要領の変遷を通して教育の歴史と展望、併せて幼稚園の教育について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L	第11回	【テーマ】教師の服務・研修・身分保障 【計画内容】教師の法的な位置づけ、服務に関することを理解し、研修の内容・方法等について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L	
	第4回	【テーマ】教職の意義と教師の使命 【計画内容】時代とともに変遷してきた「求められる教師像」について理解し、教職につく意義や教師の使命について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L	第12回	【テーマ】教師の業務の実際 【計画内容】学校現場で実際に勤務している教師の話等から教師になることの意義や教師を目指すために必要なこと等を学びます。講義後、「教職の制度・仕組みについての理解」「子ども理解」の二面からこれまで学んだことを各自がレポートにまとめます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L・G	
	第5回	【テーマ】教えること・学ぶこと 【計画内容】授業で教えること、児童を支援することなど教師の指導の支援のあり方、教師の児童へのかかわり方について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L	第13回	【テーマ】教師の勤務 【計画内容】教師の勤務の仕方、「働き方改革」の視点からこれからの勤務の変化について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L	
	第6回	【テーマ】子ども観の発達 【計画内容】子どもの捉え方の変遷を理解し、世界から見た日本の児童の実態、これからの児童に求められる資質・能力について学びます。これからの児童に求められる資質・能力の点から「プログラミング教育」についても実習を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・D・L	第14回	【テーマ】チームとしての学校 【計画内容】スクールカウンセラー等の外部人材活用、児童相談所・警察等の関係機関との連携、PTA等の保護者との連携など「チーム学校」として広い視野から学校現場について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L	
	第7回	【テーマ】教師の仕事と役割① 【計画内容】発達段階に即した生徒指導のあり方、体罰、懲戒に関すること、「カウンセリング」、「キャリア教育」等について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L	第15回	【テーマ】これからの学校教育の重点 【計画内容】これまでの講義のまとめとして、「札幌市の学校教育の重点」を取り上げ、多様な分野・視点から学校教育について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、これまでの講義の成果と課題についてレポートにまとめてください。	A・L・G	
	第8回	【テーマ】教師の仕事と役割② 【計画内容】学級事務、学級経営、家庭との連携、障がい・不登校児童とのかかわり等を取り上げ、担任教師の具体的業務について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義資料を事前に配付しますので予習し、講義後は資料を再読して復習に活用ください。	A・L				
テキスト	プリントを使用します。						
参考書	講義時に説明します。						

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%	20%	10%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	各講義の課題、ふり返り等を受けて次の講義の導入時にその回答をするなどして講評します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	公立学校における校長・教諭等としての経験
		科目との関連	小学校教諭としての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。連絡先メールアドレス E-Mail:toshi.is@wm.hokusho-u.ac.jp
資格	[芸]中・高1種(美術)_必修 [教]養教1種_必修、中・高1種(音楽)_必修
その他	

科目名	教育心理学	授業形態	講義	単位数	2

教員名	三浦　公裕

授業の目的	
ねらい	本講義では、教育心理学領域の基礎理論や最新の知見を通じて、児童生徒の心理を多角的に理解するための理論的枠組みを解説し、教育心理学を応用した教育実践の具体的な方法およびその評価プロセスについて理解を深め、多様なニーズに応じた教育実践を行うための引き出しを備えることを目的とする。
到達目標	(1)教育心理学に関する基礎的な用語を説明できる。 (2)児童生徒の心の発達過程を理論的な枠組みを用いて説明できる。 (3)行動問題や障害を個人と環境の相互作用の観点から理解できる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション(教育心理学の研究対象と方法) 【計画内容】講義の進め方、および教育心理学の研究対象と内容について理解する。 【授業時間外の学修内容】心理学関連の書籍を参考に、教育心理学の意義と内容について調べておくこと。	A・K	第9回	【テーマ】教授学習過程と技術 【計画内容】学習過程による授業の分類、授業の技術や学習評価のあり方について理解する。 【授業時間外の学修内容】発見学習、仮説実験授業、発問などの言葉の意味を調べておく。	A・K
第2回	【テーマ】発達観と子どもの認知の発達：生涯発達とピアジェの発達観 【計画内容】遺伝と環境、認知能力の発達、認知発達説について理解する。 【授業時間外の学修内容】教育と発達の関係、子どもの認知の発達について自己の経験から考える。	A・K	第10回	【テーマ】学級の理解と指導 【計画内容】学級における人間関係のとらえ方、教師のリーダーシップのあり方について理解する。 【授業時間外の学修内容】ソシオグラム、PM 理論について調べておく。	A・K
第3回	【テーマ】言語能力の発達：一次的言葉と二次的言葉 【計画内容】学校教育と言語発達の関係、子どもの言語の発達の段階について理解する。 【授業時間外の学修内容】喃語、三項関係などを事前に調べておく。	A・K	第11回	【テーマ】不適応児童・生徒の理解と指導 【計画内容】不登校、いじめ、学習不振児等の発症のメカニズムと対応について理解する。 【授業時間外の学修内容】不登校の発生状況などの統計資料に目を通しておく。	A・K
第4回	【テーマ】性格の形成：性格検査の意味と功罪 【計画内容】愛着、自己概念、性役割などについて理解する。 【授業時間外の学修内容】ボウルビー、エリクソンについて理解を深めておく。	A・K	第12回	【テーマ】心理検査と心理療法 【計画内容】心理検査、性格検査の種類と代表的な心理療法の理論について理解する。 【授業時間外の学修内容】今までに受けた心理検査や性格検査を確認しておく。	A・K
第5回	【テーマ】社会性と社会的スキルの発達 【計画内容】遊び、社会性、道徳性、社会的スキルの発達について理解する。 【授業時間外の学修内容】アイゼンバーグ、コールバーグ、ゴールドシュタインについて理解を深めておく。	A・K	第13回	【テーマ】教育評価の考え方と実際 【計画内容】教育評価の目的、評価基準の考え方、評価方法の種類について理解する。 【授業時間外の学修内容】相対評価、絶対評価、偏差値、ポートフォリオ、ルーブリックなどの意味を調べておく。	A・K
第6回	【テーマ】学習と動機づけ：学習の心理学的概念 【計画内容】内発的動機付け、原因帰属、自己効力感について理解する。 【授業時間外の学修内容】学習の成立と動機付けの関係について自己の経験から考えておく。	A・K	第14回	【テーマ】発達障害と特別支援教育 【計画内容】LD、ADHD、アスペルガー障害などの理解と対応について理解する。 【授業時間外の学修内容】ICDH2などの分類基準を調べておく。	A・K
第7回	【テーマ】学習の認知プロセス：学習理論と認知行動療法 【計画内容】記憶のプロセス、精緻化体制化の方略、メタ認知について理解する。 【授業時間外の学修内容】自己の記憶の方法などを振り返っておく。	A・K	第15回	【テーマ】学校教育相談のありかた 【計画内容】学校における教育相談体制と教師に求められるカウンセリング技術を理解する。 【授業時間外の学修内容】学級担任としてのカウンセリングの基本的なあり方を考えておく。	A・K・L
第8回	【テーマ】学習の多様性と個人差 【計画内容】アクティブラーニング、適正処遇交互作用、学習到達度の個人差、認知スタイルについて理解する。 【授業時間外の学修内容】習熟度別指導、完全習得学習、アクティブラーニングなどの言葉の意味について調べておく。	A・K			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	西村純一、2017年、『教育心理学エッセンシャルズ』、ナカニシヤ出版、9784779504518 文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領』 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	10%		30%		50%	10%
補足	小テスト等		レポート		ワークシート作成	発表

課題に関するフィードバックの方法	ワークシートを返却し、学んだ内容や疑問点について考察するとともに、グループ討議や全体の場において意見交流を行う。

実務経験と授業の関連			
該当	経験内容	公認心理師、学校心理士、ガイダンスカウンセラー	
	科目との関連	学校心理士・公認心理師としての研修及び業務経験をもとに実践的な指導を行う。	

質問への対応	随時440研究室にて対応する。
資格	[芸]中・高1種(美術)_必修 [教]養教1種_必修、中・高1種(音楽)_必修
その他	各自作成したレポートを返却し、学んだ内容を個人やグループで振り返り、まとめの講評を行う。また、講義で扱った内容ついて、実際の学校現場での活用方法を考察できるようにする。

心理カウンセリング学科
学 科 専 門 科 目

科目名	心理学概論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	澤　聡一				

授業の目的		
	ねらい	人間の心のはたらきについて、乳幼児期から高齢期に至るまでの生涯発達の観点から捉え、心理学の基礎的知識を得ることは、自己洞察や他者理解を深めるための大切な営みです。サイエンスとアートの両面から、社会のニーズに応じて裾野を広げ続ける心理学の基本的知識の習得とその学習姿勢の醸成を目指すと共に、関連領域である教育や介護等の実践を支える教養を高め、総合的な判断力及び豊かな人間性を養うことを本講義の目標とします。
	到達目標	(1)心理学の成立の背景を知り、人間の心のはたらきについての基本的な知識を習得する。 (2)生涯発達の観点から人間の成長のプロセスを理解する。 (3)日常生活における心の健康の維持についての理論を学び実践につなげる。 (4)福祉や教育等との関連をふまえながら心理的支援の方法と実際についての知識を得る。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】心理学の成り立ち 【計画内容】講義全体の流れを説明すると共に、心理学の成立の背景と、心を探究する方法をどのように発展させてきたかを知ることで、心の学びのイントロダクションとします 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容をあらかじめ読み、自身が学びたいことを整理しておくこと。	A・K	第9回	【テーマ】心と脳 【計画内容】心の生物学的基盤としての脳の構造や機能を知り、心のはたらきとどのように関連しているかを学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K
	第2回	【テーマ】集団心理・人と環境 【計画内容】人間は社会的存在であり、他者とかかわりあいながら生きています。ここでは、人間の行動が集団の中にいることで受ける影響や対人関係等について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	第10回	【テーマ】感情・動機づけ 【計画内容】感情についての理論、感情の発達、感情と表情、感情と文化、動機づけや様々な欲求等について概説します。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K
	第3回	【テーマ】パーソナリティ 【計画内容】類型論、特性論などの代表的なパーソナリティ理解の視点について学び、心理テストの体験学習等を通して自己理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	第11回	【テーマ】心の健康と臨床心理学 【計画内容】臨床心理学の適用領域を通して心の健康について考えると共に、心理的支援の基本的技法と、認知行動療法や精神分析などの心理療法の主要な理論を概説します。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K
	第4回	【テーマ】自己理解・他者理解 【計画内容】環境との関係の中で生きる人の側面に注目し、自分や他人を理解するために有用な様々な概念を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	第12回	【テーマ】心の問題への心理的支援 【計画内容】心理アセスメントや心理教育等、心理療法以外の心理援助職の職務や、さまざまな現場における実践について概説します。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K
	第5回	【テーマ】感覚・知覚 【計画内容】視覚、聴覚、知覚の体制化、錯視、文脈効果などの体験学習を通して、人間が外界からどのように情報を得て、用いているかを学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	第13回	【テーマ】心の発達の基盤と乳幼児期・児童期の発達 【計画内容】遺伝と環境、認知発達理論、発達段階説などをふまえつつ、アタッチメントや言語発達の様相などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K
	第6回	【テーマ】記憶 【計画内容】記憶の仕組みに関する心理学的モデルや、記憶の種類、記憶の方略について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	第14回	【テーマ】青年期以降の生涯発達 【計画内容】アイデンティティなどの青年期のテーマのほか、成人期、高齢期について学び、生涯発達の視点を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K
	第7回	【テーマ】学習・行動 【計画内容】新しい行動の学習や、一度学習した行動の変容について、学習理論を中心に学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K	第15回	【テーマ】心理学と現代社会 【計画内容】ここまでの講義の内容を振り返ると共に、ストレスやレジリエンス等を題材に、現代社会のなかで心理学をどのように活かすかを考えます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K
	第8回	【テーマ】思考と言語 【計画内容】思考と推論の心理的プロセスについて学び、次いで言語やコミュニケーションに関わる心理学的知見を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付資料で示した課題に取り組むこと。	A・K			

テキスト	プリント等を適宜配付します。
参考書	平田裕美・伊藤美奈子編、2010年、『心理学入門 - こころの仕組みを理解する -』、建帛社、9784767940137 繁桝算男編、2018年、『心理学概論（公認心理師の基礎と実践）』、遠見書房、9784866160528

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%		30%	30%
	補足			最終課題		平時	毎回の感想・考察シート

課題に関するフィードバックの方法	最終評価は課題提出で行います。希望者には、個別に解説と講評を行います。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	臨床心理士、公認心理師等の心理援助職
		科目との関連	心理援助職としての勤務経験を活かし、基礎から応用まで幅広い心理学の専門的知識の教授を行う。

質問への対応	リアクションペーパー等で講義の都度質問するか、E-Mail:sawat@hokusho-u.ac.jp を用いてください。
資格	[心]公認心理師_必修、精神保健福祉士_必修、認定心理士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必 [教]社会福祉主事_選必 [健]介護福祉士_選必、社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必
その他	各回の課題提出など、積極的な受講態度を期待します。

科目名	教育心理学概論(教育・学校心理学)	授業形態	講義	単位数	2

教員名	飯田　昭人

授業の目的		
	ねらい	この講義では、教育心理学及び学校心理学における基本的な理論と概念およびそのための研究方法について学ぶと同時に、学校教育の現場における諸問題について、心理学的知見から考えていくことを目的とする。 具体的に、講義の前半は「発達」「教授・学習」「測定・評価」などの従来の教育心理学の重点事項を論じていくこととする。 後半は、学校教育における諸問題(いじめ、不登校、非行、発達障害等)について、さまざまなやり方で講義を展開していく。
	到達目標	(1)教育心理学についての概要を理解できる。 (2)教育心理学の知見を応用し、学校教育などの諸問題について自分で考えることができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション・教育心理学とは何か 【計画内容】教育心理学の15回にわたる講義の進め方について説明をする。また、教育心理学の研究法や領域について説明をする。 【授業時間外の学修内容】事前にテキスト第0章を読んでおくこと。	A	第9回	【テーマ】教育現場において生じる問題及びその背景②　教育評価－学習のアセスメントの観点から 【計画内容】「教育評価の意義」「教育評価の種類と方法」「評価のためのデータ収集の方法」「新しい評価法の展開と課題」「教育評価における教育心理学の役割」について講義をする。 【授業時間外の学修内容】事前にテキスト第8章を読んでおくこと。	A
	第2回	【テーマ】教育現場における心理社会的課題及び必要な支援①　発達の観点から 【計画内容】「遺伝と環境」「発達を扱った研究者たち」「乳幼児期から老年期までの発達段階」について講義を行う。 【授業時間外の学修内容】事前にテキスト第1章を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】教育現場において生じる問題及びその背景③　学校カウンセリングの観点から 【計画内容】「学校カウンセリングの枠組み」「学校カウンセリング」「学校カウンセリングの実際」について講義をする。 【授業時間外の学修内容】事前にテキスト第10章を読んでおくこと。	A
	第3回	【テーマ】教育現場における心理社会的課題及び必要な支援②　学習の観点から 【計画内容】「古典的な学習理論と教育実践」「最近の学習理論とその実践」について講義を行う。 【授業時間外の学修内容】事前にテキスト第2章を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】教育現場において生じる問題及びその背景④　いじめと不登校の観点から 【計画内容】教育現場で生じる諸問題として、この時間はいじめ不登校について取り上げる。いじめと不登校の定義、現状、実際の対応などについて、統計資料などをもとに講義を行う。 【授業時間外の学修内容】前回講義時に配付するいじめおよび不登校に関する資料を読んで疑問点をまとめておく。	A
	第4回	【テーマ】教育現場における心理社会的課題及び必要な支援③　動機づけの観点から 【計画内容】「動機づけ」「学習性無力感」について講義を行う。 【授業時間外の学修内容】事前にテキスト第3章を読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】教育現場において生じる問題及びその背景⑤　非行と発達障害の観点から 【計画内容】教育現場で生じる諸問題として、この時間は非行と発達障害について取り上げる。非行と発達障害の定義、現状、実際の対応などについて、統計資料などをもとに講義を行う。 【授業時間外の学修内容】前回講義時に配付する非行および発達障害に関する資料を読んで疑問点をまとめておく。	A
	第5回	【テーマ】教育現場における心理社会的課題及び必要な支援④　記憶の観点から 【計画内容】「記憶の分類」「記憶の発達」「記憶の方略」「記憶と教育」について講義を行う。 【授業時間外の学修内容】事前にテキスト第4章を読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】教育現場において生じる問題及びその背景⑥　子どもの貧困や社会的養護の観点から 【計画内容】教育現場で生じる諸問題として、この時間は子どもの貧困や社会的養護児童について取り上げる。子どもの貧困や社会的養護児童の定義、現状、実際の対応などについて、統計資料などをもとに講義を行う。 【授業時間外の学修内容】前回講義時に配付する子どもの貧困や社会的養護児童に関する資料を読んで疑問点をまとめておく。	A
	第6回	【テーマ】教育現場における心理社会的課題及び必要な支援⑤　知能の観点から 【計画内容】「知能とは」「さまざまな知能理論」「知能を測る－知能検査」「知能の特徴」について講義をする。 【授業時間外の学修内容】事前にテキスト第5章を読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】教育現場において生じる問題及びその背景⑦　体罰や虐待などの大人の問題の観点から 【計画内容】教育現場で生じる諸問題として、この時間は体罰や虐待など、保護者や教師といった大人の問題について取り上げる。保護者や教師についての問題等を、統計資料などをもとに講義を行う。 【授業時間外の学修内容】前回講義時に配付する保護者や教師といった大人に関する資料を読んで疑問点をまとめておく。	A
	第7回	【テーマ】教育現場における心理社会的課題及び必要な支援⑥　パーソナリティの観点から 【計画内容】「パーソナリティを知ることの意味」「パーソナリティとは」「パーソナリティ理論」「パーソナリティの測定」「欲求」について講義をする。 【授業時間外の学修内容】事前にテキスト第6章を読んでおくこと。	A	第15回	【テーマ】後半のまとめと振り返り 【計画内容】主に、第10回から第14回までの講義で取り上げたトピックスについて復習していく。学生からの質問に答えることを主眼とし、学生が理解することが難しかったことなどをもう一度、講義を行っていく。また、全体の総括として、本講義の意義や課題などを学生とともに考えていく。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義について、特に理解しづらかった点などをまとめておく。	A
	第8回	【テーマ】教育現場において生じる問題及びその背景①　学級集団の観点から 【計画内容】「学級とは何か」「教師と子どもとの関係」「学級における子どもの仲間関係」「学級風土」について講義をする。 【授業時間外の学修内容】事前にテキスト第7章を読んでおくこと。	A			

テキスト	服部環ほか、2013年、『スタンダード教育心理学』、サイエンス社、9784781913254
参考書	大久保智生ほか、2018年、『教師として考え続けるための教育心理学』、ナカニシヤ出版、9784779512926 加藤弘通、2007年、『問題行動と学校の荒れ』、ナカニシヤ出版、9784779501043

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		20%	30%
補足						小レポート

課題に関するフィードバックの方法	最終レポート課題により判定する。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	これまで小中高のスクールカウンセラーを経験し、現在もスクールカウンセラーとして教育現場で実践をしている。
		科目との関連	スクールカウンセラーとして、教育心理学的アプローチをもとに児童生徒や保護者、学校教員とかかわることがある。

質問への対応	E-Mail:iida@hokusho-u.ac.jp、もしくは、直接747研究室に来室すること。
資格	[心]公認心理師_必修、認定心理士_必修、福祉心理士_選必
その他	心理学科目の中でも、基幹科目の一つであり、とても重要です。しっかり学んでいただきたいとともに、意欲的な学生の受講を望みます。 教員も学生の皆さんとともに、講義を通して成長していきたいと考えています。 なお、講義のフィードバックに関しては、学生から提出された小レポートにコメントすることをもってあてます。

科目名	健康･医療心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	入江　智也				

授業の目的

ねらい

本講義では、私たちが日常的に関わるテーマである、健康･医療に対して、心理学がどのように役立ってきたかを学びます。前半では、心理的ストレスと心身の健康および、保健領域における心理社会的課題と支援について、後半では医療場面および災害時における心理社会的課題と支援について学びます。実際の事例などを取り入れながら、健康に役立てる心理学の理解や、医療者側だけでなく患者側の視点も踏まえた体験などを通じて、人の役に立つだけでなく、自分自身の役にも立つ心理的援助について学びます。

到達目標

(1)心理的ストレスと心身の健康の関係について、説明することができる。
(2)医療分野における心理社会的課題と支援について、説明することができる。
(3)保健活動分野における心理社会的課題と支援について、説明することができる。
(4)災害時等における心理社会的課題と支援について、説明することができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】ガイダンス：講義概要 【計画内容】講義全体の内容、成績評価方法を説明する。 【授業時間外の学修内容】健康および医療について調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】医療における心理アセスメント 【計画内容】医療場面において実施される心理アセスメントの方法論を体験や事例を通じて学習する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A･K
第2回	【テーマ】健康とは 【計画内容】さまざまな健康の定義に加えて、心理学としての健康の意味を理解する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A･H	第10回	【テーマ】医療と心理支援(1)：方法論 【計画内容】医療場面において実施される心理療法の方法論について学習する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A
第3回	【テーマ】心理的ストレスと心身の疾患 【計画内容】心理的ストレスが影響を及ぼす心身の疾患について理解する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A	第11回	【テーマ】医療と心理支援(2)：実践事例 【計画内容】医療場面において実施される心理療法について実際の体験や事例を通じて学習する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A･H
第4回	【テーマ】保健における心理支援(1)：歴史的概観 【計画内容】我が国および他国の精神保健に関する歴史を学習する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A	第12回	【テーマ】医療場面におけるコミュニケーション 【計画内容】医療場面における医療従事者－患者間コミュニケーションの目的および方法について学習する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A･H
第5回	【テーマ】保健における心理支援(2)：心理社会的課題と支援 【計画内容】社会における精神保健に関わる心理社会的課題と支援について学習する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A･H	第13回	【テーマ】医療場面における他職種連携 【計画内容】それぞれの医療従事者の役割の理解および連携の仕組みについて学習する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A
第6回	【テーマ】保健における心理支援(3)：地域精神保健における心理に関する支援 【計画内容】地域精神保健に関わる領域とそれぞれにおける心理的支援の概要について学習する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A	第14回	【テーマ】災害時における心理支援 【計画内容】災害時における心理社会的課題と支援について学習する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A
第7回	【テーマ】前半のまとめ 【計画内容】ここまでの講義内容に関するまとめと疑問点の再確認を行う。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A･L	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】ここまでの講義内容に関するまとめと疑問点の再確認を行う。 【授業時間外の学修内容】これまでの配付資料を再読しておくこと。	A･L
第8回	【テーマ】医療における心理支援 【計画内容】医療場面における心理社会的課題と支援の概要について学習する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A･H			

テキスト	講義内容に応じてプリント等を使用します。
参考書	講義内容に応じて適宜参考文献を紹介します。

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		20%	30%
補足			最終レポート			毎回の感想等シート

課題に関するフィードバックの方法	講義終盤において感想等シートを返却し、学んだ内容を振り返りながら講評をします。

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	臨床心理士、公認心理師
	科目との関連	臨床心理士、公認心理師としての実務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[心]公認心理師_必修
その他	

科目名	人間関係の心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	入江　智也				

授業の目的		
	ねらい	人間関係は二者関係が基本となるが、それにとどまらず、より複雑な人間関係の中で様々な心の動きが生じ、その事が個々人の認知や感情、そして行動面に影響を及ぼす。人間関係はその存在が心の支えになることもあれば、ストレスになることもある。他者の心理状態を知り、適切なコミュニケーションが取れることは、家庭、学校、職場、近隣を問わず、あらゆる場面において重要である。本講義では、人間関係を心理学の視点から包括的に理解することを目的とする。
	到達目標	(1)日常における人間関係の様々な特徴を心理学の観点から説明することができる。 (2)人間関係をより良好にしてゆくための工夫を心理学観点から説明することができる。 (3)人間関係における諸問題を心理学の観点から説明することができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】人と人との出会い 【計画内容】人間関係の始まりは人と人との出会いである。他者についての印象形成、相性の善し悪しの判断などについて取り上げていく。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A・K	第9回	【テーマ】対人関係の諸問題について 【計画内容】人間関係において、表面的に平静を保っていても、葛藤や欲求不満などを抱えていることが多い。そのようなことが表出する諸問題について検討していく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K
	第2回	【テーマ】他者に魅力を感じること 【計画内容】人は他者に対してどのようにして魅力を感じ、心惹かれていくのか。人に対する好き嫌い、友情や恋愛感情などについて取り上げていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K	第10回	【テーマ】他者に対する不平・不満・クレーム 【計画内容】人間関係の中で他者に対するネガティブな感情がエスカレートし、時として常軌を逸した主張となることがある。怒りの表出に関する心理、クレームという現象など取り上げていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K
	第3回	【テーマ】円滑なコミュニケーションを目指す 【計画内容】人と生きていく上で、他者と関わりあうことは避けることができない。人と人との間で交わされるコミュニケーションについて取り上げていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K	第11回	【テーマ】空気を読むこと 【計画内容】「以心伝心」「暗黙の了解」「黙認」など、日本では人間関係の中で「空気を読む」ということが行われることが多い。このようなコミュニケーションについて心理学の観点から理解していく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K
	第4回	【テーマ】人づきあいを避ける心理 【計画内容】他者との関係に無関心であったり、他者との関係をうまく築くことができないという現象について心理学の観点から取り上げていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K	第12回	【テーマ】ストレスと人間関係 【計画内容】我々が感じるストレスには多かれ少なかれ人間関係が絡んでいる。ストレスを正しく理解し、人間関係のマネージメントに活かすためのヒントを得ていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K
	第5回	【テーマ】他者から受ける影響 【計画内容】我々は多かれ少なかれ他者の影響を受けざるを得ない。個人的にも社会的にも受けざるを得ない他者からの影響について取り上げていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K	第13回	【テーマ】他者を助けることと他者に助けを求めること 【計画内容】生きている中で、他者の助けを全く借りないということはなく、また、他者からの援助要請を受けることもある。援助にまつわる心理をあらゆる側面から検討し理解していく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K
	第6回	【テーマ】メディアを通したコミュニケーション 【計画内容】人間関係は対面ばかりでなく、近年のインターネットの発達により種々のデジタル機器を介してのやりとりが増えてきている。その諸特徴について理解を深めていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K	第14回	【テーマ】人間関係の中にいる自分自身の理解 【計画内容】人間関係においてイライラしている時、実は自分自身の心の動きが原因となっていることがある。自分自身の心理について知る方法について紹介していく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K
	第7回	【テーマ】集団の中でのふるまい 【計画内容】人間関係においては、1対1での関係と集団における関係とは異なる性質を持っている。集団がもたらす人間関係の特徴について理解を深めていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K	第15回	【テーマ】よりよい人間関係を保つために 【計画内容】第14回までに学んだことをふまえ、人間関係について心理学から得られた知見を再確認し、良好な人間関係づくりの指針を得る。 【授業時間外の学修内容】第14回までの配付資料を復習しておくこと。	A・K
	第8回	【テーマ】集団間での利害の対立 【計画内容】集団と集団における人間関係がもたらす、集団内で起こる現象や集団間での対立などについて取り上げ、理解を深めていく。 【授業時間外の学修内容】プリントに示した課題に取り組んでおくこと。	A・K			

テキスト	講義資料を配付します。
参考書	吉田敏和・橋本剛・小川一美編、2012年、『対人関係の社会心理学』、ナカニシヤ出版、9784779506932 藤本忠明・東正訓編、2004年、『ワークショップ人間関係の心理学』、ナカニシヤ出版、9784888488334

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	教育相談機関、大学学生相談室、企業内健康管理部門、EAP 機関における心理相談業務。
		科目との関連	実務経験をもとに実践に即した指導を行う。

質問への対応	メールにて受け付けます。E-Mail:tirie@hokusho-u.ac.jp
資格	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必、社会教育主事_選必 [教][芸]社会教育主事_選必
その他	私語や携帯電話の着信音を鳴らすなど、他の学生が講義を受ける権利を侵害する行為を一切禁止します。守れない場合には受講態度評価に加味します。

科目名	乳幼児心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	新川　貴紀				

授業の目的		
	ねらい	この講義では、人生の最初期である乳幼児期の発達（身体発達、認知発達、言語発達、社会性の発達など）について学習します。その際、乳幼児の発達が、彼らを取り囲む社会的文脈（対人環境、社会・文化的環境）との接触の中で成し遂げられていくものだという視点を強調します。
	到達目標	(1)乳幼児期の発達的変化について、さまざまな側面から理解する。 (2)乳幼児期の発達に関する代表的な理論や概念について理解する。 (3)乳幼児期の発達を、社会的文脈との関連性において理解する。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】本講義のガイダンス 【計画内容】講義の進め方と、成績評価の仕方について説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A・G	第9回	【テーマ】乳幼児期の発達と異文化 【計画内容】言語発達や社会性の発達を、異文化との接触という視点から考える。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L
	第2回	【テーマ】乳幼児心理学が射程に入れるもの 【計画内容】乳幼児に関する発達研究の歴史と現状について説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L	第10回	【テーマ】乳幼児期における特定の他者との愛着形成 【計画内容】乳幼児期において、特定の他者との人間関係がどのように形成されるのか、主に愛着（アタッチメント）の形成と発達に関する理論に基づいて説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L
	第3回	【テーマ】乳幼児期の身体と運動の発達 【計画内容】乳幼児期の身体構造と運動機能の発達について説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L	第11回	【テーマ】乳幼児期の遊び(1) 【計画内容】乳幼児期の遊びの発達的変化について、その遊びの形態または内容の変化という観点から説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L
	第4回	【テーマ】乳幼児期の認知機能の発達(1) 【計画内容】乳幼児期の感覚・知覚機能（主に視覚機能と聴覚機能）の発達について説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L	第12回	【テーマ】乳幼児期の遊び(2) 【計画内容】子どもの遊びを支える要素としての「道具」の意義について考える。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L
	第5回	【テーマ】乳幼児期の認知機能の発達(2) 【計画内容】乳幼児期の知的機能の発達について、代表的な発達理論の一つであるピアジェの認識発達論を軸に説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L	第13回	【テーマ】乳幼児期の発達における社会・文化的要因の影響 【計画内容】乳幼児期の発達に、社会・文化的要因がどのような影響を及ぼすのか、比較文化的視点から説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L
	第6回	【テーマ】乳幼児期の発達に影響を及ぼす要因：遺伝か環境か 【計画内容】乳幼児期の発達はどのような要因に規定されるのか、心理学において長年にわたって議論されてきた「遺伝 対 環境」という対立軸に基づいて説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L	第14回	【テーマ】発達の代表的理論 【計画内容】心理学における代表的な発達理論（ピアジェ、フロイト、エリクソン、ヴィゴツキーなど）を紹介する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L
	第7回	【テーマ】乳幼児期の言語発達(1) 【計画内容】「ことば以前」の世界から、語彙・文法の獲得、会話の理解へと至る乳幼児期の言語発達の道筋について説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L	第15回	【テーマ】本講義のまとめ 【計画内容】これまでの講義を振り返り、改めて乳幼児期の発達の意義について説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L
	第8回	【テーマ】乳幼児期の言語発達(2) 【計画内容】なぜ乳幼児は複雑で膨大な言語体系を生後数年間の間に理解できるようになっていくのか、言語獲得に関するいくつかの理論について説明する。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A・G・L			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	内田伸子、2008年、『幼児心理学への招待 - 子どもの世界づくり』、サイエンス社、9784781911823 若井邦夫・高橋道子・高橋義信・堀内ゆかり、2006年、『グラフィック乳幼児心理学』、サイエンス社、4781911374

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		70%	
	補足			最終レポート		小レポート	

課題に関するフィードバックの方法	毎回の小レポートについては次の講義開始時にフィードバックを行います。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[心]認定心理士_選必、福祉心理士_選必
その他	

科目名	福祉心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐藤　至英				

授業の目的	
ねらい	今日の福祉問題に関する心理学的研究は始まったばかりであり、いまだに未開拓な面が多い。本講義では、福祉現場において生じる問題及びその背景を理解したうえで、社会福祉学と心理学の学際的研究領域である福祉心理学とはどのような学問なのか、福祉的対応がどのような心理的影響を与えるのかについて明らかにすることを目的とする。具体的には、福祉的対応を必要とする人々の心理的特性ならびに福祉的対応に役立つ心理的技法、そして福祉現場におけるチームマネジメント、心理社会的課題、チームで働くための基盤となるコミュニケーション及び必要な支援などについて、いくつかの事例をもとに学ぶ。
到達目標	(1)福祉心理学とは何かを理解する。 (2)対人援助における心理的支援について、基本的な理解を得る。 (3)対人援助における心理的援助の方法について、基本的な理解を得る。

授業の計画						
第1回	【テーマ】福祉心理学とは何か 【計画内容】福祉心理学の定義、Welfare の意味、福祉のための心理学とは何か、幸せとは何かについて理解する。 【授業時間外の学修内容】目的と目標の違い、見えるものではなく見えないものの価値について考える。	A・L	第9回	【テーマ】対人援助を支える高齢者の心の理解(1) 【計画内容】喪失体験からの回復、ジェノグラム、エコマップ、老いることの意味について理解する。 【授業時間外の学修内容】老いることの意味を考える。	A・L
第2回	【テーマ】対人援助を支える乳幼児期・児童期の心の理解 【計画内容】リレーションの大切さ、ほめるとしかるのポイント、何にフォーカスするかについて体験を通して学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ほめるとしかるのポイントは何かを考える。	A・L	第10回	【テーマ】対人援助を支える高齢者の心の理解(2) 【計画内容】エリクソンの発達課題「統合と絶望」、脚本分析について理解する。 【授業時間外の学修内容】人生の最後において思うこと、何が幸せかを考える。	A・L
第3回	【テーマ】対人援助を支える青年期の心の理解(1) 【計画内容】エゴグラム、子どもと大人の違い、アイデンティティの確立について理解する。 【授業時間外の学修内容】子どもと大人の違いは何かを考える。	A・L	第11回	【テーマ】対人援助の技術(1) 【計画内容】カウンセリングマインド、カウンセリングモデル、よりそうことの意味について理解する。 【授業時間外の学修内容】カウンセリングとは何かを考える。	A・L
第4回	【テーマ】対人援助を支える青年期の心の理解(2) 【計画内容】就職を考える。アイデンティティ・ステータス、自立とは何かについて理解する。 【授業時間外の学修内容】自立とは何かについて考える。	A・L	第12回	【テーマ】対人援助の技術(2) 【計画内容】問題の理解、心理テストの実際、解釈と質問の意味について、体験を通して理解する。 【授業時間外の学修内容】事前に心理テストを行う。	A・L
第5回	【テーマ】対人援助を支える青年期の心の理解(3) 【計画内容】結婚を考える。人はなぜ好きになるのか、好きになる理論について理解する。 【授業時間外の学修内容】人はなぜ好きになるのか、なぜ結婚するのかを考える。	A・L	第13回	【テーマ】対人援助の技術(3) 【計画内容】小さく始めることの意味、スモールステップ法、目標の設定、目標の実行、人は変われるかについて理解する。 【授業時間外の学修内容】人は変われるかについて考える。	A・L
第6回	【テーマ】家族を支える(1) 【計画内容】代表的な家族システム理論、バランスとは、機能不全の家族とは何か、虐待について理解する。 【授業時間外の学修内容】家族とは何かを考える。	A・L	第14回	【テーマ】対人援助の技術(4) 【計画内容】オープンマインド、長いスパンで考えることの意味について理解する。 【授業時間外の学修内容】オープンマインドとは何かを考える。	A・L
第7回	【テーマ】家族を支える(2) 【計画内容】家族関係測定尺度を通して、親子関係、家族間のコミュニケーションについて理解する。 【授業時間外の学修内容】親子関係、家族間のコミュニケーションについて考える。	A・L	第15回	【テーマ】これからの福祉心理学 【計画内容】福祉心理学の課題、福祉心理学の基本原則を日常生活に適用することについて理解を深める。 【授業時間外の学修内容】福祉心理学の基本原則をどのように日常生活に適用するかを考える。	A・L
第8回	【テーマ】離婚・配偶者の死を考える 【計画内容】離婚の研究、配偶者の死からの回復、悲嘆過程について、事例をもとに理解する。 【授業時間外の学修内容】離婚・配偶者の死を考える。	A・L			

テキスト	プリントを配付します。
参考書	岡田明・宮本文雄・中山哲志、2002年、『福祉心理学 - 援助を必要とする人のために -』、ブレーン出版、4892426881 佐藤泰正・中山哲志・桐原宏行、2011年、『福祉心理学総説』、田研出版、9784860890308

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%		60%	
補足			中間		平時	

課題に関するフィードバックの方法	Teams とポータルにて、行います。

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	Teams ならびに Forms にて、質問を受け付けます。
資格	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必、社会教育主事_選必 [教][芸][ス]社会教育主事_選必 [健]介護福祉士_必修、社会教育主事_選必
その他	Teams をチェックするようにしてください。

科目名	学習心理学(学習・言語心理学Ⅰ)	授業形態	講義	単位数	2
教員名	山田　弘司				

授業の目的	
ねらい	学習とは、新たな情報を受けとることによって、認識や行動が変容することである。その情報はかならずしも言葉によるとは限定しないので、言語能力に欠ける人、例えば、知的障害者や乳幼児、あるいは動物であっても学習が可能ということになる。このような観点から、学習の仕組みについては、パブロフ型条件づけやオペラント条件づけや観察学習の話題が主になる。これらを応用した、人の行動が変化する過程についても紹介する。
到達目標	(1)これらの学習の仕組みの原理と、その現実場面への適用についての概要を知ることを目標とする。 (2)話題について積極的に考え、他人の意見を聞く習慣を身につける。 (3)ミニレポートを書くことで、作文技能を身につける。

授業の計画						
第1回	【テーマ】学習の定義について 【計画内容】講義の進め方、評価法を説明し、学習の話題の概要を説明する。 【授業時間外の学修内容】教科書の第1章を参照。	A・G	第9回	【テーマ】古典条件づけによる様々な現象(1) 【計画内容】阻止や隠蔽現象を説明する。 【授業時間外の学修内容】教科書の第3章を参照。	A・G
第2回	【テーマ】生得的行動と学習性行動 【計画内容】生得的行動や学習性行動を知り、学習の基盤となる行動傾向を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教科書の第3章を参照。	A・G	第10回	【テーマ】古典条件づけによる様々な現象(2) 【計画内容】実験神経症などを紹介する。 【授業時間外の学修内容】教科書の第3章を参照。	A・G
第3回	【テーマ】学習に関する経験主義と連合主義哲学 【計画内容】心理学の研究以前に、哲学者が学習をどのように考えたかを説明する。 【授業時間外の学修内容】教科書の第2章を参照。	A・G	第11回	【テーマ】系統的脱感作と味覚嫌悪学習 【計画内容】恐怖症の治療法として系統的脱感作、学習されやすい刺激の組み合わせがあることを示した味覚嫌悪学習を説明する。 【授業時間外の学修内容】教科書の第3章を参照。	A・G
第4回	【テーマ】学習心理学の研究方法と利用 【計画内容】学習の研究には動物が用いられることが多い。その理由を説明する。さらに、学習の研究が生活にどのように貢献しているか説明する。 【授業時間外の学修内容】教科書の第1章を参照。	A・G	第12回	【テーマ】オペラント条件づけの手続き 【計画内容】オペラント条件づけの例と一般的手続きを説明する。 【授業時間外の学修内容】教科書の第4章を参照。	A・G
第5回	【テーマ】馴化と鋭敏化 【計画内容】刺激への反応の特性である馴化と鋭敏化を説明する。 【授業時間外の学修内容】教科書の第3章を参照。	A・G	第13回	【テーマ】反応形成方法 【計画内容】反応を自発させるための工夫を説明する。 【授業時間外の学修内容】教科書の第4章を参照。	A・G
第6回	【テーマ】馴化を利用した選好注視法と乳幼児の知覚研究 【計画内容】慣れを利用して乳幼児の知覚を測定する方法を説明する。 【授業時間外の学修内容】教科書の第3章を参照。	A・G	第14回	【テーマ】オペラント条件づけの強化のスケジュールの分類 【計画内容】オペラント条件づけの手続きのバリエーションを説明する。 【授業時間外の学修内容】教科書の第4章を参照。	A・G
第7回	【テーマ】パブロフの古典条件づけの手続き 【計画内容】古典条件づけの例と一般的手続きを説明する。 【授業時間外の学修内容】教科書の第3章を参照。	A・G	第15回	【テーマ】オペラント条件づけによる様々な現象 【計画内容】学習性無力感などを説明する。 【授業時間外の学修内容】教科書の第4章を参照。	A・G
第8回	【テーマ】古典条件づけに影響を与える要因 【計画内容】古典条件づけの手続きを変えたとき、行動にどのような変化が現れるか説明する。 【授業時間外の学修内容】教科書の第3章を参照。	A・G			

テキスト	岩本隆茂・和田博美、2006年、『行動心理学 - 社会貢献への道』、勁草書房、4326101636
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			80%		20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	講義中に行います。
資格	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必
その他	

科目名	生理心理学(神経・生理心理学Ⅰ)	授業形態	講義	単位数	2

教員名	宇野　英樹

授業の目的	
ねらい	生理心理学とは脳活動や筋活動、呼吸、発汗、心拍、血圧の変化などの生理反応を測定することで、心理現象を科学的に解明しようとする研究分野である。本講義では様々な生体反応の測定と原理について理解し、人の心との関連について考察を深めることを目的とする。
到達目標	(1)様々な生理反応の原理、その基盤となる脳神経系の構造や機能について把握する。 (2)生理反応の測定法について学び、その長所や短所を理解する。 (3)記憶、感情等の生理学的反応の機序について理解する。 (4)生理心理学の目的や意義について理解する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】本講義の概要と授業展開についてのガイダンス 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておく。	A	第9回	【テーマ】脳活動の計測(4) 【計画内容】事象関連電位と認知活動 【授業時間外の学修内容】前回講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A
第2回	【テーマ】心理学の対象と方法 【計画内容】心理学の研究対象と研究方法についての概略 【授業時間外の学修内容】前回講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A	第10回	【テーマ】脳活動の計測(5) 【計画内容】脳画像解析の原理・測定と認知活動 【授業時間外の学修内容】前回講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A
第3回	【テーマ】心理学と生理反応計測 【計画内容】心理学研究で生理反応を用いることの利点や意義 【授業時間外の学修内容】前回講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A	第11回	【テーマ】自律神経活動の計測(1) 【計画内容】呼吸と皮膚電気活動の原理・測定 【授業時間外の学修内容】前回講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A
第4回	【テーマ】生理心理学における研究テーマと意義 【計画内容】様々な生理反応を用いてどんな研究が行われているかの紹介と生理心理学の意義や役割 【授業時間外の学修内容】ここまでの講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A・L	第12回	【テーマ】自律神経活動の計測(2) 【計画内容】心臓血管系反応の原理・測定 【授業時間外の学修内容】前回講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A
第5回	【テーマ】生理反応と神経系 【計画内容】生理反応の基盤となる神経系の構造と機能 【授業時間外の学修内容】前回講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A	第13回	【テーマ】心的過程と生理反応 【計画内容】具体的な研究の紹介・解説を通した、視覚認知、記憶、感情等にかかわる生理学的反応の機序について 【授業時間外の学修内容】これまでに学んだ生理反応について復習しておく。	A
第6回	【テーマ】脳活動の計測(1) 【計画内容】脳神経系の構造及び機能 【授業時間外の学修内容】前回講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A	第14回	【テーマ】応用と発展 【計画内容】臨床、障害研究への応用、および新たな研究や将来技術への応用可能性について 【授業時間外の学修内容】これまでに学んだ生理反応について復習しておく。	A
第7回	【テーマ】脳活動の計測(2) 【計画内容】脳波の原理・測定と認知活動 【授業時間外の学修内容】前回講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの内容についてのまとめとふり返り 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A・L
第8回	【テーマ】脳活動の計測(3) 【計画内容】事象関連電位の原理・測定 【授業時間外の学修内容】前回講義内容について復習し、疑問等があれば整理しておく。	A			

テキスト	初回講義時に説明します。
参考書	初回講義時に説明します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	原則講義中に対応します。非対面での質問・連絡先は初回講義時に提示します。
資格	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必
その他	

科目名	社会心理学(社会・集団・家族心理学Ⅰ)	授業形態	講義	単位数	2
教員名	渡辺　舞				

授業の目的	
ねらい	社会心理学で取り扱うテーマは、私たちが日常生活の中でで誰もが経験したり、感じたことのある疑問からスタートしています。社会心理学の基本的な理論について、これまで実施されてきた実験や調査の結果を紹介することや受講者の皆さんに簡単なアンケートや実験に参加してもらうことで、理解を深めていきます。
到達目標	(1)社会心理学の考え方や研究方法が理解できる (2)対人関係や集団における人の意識、態度、行動の仕組みが理解できる (3)家族、集団や文化が個人に及ぼす影響が理解できる

授業の計画						
第1回	【テーマ】講義のガイダンス・社会心理学とは？ 【計画内容】15回の講義の内容と評価方法について説明し、社会心理学とはどのような学問なのか理解します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】「親密な関係」の社会心理学2 【計画内容】恋愛関係と友人関係の理論について理解します。 【授業時間外の学修内容】第8回で配付したプリントを復習し、質問等があればまとめておくこと。	A
第2回	【テーマ】「私」を理解する社会心理学1 【計画内容】「私」についての理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】第1回で配付したプリントを復習し、講義に参加してください。	A	第10回	【テーマ】「親密な人間関係」の社会心理学3 【計画内容】「対人魅力」の理論と親密な関係の崩壊のしくみについて理解します。 【授業時間外の学修内容】第9回で配付したプリントを復習し、質問等があればまとめておくこと。	A
第3回	【テーマ】「私」を理解する社会心理学2 【計画内容】「私」を知りたいという気持ちと行動を理解します。 【授業時間外の学修内容】第2回で配付したプリントを復習し、質問等があればまとめておくこと。	A	第11回	【テーマ】「コミュニケーション」の社会心理学 【計画内容】日常生活の場面からコミュニケーションの重要性を理解します。 【授業時間外の学修内容】第10回で配付したプリントを復習し、質問等があればまとめておくこと。	A
第4回	【テーマ】「他者」を理解する社会心理学1 【計画内容】「相手」を知り、理解する方法・理論を学びます。 【授業時間外の学修内容】第3回で配付したプリントを復習し、質問等があればまとめておくこと。	A	第12回	【テーマ】「集団」の社会心理学1 【計画内容】集団が個人に及ぼす影響について理解します。 【授業時間外の学修内容】第11回で配付したプリントを復習し、質問等があればまとめておくこと。	A
第5回	【テーマ】「他者」を理解する社会心理学2 【計画内容】「相手」への態度・行動を対人関係の場面から理解します。 【授業時間外の学修内容】第4回で配付したプリントを復習し、質問等があればまとめておくこと。	A	第13回	【テーマ】「集団」の社会心理学2 【計画内容】集団におけるリーダーシップの理論について理解します。 【授業時間外の学修内容】第12回で配付したプリントを復習し、質問等があればまとめておくこと。	A
第6回	【テーマ】「他者」を助ける行動の社会心理学 【計画内容】「援助行動」のメカニズムについて理解します。 【授業時間外の学修内容】第5回で配付したプリントを復習し、質問等があればまとめておくこと。	A	第14回	【テーマ】「家族と文化」の社会心理学 【計画内容】家族や文化が個人に及ぼす影響について理解します。 【授業時間外の学修内容】第13回で配付したプリントを復習し、質問等があればまとめておくこと。	A
第7回	【テーマ】「他者」を傷つける行動の社会心理学 【計画内容】「攻撃行動」のメカニズムについて理解します。 【授業時間外の学修内容】第6回で配付したプリントを復習し、質問等があればまとめておくこと。	A	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】第1回から第14回までの講義内容を振り返り、まとめの時間とします。 【授業時間外の学修内容】講義で配付した全てのプリントを復習し、講義に持参すること。質問等があればまとめておくこと。	A
第8回	【テーマ】「親密な関係」の社会心理学1 【計画内容】親密な関係における人の意識や行動のプロセスについて理解します。 【授業時間外の学修内容】第7回で配付したプリントを復習し、質問等があればまとめておくこと。	A			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	今川民雄・山口司・渡辺舞、2015年、『人とのつながりとこころ』、ナカニシヤ出版、9784779509964

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	70%		15%		15%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	授業の最後に実施する出席課題は評価の対象となります。課題で行う実験やアンケートの結果を使用して次回の授業の理解を深めていきます。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	メールでの問い合わせおよび出席課題に記入してもらうことで対応します。メールアドレスは初回講義時に提示します。講義中における積極的な発言・質問も歓迎します。
資格	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必
その他	第16回に最終評価のための筆記試験を行います。 講義中心の科目ですが、演習も講義内で取り入れていきますので、積極的な出席・授業態度を期待します。

科目名	発達心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	新川　貴紀				

授業の目的		
	ねらい	従来の発達心理学は、誕生から成人に至る段階までを対象に、それぞれの発達段階で何ができるのか、どのような行動を示すのかを明らかにするものであった。近年、人の寿命が延びてきたこと、新生児期からさらに胎児期での心理学的研究が盛んになされるようになったことから、これまでの傾向が見直され、全生涯を扱う縦断的な観点から発達過程をとらえなおすようになってきている。人間は一生をかけて発達する可能性が明らかになりつつある。このような視点から、誕生から死に至る人間の心理的発達過程について、各発達ステージの相互の関係、発達を保証する条件は何か、これまでに明らかにされてきた研究成果を中心に概説する。
	到達目標	(1)人が生涯発達することの意味を理解できる。 (2)ライフサイクルにおける変化を理解できる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】発達心理学とはなにか、生涯を通しての発達を考える意味、15回の講義展開について説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A・G	第9回	【テーマ】青年期の発達(性的成熟とアイデンティティ) 【計画内容】青年期の性的成熟とアイデンティティについての理論を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L
	第2回	【テーマ】発達理論と発達段階と発達障害 【計画内容】生涯を通しての発達についてピアジェやエリクソンなどの発達理論や発達段階を学びます。また発達障害等の非定型発達について基礎的な知識と考え方を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L	第10回	【テーマ】アイデンティティ・ステータス 【計画内容】アイデンティティについて、その獲得や危機などについての理論を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L
	第3回	【テーマ】乳児の世界 【計画内容】新生児期から乳児期までの発達について原始反射などの生理学的側面も含めて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L	第11回	【テーマ】恋愛と結婚 【計画内容】恋愛と結婚に関する心理学的研究についてアタッチメント理論などの発達心理学的視点から学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L
	第4回	【テーマ】幼児の世界(ことばの獲得) 【計画内容】ことばが急速に増える幼児期の言語発達についてチョムスキーなどの理論を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L	第12回	【テーマ】親になること・親であること 【計画内容】子どもを授かること、それによる変化について発達心理学の理論を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L
	第5回	【テーマ】対人関係の発達(アタッチメントの成立と発展) 【計画内容】養育者とのアタッチメント関係の成立と発展に関する理論を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L	第13回	【テーマ】中年期の発達 【計画内容】中年期の危機など、社会的役割が獲得される時期に特有の心理学的課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L
	第6回	【テーマ】情動と自己の発達 【計画内容】発達早期の情動と自己の発達について、実験研究の結果を基にその理論を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L	第14回	【テーマ】老年期の発達 【計画内容】加齢に伴い喪失体験など様々な出来事が重なる老年期に特有の心理学的課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L
	第7回	【テーマ】児童期の発達 【計画内容】対人関係に広がりがうまれる児童期の発達について、友人関係などの対人面を中心に学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L	第15回	【テーマ】発達心理学からの提言 【計画内容】これまでの講義内容を振り返り、発達心理学ができることについて学びます。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでいない問題を整理しておくこと。	A・G・L
	第8回	【テーマ】思考の発達 【計画内容】幼児期や児童期の思考の発達について、ピアジェなどの発達理論から近年の理論を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組み理解を深めておくこと。	A・G・L			

テキスト	プリントを使用します。
参考書	杉村伸一郎・坂田陽子編、2004年、『実験で学ぶ発達心理学』、ナカニシヤ出版、9784888488853 渡辺弥生・伊藤順子・杉村伸一郎編、2008年、『原著で学ぶ社会性の発達』、ナカニシヤ出版、9784779501814

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		70%	
	補足			最終レポート		小レポート	

課題に関するフィードバックの方法	毎回の小レポートについては次の講義開始時にフィードバックを行います。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[心]公認心理師_必修、認定心理士_選必、福祉心理士_選必
その他	一生を通じて発達することの意味を考えてもらいたい。また子どもの発達に関する知識を持つことで将来の子育てを楽しんでもらいたい。

科目名	医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	授業形態	講義	単位数	2
教員名	大宮司　信				

授業の目的	
ねらい	科学と医学の進歩により、例えばヒトの遺伝情報の全貌が明らかにされつつある。このような現代医学の進歩を踏まえて、健康と長寿をキーワードとし、介護や福祉に従事するために必要なからだのしくみを習得する。また心身機能と身体機能及び疾病や傷害について、人間の成長・発達と日常生活との関係を踏まえて理解する。さらに国際生活機能分類(ICF)に基づきリハビリテーションの概要を理解する。
到達目標	(1)健康と長寿をキーワードとし、身体の構造と生理機能及び心身機能を学ぶ。 (2)介護や福祉に従事するために、必要なからだのしくみ、健康、疾病の捉え方、疾病と障害の成り立ち及び回復過程を習得する。 (3)国際生活機能分類(ICF)に基づきリハビリテーションの概要を理解する。 (4)人のライフステージにおける心身の変化と健康課題について理解する。 (5)公衆衛生の観点から、人々の健康に影響を及ぼす要因や健康課題を解決するための対策を理解する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】講義全体のオリエンテーション及び人体の解剖・生理の基礎 【計画内容】人体の主要部位の名称、人体を構成する細胞の構造と機能、そして全体としてのからだの働きを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】今、日本で問題になっている医療問題が何かを考えておくこと。	A	第9回	【テーマ】ICF の基本的な考え方と概要 【計画内容】WHO の疾病の把握の仕方や取り組みの概要について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A
第2回	【テーマ】がん(総論) 【計画内容】がんとはどのようなものかについて理解する。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】健康のとらえ方 【計画内容】健康・病気・未病などの考え方を西洋と東洋を比較しながら、からだのしくみを理解する。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A
第3回	【テーマ】がん(各論) 【計画内容】現代問題にされているがんについて理解し、その社会的な影響について考える。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】リハビリテーション(1) 【計画内容】第8回で学んだ脳血管疾患を例にとってリハビリテーションの概略を知る。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A
第4回	【テーマ】感染症(1) 【計画内容】結核を中心に、感染症に対する公衆衛生を踏まえた社会の取り組みについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】リハビリテーション(2) 【計画内容】地域リハビリテーションやエンパワーメントなどのリハビリテーションについて最近の知見を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A
第5回	【テーマ】感染症(2) 【計画内容】エイズ、ノロウイルス感染症などの新しい感染症とその社会に与える影響について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】話題の病気 【計画内容】これからパンデミックな広がりが懸念される、鳥インフルエンザ感染症などについて取り上げる。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A
第6回	【テーマ】人の成長と発達(1) 【計画内容】出生から死亡までの人の一生とその各時期の特徴から、からだのしくみを理解する。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】日本の医療 【計画内容】他の国々と比較した際の我が国の疾病の特徴や取り組みについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A
第7回	【テーマ】人の成長と発達(2) 【計画内容】若者にすでにみられるメタボリック症候群、その結果中年以降に問題となる生活習慣病について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A	第15回	【テーマ】全体のまとめ：病気からみた健康と人間の一生 【計画内容】疾病をとおしてみた健康や人の成長と一生を全体として考える。 【授業時間外の学修内容】これまで学んだことをあらかじめ復習しておくこと。	A
第8回	【テーマ】人の成長と発達(3) 【計画内容】生活習慣病の結果として高血圧・脳血管疾患について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回指定された教科書の該当箇所を読んでおくこと。	A			

テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会、2015年、『人体の構造と機能及び疾病(新・社会福祉養成講座 -1)』、中央法規出版、9784805851005
参考書	講義時に適宜紹介します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%		60%	
補足			毎回の小レポート			

課題に関するフィードバックの方法	課題等については、その次の講義時にコメント・解説します。

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	医師
	科目との関連	医師としての臨床体験を講義のなかでお話します。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[心]公認心理師_必修、精神保健福祉士_必修、社会福祉主事_選必
その他	欠席時は事後でもよいので必ず欠席届を提出すること。

科目名	医学知識	授業形態	講義	単位数	2
教員名	大宮司　信				

授業の目的	
ねらい	死･ターミナルケア･緩和医療などを念頭に、からだのしくみの基礎、すなわち身体の構造並びに生理機能、特に死にゆくひとのこころとからだのしくみを理解するために医療の各分野を全般的に紹介し、現代に特徴的な疾病についての講義をねらいとする。特に死の捉え方、終末期から危篤の時期･死亡期の身体的･精神的諸問題の理解など、医療職との連携をふまえ、疾病を広く理解できることを目標とする。
到達目標	(1)介護･心理領域を中心に出会うことの多い疾患とその背景にある身体の仕組みを説明できる。 (2)臨死･緩和ケアに関する考え方の基礎を理解している。 (3)他の医療機関との関係･協力、それぞれの果たす役割が理解できている。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション、医療の倫理 【計画内容】福祉･心理に携わる立場の専門家として必要な医療の倫理を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】消化の異常と病気 【計画内容】介護･心理場面で問題となる嚥下障害をはじめ、主な消化器の病気について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。	A
第2回	【テーマ】医療の中の福祉と心理 【計画内容】他の医療機関との関係、連携の仕方、役割分担などを知ることを通して、からだのしくみを理解する重要性を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】呼吸のしくみと構造、その病気 【計画内容】外呼吸と内呼吸、肺の構造とはたらき、肺炎や誤嚥による気道閉塞の危険性などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。	A
第3回	【テーマ】人の身体の恒常性の維持機能(1) 【計画内容】人が外界の変化に関わらず身体を恒常的に維持できる機能、すなわちホメオスタシスについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】排泄のしくみと構造 【計画内容】腎臓における尿の生成のしくみ、排尿のしくみ、泌尿器系の病気について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。	A
第4回	【テーマ】人の身体の恒常性の維持機能(2) 【計画内容】ホメオスタシスの具体的な機能である内分泌や免疫系について学び、からだのしくみを理解する。 【授業時間外の学修内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】皮膚の構造と病気 【計画内容】褥瘡のできるしくみ･治療･予防を中心に皮膚の病気について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。	A
第5回	【テーマ】脳･神経の構造と機能 【計画内容】神経系のしくみと働きを脊髄反射などを通して学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】臨死(1) 【計画内容】死にゆく人のこころとからだのしくみを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。	A
第6回	【テーマ】循環のしくみと構造 【計画内容】心臓を中心とする体循環･肺循環･抹消循環、動脈と静脈、リンパの循環などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】臨死(2) 【計画内容】ターミナルケアと緩和医療を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料を読んでおくこと。	A
第7回	【テーマ】循環の異常と病気 【計画内容】高血圧、心筋梗塞などの虚血性心疾患とその治療について学ぶ。AED の使用法についても実習する。 【授業時間外の学修内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。	A	第15回	【テーマ】まとめ : 医療の中の介護と福祉の役割 【計画内容】医療の中において福祉･心理が置かれている現在の状況やこれからの可能性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付する資料を読んでおくこと。	A
第8回	【テーマ】消化のしくみと構造 【計画内容】口から肛門へ至る消化器の構造と機能、消化･吸収の意義などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定された教科書の当該部分を読んでおくこと。	A			

テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会、2015年、『人体の構造と機能及び疾病(新･社会福祉士養成講座 -1)』、中央法規出版
参考書	講義時に説明します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%		60%	
補足			毎回の小レポート			

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
該当	経験内容	医師としての臨床経験を有する。
	科目との関連	これまでの臨床経験に基づいて講義する。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[健]介護福祉士_必修
その他	講義の順序が変更される可能性あり。

科目名	社会学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	松下　守邦				

授業の目的

ねらい

社会学は、「人々の社会とは何か」を明らかにする、社会科学の学問のひとつです。人間生活を扱うことから、経済学や政治学、社会福祉学にも近い領域の学問です。社会学は独自の視点として、社会関係、社会的行為、社会集団、社会構造、社会変動などの考え方(概念)を使って説明をします。個人と社会、家族社会、地域社会、産業労働社会、福祉社会など、ミクロからマクロの現代社会における人間関係、ジェンダー、社会階層と格差、少子化と高齢化など、社会事象の特質について学ぶことをねらいとします。

到達目標

(1)社会学の基本的概念を理解し、説明(記述)ができる。
(2)社会事象を社会学の基本的用語を使い、説明(記述)ができる。
(3)現代の社会事象について、その問題点と対策を、説明(記述)ができる。
(4)知識の外化(3手法:書く、話す、発表する)を使い、表現ができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】授業のガイダンスと社会学への招待 【計画内容】教材(テキスト、配付プリント)、作業課題(ワークシート、レポートの作成提出)、授業の振り返りなど、授業形態とその対応について説明をします。テキスト、社会という言葉、社会学の歴史について学習します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第1章を読み、予習してください。能動的ノートのとり方(国語辞書編纂者、飯間浩明氏twitter 記事)、大学講義ノートの取り方(佐藤望氏動画)などを参考にしてください。 飯間浩明氏　twitter　(2015,April,11)"「板書をスマホで撮影してノートに代える」学生についての意見" https://twitter.com/IIMA_Hiroaki/status/586525324088774657/photo/1　(2021.02.01確認) 佐藤望氏　動画　https://www.youtube.com/watch?v=xrSBW8NLDaA　(2021.02.01確認)	A	第9回	【テーマ】産業労働の社会学 【計画内容】労働、職業について学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第9章を読み、予習してください。	A
第2回	【テーマ】社会学の発想 【計画内容】社会学的説明の基礎、「常識を疑うこと」について学習します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第2章を読み、予習してください。	A	第10回	【テーマ】社会福祉の社会学 【計画内容】社会福祉、社会保障、福祉社会について、学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第12章を読み、予習してください。	A
第3回	【テーマ】社会調査と計量社会学 【計画内容】社会調査、データ、インタビューにより社会事象を分析することについて学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章、第4章を読み、予習してください。	A	第11回	【テーマ】障害の社会学 【計画内容】障がい者、障害者、自立生活、アート活動について学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第13章を読み、予習してください。	A
第4回	【テーマ】社会学の基本的概念 【計画内容】社会学の専門用語、学術概念の捉え方について学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第5章を読み、予習してください。	A	第12回	【テーマ】ジェンダーの社会学 【計画内容】ジェンダー、性別役割について学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第15章を読み、予習してください。	A
第5回	【テーマ】現代の家族 【計画内容】家族の形態、家族の機能、産業と家族、専業主婦、三歳児神話について学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第6章を読み、予習してください。	A	第13回	【テーマ】第2回　ワークシートの作成、振り返り 【計画内容】本授業(第8回から第12回)の学習内容について、理解をたしかめるワークシートの作成、提出をおこないます。 【授業時間外の学修内容】テキストと配付資料を読み、準備学修をしてください。	K・L
第6回	【テーマ】第1回　ワークシートの作成、振り返り 【計画内容】本授業(第1回から第5回)の学習内容について理解をたしかめるワークシートの作成、提出をおこないます。 【授業時間外の学修内容】テキスト(第1章から第6章)と配付資料を読み、準備学修をしてください。	K・L	第14回	【テーマ】社会学の学術論文を読む 【計画内容】学術論文のスタイル、研究成果について学びます。アカデミック・ライティング(学術論文スタイル)は、概念の定義づけ、引用表現、文献リストの作成をおこなう型を理解し、研究成果を確認します。 【授業時間外の学修内容】配付資料を予習してください。	J
第7回	【テーマ】視聴覚教材の視聴 【計画内容】視聴覚教材にでてくる社会事象について、学習した社会学概念を用いて分析、説明することを学びます。 【授業時間外の学修内容】本授業(第1回から第5回)であつかった社会学概念について、テキスト、資料の確認をしておきましょう。	J	第15回	【テーマ】視聴覚教材の視聴、授業全体のまとめ 【計画内容】視聴覚教材にでてくる社会事象について、学習した社会学概念を用いて分析、説明することを学びます。授業内容の全体についてまとめをおこない、確認をおこないます。 【授業時間外の学修内容】本授業(第1回から第14回)であつかった社会学概念について、テキスト、資料の確認をしておきましょう。	J・L
第8回	【テーマ】都市の社会学 【計画内容】人口の密集、匿名性、1人暮らし社会、都市の多様性と課題について学習をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト第7章を読み、予習してください。	A			

テキスト	酒井千絵・永井良和・間淵領吾、2018年、『基礎社会学　新訂第4版』、政界思想社、9784790717164
参考書	日本社会学会、2010年、『社会学事典』、丸善、9784621082546 田中正人編・香月孝史、2019年、『社会学用語図鑑』、プレジデント社、9784833423113 友枝敏雄・浜日出夫・山田真茂留編、2017年、『社会学の力　最重要概念・命題集』、有斐閣、9784641174306 井下千以子、2019年、『思考を鍛えるレポート・論文作成法　第3版』、慶應義塾大学出版会、9784766425772

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			90%		10%	
補足			課題評価(ワークシートレポート)			

課題に関するフィードバックの方法	ワークシート提出課題(授業第6回、第13回)のフィードバックを、提出後の授業にておこないます。全体の振り返りは15回授業のまとめにておこなう予定です。
実務経験と授業の関連	経験内容：
	科目との関連：
質問への対応	大学交付の学生メールアドレスを使い、教員宛メールアドレス(大学交付教員メールアドレス)へメール送信してください。私用メールアドレスは、教員が受信する際、迷惑フォルダーに入ることがあるため、大学交付学生メールアドレスで作成送信して下さい。
資格	[教]社会福祉主事_選必　[健]介護福祉士_選必、社会福祉主事_選必
その他	ていねいに深く学びつづけることを大切にします。授業は全15回で修了します。成績評価は、ワークシート(学習範囲の理解をたしかめるための作業、第6回、第13回授業)、レポート(授業内容の理解を確認する「説明型レポート」、社会学概念と資料を利用して自分の主張を述べる「論証型レポート」、第7回、第15回授業)によりおこないます。学び方、評価方法などは第1回授業にて説明をおこないます。授業状況によりシラバス修整となる場合には、皆さんにシラバス修整版を提示いたします。

科目名	ソーシャルワークの基盤と専門職	授業形態	講義	単位数	2
教員名	寺田　香				

授業の目的		
	ねらい	ソーシャルワーク実践に必要な専門的価値や倫理、知識、方法論についての学びを通し、専門職として担う責務や役割について理解する。 他職種との連携の意義とその内容について学び、地域社会との協働による総合的･包括的なソーシャルワーク実践についての理解を深める。
	到達目標	(1)ソーシャルワーク専門職の役割と意義について説明することができる。 (2)ソーシャルワーク理論と実践の変遷について説明することができる。 (3)ソーシャルワーク専門職の倫理について、倫理綱領を基に考えることができる。 (4)ソーシャルワーク実践の価値と権利擁護について考えることができる。 (5)総合的･包括的なソーシャルワーク実践と、多職種連携の意義と内容について理解することができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】現代社会とソーシャルワーク 【計画内容】生活課題とソーシャルワーク支援の必要性について理解する。家庭内や地域社会で起きているさまざまな事象を取り上げ、ソーシャルワーク支援がどのような機能を担うかについて理解する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で習得したい内容について整理しておくこと。	A･K	第9回	【テーマ】ソーシャルワーク実践と倫理 【計画内容】倫理綱領の内容を学び、ソーシャルワーク実践における倫理的なジレンマの構造について理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A
	第2回	【テーマ】ソーシャルワークの定義と構成要素 【計画内容】ソーシャルワークの定義を学び、ソーシャルワークの概念と構成要素について理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A･	第10回	【テーマ】ジェネラリスト･ソーシャルワークの理解① 【計画内容】地域を基盤としたソーシャルワーク実践の機能について学び、総合的かつ包括的なソーシャルワーク実践の視点について理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A･K
	第3回	【テーマ】ソーシャルワーク実践の形成過程① 【計画内容】ソーシャルワークの前史から基礎確立期までの歴史的変遷について理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A	第11回	【テーマ】ジェネラリスト･ソーシャルワークの理解② 【計画内容】ジェネラリスト･ソーシャルワークの意義と基礎的な理論について理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A
	第4回	【テーマ】ソーシャルワーク実践の形成過程② 【計画内容】ソーシャルワークの歴史における発展期について理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A	第12回	【テーマ】ソーシャルワーク専門職の概念と範囲 【計画内容】ソーシャルワーク専門職としての概念と職務範囲について理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A
	第5回	【テーマ】ソーシャルワーク実践の形成過程③ 【計画内容】ソーシャルワークの歴史における展開期について理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A	第13回	【テーマ】ソーシャルワーク実践の専門的機能① 【計画内容】事例を基にソーシャルワーク実践における予防的機能についての理解を深める。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A･K
	第6回	【テーマ】ソーシャルワーク実践の形成過程④ 【計画内容】ソーシャルワークの歴史における統合化とジェネラリスト･ソーシャルワークについて理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A	第14回	【テーマ】ソーシャルワーク実践の専門的機能② 【計画内容】事例を基にソーシャルワーク実践における権利擁護機能についての理解を深める。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A･K
	第7回	【テーマ】ソーシャルワーク実践の理念① 【計画内容】ソーシャルワーク実践の価値と権利擁護について理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A･K･H	第15回	【テーマ】ソーシャルワーク実践の専門的機能③ 【計画内容】事例を基にソーシャルワーク実践における社会資源開発機能についての理解を深める。 【授業時間外の学修内容】前回までのプリント資料をよく読み、学びを深めてください。	A･K
	第8回	【テーマ】ソーシャルワーク実践の理念② 【計画内容】エンパワメント、ストレングス視点、ソーシャルインクルージョンの概念について理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組むこと。	A･K･H			

テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会、『ソーシャルワークの基盤と専門職』、中央法規出版
参考書	毎時プリントを配付します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	20%		20%		60%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	提出されたレポートについて、適宜講評を行います。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	精神保健福祉士
		科目との関連	精神保健福祉分野におけるソーシャルワーカー実務の経験を活かして講義を行います。

質問への対応	講義時にリアクションペーパーを配付します。意見や感想など積極的に記入してください。また、不明な点等があった場合も遠慮なく書いてください。次回の授業時に回答します。
資格	[心]精神保健福祉士_必修、社会福祉主事_選必
その他	配付資料は随時使用しますので、ファイル等に整理して授業時に持参してください。

科目名	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	寺田　香				

授業の目的	
ねらい	ソーシャルワーク実践の理論と方法を学び、支援技術として用いることができるように習得する。専門的なソーシャルワーク関係を構築していくことの意義を理解し、そのために用いられる知識や技術、価値や倫理について学びを深める。
到達目標	(1)ソーシャルワークにおける実践モデルとアプローチについて理解する。 (2)ソーシャルワーク実践の展開過程について説明ができる。 (3)個人情報保護の概要とその意義について理解する。 (4)ソーシャルワーク実践の様々な技法について理解する。 (5)人と環境の交互作用について説明できる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】ソーシャルワーク実践とは 【計画内容】多様化する生活問題に対してソーシャルワーク実践が担う役割を理解し、その意義について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】授業時に配付する資料を読んでください。	A	第9回	【テーマ】ソーシャルワーク実践の展開過程⑤ 【計画内容】プランニングから介入支援の実施に至るまでのソーシャルワーク実践を理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A・K
第2回	【テーマ】ソーシャルワーク実践の構造と機能① 【計画内容】ソーシャルワークの定義と枠組みを理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A	第10回	【テーマ】ソーシャルワーク実践の展開過程⑥ 【計画内容】介入時の支援に用いられるソーシャルワーク実践について理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A・K
第3回	【テーマ】ソーシャルワーク実践の構造と機能② 【計画内容】ソーシャルワークの構造と機能について理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A	第11回	【テーマ】ソーシャルワーク実践の展開過程⑦ 【計画内容】モニタリングの意義を理解し、再アセスメントに至るまでのソーシャルワーク実践を理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A・K
第4回	【テーマ】ソーシャルワーク実践の構造と機能③ 【計画内容】ソーシャルワーク実践における支援関係の意義と交互作用について理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A・K	第12回	【テーマ】ソーシャルワーク実践の展開過程⑧ 【計画内容】支援終結時の評価と留意点、アフターケアのソーシャルワーク実践について理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A・K
第5回	【テーマ】ソーシャルワーク実践の展開過程① 【計画内容】ソーシャルワーク実践の展開過程の概要について学び、支援関係に至るまでの留意点について理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A・K	第13回	【テーマ】ネットワークと多職種連携 【計画内容】予防的対応の実際について理解し、多職種連携の意義とネットワーク構築の機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A
第6回	【テーマ】ソーシャルワーク実践の展開過程② 【計画内容】エンゲージ場面におけるソーシャルワーク実践について理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A・K	第14回	【テーマ】記録と個人情報保護 【計画内容】ソーシャルワーク記録の意義と種類、方法について学び、個人情報保護の意義と留意点についての理解を深める。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A
第7回	【テーマ】ソーシャルワーク実践の展開過程③ 【計画内容】アセスメント場面におけるソーシャルワーク実践について理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A・K	第15回	【テーマ】ソーシャルワーク実践の展望と課題 【計画内容】ソーシャルワーク実践の動向について理解し、実践に伴う課題について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回までの配付資料を読んでおいてください。	L
第8回	【テーマ】ソーシャルワーク実践の展開過程④ 【計画内容】アセスメントからプランニングに至る場面におけるソーシャルワーク実践について理解する。 【授業時間外の学修内容】講義終了時に示す予習課題に取り組んでください。	A・K			

テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会、『相談援助の理論と方法Ⅰ』、中央法規出版
参考書	毎時プリントを配付します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	60%		10%		30%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	第15回で課題の振り返りを行い、講評します。

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	精神保健福祉士
	科目との関連	精神保健福祉分野におけるソーシャルワーカー実務の経験を活かして講義を行います。

質問への対応	講義にリアクションペーパーを配付します。意見や感想等を記入してください。また、不明な点等についても遠慮なく書いてください。次回の講義時に回答します。
資格	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必
その他	配付資料は随時使用しますので、ファイル等に整理して授業時に持参してください。 第16回に最終評価のためのテストを行います。

講義要綱

SYLLABUS

教育文化学部　1年次

2021年4月　発行
北翔大学・北翔大学短期大学部
〒069-8511　江別市文京台23番地
TEL（011）386－8011
FAX（011）387－1542